

厚生労働科学研究費補助金
障害者対策総合研究事業
(障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害分野))

補装具の適切な支給実現のための
制度・仕組みの提案に関する研究

平成27年度 総括・分担研究報告書

附.「第2回 補装具の適切な支給実現のための
制度・仕組みに関する研究会」資料

研究代表者 井上 剛伸
平成28(2016)年3月

厚生労働科学研究費補助金
障害者対策総合研究事業
(障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害分野))

補装具の適切な支給実現のための
制度・仕組みの提案に関する研究

平成27年度 総括・分担研究報告書

附.「第2回 補装具の適切な支給実現のための
制度・仕組みに関する研究会」資料

研究代表者 井上 剛伸
平成28(2016)年3月

目次

I. 総括研究報告書	
補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究	1
II. 分担研究報告書	
1. 完成用部品の機能区分整備	9
児玉義弘・山崎伸也・我澤賢之・相川孝訓	
附. 完成用部品機能区分表 一骨格構造義足一	13
2. 完成用部品機能区分に基づく部品価格制度案	73
我澤賢之・山崎伸也・長瀬毅	
(参考) 義肢・装具・座位保持装置の事業別の収支・費用構成の傾向	
我澤賢之・山崎伸也・長瀬毅	95
3. 補装具費支給判定基準マニュアルの作成	101
樫本修	
4. 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備	105
石渡利奈・山崎伸也・我澤賢之・相川孝訓	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	109
附録.	
「第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会」資料	
	111

I . 総括研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
総括研究報告書

補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究

研究代表者 井上剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部長

研究要旨 本研究の目的は、義肢・装具・座位保持装置の価格を適正に設定する仕組みを整えるとともに、完成用部品の機能に基づく整理を確立することで、障害状況に適切した適切な補装具が支給されるための制度・仕組みを提案することにある。これにより、これら補装具の利用者の社会参加・自立を促進することを目指す。そのために、＜課題1＞ 完成用部品の機能区分整備、＜課題2＞ 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究、＜課題3＞ 補装具費支給判定基準マニュアルの作成、＜課題4＞ 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備の小課題を設定した。

今年度の成果は以下の通りである。

＜課題1＞平成25年度および平成26年度に行った調査・分析結果を基に機能の定義付けとその妥当性を確認し、完成用部品の骨格構造義足について機能区分案を作成した。

＜課題2＞現行の部品リストから、機能区分内の部品の価格を調べたところ、平均48.0%と、ある程度大きなちらばりがあることがわかった。また、将来的に、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられるとの推計が得られた。

＜課題3＞更生相談所職員を対象とした限定版（Q&A189問）と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版（Q&A71問）に分けてマニュアルを作成した。いずれも、骨格義足完成用部品の機能区分表を盛り込み義肢判定の際に役立つものとして完成させた。

＜課題4＞機能区分の運用上必要な情報を整理するとともに、完成用部品登録申請を通じて集約することを想定した様式改訂案の作成、さらには、運用上の問題点についてまとめた。

さらに、課題1から4の成果を受け、補装具費支給制度に関する提案をとりまとめた。短期的には、機能区分表の公開による共通認識の促進と価格の平準化であり、長期的には、機能区分の整理に基づいた価格設定と利用者の機能を結びつけた適正な支給判定の促進を提案した。

研究分担者

樫本修・宮城県リハビリテーション支援センター・所長
児玉義弘・ナブテスコ株式会社住環境カンパニー福祉事業推進部・部長（～平成27年5月）、同・参与（平成27年6月～12月）、国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部・客員研究員（平成28年1月～3月）
山崎伸也・国立障害者リハビリテーションセンター研究所義肢装具技術研究部・副義肢装具士長

我澤賢之・国立障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部・研究員
石渡利奈・国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部・第一福祉機器試験評価室長

研究協力者

相川 孝訓・国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部 非常勤研究員
伊藤利之・横浜市リハビリテーション事業団 顧問

小川雄司・埼玉県総合リハビリテーションセンター 主任
 高岡 徹・横浜市総合リハビリテーションセンター 医療部長
 武田輝也・宮城県リハビリテーション支援センター 技師
 長瀬 毅・流通経済大学経済学部 准教授
 正岡 悟・大阪府障がい者自立相談センター 所長
 松野史幸・一般社団法人日本車椅子シーティング協会

A. 目的

補装具費支給制度は本邦における福祉用具の公的給付の根幹をなす制度である。補装具の価格は補装具費支給基準により定められているが、特に義肢・装具・座位保持装置（以下、義肢等）については基本価格、製作要素価格の項目が多岐にわたることに加え完成用部品を用いることから、その供給に要する費用と価格のバランスを適正に保ち続けるための仕組みが十分に整えられているとは言いがたい。また、全国の更生相談所の補装具判定における基準解釈の違い、地域格差の是正をなくし、公平・公正な判定の考え方の意識を統一する必要があると考えられる。

完成用部品については、現在部品指定申請時に部品供給業者より提示された価格を元に厚生労働省が公示価格を設定している。その際、部品の区分は部品の構造を基に、大まかな分類はなされているものの、部品の機能に基づいた区分は示されていない。そのため、適切な部品が、適正に利用者の手元に渡らないという問題を生じている。価格については、原価率等を確認する仕組みはあるものの、高額・高機能部品を含め部品の機能に応じた価格妥当性評価を行う仕組みは確立していない。そのため、類似の機能でありながら価格が大きく異なる部品がある等の問題が生じている。さらに、完成用部品の指定申請にあたっては、その複雑さにより、トラブルが生じるケースも見られており、様式等を含めて手続きを整備する余地がある。こうした課題を解決することで、利用者にとって必要で使いやすい補装具が、適正な価格で安定的に供給されるようになるものと考えられる。

本研究は、義肢・装具・座位保持装置の価格を適正に設定する仕組みを整えるとともに、完成用部品の機能に基づく整理を確立することで、障害状況に適応した適切な補装具が支給されるための制度・仕組みを提案することを目的とする。これにより、これら補装具の利用者の社会参加・自立を促進することを目指す。

具体的な課題として、完成用部品の機能区分を整備することを中心に据え、それと完成用部品の価格および利用者の機能との関連づけを行うこととし

た。それを基に、価格の決定や支給判定、申請手続きを適正かつ円滑に行う制度・仕組みを提案する。

昨年度は、骨格構造義足について合計 976 点の部品の情報を入手し、機能区分の初版を作成した。製作費用については、義肢等の製作事業者に対するアンケート結果をもとに、人件費単価が平成 23 年度の調査結果よりも低い値となっている点、利益率が平均値より低い事業所が多い点等を明らかにした。補装具費支給判定基準マニュアルについては、Q&A（暫定版）の更生相談所における 6 ヶ月試用後のアンケート調査を実施し、8 割以上から役立っているとの回答が得られた。得られた結果を基に、暫定版の修正点を決定するとともに、公開版と更生相談所限定版を作ることとした。申請手続きの整理については、昨年度の調査結果に基づき、様式、記入要領、説明会での説明方法の改善を行い、その効果が示された。

本年度は、骨格義足の機能区分表および補装具費支給判定基準マニュアルを完成させるとともに、機能区分を踏まえた完成用部品の価格設定や完成用部品申請についての仕組みを提案することを目標とした。

B. 方法

上記の目的を達成するために、本研究では、以下の 4 つの小課題を設定して研究を実施している。

- <課題 1> 完成用部品の機能区分整備（児玉、山崎、我澤）
- <課題 2> 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究（我澤、山崎）
- <課題 3> 補装具費支給判定基準マニュアルの作成（榎本）
- <課題 4> 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備（石渡、山崎）

図 1 にそれぞれの課題の関連性を示す。

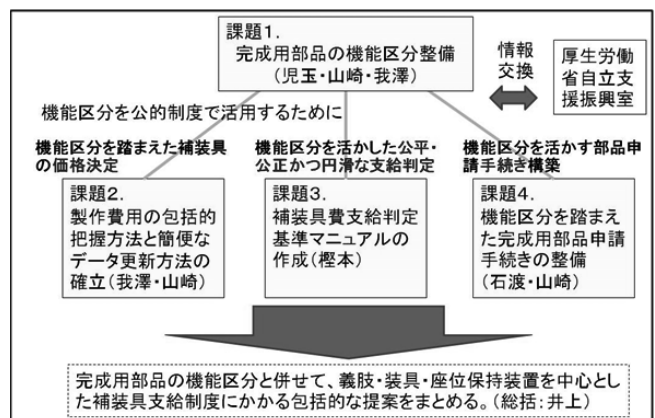


図 1 研究課題の関連性

B-1. 完成用部品の機能区分整備

1) 骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

平成 26 年度版および平成 27 年度版「完成用部品の指定基準」に掲載の骨格構造義足用部品約 1200 点について機能の整理・定義付けを行い、機能区分暫定案を作成した。

2) 機能区分案の共通理解と内容の充実

作成した機能区分暫定案をベースに、部品供給事業者（7 社）との意見交換会を実施した。これによって得られた情報を参考として機能区分表を完成させた。

B-2. 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究

1) 機能区分毎の価格状況についての検討

機能区分案毎に属する部品の価格について、標準偏差と平均価格の比を算出し、価格の散らばりの状況を確認した。ただし、本研究では、部品の属性が価格に与える影響を除去するため、区分に定められた基本的な機能のみを有するものを対象として価格のちらばりの状況を確認するものとし、下記のいずれかを満たす部品を除去して算出を行った。

- ・付加機能がある。
- ・主な材料として、チタンもしくはカーボン、マグネシウムを含む。
- ・使用者の身体機能について、メーカー推奨 K レベルが K4 に対応している、もしくは「活発な歩行」を想定している。
- ・製造中止もしくは削除の予定がある。

2) 機能区分に基づく価格制度の検討

完成用部品の価格制度について、補装具製作事業者から見た (a) 完成用部品供給業者からの仕入価格と (b) 補装具価格への加算価格の定め方の 2 点に着目し、考えられる制度の類型分けをし、前項の結果を踏まえてそれぞれの制度における特性をまとめた。

B-3. 補装具費支給判定基準マニュアルの作成

1) Q & A の厳選・整理

平成 26 年度に行ったアンケート調査結果をもとに「補装具費支給判定 Q & A 暫定版 2・アンケート調査結果」の 151 問を整理して掲載に相応しいものを厳選した。また、平成 26 年度、平成 27 年度に「全国身体障害者更生相談所長協議会補装具判定専門委員会」に寄せられた新たな Q & A（26 年度 32 問、27 年度途中まで 28 問）を厳選、加工して新たに追加できる質問を整理した。

2) 項目の追加

平成 26 年度アンケートの意見を参考に補装具費支給制度の基本事項を追加するとともに、骨格義足の完成用部品の機能区分表を盛り込むこととした。

以上をふまえて、更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けてマニュアルを作成した。

B-4. 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

1) 新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

作成された骨格構造義足用部品の機能区分に掲載されている内容と、本研究で改訂した補装具等完成用部品の現行の申請様式について機能区分をとりいれることで、新しく追加が必要となる項目にを考慮し、改定案を作成した。

2) 機能区分案を取り入れた場合、運用していく上で考えられる事項

補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、機能区分案を取り入れた場合に発生するであろう問題点を整理した。

C. 結果と考察

C-1. 完成用部品の機能区分整備

1) 骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

骨格構造義足用部品約 1200 点について、機能区分の大枠として、切断者の失われた機能を代償するものとの観点から、①人と義足のインターフェースの役割を補助する部品、②膝関節など生体の各部分の機能を代償する部品、③股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品、④足の形状をつくる外装のための部品の 4 つに分類し、これらを更に構造（機構）、機能毎に分類した。更に、同一構造、同一機能間の差異について、使用者体重制限、主な使用材料、重量、メーカー推奨適応活動レベル（K レベル）（前述の②の部品のみ）、特記事項（付加機能）等を記載した機能区分暫定案を作成した。

2) 機能区分案最終版の作成

作成した機能区分暫定版を基に、完成用部品供給事業者との意見交換会を開催した。意見交換会には、完成用部品供給事業者から 7 社 9 名、オブザーバーとして厚生労働省福祉用具専門官、そして研究班から 6 名が参加した。

参加者から多くの質問や意見が出されたが、機能区分案については概ね理解が得られた。ここで出された部品供給事業者からの意見を参考として機能区分を修正しの最終版をまとめた。また、部品の検索や今後の整理等に役立つようカテゴリー毎にコード付けを行った。

最終的に平成 26 年度および平成 27 年度版の完成用部品の指定基準に掲載の骨格構造義足部品 1189 点について機能区分を作成した。具体的には、①インターフェースとしての役割を補助する部品 178 点を 18 のカテゴリーに、②生体の股関節・膝関節・足部等の機能を代償する部品 404 点を 67 のカテゴリーに、③股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品 519 点を 41 のカテゴリーに、④足の形状をつ

くる外装のための部品 88 点を 20 のカテゴリーに分類しそれぞれにコード付けを行った。

C-2. 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究

1) 機能区分毎の価格状況についての検討

全機能区分（148 区分）のうち有効品目数が 3 以上の区分 72 について算出した「標準偏差÷平均」の値は最大値 140.3%、平均 48.0%、中位値 42.4%、最小値 8.5%であった。また「標準偏差÷平均」の値が 50.0%以上である区分は 29 であった。この結果は、現状において同一区分内にある程度の大きさの価格の散らばりが存在することを示している。

2) 機能区分に基づく価格制度の検討

個々の部品の機能区分が明示されることを前提とした部品価格制度について、機能区分補装具製作事業者から見た仕入価格、加算価格の区分に基づく価格制度の類型分けを行ったところ、仕入価格については固定価格制（年に 1 回申請に基づく更新機会）、オープン価格制の 2 種を、加算価格については部品毎の固定価格制、機能区分毎の固定価格制の 2 種を想定することができた。

以下、仕入価格についての特徴を述べ、ついで加算価格についての特徴ならびに参考とすべき類似制度を述べる。

仕入価格について

仕入価格については、現状固定価格制が採られている。これはどの補装具製作事業者も同じ部品は同じ価格で購入することになるため、補装具製作事業者の直面する完成用部品使用により得られる粗利（部品管理費を含む）の水準を厚労省がコントロールできる意味を持つとともに、大量の部品のまとめ買いが困難な比較的小規模の事業所の保護に役立つメリットがある。その反面、完成用部品供給事業者は次期価格改定が行われるまでの期間（現行、年度単位）価格変更ができないため、為替リスク等を踏まえた価格申請をせざるをえない面があり、これが部品価格を引き上げる方向に作用している可能性がある点デメリットと考えられる。

なお、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。これは、完成用部品供給事業者間の価格競争にかかる点である。仮に同一機能区分における加算価格が同一の部品間で仕入価格の異なる部品があった場合、補装具製作事業者は、購入費用以外の部品の調整・管理等にかかる費用を考慮しつつ総合的により安価なものを選択することが考えられる。この状況で仕入価格が固定価格制であるとすれば、相対的に高い仕入価格を設定した完成用部品供給事業者は、次の仕入価格変更の機会まで部品がほとんど売れないという状況が生じることが想定される。仕入価格を長期間変

更できないとすればこの点が問題になると思われる。

加算価格について

加算価格を機能区分毎に設定することは、同等機能の部品の価格平準化を進めるうえで極めて強い効果を示すと考えられる。これを制度化するためには、個々の部品の機能区分と仕入価格等に基づく価格設定・改定のルール、それらの根拠である仕入価格等市場調査方法、該当機能区分をより厳密に審査するための組織・仕組み作りの整備が必要となる。

区分別の部品価格（加算価格）のちらばりが大きい現状を踏まえると、当面は現行制度のまま機能区分を表示することで、機能区分毎の価格がゆるやかに平準化していくのを見守るのが望ましいと考えられる。長期的には、前項制度を継続する選択肢の他、補装具への加算価格について機能区分毎価格を導入することも検討の余地がある。現状、アメリカ、フランスにおいては比較的安価な部品については機能区分別固定価格、高額部品については個別価格（米国保険制度では雑コードに相当）と両制度を併用している国もある。日本の薬価制度も両制度制と言える。

C-3. 補装具費支給判定基準マニュアルの作成

1) 限定版の構成

限定版に選出した Q & A は 189 問となった。限定版は次のように構成した。

①補装具費支給制度の基本事項

補装具制度の歴史概要、補装具判定における身体障害者更生相談所の役割、補装具判定・処方前の基礎知識

②補装具費支給事務取扱指針にみる疑義解釈

制度適用、支給可能な個数、特例補装具など 28 問。

③補装具費支給の算定に関する疑義解釈

装具、義肢、車椅子など種目別で 77 問。

④基準の文言の解釈・補装具の適応・技術的な理解に関する疑義解釈

種目別の理解、児童補装具の理解、難病の理解など 84 問。

⑤厚生労働省事務連絡の Q & A（自立支援法以降）

計 6 回にわたる事務連絡の計 51 問。

⑥技術編：義足完成用部品の理解

骨格構造義足判定における処方の理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

2) 公開版の構成

公開版に選出した Q & A は 71 問となった。公開版は次のように構成した。

①補装具費支給制度の基本事項

限定版と同内容

②補装具費支給制度の理解と疑義解釈

補装具の定義、更生相談所の補装具判定とは何か、治療用装具と更生用装具の違いなど補装具費支給制度の理解に関する基本的なQ&A24問。

③医療関係者・市町村等支援者向けQ&A

医療関係者等中間ユーザーの理解を促すとともに市町村が補装具費の支給決定を行う際に参考となるようなQ&A47問。特に児童の補装具、難病患者等に関するQ&Aを掲載した。

④厚生労働省事務連絡のQ&A（自立支援法以降）

計6回にわたる事務連絡の計51問。

⑤技術編：義足完成用部品の理解

骨格構造義足判定における処方理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

3) マニュアルの特長

3年間の研究成果として作成した「補装具費支給判定基準マニュアル」の最大の特長は、その構成の核となる補装具に関するQ&Aが、実際に全国の身体障害者更生相談所の補装具判定において生じたQをアイデアにして作成されていることである。平成28年2月末までに241個のQ&Aが蓄積されている。個別の既製品に対するものを省いたQ&Aからアイデアをいただき、単刀直入にエッセンスだけを書き直したのが本マニュアルのQ&Aである。

本マニュアルには、技術編として義足完成用部品の理解を促す目的で骨格構造義足判定における処方の理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載したのも大きな特長である。その背景には、Q&A暫定版のアンケートの中に「義足完成用部品の選定の仕方が分からない」という声があった。この機能区分表は同じ研究グループで他の研究分担者である児玉らが既に機能区分が行われている米国のLコード等を参考にわが国の義足完成用部品について機能の整理・定義づけを行い、独自の機能区分をまとめたものである。本マニュアルにはそのうち股継手、膝継手、足継手・足部だけを抜粋して掲載している。この機能区分表が有効利用され、義足の判定、処方において根拠、自信のある完成用部品の選択、処方がなされるようになること、機能区分が医師、義肢装具士、リハ専門職、行政側の職員等の共通言語となり、完成用部品選択の共通理解の一助になることを期待している。

C-4. 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

1) 新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

現行の補装具等完成用部品の申請様式は、1つの様式で、義肢と装具、座位保持装置を網羅する形としている。しかし、本研究で機能区分案としてまとめたものは、骨格構造義足用部品のみである。今回の申請様式は、装具および座位保持装置については考慮せず、義肢用申請様式としてまとめた。

機能区分案の項目は、

- ① コード
- ② 新名称
- ③ 機能区分
- ④ 機能概要
- ⑤ メーカー推奨適応活動レベル
- ⑥ メーカー名
- ⑦ メーカー品番
- ⑧ メーカー部品名称等
- ⑨ 使用者体重制限 (kg)
- ⑩ 主な使用材料
- ⑪ 重量 (g)
- ⑫ 価格 (円) (基準価格)
- ⑬ メーカー保証期間
- ⑭ 特記事項

の14項目がある。新しい部品を機能区分に分類するためには、いずれの機能区分に該当するかにかかる情報(①～④、ただし①の記載により②から④は規定される)ならびにその他の属性にかかる情報(⑤～⑭)が必要となる。これらの項目を現行の申請様式に当てはめて整理し、現在の申請様式に記載箇所のない①～⑤、⑭を様式に追加した。

2) 補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、必要になる事項

① 機能区分についての周知

各メーカー、補装具評価検討会メンバー、国リハ補装具等完成用部品の事前評価メンバーに機能区分の分類について周知する。

② 機能区分の妥当性の検証

申請部品を各メーカーが独自に機能区分に割り当てたものが妥当であるか確認し、機能区分が適正に運用されるようにする。

③ 平成27年度等新規収載部品の情報集約

現行機能区分案は平成26年度の部品に基づいている。今後部品申請のなかで区分のための情報集約が行われるようになったとして、少なくとも平成27、28両年度に新規収載となった部品については申請とは別に必要情報の集約を行う必要がある。

④ 新しい機能の取り込み

新しい機能を持つ部品の申請があった場合、現存の機能区分に当てはめ特記事項に追加される機能を記入する。もしくは、新しい機能区分の枠を作るかを判断する。

⑤ 新しい機能区分の作成ルール

新しく機能区分の枠を作成する場合、新しい機能の名前を誰がどのようにして付けるかルール作りが必要である。また、数年に一度、機能区分の整理に不適正な分類がされていないかを見直す機能が必要である。

C-5. 制度・仕組みの提案

課題1から4の成果を受け、補装具費支給制度、その仕組みに関して議論し、以下のような提案をとりまとめた。

1) 短期的な提案

- 機能区分表の公開により、補装具費支給制度に関わる関係者が、完成用部品に関する共通認識を持つことができ、改めて価格に対する関心が高まることにより、価格の平準化を促進する。
- 定期的な価格調査を行い、現状をしっかりと把握した上で、価格の見直しを行う。
- マニュアルの活用により、更生相談所および市町村等の担当者の支給判定における質の向上が促される。
- 完成用部品指定申請の電子化により、事務手続の効率化を実現する。

2) 長期的な提案

- 継続的な機能区分に基づく完成用部品の整理を行う事で、共通認識を定着させる。
- 個別製品ごとの価格設定と機能区分ごとの価格設定の併用により、適正な価格設定を実現する。
- 部品の機能と人の機能の対応付けに基づき、適正な支給判定を促進する。

D. まとめ

完成用部品の機能区分を整備することを中心に据え、それと完成用部品の価格および利用者の機能との関連づけを行うことで、価格の決定や支給判定、申請手続きを適正かつ円滑に行う制度・仕組みを提案することを目指し、以下の4つの小課題を実施した。

- ＜課題1＞ 完成用部品の機能区分整備
- ＜課題2＞ 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究
- ＜課題3＞ 補装具費支給判定基準マニュアルの作成
- ＜課題4＞ 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

今年度は、昨年度までの調査・分析結果を基に機能の定義付けとその妥当性を確認し、完成用部品の骨格構造義足について機能区分案を作成した。

それを基に、機能区分内の部品の価格を調べたところ、平均48.0%と、ある程度大きな差がありが

ることがわかった。また、将来的に、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられるとの推計が得られた。

また、更生相談所職員を対象とした限定版(Q&A189問)と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版(Q&A71問)に分けてマニュアルを作成し、骨格義足完成用部品の機能区分表を盛り込んで義肢判定の際に役立つ「補装具費支給判定基準マニュアル」として完成させた。

さらに、機能区分の運用上必要な情報を整理するとともに、完成用部品登録申請を通じて集約することを想定した様式改訂案の作成、さらには、運用上の問題点についてまとめた。

以上の成果を受け、補装具費支給制度に関する短期的な提案として、機能区分表の公開による共通認識の促進と価格の平準化、長期的な提案として、機能区分の整理に基づいた価格設定を案としてとりまとめた。これにより、完成用部品の機能と、利用者の機能、価格を結びつけた適正な支給判定の促進につながることを期待できる。

今後、骨格構造義足以外の完成用部品について、機能区分を作成すると共に、機能区分表の普及に向けた活動を実施する予定である。

最後に、本研究遂行にあたりご協力を頂いた日本福祉用具・生活支援用具協会 義肢装具部会、日本義肢協会、日本義肢装具士協会、一般社団法人日本車椅子シーティング協会、日本義肢装具学会等関係機関、およびご協力頂いた方々に、この場を借りて謝意を表す。また、兵庫県立総合リハビリテーション中央病院 名誉院長 澤村誠志先生には、公開研究会に、お忙しい中遠路お越し頂き、貴重なお話しを頂きました。深く感謝申し上げます。

E. 健康危険情報

なし

F. 研究発表

1.論文発表

なし

2.学会発表

- 1) 井上剛伸：「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」, 日本車椅子シーティング協会, 第8回定期総会併催研修会, 2015-6-13, 東京.
- 2) 樫本 修：【基調講演2】更生相談所における補装具費支給基準の理解と機能区分への期待」、第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会. 2015-07-25, 所沢.
- 3) 井上剛伸, 我澤賢之, 山崎伸也, 石渡利奈, 樫本修, 児玉義弘：「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」, 第

- 2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会. 2015-07-25, 所沢.
- 4) 児玉義弘、山崎伸也、我澤賢之：第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会 ―完成用部品の機能区分整理がひらく公正・公平な判定と適正な価格― 完成用部品の機能区分, 2015-7-25, 所沢.
 - 5) 我澤賢之, 山崎伸也, 長瀬毅. 「義肢・装具・座位保持装置製作の費用・採算」, 第31回日本義肢装具学会, 2015-11-07, 横浜.
 - 6) 山崎伸也, 我澤賢之. 「更生用補装具としての義肢・装具・座位保持装置の支給状況」, 第31回日本義肢装具学会, 2015-11-07, 横浜.
 - 7) 井上剛伸：「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」、特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える ―厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト報告―、第31回日本義肢装具学会学術集会. 2015-11-08, 横浜.
 - 8) 児玉義弘、山崎伸也、我澤賢之：特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える ―骨格構造義足完成用部品を対象とした機能区分作成―. 2015-11-08, 横浜.
 - 9) 樫本 修:「補装具費支給判定マニュアルの作成」、特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える ―厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト報告―、第31回日本義肢装具学会学術集会. 2015-11-08, 横浜.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし

II. 分担研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

完成用部品の機能区分整備

研究分担者	児玉 義弘	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 客員研究員（前、ナブテスコ株式会社）
研究分担者	山崎 伸也	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 義肢装具技術研究部 副義肢装具士長
研究分担者	我澤 賢之	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 研究員
研究協力者	相川 孝訓	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 非常勤研究員

研究要旨 補装具のうち、義肢・装具・座位保持装置については、厚生労働省により認可された一定の機能を持つ構成部品、すなわち完成用部品を用いて製作される場合がある。完成用部品の選択はその補装具の機能・特性を定めるとともに、補装具の価格に大きく影響する。平成 27 年度現在、完成用部品の部品数は合わせて 3000 点以上に上る。中でも骨格構造義足についてはその数は約 1200 点におよんでおり、1981 年に現在の完成用部品の分類が出来て以降、技術の発展とともに開発が進み、電子制御膝継手など様々な機能・特性を持つ部品が供給されている。しかるに個々の部品の機能が必ずしも解りやすくなく、また利用者の機能レベルや生活様式に対し必要な機能の部品を適切に処方するための情報が十分でないことなどから適合判定時の判断に地域差が生じる、類似部品間で価格差が大きい場合がある等の問題がある。本研究では、利用者にとって必要な機能を適切に、適切な価格で提供できるよう、機能区分が行われている米国の L コード等を参考に完成用部品について機能の整理・定義づけを行い、機能区分をまとめると共に、部品毎に推奨される利用者の機能レベル、付加機能等の情報と併せてまとめる。

平成 25 年度は、米国の保険制度（L コード）の調査を行った。平成 26 年度は、完成用部品指定リストに記載の骨格構造義足について機能の整理を行うために、完成用部品申請事業者 13 社に対して調査票を送付し、それぞれの部品の構造・機能について調査を行った。平成 27 年度は、平成 25 年度および平成 26 年度に行った調査・分析結果を基に機能の定義付けとその妥当性を確認し、完成用部品の骨格構造義足について機能区分案を作成した。

A. 目的

補装具のうち、義肢（殻構造義手・義足、骨格構造義手・義足）・装具・座位保持装置については、厚生労働省により認可され「完成用部品等の指定基準」に掲載された一定の機能を持つ構成部品、すなわち完成用部品を用いて製作される場合がある。完成用部品の選択はその補装具の機能・特性を定めるとともに、補装具の価格に大きく影響する。その部品数は平成 27 年度現在、3000 点以上に上る。中でも骨格構造義足については、その数は約 1200 点

におよんでおり、1981 年に現在の完成用部品の分類が出来て以降、技術の発展とともに開発が進み、電子制御膝継手など様々な機能・特性を持つ部品が供給されている。しかるに個々の部品の機能が必ずしも解りやすくなく、また利用者の機能レベルや生活様式に対し必要な機能の部品を適切に処方するための情報が十分でないことなどから適合判定時の判断に地域格差が生じる、類似部品間で価格差が大きい場合がある等の問題がある。本研究では、骨格構造義足を対象として適合判定時の部品選択の参考と

なるような完成用部品の機能区分案を纏めることを目的とする。

B. 方法

B-1. 骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

米国のLコードや完成用部品供給事業者からの情報等を踏まえ検討を行い、平成26年度版および平成27年度版「完成用部品の指定基準」に掲載の骨格構造義足用部品約1200点について機能の整理・定義付けを行い、価格の妥当性評価および処方判定時の目安となる機能区分暫定案を作成する。

B-2. 機能区分案の共通理解と内容の充実

作成した機能区分暫定案をベースに関係者相互の理解を深めるとともに、より充実した機能区分案に仕上げるべく部品供給事業者（骨格構造義足完成用部品供給事業者13社のうち7社）との意見交換会を開催する。これによって得られた情報を参考とし機能区分暫定案の修正、充実を図り最終の機能区分案を纏める。

C. 結果

C-1. 骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

骨格構造義足用部品約1200点について、機能区分の大枠として、切断者の失われた機能を代償するものとの観点から、①人と義足のインターフェースに役割を補助する部品（吸着バルブ、懸垂ベルト、ウェッジ、クラッチロック、ライナー）、②膝関節など生体の各部分の機能を代償する部品（ターンテーブル、股継手、膝継手、膝継手補助機能部品、足継手・足部）、③股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品（ブロック、コネクタ、チューブ、クランプアダプタ）、④足の形状をつくる外装のための部品（コネクションプレート、フォームカバー、ストッキング等）の4つに分類し、これらを更に構造（機構）、機能毎に分類した。更に、同一構造、同一機能間の差異について、使用者体重制限、主な使用材料、重量、メーカー推奨適応活動レベル（Kレベル）

（前述の②の部品のみ）、特記事項（付加機能）等を記載した機能区分暫定案を作成した。

機能区分の具体例として、骨格構造義足の中でも特に多くの機能を持つ膝継手の区分の場合、先ず軸の構造（単軸・多軸）により分類し、次に固定・荷重ブレーキ・バウンシング・イールディング等の立脚相制御方式とバネ・空圧・油圧等の遊脚相制御方式により分類し、これらの機能概要を記載したものを一つの Kategorie としてコード付けを行った。これらの Kategorie に該当する部品を当て嵌め、メーカー推奨適応活動レベル、メーカー名・型式、使用者体重制限、主な使用材料、単体重量、基準価格、メーカー保証期間、および特記事項として付加機能等を記載した機能区分案を作成した。なお、メーカー推奨適応活動レベルについては、米国保険制度（Lコード）で使用されているKレベル（表1参照）を使用した。

表1. 利用者の機能レベル（Kレベル）

Kレベル	機能概要
K0	介助の有無にかかわらず、安全に歩行又は移動する能力がなく、義肢によってQOL又は可動性が向上しない。
K1	一定の歩調で平坦面を歩行又は移動するために義肢を使用する能力又は潜在能力がある。限定的又は制限のない家庭内歩行者。
K2	縁石、階段、又は凹凸のある面などの低い環境障壁を越えて歩行する能力又は潜在能力がある。限定的な地域内歩行者。
K3	種々の歩調での歩行能力又は潜在的な能力がある。殆どの環境障壁を越える能力又は潜在能力を有し、単純な運動以上の義肢を必要とする職業、治療、又は運動活動ができる。
K4	基本的な歩行能力を超える義肢歩行の能力又は潜在能力があり、高い衝撃、ストレス、又はエネルギーに耐える能力を呈する児童、活動的な成人、又は運動選手など。

C-2. 機能区分案最終版の作成

平成 27 年 7 月 17 日に完成用部品供給事業者との間で機能区分に関する相互理解を深めるとともに、より充実した内容とするために、作成した機能区分暫定版を基に意見交換会を開催した。意見交換会には、完成用部品供給事業者から 7 社 9 名、オブザーバーとして厚生労働省福祉用具専門官、そして研究班から 6 名が参加した。

参加者から多くの質問や意見が出されたが、機能区分案については概ね理解が得られた。ここで出された部品供給事業者からの意見を参考として機能区分を修正しの最終版をまとめた。また、部品の検索や今後の整理等に役立つようカテゴリ毎にコード付けを行った。

最終的に平成 26 年度および平成 27 年度版の完成用部品の指定基準に掲載の骨格構造義足部品 1189 点（販売中止または製造中止部品でも平成 27 年度、平成 28 年度、平成 29 年度まで修理対応可能な部品を含む）について機能区分を作成した。具体的には、①インターフェースとしての役割を補助する部品 178 点を 18 のカテゴリに、②生体の股関節・膝関節・足部等の機能を代償する部品 404 点を 67 のカテゴリに、③股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品 519 点を 41 のカテゴリに、④足の形状をつくる外装のための部品 88 点を 20 のカテゴリに分類しそれぞれにコード付けを行った。なお、最終版についてはコード付けのルールと合わせて本分担研究報告書の末尾に掲載する。

D. 考察

骨格構造義足部品の機能区分作成により、同一構造・同一機能、或いは類似機能の部品が一つのカテゴリに整理されたことと、各部品について、主な使用材料、重量、使用者体重制限、メーカー推奨の適応活動レベル（股継手・膝継手・足継手・足部のみ）、そして特記事項に付加機能等を記載したことにより処方判定時の部品の選定や、価格の妥当性評価が容易になるものと考ええる。

一方、利用者の機能区分、部品とのマッチングという点については、今回の機能区分案ではメーカーが推奨する適応活動レベルを採用したが、利用者の身体機能や生活様式、生活環境などいろいろの要件が加わってくることからまだまだ不十分であり、今後の大きな課題であると考ええる。

E. まとめ

今回の研究では、完成用部品の中でも技術発展とともに開発が進み様々な機能の部品が供給されている骨格構造義足用部品に絞って機能区分を作成した。

これまでの構造による分類では全てが独立した部品として捉えられていたが、機能による分類とすることで、独立していた部品が同一機能として一つのカテゴリの中に入ることになる。そうすることによって部品価格の妥当性評価や、処方判定時の部品選定を容易にするとともに、地域間格差の是正につながるものと考ええる。

補装具の支給判定は、利用者の日常生活、場合によっては人生を左右する重要なものである。判定の適切さをより高めるためには、補装具の機能・性能などの正確な情報を、判定に携わる医師、セラピスト、義肢装具士など異なる専門性を持つ人々の間で共有しやすくすることが重要と考える。我々はあくまで研究の立場に立つものであるが、本研究結果が処方判定時の部品選定の参考となり、地域間格差なく、必要な人に必要な部品が適切に使用されることを期待する。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
1) 児玉義弘, 山崎伸也, 我澤賢之: 第 2 回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会 ―完成用部品の機能区分整理がひらく公正・公平な判定と適正な価格―

完成用部品の機能区分，所沢，2015年7月25日。

- 2) 児玉義弘，山崎伸也，我澤賢之：特別レポート
補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える ー骨格構造義足完成用部品を対象とした機能区分作成ー， 横浜，2015年11月8日。

G. 知的財産権に出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし

完成用部品機能区分表

— 骨格構造義足 —

※平成 26 年度既記載完成用部品に基づき作成

平成 28 年 3 月

平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究

研究代表者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 井上 剛伸
研究分担者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 児玉義弘
(元 ナブテスコ株式会社住環境カンパニー福祉事業推進部)
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 山崎伸也
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 我澤賢之

目次

機能区分表の使い方と完成用部品の選択	17
--------------------	----

完成用部品機能区分表 — 骨格構造義足 —

※平成 26 年度既収載完成用部品に基づき作成

1. 人と義足のインターフェースとしての役割を補助する部品	20
【懸垂用部品】	
2. 生体の股関節、膝関節、足関節、足部の機能を代償する部品	26
【股継手、膝継手、足継手、足部ならびに関連部品】	
3. 股継手、膝継手、足継手、足部等を繋ぐ部品	48
【ブロック、コネクタ、チューブ、クランプアダプタ】	
4. 足の形状をつくる部品	68
【外装用部品】	

機能区分表の使い方と完成用部品の選択

厚生労働省が告示する完成用部品の基準表は、名称、型式、構造による分類、並べ方がされており、どの部品を選んだらよいかを判断する根拠までは示されていないのが現状である。そこで、既に機能区分が実施されている米国のLコードや完成用部品供給事業者からの情報等を踏まえ検討を行い、厚生労働省が指定している義足の完成用部品の機能の整理・定義づけを行い日本版の機能区分表としてまとめた。この機能区分表が身体障害者更生相談所における更生用義足の判定や医療機関での治療用義足の処方の際に完成用部品の選択の一助になれば幸いである。また、この機能区分表が医師、リハ専門職、義肢装具士、リハエンジニア、更生相談所の事務職、市町村の担当職員等の共通言語となり、完成用部品選択が根拠に基づいてなされる ときの共通理解の一助になることを期待している。

機能区分表の見方

横軸にコード番号、機能区分、機能概要、メーカー推奨適応活動レベル（Kレベル表参照）、メーカー型式、部品名称、使用者体重制限、主な使用材料、重量（g）、基準価格（円）、メーカー保証期間、特記事項が示されている。厚生労働省の完成用部品の基準表と異なり、各完成用部品が機能区分ごとになり、同一機能区分にあるものは価格が異なっても基本的な機能は同一の部品であることを示している。また、付加機能等がある場合は特記事項に記載されている。詳しい性能等の違いについては各メーカーのカタログ、義肢装具関係の成書を参考としていただきたい。

なお、コード番号については、将来新機能が出てくることを想定し、どの部品においても新コードの追加が可能となるよう1桁のアルファベットと7桁の数字の計8桁で構成している。但し、小児用については9桁目に”C”を表記する。コード各桁の意味については次ページの「利用者のKレベルと機能区分コード設定要領」を参照のこと。

義足処方時への活用

断端の機能、健側の機能、上肢機能、活動度、体重、義足使用の意欲などの医学的判断はもとより、生活・就労状況、使用環境、経済状況などを考慮してソケットタイプの選択、膝継手、足部を処方する。また、全体の義足重量や適応体重にも配慮して完成用部品を選択する。どのような機能の部品を選択すべきかを検討し、この機能区分表の同機能の部品の中から基準の価格にも配慮して部品を決定する。部品の決定が難しい場合は同機能のものをいくつかデモ機として用意して、試用評価を経て決定することが勧められる。

メーカー推奨の活動レベル

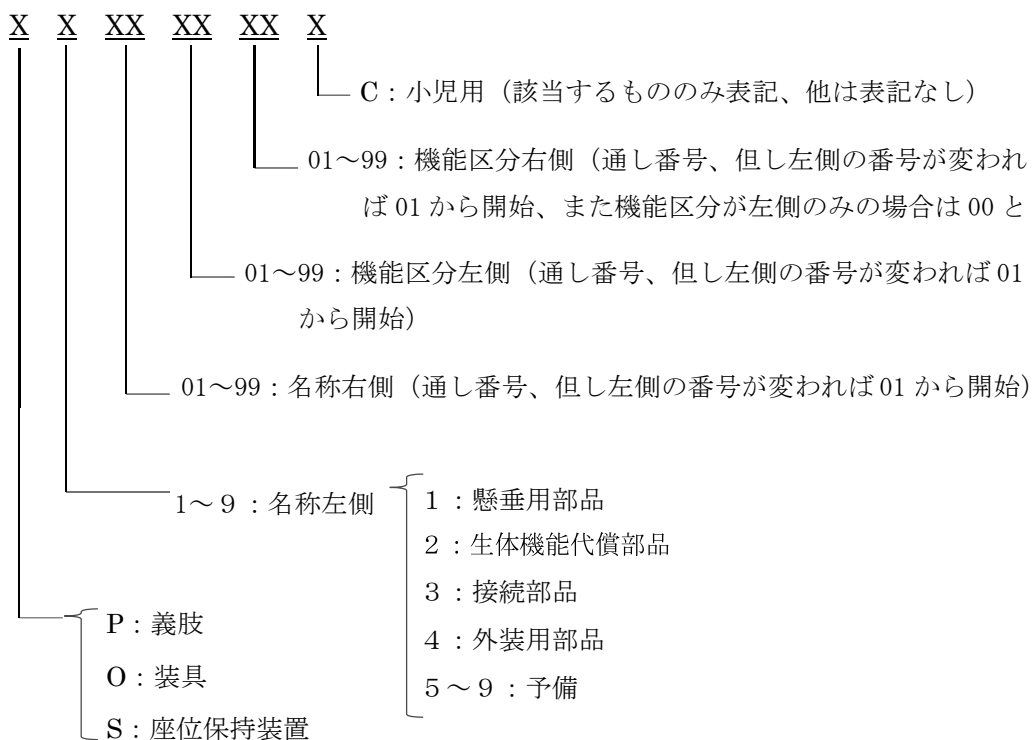
この機能区分表にはメーカーが推奨する活動度が示されている。医学的な面、生活状況から判断した対象者の機能レベルと選択する膝継手、足部に対してメーカーが推奨する活動度とを照らし合わせて部品選択の参考とする。ただし、メーカーが推奨する活動レベルと対象者の機能レベルが合わないから選択できないという意味ではなく、最終的には個別に判断することが大切である。メーカーが推奨する活動レベルはあくまでも参考として捉えていただきたい。

利用者の K レベルと機能区分コード設定要領

米国の支給制度で使用されているKレベル

K0	介助の有無にかかわらず、安全に歩行又は移動する能力がなく、義肢によってQOL又は可動性が向上しない。
K1	一定の歩調で平坦面を歩行又は移動するために義肢を使用する能力又は潜在能力がある。限定的又は制限のない家庭内歩行者。
K2	縁石、階段、又は凹凸のある面などの低い環境障壁を越えて歩行する能力又は潜在能力がある。限定的な地域内歩行者。
K3	種々の歩調での歩行能力又は潜在的な能力がある。殆どの環境障壁を越える能力又は潜在能力を有し、単純な運動以上の義肢を必要とする職業、治療、又は運動活動ができる。
K4	基本的な歩行能力を超える義肢歩行の能力又は潜在能力があり、高い衝撃、ストレス、又はエネルギーに耐える能力を呈する。児童、活動的な成人、又は運動選手など。

<機能区分コード設定要領> 以下に示す機能区分表のコード番号は下記の意味を表している。



完成用部品機能区分 (骨格構造義足用部品)

※平成 26 年度既収載完成用部品に基づき作成

1. 人と義足のインターフェースとしての役割を補助する部品【懸垂用部品】

コード	名称	機能区分	機能概要	メーカー名	メーカー品番	
P1010100	懸垂用部品	吸着バルブ	一方向自動排出機能	荷重によりソケット内の空気を外へ排出する。取り外し不可である。	オズール	L-551002
					オズール	L-641000
					オットーボック	4R140
					ラポック	M0261
					ラポック	M0262
P1010200	懸垂用部品	吸着バルブ	一方向自動排出、バルブの脱着可能	弁としての機能／一方向排出機能(自動もしくは手動によりソケット内の空気を抜く)／付け外し可能な弁	ESP	LYN-PA0400
					ESP	LYN-PA0002
					オズール	L-552000
					オットーボック	21Y105
					オットーボック	21Y12
					オットーボック	21Y13
					オットーボック	21Y14
					オットーボック	21Y21
					オットーボック	21Y97
					セントリー	CTFV-CFS
					トゥルーライフ	P12-310-1000
					トゥルーライフ	P12-310-2000
					トゥルーライフ	P12-320-2000
					トゥルーライフ	P36110
					ラポック	M0255
					ラポック	M0256
					ラポック	M0257
					ラポック	M0258
					啓愛	KI-BU-V1
					啓愛	KI-BU-V2
啓愛	KI-BU-V3					
小原	37B-011					
小原	37B-021					
P1010300	懸垂用部品	吸着ポンプ	吸着ポンプ	強制空気排出機能(ポンプでソケット内の空気を排出する)	オットーボック	4R144
					オットーボック	4R147
					オットーボック	4R148
					オズール	UXX00-size/UTT0001
P1010400	懸垂用部品	吸着ポンプ補助部品	吸着ポンプの付属品		オットーボック	2R117
P1010500	懸垂ベルト	保護(下腿用)	膝スリーブとライナーやソケット間の摩擦を小さくし、スリーブを保護する		オットーボック	454A11
					ストレイフェネダー	3S50
					ウィローウッド	LLC-SIZE
					ラポック	M1600
P1010600	懸垂ベルト	密閉(下腿用)	懸垂機能(ソケットの中を密閉する)		オズール	FLX/BAL-SIZE
					オズール	FLX/END-SIZE
					オズール	F-2011-size
					オットーボック	453A3
					オットーボック	453A4
					オットーボック	454A7
					シリポス	18181~18194
					ウィローウッド	RLS-SIZE
					ストレイフェネダー	3S10
					ダウ	DGSLEV
					ラポック	M1601
					ラポック	M1602
ウィローウッド	LLS-SIZE					
P1010700	懸垂ベルト	懸垂(下腿用)	懸垂機能(素材の力で義足を懸垂する)		オットーボック	453A2
					オットーボック	9101
					アルプス	SLE
					シリポス	130X5
					レイブン	NKS
					レイブン	RKS
P1010800	懸垂ベルト	懸垂(股・大腿用)	懸垂機能(素材の力で義足を懸垂する)		オットーボック	21B37
					レイブン	AKS
P1020000	固定ベルト				その他ソケット固定バンド	
P1030100	KBM用ウェッジ	KBM用ウェッジ	KBMウェッジを脱着し固定する		フィラワー	1540
P1040100	ライナーロックアダプタ	ライナー固定	ライナーとソケットを機械的に接続する		フィラワー	125234
					オットーボック	4R160=1
					オットーボック	6A20
					オットーボック	6A30=10N

注) 表中の空白部分はメーカーの確認が取れていないもの、また「-」の入っているものは特に記載不要であることを示す。

メーカー部品名称		主な使用材料		価格(円) (基準価格)	特記事項
アイスロック 551(下腿用)		—		14,200	吸着式下腿義足に汎用可
アイスロック 641 パルプ式ロック		—		14,400	ソケット遠位端取り付け。簡易な排出バルブ
ワンウェイバルブ		—		6,100	
下腿用バルブ(組込式)(M0240 へ組込可能)		—		6,400	
下腿用バルブ(貼付式)		—		4,950	
リンバルブ(挟み込み式)スライド		—		24,100	
リンバルブ(挟み込み式)		—		14,200	
アイスロック 552(大腿用)		—		10,900	吸着式大腿義足に汎用可
バルブ平ゴム 側面取付用		—		6,100	
バルブ真空成型用 ネジ式吸着バルブ		—		16,300	金属製。分解洗浄可
バルブラミネーション用 ネジ式吸着バルブ		—		12,700	
プッシュバルブ		—		11,600	
クリックバルブ		—		9,600	
バルブ二重ソケット用 PVC チューブ付		—		7,800	
CTFV-CFS バルブ		—		19,800	
グリーンバルブ プラスチック		—		9,100	
グリーンバルブ プラスティック調節式		—		9,100	
グリーンバルブ ステンレス調節式		—		6,700	販売中止 ただし平成28年度まで修理対応
BK バルブ		—		14,400	
ラミネーション用吸着バルブ・リングセット		—		8,500	
フレキシブルソケット用バルブ		—		11,500	
吸着バルブ(大腿吸着用 低圧自動開放/閉鎖設定可能)		—		18,500	
フレキシブルソケット用バルブ		—		22,700	
ブラックバルブ 押式		—		6,000	
ゴールドバルブ 引張		—		6,000	
TC バルブ		—		3,500	
大腿吸着バルブ(引く式)		—		6,100	
大腿吸着バルブ(押す式)		—		6,100	
ハーモニーP2		—		302,500	荷重でポンプを動かす
ハーモニーP3		—		229,900	荷重でポンプを動かす
ハーモニーEパルス		—		302,500	電動でモーターが動く
ユニティ バキュームシステム(FF 足部との組合せ)		—		352,300	歩行の踏み返しの動きでポンプを動かす
ソケットコネクター		—		2,800	ハーモニーP2 用のチューブ。ハーモニーP3、インパルスには付属している
ゲイター(インナーズリーブ)		—		1,200	
ニススリーブ プロテクター		—		6,600	
リムロジックシーリングカフ		—		9,900	
スリッピース (スリーブ保護)		—		6,100	
アイスフレックス バランス		—		17,700	伸縮性あり。主材料はシリコーン製で吸着を保つ
アイスフレックス エンデュランス		—		28,400	
ICEROSS スリーブ		—		37,900	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減す
デルマプロフレックス ニースリーブ		—		21,300	
デルマプロフレックスニースリーブ ショート		—		13,000	
ハーモニー ニースリーブ		—		31,200	
デュラゲルサスペンションスリーブ		—		20,300	
アルファスピリットサクションシール(吸着スリーブ)		—		22,700	
コンテックススリーブ		—		21,300	
G スリーブ		—		14,200	
i-Sleeve STD(薄型・高伸性・抗菌防臭フィルム加工ネオプレン)		—		9,200	
i-Sleeve μ(極薄・透湿性)		—		8,100	
リムロジックスリーブ		—		15,600	
デルマプロテクション ニースリーブ		—		12,400	
下腿用サスペンションスリーブ		—		7,400	
イージースリーブサスペンション		—		13,100	
BK サスペンションスリーブ		—		7,300	
ネオブレイン膝スリーブ		—		4,450	
ラテックス膝スリーブKBM		—		5,500	
大腿用サスペンションスリーブ		—		18,700	
大腿義足懸垂用ベルト		—		13,900	
		—		1,300	
KBM ウェッジ		—		7,200	
3S シャトルロック レギュラー		—		22,400	
キスキット		—		38,300	ライナーをソケットに固定するベルトである
シャトルロック		—		52,400	チタン製ピン付
シャトルロック ソケット直付用		—		35,500	チタン製ピン付

コード	名称		機能区分	機能概要		メーカー名	メーカー品番
						オットーボック	6A30=20
						オットーボック	6A40
						カスケイド	IRS-150-AK
						カスケイド	IRS-200-AK
						カスケイド	IRS-600-AK
						カスケイド	IRS-600-AKT
						カスケイド	IRS-650-AKL
						オズール	L-125000
						オズール	L-19200size
						オズール	L-211000
						オズール	L-214000
						オズール	L-214100
						オズール	L-2143XY
						オズール	L-29200size
						オズール	L-621000
						オズール	L-631000
						オズール	L-651000
						オズール	L-721000
						ラボック	M0291
						ウィローウッド	OWW-700-AIS480
						トゥルーライフ	P-35501
						マインド	SIS740
P1050100		ライナーロックアダプタ専用コネクタ	コネクタ	ライナーロックアダプタ専用のコネクタ		オズール	L-773000
						オズール	L-673000
						オズール	L-273000
						オズール	L-672000
						オズール	L-272000
						オズール	L-774000
						オズール	L-661000
						オズール	L-180001
						カスケイド	IRS-200-MA
						カスケイド	IRS-200-PA
						マインド	SIS750
P1060100	懸垂用部品	ライナー	A クッション機能	クッション機能&断端形状に添って断端を保護する機能		オズール	COM/L-SIZE
						オズール	I-CL43-size
						オズール	I-CL63-size ICEROSS
						オズール	I-CT62-size ICEROSS
						オズール	I-CW43-size ICEROSS
						オズール	I-CW63-size ICEROSS
						オットーボック	6Y92
						オットーボック	6Y93=C
						啓愛	KI-PURE
						オットーボック	6Y400
						オットーボック	6Y510
						オットーボック	6Y512
						フリーダムイノベーションズ	FPL3C-size
						メディ	M893-SIZE
						メディ	MC99-SIZE
						ウィローウッド	H350-SIZE
						ダウ	DCLC-SIZE
						ウィローウッド	ALC-SIZE
						アルプス	ELFR20
						アルプス	ELFR24
						アルプス	ELFR28
						アルプス	ELPX20
						アルプス	ELPX24
						アルプス	ELPX28
						シリボス	18241~18248
						SHINDO	SC001N
						ラボック	M1515
P1060200		ライナー	B 吸着による懸垂機能	クッション材として断端の		オズール	I-3663-size

メーカー部品名称		主な使用材料		価格(円) (基準価格)	特記事項
シャトルロック プラスチック ソケット直付用		—		46,200	チタン製ピン付
シャトルロック マグノフレックス		—		55,400	マグネット内蔵。フレキシブルピン付
ICE-ATS(スモール)		—		25,800	
ICE-AT(ラチェット)		—		27,700	
ICE-ATC(クラッチロック)		—		32,700	
アルミボディ クラッチロック		—		47,500	
ICE-ATCM(クラッチモジュラー)		—		41,900	
アイスロック 125 ラチェットスチールピラミッド		—		42,600	装着時のクリック音により装着確認可能
アイスロック ラチェット式ピン		—		10,000	
アイスロック 211 クラッチロック		—		39,900	装着時に音がしない。大腿切断にも向く
アイスロック 214 クラッチロック4穴		—		42,600	装着時に音がしない。下腿切断に向く
アイスロック 214 MSS 専用		—		42,600	基本機構は 214 と同様。モジュラーソケット
Icelock214 AK オフセット		—		66,000	
アイスロック クラッチ式ピン		—		7,200	
アイスロック 621 ラチェット式ロック		—		30,300	装着時クリック音。高さ 15 ミリ、重量 59 グラムと薄型軽量
アイスロック 631 ヒモ式ロック		—		28,600	引き紐式。高さ 15 ミリ、重量 49 グラムと薄型
アイスロック 651 スムースロック		—		39,600	装着時無音。高さ 15 ミリ、重量 68 グラムと薄型軽量
アイスロック 721 ラチェット式ロック		—		39,600	上肢、小児下肢用。装着時ラチェット音
キャッチピン コネクタ		—		47,200	
アルファロック		—		44,900	
マスターロック		—		26,700	販売中止 ただし平成28年度まで修理対応
ロックデバイス		—		25,600	
Icelock773 ステンレスピラミッド		—		21,500	
アイスロック 600 用 ステンレスピラミッド		—		15,100	
アイスロック 212 用 ステンレスピラミッド		—		12,700	
アイスロック 600 シリーズ 672 チタン製ピラミッド		—		33,900	
アイスロック 211 用 チタンピラミッド 272		—		25,400	
Icelock774 アルミニウム 4 穴		—		15,300	義手用
アイスロック 600 用 アダプタ		—		29,600	
アイスロック 100 注型キット		—		23,200	
ICE-PL(プレート)		—		10,500	
ICE-PY(ピラミッドコネクタ)		—		15,600	
		—		5,200	
ICEROSS コンフォートクッションライナー		シリコーン		79,200	低～中活動者向け。シリコーン表面粘着性有
ICEROSS デルモクッションライナー		シリコーン		94,200	低～中(高)活動者向け。シリコーン表面粘着性無
シナジークッション		シリコーン		108,600	中～極高活動者向け。シリコーン表面粘着性無
アクティバ		シリコーン		143,700	高～極高活動者向け
デルモクッションライナーウェーブ		シリコーン		108,500	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
シナジークッションウェーブ		シリコーン		124,900	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
コポリマーライナー		ポリマー		28,800	
バランスクッションライナー コポリマー		ポリマー		41,100	
ピュアライナー ピンなし		ポリマー		49,100	
カスタムライナー		ウレタン		116,200	カスタムメイド
ポロファイルライナー		ウレタン		30,500	
ポリウレタン 3D ライナー		ウレタン		42,600	
				72,600	滅菌機能あり、防臭効果
センシティブ		シリコーン		67,100	
プロテクトケア		シリコーン		67,100	
アルファハイブリッドクッションライナー		ポリマー		66,000	
クールライナー		ポリマー		54,100	
アルファスピリットクッションライナー		ポリマー		66,000	
イージーライナー生地付		ポリマー		35,800	
イージーライナー生地付		ポリマー		35,600	
イージーライナー生地付		ポリマー		35,900	
イージーライナー		ポリマー		29,800	
イージーライナー		ポリマー		30,200	
イージーライナー		ポリマー		29,400	
デュラゲルライナー		ポリマー		36,200	
LIGHT FINE (ライトファイン)		シリコーンゴム スポンジ		56,700	抗菌機能あり、スポンジ構造で汗を吸う
SoftSkin S40 シリコーンライナー 下腿用 (クッション)				66,500	
ICEROSS シールイン X5		シリコーン		110,200	低～極高活動 容積変化対応幅狭い

コード	名称		機能区分	機能概要		メーカー名	メーカー品番
				保護・吸着による懸垂		オズール	I-3664-size
						オズール	I-4613-Size
						オズール	I-7532-size
						オズール	I-7632-size
						オズール	I-8532/8632-SIZE
						オズール	I-TF673-size
						オズール	I-47-size
P1060300		ライナー	C 懸垂部品取付ネジあり	懸垂・クッション機能&断端形状に添って断端を保護する機能、ライナーの先に懸垂部品を取り付けて使用		シリポス	18201~18208
						オットーボック	6Y40
						オットーボック	6Y43
						オットーボック	6Y70
						オットーボック	6Y75
						オットーボック	6Y77
						オットーボック	6Y90
						マインド	AGS710
						ウィローウッド	ALL-SIZE
						ダウ	DCLP-SIZE
						フリーダムイノベ	FSL3P
						ウィローウッド	H352-SIZE
						オズール	I-0124-size
						オズール	I-1033-size
						オズール	I-4013-size
						オズール	I-4313-size
						オズール	I-4913-size
						オズール	I-5303-size
						オズール	I-5406-size
						オズール	I-6003-size
						オズール	I-6303-size
						オズール	ICE-SIZE
						啓愛	KI-PURE+P
						ラボック	M1510
						メディ	M892-SIZE
						メディ	M893-SIZE
						メディ	MC99-SIZE
						SHINDO	SC001P
						フィラワー	125256
						フィラワー	125272
						オットーボック	6Y80
						オットーボック	6Y85
						オズール	I-7032-SIZE
						オズール	I-7132-size
P1070100		ライナー補助部品	吸着による懸垂の補助	吸着用部品		オズール	I-SXF1-SIZE
P1080001	ソケット調整用部品		ソケット形状および容量調整	断端形状および断端容積を整える機能		オズール	DIS-SIZE
						オズール	I-610-size
						オットーボック	5D1
						オットーボック	5S1
						オットーボック	5S2
						ラボック	M1620
						ウィローウッド	ALA-VM
						ウィローウッド	ALA-C
						オズール	K-190100
P1010100C	懸垂用部品(小児用)	ライナー	ピンによる懸垂機能あり	懸垂&断端形状を整える機能(下腿用)		オズール	I-8301-size
						オズール	I-8302-size

メーカー部品名称		主な使用材料		価格(円) (基準価格)	特記事項
ICEROSS シールイン X5 ウェーブ		シリコーン		126,000	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
ICEROSS デルモシールイン・ライナー		シリコーン		109,900	
ICEROSS トランスフェモラルシールイン		シリコーン		116,500	低～極高活動 容積変化対応幅広い
ICEROSS トランスフェモラルシールイン コニカル		シリコーン		116,500	近位・遠位の周径差異の大きい断端に向く
Iceross 大腿用シールイン X		シリコーン		129,900	低～極高活動 シール位置を任意に変更可能
ICEROSS トランスフェモラルシールイン X5		シリコーン		116,500	低～極高活動 容積変化対応幅狭い
ICEROSS シールイン V ウェーブ		シリコーン		131,100	下腿 低～極高活動 X5 より容積変化対応 幅広い
デュラゲルライナー		ポリマー		41,800	
シリコーンライナー 肌色 布なし		シリコーン		42,600	
シリコーンシースルーライナー		シリコーン		45,500	
シリコーンジェルライナー 下腿用		シリコーン		66,000	
シリコーンジェルライナー 下腿用 抗菌加工		シリコーン		72,600	抗菌加工
シリコーン 3D ライナー 下腿用		シリコーン		84,700	
コポリマーライナー		ポリマー		28,800	
イージスサクシオンソケット		シリコーン		65,900	
アルファスピリットロックライナー		ポリマー		67,800	
クールロックライナー		ポリマー		58,000	
		シリコーン		67,800	滅菌機能あり、防臭効果
アルファハイブリッドロッキングライナー		ポリマー		67,700	
ICEROSS オリジナルカバー マトリクス有		シリコーン		80,200	中～高活動向き、薄いシリコーンで懸垂性高
ICEROSS スポーツ		シリコーン		222,200	高～極高活動向き
ICEROSS デルモロッキングライナー		シリコーン		91,100	低～中(高)活動向き
ICEROSS デルモウェーブ		シリコーン		104,900	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減す
ICEROSS デルモ TT コニカル		シリコーン		104,900	下腿切断で近位・遠位の周径差異の大きい方に対応
ICEROSS コンフォートウェーブ		シリコーン		101,000	低～中活動向き
ICEROSS コンフォートロッキングライナー		シリコーン		87,800	低～中活動向き
ICEROSS シナジー		シリコーン		116,600	中～高活動向き、硬度の異なる2層シリコーン構造
ICEROSS シナジーウェーブ		シリコーン		136,100	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減す
ICEROSS オリジナル カバー無し		シリコーン		68,000	中～高活動向き、薄いシリコーンで懸垂性高
ポリマーゲルライナー ピン付		ポリマー		50,400	
SoftSkin S40 シリコーンライナー 下腿用(ピン)				67,700	
リラックスライナー		シリコーン		67,100	
センシティブ		シリコーン		67,100	
プロテクトケア		シリコーン		67,100	
LIGHT FINE (ライトファイン)		シリコーンゴム スポンジ		62,000	抗菌機能あり、スポンジ構造で汗を吸う
ラミネーションポスト				5,400	
ラミネーションポスト				5,400	
TF アダプトライナー 大腿用		シリコーン		77,400	
TF アダプトライナー 抗菌加工		シリコーン		77,400	抗菌加工
ICEROSS トランスフェモラル		シリコーン		112,700	低～極高活動 容積変化対応幅広い
ICEROSS トランスフェモラル コニカル		シリコーン		112,700	近位・遠位の周径差異の大きい断端に向く
Iceross 大腿用シールイン X 専用シール		シリコーン		47,700	
ディスタルカップ		シリコーン		18,000	不整断端形状をライナーに向くよう補正
ICEROSS パッド		シリコーン		9,500	圧痛部免荷、断端形状補正、容積調整
ボーリヒエアコンタクトシステム		プラスチック		25,200	
側面用空気枕		プラスチック		6,100	
断端末用空気枕		プラスチック		15,600	
SAKAGE ストラップタイプ				12,000	
アルファポリリウムマネージメントパッド		ポリマー		5,200	
アルファゲルカップ		ポリマー		8,500	
プレッシャーパッドセット No1 大		シリコーン		17,000	全表面荷重環境を保ちながら、骨部など分圧免荷
Iceross スタビロジュニアウェーブ		シリコーン		69,500	小児切断者用 中～極高活動向き
Iceross デルモジュニアウェーブ		シリコーン		69,500	小児切断者用 低～中(高)活動向き

2. 生体の股関節、膝関節、足関節、足部の機能を代償する部品 【股継手、膝継手、足継手、足部ならびに関連部品】

コード	名称		機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番	
			立脚相制御	遊脚相制御					
P2010101	生体機能代償部品	股継手	固定	固定	継手伸展時に屈曲しないよう固定される。座位をとる場合など、手動によりロックを解除する。	K1	オットーボック	7E5	
P2010201			—	バネ(ゴム)式ストライドコントロール装置付	一軸遊動 (股継手の屈曲抵抗と伸展を補助)	K1-K2	徳林	TGH-01C	
						K1-K2	徳林	TH-01C	
						K2	オットーボック	7E4	
						K2 以下	啓愛	A1-6-3	
						K1-K3	ラポック	M0110	
						K2-K3	オットーボック	7E7	
特になし	啓愛	A1-6-1							
P2010202	—	バー式ストライドコントロール装置付	一軸遊動 (股継手の屈曲伸展を補助) 歩幅は機械的に可動域を制限し、座位をとる場合など、可動域制限を解除する。	かなり活発な歩行	高崎義肢	TG1010			
P2010301				油圧式制御	油圧式ストライドコントロール装置付	一軸遊動、股継手の立脚相の伸展抵抗、遊脚相の屈曲抵抗を独立して調整可	K2-K3	オットーボック	7E9
P2010101C				—	遊動式	一軸遊動 (股継手の屈曲伸展を補助)	特になし	オットーボック	7E8
P2010201C	固定	固定	継手伸展時に屈曲しないよう固定される。座位をとる場合など、手動によりロックを解除する。				K1-K2	徳林	TCH-01C
P2020101	生体機能代償部品	股関節補助部品	ターンテーブル	—	股関節の回内外の役割を行う	—	ラポック	M0620	
						—	ラポック	M0630	
						—	ラポック	M0680	
						—	ナブテスコ	N-R100	
						—	高崎	TG2014	
						—	徳林	TKR-01	
						—	ラポック	SL0250	
						—	ラポック	M0681	
						—	ラポック	M0640	
						—	ラポック	M0642	
						—	ホスマー	60762	
						—	オットーボック	4R57	
						—	啓愛	A2-12-1	
						—	啓愛	A2-13	
—	ブラッチフォード	189123							
P2030101	生体機能代償部品	単軸膝継手	固定	固定	膝が完全伸展位で固定される。座位をとる場合などは手動で固定解除可	K1	ラポック	SL0702	
							オットーボック	3R40	
							ラポック	SL0701	
							ラポック	SL0710	
							オットーボック	3R41	
							オットーボック	3R17	
							オットーボック	3R33	
							啓愛	A3-1-1	
							啓愛	A3-1-2	
							啓愛	A3-2-1	
							啓愛	A3-2-2	
							K1-K2	ラポック	SL0708
ラポック	SL0720-A								
ブラッチフォード	019355								
小原	34S-050								
K2-K3	ホスマー	60471							
K4	ラポック	SP0701							

注) 表中の空白部分はメーカーの確認が取れていないもの、また「-」の入っているものは該当しないことを示す。

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
マニュアルロック股継手	100	アルミ	890	73,800		1年
—	100	カーボン	600	153,600	ストライド調整機能付	
—	100	アルミ	760	66,000	ストライド調整機能付	
股継手 伸張補助装置付	100	アルミ	940	66,000		1年
股継手遊動式	特になし	アルミ	1,300	77,900	削除申請予定	1年
ヒップジョイント	100	アルミ	637	167,600		1年
股継手 伸張補助装置内蔵 チタン	100	チタン	875	175,500		1年
股継手遊動式	特になし	アルミ	1,100	76,700	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可	1年
股継手	80	アルミ	665	88,300		2年
股継手 油圧シリンダー内蔵	125	チタン	1,165	452,500	油圧による歩行速度追従、立脚相屈曲による衝撃吸収機能あり	1年
股継手 小児用	45	アルミ	215	167,000		1年
—	55	アルミ	262	70,100		2年
股継手固定		アルミ	1,000	105,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可	1年
股継手固定		アルミ	1,300	80,000	製造中止予定	1年
ターンテーブル(チタン)	70	チタン	179	66,000		
ターンテーブル(ステンレス)	70	ステンレス	213	52,500		
ローター	70	ステンレス	330	66,000		
ターンテーブル ステンレス	100	ステンレス	180	66,000		1年
ターンテーブル				31,800		
ターンテーブル	100	アルミ	220	28,000		
皿受つき薄型ターンテーブル	100	アルミ	288	93,300		
プラグつきローター	100	チタン	315	151,200		
ねじつきターンテーブル	100	チタン	170	67,000		
プラグつきターンテーブル(チタン)	100	チタン	160	93,400		
AK ローター	135	アルミ	138	99,600		
ターンテーブル	150	ステンレス	170	69,700		
大腿正座用ターンテーブル		アルミ	360	25,600	製造中止予定	
A1-2-N 用ターンテーブル		アルミ		28,600		
ターンテーブルキット ABOVE KNEE	100(K1-K4)/125(K1-K3)	アルミ	330	195,700		
軽量手動ロック膝(Mg)(マグネシウム)	80	マグネシウム	194	145,200		1年
マニュアルロック膝継手	100	アルミ	290	50,200		1年
軽量手動ロック膝	100	アルミ	284	59,400		1年
上下分離カバー用手動ロック膝	100	アルミ	385	95,200		1年
マニュアルロック膝継手 プラスチック	125	プラスチック	385	84,700		1年
マニュアルロック膝継手	150	ステンレス	695	76,500		1年
マニュアルロック膝継手 チタン	125	チタン	530	137,900		1年
固定膝(チューブアダプタ付)	100	ステンレス	690	59,400		1年
固定膝(ソケットアダプタ付)	100	ステンレス	670	49,900		1年
固定膝あぐら付	100	ステンレス	960	68,000	ターンテーブル付	1年
固定膝あぐら付(チューブアダプタ付)	100	ステンレス	805	77,400	ターンテーブル付	1年
Beluga(バウンサつき手動ロック膝)	80	アルミ	450	187,500		1年
半遊動膝継手	100	アルミ	458	181,500		1年
単軸膝・半自動固定 4-BOLT/SAKL UNIVERSAL	125	アルミ・カーボン	775	240,000		2年
前留式固定膝	80	アルミ	345	72,600		1年
単軸固定膝	135	アルミ	264	73,300		
ステップ用膝継手	80	アルミ	1020	432,500		1年

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適 応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
						高崎義肢 高崎義肢 高崎義肢 メディ 啓愛	TG1023 TG1024 TG1014 monolock A1-16-10T1
P2030201		固定・遊動切替式		膝を完全伸展位で固定するか遊動にするかの選択可		高崎義肢	TG1005
P2030301		—	バネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相制御機能なし 遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K2 K2-K3 活発な歩行	ラポック ホスマー ホスマー ホスマー 高崎義肢 高崎義肢	M0716 60823 60822 60821 TG1002 TG1003
P2030302		—	空圧制御	立脚相制御機能なし 遊脚相は空圧により屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K1-K2 K3-K4	ブラッチフォード ラポック	019352 M0760
P2030303		—	油圧制御	立脚相制御機能なし 遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可	K2-K3 K3-K4 設定なし	Proteor オットーボック ラポック オットーボック ブラッチフォード オットーボック	1P50-R 3R95=1 M0703 3R95 019350 3WR95
P2030401		荷重ブレーキ	定摩擦・バネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相は荷重時に軸摩擦によって膝の屈曲制動(ブレーキ)が働く。ブレーキ力は調整可 遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K1-K2 K2-K3 活発な歩行	ラポック オットーボック オットーボック メディ オットーボック 啓愛 啓愛 啓愛 啓愛 啓愛 ホスマー ホスマー ホスマー ホスマー フィラワー 高崎義肢	M0736 3R15 3R49 OFM2 3R90 A1-1 A1-2 A1-2-N A2-1 A2-2 60785 60775 60794 60236 124200 TG1011
P2030402		荷重ブレーキ	空圧制御	立脚相は荷重時に軸摩擦によって膝の屈曲制動(ブレーキ)が働く。ブレーキ力は調整可 遊脚相は空圧で屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K2-K3 K2-K4	メディ ナブテスコ ナブテスコ オットーボック ラポック ラポック	OP4 NK-1s NK-1 3R92 M0770 M0771
P2030403		荷重ブレーキ	空圧電子制御	立脚相は荷重時に軸摩擦によって膝の屈曲制動(ブレーキ)が働く。ブレーキ力は調整可 遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K4	ナブテスコ ナブテスコ ナブテスコ	NI-C111 NI-C111t NI-C112
P2030501		油圧イールディング	油圧制御	立脚相は荷重時に油圧によって屈曲抵抗が発生しイールディングが働く。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可。	K1-K4 K3-K4	オズール オットーボック	MKN01360 3R80+

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
固定膝軽量用		アルミ	233	48,000	パイプ径 25 mm用	
固定膝ライト	80	アルミ	270	66,000		
手動固定膝	80	アルミ	368	64,600		2 年
単軸マニュアルロック膝継手 アルミ	125	アルミ	275	58,700		1 年
単軸膝 ロック式 T1	100	チタン	390	157,300	製造中止 ただし平成 27 年度まで修理対応	
遊動固定切替膝		アルミ	418	69,500		
皿受付単軸膝	70	アルミ	640	58,200		1 年
アルミ単軸膝	100	アルミ	315	93,900		
ステンレス単軸膝	100	ステンレス	450	80,800		
チタン単軸膝	100	チタン	350	127,800		
単軸膝	80	アルミ	383	47,400		2 年
単軸膝軽量用		アルミ	230	46,300	パイプ径 25 mm用	
単軸膝・空圧制御 4-BOLT PSPC UNIVERSAL	100	アルミ・ステンレス	不明	312,700		2 年
空圧制御シリンド付単軸膝	100	アルミ・カーボン	577	260,200		1 年
ハイドラケードンス 2	100	カーボンファイバー	1850	732,500	足関節連動	
油圧単軸膝継手、体重制限 75kg	75	アルミ	340	266,200		1 年
Dolphin(油圧単軸膝、アルミフレーム)	100	アルミ	495	260,200		1 年
油圧単軸膝継手、体重制限 150kg	150	アルミ	360	266,200		1 年
単軸膝・油圧制御 4-BOLT/CaSTANCE UNIVERSAL	100	アルミ・ステンレス	不明	576,600		2 年
アクアニーウォーターブルーロック付	150	アルミ	400	322,500	防水加工	1 年
荷重ブレーキ膝	100	アルミ	695	75,500		1 年
荷重ブレーキ膝継手	100	ステンレス	490	63,800		1 年
荷重ブレーキ膝継手 チタン	100	チタン	360	147,600		1 年
単軸荷重ブレーキ付膝継手(ロック切替機能付)	125	アルミ	495	108,900	ロック・遊動 切替機能付き	1 年
荷重ブレーキ膝継手 バネ内臓チューブ付	125	アルミ	745	217,800	荷重応答型ブレーキ	1 年
安全膝(チューブアダプタ付)	100	ステンレス	790	70,300		1 年
安全膝(ソケットアライメント)	100	ステンレス	770	73,900		1 年
安全膝 極長断端用	100	ステンレス	790	75,700		1 年
安全膝あぐら付(チューブアダプタ付)	100	ステンレス	1140	80,300		1 年
安全膝あぐら付	100	ステンレス	880	71,200		1 年
アルミ荷重ブレーキ膝	100	アルミ	316	102,900		
ステンレス荷重ブレーキ膝	100	ステンレス	450	84,600		
チタン荷重ブレーキ膝	135	チタン	350	127,000		
荷重ロック膝キット	100	チタン	453	119,800		
安全膝伸展補助付				84,700		
荷重ブレーキ膝	80	アルミ	510	79,100		3 年
荷重ブレーキ付空圧膝継手	100	アルミ	680	217,800		1 年
空圧膝継手・ピラミッド(伸展補助バネ)	125	チタン	910	294,600		1 年
空圧膝継手・ピラミッド	125	チタン	910	288,000		1 年
荷重ブレーキ膝 空圧式 チューブ付	125	アルミ	895	272,300		1 年
BASS(空圧 荷重ブレーキ膝カーボンフレーム)	100	カーボンファイバー	685	281,300		1 年
P-BASS(空圧 荷重ブレーキ膝 カーボンフレーム)	100	カーボンファイバー	695	281,300		1 年
安全膝	100	カーボンファイバー	1095	347,300		1 年
単軸・荷重ブレーキ付・ピラミッド	100	カーボンファイバー	1095	341,500		1 年
単軸・荷重ブレーキ付・インテリジェント膝継手	100	カーボンファイバー	1191	364,800		1 年
マウクニー	136	カーボンファイバー	1,140	517,800	立脚相制御は完全固定とイーリング、抵抗なしの 3 つの切り替え機能あり。	2.5 年
ロータリー油圧膝継手、チューブ付	150	アルミ	1,240	432,500	防水加工・チューブ付	1 年

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
P2030502		油圧イールディング	空圧電子制御	立脚相は荷重時に油圧によって屈曲抵抗が発生しイールディングが働く。遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K4	ナブテスコ	NI-C311
P2030601		油圧電子制御	油圧電子制御	立脚相と遊脚相両方においてセンサーが歩行状態を検知し、立脚相ではイールディングの、遊脚相では屈曲と伸展の油圧をそれぞれの状態に合わせてマイコンで制御する。	K3-K4	オットーボック	3C98
P2040101	多軸膝継手	固定	固定	伸展状態で固定される。座位をとる場合などは手動で固定解除が可	K0-K2	オズール	BKN12511
P2040201					—	ハネ(コム)伸展補助装置	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可
	中程度	高崎義肢	TG1037				
P2040201	—	ハネ(コム)伸展補助装置	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K1-K2	ラポック	M0781	
					オットーボック	3R36	
					オットーボック	3R20	
					徳林	TGK-4000	
					徳林	TK-4000S	
					オズール	BKN12500	
					オズール	BKN12501	
					オットーボック	3R21	
					メディ	OFM1	
					メディ	OM8	
					K3 以下	啓愛	A2-10-2
活発な歩行	高崎義肢	TG1008					
	高崎義肢	TG1006					
	高崎義肢	TG1009					
	啓愛	A2-10					
	啓愛	A2-10-1					
P2040202	—	空圧制御	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相は空圧により屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K2	オットーボック	3R78	
				K1-K3	ブラッチフォード	019136	
				K2-K3	徳林	TGK-4P01P	
					オットーボック	3R106	
					メディ	OHP3	
					徳林	TGK-4P10	
					徳林	TK-4P00S	
					ラポック	M0750-A	
					ラポック	M0755-A	
				徳林	TGK-4P00		
メディ	OP5						
活発な歩行	高崎義肢	TG1017					
P2040203	—	油圧制御	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可	K2-K3	徳林	X60	
					プロテオール	1P110	
				K3-K4	オットーボック	3R55	
					オットーボック	3R46	
				活発な歩行	高崎義肢	TG1027	

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
ハイブリッドニー	125	カーボンファイバー	1,380	836,500	MRS(床反力センシングシステム)による油圧の ON-OFF 動作 電池寿命約 2 年、充電不要	3 年
Cレッグ	136	カーボンファイバー	1,143	1,652,500	専用パイプアダプター、専用充電器、専用 AC アダプターと組合わせて使用。スタンスエクステンションダンピング機構(調整可)任意角度でのロック、モード切替(一定角度でのロック、フリー)、躓き転倒防止機能	3 年
バランスニー ロックタイプ	125	アルミ	590	194,600	立脚相制御は軸位調整によりほぼ固定状態から遊動状態まで設定可能。	2 年
膝離断用膝継手 マニュアルロック	125	ステンレス	880	160,900		1 年
手動固定 4 リンク	80	アルミ	520	113,700		2 年
SwanS	75	アルミ	668	254,100		1 年
ハーベルマン膝継手 チタン	100	チタン	445	158,500	幾何学的ロック	1 年
ハーベルマン膝継手	100	ステンレス	820	94,400	幾何学的ロック	1 年
四軸膝継手	100	カーボンファイバー	655	129,400		2 年
Hy-Stan 四軸膝継手	100	アルミ	835	58,000		2 年
バランスニー(伸展補助バネ)	125	アルミ	590	159,100	立脚相制御は軸位調整によりほぼ固定状態から遊動状態まで設定可能	2 年
バランスニー(伸展補助バネ強)	125	アルミ	590	158,500	立脚相制御は軸位調整によりほぼ固定状態から遊動状態まで設定可能	2 年
膝離断用多軸膝継手 伸展補助	125	ステンレス	1010	146,400		1 年
四軸膝継手(ロック切替機構付)	136	アルミ	590	145,200	30 ロック・遊動 切替機能付き *ピラミッド位置 全方位 360 度スライド可	1 年
四軸膝継手(回転中心位置調整機構付)	136	アルミ	450	84,700	回転中心位置調整機構付	1 年
四軸膝ターンテーブル付	100	アルミ	796	67,200	削除申請予定	1 年
4 軸膝(2)	80	アルミ	688	112,300		2 年
4 軸膝継手	80	アルミ	668	94,800		2 年
6 軸膝		アルミ		165,300		
4軸膝(膝離断用)				103,000	製造中止、ただし平成 27 年度まで修理対応可	
4軸膝(膝離断用)	100	アルミ	605	80,500	製造中止、ただし平成 27 年度まで修理対応可	1 年
多軸空圧膝継手 低活動用	100	アルミ	750	175,400		1 年
四軸膝離断空圧 4-BAR KNEE DISARTICULATION/PSPC SWING	100	アルミ・カーボン	888	526,100		2 年
空圧式四軸膝継手(ミニ)	80	カーボンファイバー	780	211,700		2 年
四節リンク空圧膝継手 チューブ付	100	アルミ	760	242,000		1 年
四軸空圧膝継手(回転中心位置調整機構付)	100	アルミ	875	242,000	*ピラミッド位置 全方位 360 度スライド可 *専用ウェッジ組込でリンク形状変更可	1 年
空圧式四軸膝継手(膝離断用)	100	カーボンファイバー	1100	225,000		2 年
Hy-Stan 空圧式四軸膝継手	100	アルミ	1150	100,400		2 年
HRC4 本リンク膝(大腿切断用)(アルミフレーム カーボンリンク)	100	アルミ・カーボン	685	179,500		1 年
HRC4 本リンク膝(膝離断用)(アルミフレーム カーボンリンク)	100	アルミ・カーボン	668	179,500		1 年
空圧式四軸膝継手	125	カーボンファイバー	920	211,700		2 年
四軸空圧膝継手	125	アルミ	765	193,600	*ピラミッド位置 全方位 360 度スライド可 * 伸展補助バネ 標準(硬)、弱(柔)あり 使用者の活動度により、使い分ける	1 年
四軸空圧膝	80	アルミ	650	126,900		2 年
油圧式四軸膝継手	125	アルミ	1060	412,500		2 年
ハイディール	100	アルミ・チタン	1850	372,460		
多軸油圧膝継手	125	チタン	720	332,500		1 年
膝離断用油圧膝継手	125	チタン	740	296,400		1 年
四軸油圧膝	80	アルミ	750	136,200		2 年

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
P2040204		—	空圧電子制御	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K3	ナブテスコ	NI-C411
						ナブテスコ	NI-C412
						ナブテスコ	NI-C414
P2040301		バウンシング	ポリマー定摩擦・ゴム伸展補助装置	立脚相では踵接地時に膝を完全固定した状態で膝が軽度屈曲(バウンシング)する。遊脚相はポリマー定摩擦・ゴムで屈曲と伸展を制御する。摩擦力は調整可	K1-K2	オズール	TK-1900
P2040302		バウンシング	空圧制御	立脚相では踵荷重時に膝が軽度屈曲(バウンシング)する。遊脚相は空圧により屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K2-K3	徳林	TGK-5PS0
P2040303		バウンシング	油圧制御	立脚相では踵荷重時に膝が軽度屈曲(バウンシング)する。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可	K2-K3	ラポック	M0780
						オズール	TK2000
						ナブテスコ	NK-6
						ナブテスコ	NK-6+L
						オットーボック	3R60-EBS
						ラポック	M0786
						オットーボック	3R60-PRO
					K2-K4	オズール	TK2100
P2040304		バウンシング	空圧電子制御	立脚相では踵荷重時に膝が軽度屈曲(バウンシング)する。遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K3	徳林	TGK-5PSOIC
P2050100	膝継手用部品	保護カバー		膝継手の専用保護カバー	—	オズール	2145
					—	オズール	2150
					—	オズール	2151
					—	オズール	BKN12550
					—	センチュリー25	TK-2047
					—	オズール	TK-2052
					—	オズール	TK-2053
					—	オットーボック	4X160
					—	Proteor	1P50194-R
					—	Proteor	1P11090
P2050200		伸展補助装置		膝継手の専用伸展補助	—	オズール	TK-2070
					—	啓愛	A1-1-1
					—	啓愛	A1-1-2
					—	ラポック	M07-001
					—	高崎	TG2017
P2050300		制御部品		膝継手のロック・アンロックの切り替えを行う。	—	オットーボック	4F34

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
4 節リンク機構ピラミッド	100	カーボンファイバー	1015	356,500		1 年
4 節リンク機構十字滑り子式	100	カーボンファイバー	1060	365,500	すべりこによるスライド調整可	1 年
4 節リンク機構皿タイプ	100	カーボンファイバー	915	356,500		1 年
トータルニー1900(ポリマー摩擦)	100	アルミ	675	314,600	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
空圧式五軸膝継手	100	カーボンファイバー	1,005	254,100		2 年
Swan(油圧バウンシング機構 5 軸安全膝体重上限 75kg)	75	アルミ	670	323,500		1 年
トータルニー2000(油圧)	100	アルミ	690	430,600	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。遊脚相の油圧抵抗は、伸展位から屈曲 60 度、60 度から最大屈曲、最大屈曲から伸展位を別々に調整できる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
バウンシング機構	125	チタン	890	372,500	幾何学的ロック	1 年
ロック付バウンシング膝継手	125	チタン	940	397,500	幾何学的ロック、固定と遊動切替機能あり	1 年
EBS 多軸膝継手 バウンシング機構	125	アルミ	845	472,500	幾何学的ロック・油圧式バウンシング機構	1 年
Swan100(油圧バウンシング機構 5 軸安全膝体重上限 125kg)	125	アルミ	840	370,500		1 年
小型 EBS 多軸膝継手 バウンシング機構	75	アルミ	770	492,500	幾何学的ロック・油圧式バウンシング機構	1 年
トータルニー2100(油圧)	125	アルミ	900	838,800	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。遊脚相の油圧抵抗は、伸展位から屈曲 60 度、60 度から最大屈曲、最大屈曲から伸展位を別々に調整できる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
空圧式五軸膝継手(オートパイロット)	100	カーボンファイバー	1150	612,500		2 年
トータルニー2100 用外装用脛骨フェルール	—	—	—	9,500	フォームカバー取付・膝継手保護	
トータルニー2100 用外装用膝キャップ小	—	—	—	12,400		
トータルニー2100 用外装用膝キャップ大	—	—	—	24,400		
バランスニー用コスメティックカバー	—	—	—	5,900	膝継手保護	
トータルニー1900・2000 用外装用脛骨フェルール	—	—	—	9,000	フォームカバー取付・膝継手保護	
トータルニー1900・2000 用外装用膝キャップ	—	—	—	12,400		
トータルニー1900・2000 用外装用膝キャップ	—	—	—	24,400		
ニープロテクター C レッグ用	—	—	—	101,600	下腿部の形状をしている。充電用スライドカバー付	
ニーキャップ	—	—	—	19,900	膝継手保護	
ニーキャップ	—	—	—	15,000	膝継手保護	
トータルニー用伸展補助パネ	—	—	—	22,700		
リング(膝伸展用)	—	—	—	1,950		
膝伸展用ゴム	—	—	—	2,050		
Swan ばね調節キット	—	—	—	14,200		
ウレタンベルト(伸展補助用)	—	—	—	1,550		
ロックコントロールユニット	—	—	—	5,500		

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番	
		立脚相制御	遊脚相制御					
P2050400		充電器		膝継手の専用バッテリーチャージャー	—	オットーボック	4E50	
P2050500					—	オットーボック	757L16	
P2050500		バッテリーキット		膝継手の専用バッテリー	—	ナブテスコ	N-B002	
					—	徳林	LI179	
P2060101C		単軸膝継手(小児用)	固定	固定	膝が完全伸展位で固定される。座位をとる場合などは手で固定解除可	K1-K2	徳林	TK-1C1
						特になし	オットーボック	3R39
							ラポック	C0720
P2060201C			—	バネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相を制御機能はない。遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	特になし	オットーボック	3R38
							ラポック	C0700
P2060202C			—	油圧制御	立脚相を制御する機能はない。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可		オットーボック	3R65
P2060301C		固定・遊動切替式		膝を完全伸展位で固定するか遊動にするかの選択可		高崎義肢	TG1013	
P2070101C	多軸膝継手(小児用)	—	バネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相はバネ或いはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K1-K4	ブラッチフォード	019245	
						オズール	TK-1100	
					K1-K2	徳林	TK-40C	
P2080100C	膝継手用品(小児用)	保護カバー		膝継手の専用保護カバー	—	センチュリー22	TK-1145	
					—	センチュリー23	TK-1150	
					—	センチュリー24	TK-1151	
P2080200C		伸展補助装置		膝継手の専用伸展補助	—	オズール	TK-1170	
P2090100	足継手・足部一体型	単軸継手(底背屈)		他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。底背屈の動きあり。足の形状をしている。	K2 以下	啓愛	A1-8	
						啓愛	A1-8-N	
P2090200		多軸継手(底背屈・内外反)		他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。底背屈と内外反の動きあり。足の形状をしている。	K1-K2	オットーボック	1M10	
						オズール	FBP0-size	
					K2	フリーダムイノベーションズ	VS3000	
					K2-K3	オットーボック	1A30	
P2090301		固定接続	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしている。	K1-K2	オズール	JBPExyyL/R	
	オズール					ASPFS-SIZE		
	K1~K3				ラポック	M1170		
					徳林	TSF-TR01		
	K2-K3				オズール	FAP0-size		
					フリーダムイノベーションズ	VS1000		
	K2~K4	ラポック	M1172					
	K3-K4	Proteor	1A400 DynaC					

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
バッテリーチャージャー	—	—	—	67,700	C-Leg の充電状況を表示	
ACアダプター	—	—	—	32,600	4E50 に接続	
バッテリーキット (NI-C シリーズ用)	—	—	—	7,100	電池寿命約 2 年	
グラファイト空圧式五軸膝継手(オートパイロット)用バッテリー	—	—	—	14,100		
小児用単軸膝継手	55	アルミ	310	52,800		2 年
マニュアルロック膝継手 小児用	45	アルミ	145	132,700		1 年
手動ロック膝(小児用)	45	アルミ	181	115,000		1 年
単軸膝継手 小児用	45	アルミ	160	111,300		1 年
単軸膝(小児用)	45	アルミ	159	115,000		1 年
油圧単軸膝継手 小児用	45	アルミ	315	243,200		1 年
遊動固定切替膝軽量用(小児用)		アルミ	252	66,000	パイプ径 25 mm用	
四軸膝子供用 CHILD'S AK 4 BAR	60	アルミ	435	302,300		2 年
小児用トータルニー膝継手	45	アルミ	395	293,700	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
小児用四軸膝継手	55	アルミ	370	66,000	10	
多軸膝継手 小児用	35	アルミ	310	130,600	足部回旋機構	1 年
トータルニー1100 用外装用フェールール	—	—	—	9,000	フォームカバー 取付・膝継手保護	
トータルニー1100 用膝キャップ小	—	—	—	12,400		
トータルニー1100 用膝キャップ大	—	—	—	24,400		
トータルニー1100 用伸展補助バネ	—	—	—	22,700		
一軸足部	100	ウレタン/木	290~450	17,500		
一軸足部	100	ウレタン/木	290~400	27,500		
アジャスト	80/100/125	強化プラスチック	465 (24cm)	70,100	体重制限: サイズによる	
フレックスフットバランス	136	カーボン	490	66,000		
サイズウォークデック(指股選択可,フットカバーセット)	136	カーボン FRP	490~630	90,700	指又仕様 選択可, 21-25 490g,26-28 630g	
グライシンガープラスフット 指股あり	75/100	ウレタン	620 (24cm)	66,000	体重制限: サイズによる	
バランスフット J	136	カーボン	632	121,900		
アンビシャス	80	カーボン	660g	121,100		
J-Foot	80 27cm のみ 100		445~660	97,200		
トルネードダイナミックフット	125	Fiber enforced synthetic polymers	300 (28cm)	66,000		
アシュア	136	カーボン	620	137,900		
セネター	136	カーボン	520~780	99,200	22-25: 520g,26-28: 655g, 29-30: 780g	
J-Foot Plus *24、25cm のみの展開	80		490~520	112,500		
DynaC	125	コンポジット素材	420	165,900		

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
					特になし	オットーボック	1WR95=P
P2090401		固定接続(鉛直方向の衝撃吸収)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。鉛直方向の衝撃を吸収する。足の形状をしている。	K2-K3	フリーダムイノベーションズ	RS4000
					K3-K4	フリーダムイノベーションズ	RS1000
P2090501		固定接続(内外反の動き)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。内外反の動きあり。足の形状をしている。	K2	カレッジパークインダストリー	GPI-03
					K2-K3	オズール	LAPO-size
						オズール	TLPO-size
						オットーボック	1C30
						オットーボック	1D35
						フリーダムイノベーションズ	FS1000
						フリーダムイノベーションズ	FS2000
						フリーダムイノベーションズ	FS3000
						フリーダムイノベーションズ	FS4000
					K3	フリーダムイノベーションズ	F10
						カレッジパークインダストリー	CPI-01
						カレッジパークインダストリー	CPI-02
					K3-K4	オットーボック	1E50
						ウィーローウッド	TBMA-SIZE
						オットーボック	1E58
						フレックスフット	F・F-MⅢ-SP
オットーボック	1C40						
オットーボック	1C60						
オットーボック	1C63						
オットーボック	1C64						
オットーボック	1E56						
オットーボック	1E57						
	オズール	Vari-Flex Evo					
	オズール	LP Vari-Flex Ev					

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
アクアフット ウォータープルーフ アダプタ付	150	木材・ウレタン	437 (24cm)	52,800	防水加工。活動レベル：設定ないが、日常で併用する場合は K1-2 対象
シルエット	166	カーボン	525～785	317,500	(メスアダプター付)22-25: 525g,26-28: 645g, 29-31: 785g
レネゲイド	166	カーボン	625～945	447,500	指又仕様 選択可, 22-25 625g,26-28 765g, 29-31 945g
トリビュートフット	99	ステンレス/ウレタン他	502 (26cm)	110,600	
フレックスフットアクシア	140	カーボン	566	262,800	左右非対称設計のカーボンプレートにより、足底圧中心の流れを整える機能を持つ
タラックス	147	カーボン	740	388,700	左右非対称設計のカーボンプレートにより、足底圧中心の流れを整える機能を持つ
トライアス	80/ 95/ 110/ 125	カーボン	468 (24cm)	116,200	体重制限：サイズ、カテゴリによる
ダイナミックモーション 指股付 22～30cm	75/ 100	強化プラスチック	510 (24cm)	92,000	体重制限：サイズによる
シエラ	166	カーボン	515～750	229,900	指又仕様 選択可, 22-25 515g,26-28 640g, 29-31 750g
パシフィカ	166	カーボン	485～720	217,800	指又仕様 選択可, 22-25 485g,26-28 610g, 29-31 720g
ハイランダー	166	カーボン	470～750	223,800	指又仕様 選択可, 22-25 470g,26-28 590g, 29-31 750g
パシフィカ LP	166	カーボン	465～760	217,800	指又仕様 選択可, 22-25 465g,26-28 570g, 29-31 760g
ダイナダプト	100	カーボン	535～750	242,000	指又仕様 選択可, 22-25 535g,26-28 635g, 29-31 750g
カレッジパークフット	136	ステンレス/ウレタン他	641 (26cm)	234,300	
ベンチャーフット	113	ステンレス/ウレタン他	585 (26cm)	259,400	
ドバンテージ DP 22～31cm	150	カーボン	360 (24cm)	350,500	ダイナミックパイロン仕様 体重制限：カテゴリによる
トレイスブレイザーMA	115	カーボンコンポジット材	460 (30cm)	199,600	
アクション DP	125	カーボン	385 (24cm)	205,700	ダイナミックパイロン仕様 体重制限：カテゴリによる
モジュラーⅢ スプリットーあり	227	カーボン	885	416,500	
C ウォーク 24～30 cm	75/ 100	カーボン	405 (24cm)	248,000	体重制限：サイズによる
トリトンフット	100/ 125/ 150	カーボン	590 (24cm)	229,900	体重制限：サイズ、カテゴリによる
トリトン LP	100/ 125/ 150	カーボン	560 (24cm)	211,700	防水加工。体重制限：サイズ、カテゴリによる
トリトン HD	100/ 150	カーボン	590 (24cm)	254,100	防水加工。体重制限：サイズ、カテゴリによる
アクション	125	カーボン	515 (24cm)	205,700	体重制限：サイズ、カテゴリによる
ローライダー 22～31cm	100/ 136	カーボン	465 (24cm)	350,500	体重制限：活動レベルによる
バリフレックス EVO	166	カーボン	700	360,300	
LP バリフレックス EVO	166	カーボン	540	315,400	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番	
		立脚相制御	遊脚相制御					
P2090601		固定接続(内外反、鉛直、ねじれの動き)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。内外反の動き、足の形状をしている。鉛直方向の高い衝撃やねじれを吸収する。	K3-K4	オズール	RSPE-size	
						オズール	VLXE/LRP-size	
						オットーボック	1C61	
						オットーボック	1C62	
P2090701		固定接続(内外反、鉛直の動き)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。内外反の動き、鉛直方向の高い衝撃を吸収する。	K3-K4	オズール	XCPE-size	
						フレックスフット	F・F-RE-SP	
					K1,K2,K3,K4	ウィローウッド	PFDR-SIZE	
P2090801		固定接続、踵高調整	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。踵高調整機能がある。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしている。	K2-K3	オズール	ELPO-SIZE	
						フリーダムイノベーションズ	RS2000	
					K3-K4	オズール	VFQE-size	
P2090901		固定接続、自動踵高調整	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。自動で踵高調整を行う。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしている。		ブラッチフォード	EC 22-30 L/R	
						フリーダムイノベーションズ	ROM	
P2091000		サイム用				ラボック	M1112-R	
						ラボック	M1112-L	
						K2-K3	オットーボック	1C20
							マインド	SVF175
						K3-K4	フリーダムイノベーションズ	LP2000
							フレックスフット	F・F-LPS-SP
							啓愛	A1-7-1
	啓愛	A1-19						
P2100100	組合わせて使う足部	多軸(底背屈・内外反)フットカバーなし		他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。底背屈と内外反の動きあり	K2	ウィローウッド	DWF-SIZE	
P2100200		継手機能なし		足継手と組み合わせて使用する。足の形状をしている。	K1	Proteor	1A200	
						オットーボック	1H38	
						ラボック	SL1160	
						オットーボック	1D10	
						オットーボック	1D11	
						オットーボック	1S49	
オットーボック	1S66							

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
リフレックスローテート EVO	147	カーボン	1136	578,300	
LP ローテート EVO	147	カーボン	870	495,000	
トリトン VS	100/ 125/ 150	カーボン	900 (24cm)	284,300	体重制限: サイズ、カテゴリによる
トリトンハーモニー	100/ 125/ 150	カーボン	890 (24cm)	402,500	体重制限: サイズ、カテゴリによる。ハーモニーポンプ内蔵
パリフレックス XC	166	カーボン	712	441,400	
リフレックスショック EVO スプリットーあり	166	カーボン	1048	658,300	
バスファインダー	160 For K1,K2,K3 135 For K4	カーボンコンポジット材	817 (27cm)	402,500	
イレーション雄ピラミッド	100		710	304,600	0~50ミリの範囲で無段階で差高調整できる油圧調整機構を備える
ランウェイ	116	カーボン	620~ 735	347,500	22-25: 620g, 26-28: 735g
パリフレックス EVO(クイックアライン付)	166	カーボン	1084	457,900	0~30ミリの範囲で差高調整できる機構を組み合わせている
エシュロン	125	アルミ・ステンレス・カーボン	688	607,800	
キンテラ(油圧足継手付き足部)	125	カーボン	795~ 992	542,500	指又仕様 選択可、22-25: 795g, 26-28: 897g, 29-30: 992g
サイム用足部(24 cm右)	70		330	21,500	
サイム用足部(24 cm左)	70		330	21,500	
プロサイム フットカバー付 25~28cm	100/ 125	カーボン	655 (25cm)	186,300	体重制限: サイズによる
ボイジャーフット サイム用	136		580	296,500	
LP サイム	166	カーボン	420~ 670	220,200	指又仕様 選択可、22-25 420g, 26-28 545g, 29-31 670g
ロープロファイル サイム スプリットーあり	166	カーボン	602	415,400	踵部と前支部からなるカーボン製プレートに、AP・ML方向でのアライメント調整可能な接続部を組み合わせている
サイム用足部		ウレタン/木	285~ 445	17,300	
SF フット		ウレタン/木		33,100	製造中止ただし平成 27 年度まで修理対応
デュラウオーク	160	GFRP(強化ガラス繊維)	502 (26cm)	62,000	
ジェリーフット	100	EVA、ステンレス	380	44,800	継手一体型
単軸足部 指付 21~28cm	100	木材・ウレタン	335 (24cm)	23,000	
Ai SACH	80		310~ 390	28,400	
ダイナミックフット 男性用 指股付 22~30cm	125	木材・ウレタン	350 (24cm)	36,400	
ダイナミックフット 女性用 指股付 22~28cm	100/ 125	木材・ウレタン	345 (24cm)	36,400	体重制限: サイズによる
SACH フット 指付 21~28cm	100/ 125	木材・ウレタン	365 (24cm)	18,500	
SACH フット 指付 差高 18mm 22~30cm	100/ 125	木材・ウレタン	365 (24cm)	12,400	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
					K1-K2	啓愛	A1-7
						啓愛	A1-7-N
						ウィローウッド	SAF-SIZE
						ブラッチフォード	519119~51913
						ブラッチフォード	519141~51914
						ラポック	M1100
					K2	マインド	SNF150
						Proteor	1A101
					K2~K3	ラポック	M1150
					特になし	オットーボック	1S70
					特になし	オットーボック	1WR95=W
						高崎	TG-3001
						高崎	TG-3021
						高崎	TG3022
	その他のSACH						
P2100300		エネルギー蓄積を考慮したキール	足継手と組み合わせて使用する。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしている。		K2 以下	啓愛	A2-8
						K2	マインド
					マインド		SFH120
					マインド		SLF135
					K2-K3	ブラッチフォード	529120~52913
						マインド	SCF185
	マインド	SCF195					
K2~K4	ラポック	M1180					
K3,K4	ウィローウッド	IMP-SIZE					
P2110100	組合わせて使う足継手	固定接続	SACH 用足継手、他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている		K1-K2	オットーボック	2R8
						オットーボック	2R31
						オットーボック	2R54
						啓愛	A1-15-1AL
						啓愛	A1-15-1SS
						啓愛	A1-15-1TI
						啓愛	A1-4
					啓愛	A1-13	
					K1-K3	パワーファインド	G-025-M10
						オズール	A-833100
						オズール	A-835100
					K2-K3	ホスマー	60273
						ホスマー	60405
						マインド	SCA240
						マインド	SCA241
						マインド	SCA242
					K3	マインド	SCA280
						ビー・オー・テック	POTECSA-1
						フィラワー	124160
						高崎	TG3023
	高崎	TG2075					
	ウィローウッド	2LTC-1208					
	ラポック	M1305					
	ラポック	M1308					
	啓愛	K-AL69SS					
	啓愛	K-AL69TI					
	徳林	FA156					

メーカー部品名称等	使用者体 重制限 (kg)	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
SACH 足部	100	ウレタン/木	320~ 470	16,400	
SACH 足部	100	ウレタン/ POM	290~ 460	26,100	
オハイオ単軸足部	115	ファイバーガラ スコンポジット	451 (29cm)	25,600	
20mm 差高 MULTIFLEX 4 FOOT	125	アルミ・ステン レス・プラス チ ック・ゴム	375	35,300	
マルチ足部爪付 25mm	125	アルミ・ステン レス・プラス チ ック・ゴム	375	35,600	
単軸用足部	70		275~ 390	18,200	
シアトルナチュラルフット	130		380	30,100	
ダイナステップフット	80-100		440	54,400	
スーパーフット	100		295~ 410	30,300	
SACH フット 指なし 22~29cm				12,400	販売中止、ただし平成 29 年度まで修理対応
アクアフット ウォータープルーフ	150	木材・ウレタン	437 (24cm)	42,600	防水加工
SACH 足ジュラコンキール(耐水性)				21,400	
SACH(木製キール)				14,200	
単軸足				18,400	
その他の SACH				13,800	
F.J.足部	100	ウレタン/アル ミ	290~ 450	15,900	
シアトルフット(男性用)	100		380	50,100	
シアトルフット(女性用)	100		380	50,100	
シアトルライトフット	100		360	50,100	
20mm 差高 DR MK2 FOOT	125	アルミ・ステン レス・プラス チ ック・ゴム	430	66,500	
カーボンライトフット	124		400	49,500	
カーボンライトフット	124		400	49,500	
J-Foot L	100		305~ 445	63,400	
インパルス	160	カーボンコンポ ジット材	453 (26cm)	62,000	
SACH フット用アダプター ステンレス	125	鉄	125	6,700	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによ って重量・体重制限は異なる
SACH フット用アダプター チタン	125	チタン	70	16,500	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによ って重量・体重制限は異なる
SACH フット用アダプター アルミ	100	アルミ	80	15,200	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによ って重量・体重制限は異なる
SACH アダプター アルミ	100	アルミ	105	12,200	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
SACH アダプター ステンレス	100	ステンレス	110	5,400	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
SACH アダプター チタン	100	チタン	80	13,800	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
SACH 用アダプター	100	鉄	250	17,900	
下腿極長断端用アダプター	100	鉄	260	15,700	
SACH フットアダプタ チタン M10	100	チタン	173	14,900	
SACH 足部アダプタ ステン アルミ	100	アルミ	105	14,400	
SACH フットアダプタ	166	チタン	110	26,400	
チタン SACH アダプター	135	チタン	100	19,600	
ステン SACH アダプター	135	ステンレス	142	8,800	
チタン SACH アダプター	166	チタン	47	20,800	
新サッチアダプター	136	チタン	120	15,600	
チタンフットアダプター	136	チタン	46	19,400	
ステンレスサッチアダプター	136	ステンレス	84	9,200	
チタン製サッチフットアダプター	80	チタン	48	25,400	
足部アタッチメントピラミッド付				12,800	
SACH アダプター				6,700	
SACH 用受け皿				5,700	
CC2L-TAJ 足継手	100	チタン	26	12,700	
SACH アダプタ	100	ステンレス	138	5,700	
SACH アダプタ(J-Foot L 用)	100	ステンレス	120	8,000	
サッチアダプター ステンレス				6,500	
サッチアダプター チタン				16,300	
足継手	100	ステンレス	120	4,500	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適 応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
P2110201		固定接続	踵高調整機 能付	踵の高さを選択・調整で きる。他のコネクタやチュ ーブなどと接続可能にな っている	K1-K3	オズール	GAP125-size
					K2-K3	ラポック	M1085
						高崎	TG3025
P2110301		単軸継手(底 背屈)	踵高調整機 能付	踵の高さを選択・調整で き、底背屈機能を有する。 他のコネクタやチューブ などと接続可能になって いる	K1~K2	ラポック	M1002
P2110300		単軸継手(底背屈)		底背屈機能を有する。他 のコネクタやチューブな どと接続可能になってい る	K1	オットーボック	2R10
						オットーボック	2R33
						オットーボック	2R51
					K1~K2	ラポック	M1011
						ラポック	SL1010-A
						啓愛	A1-5
						啓愛	A2-5
					K2~K3	ラポック	M1035
						ラポック	M1055
						ウィローウッド	SAF-00100
						啓愛	A2-5-AL
						高崎	TG3026
						マインド	SCS200S1
	マインド	SCS200S2					
	マインド	SCS200S3					
P2110100		多軸継手(底背屈、内外反、 回旋)		底背屈、内外反、回旋の 機能を有する。他のコネ クタやチューブなどと接 続可能になっている	K1-K3	ブラッチフォード	MFAST30
						ブラッチフォード	379538~ 379541
						ブラッチフォード	409125~ 409127
					100kg まで K1- K4	ブラッチフォード	409121~ 409123
					120kg まで K1- K2~K3	ラポック	M1025
						高崎	TG2065
						高崎	TG2065S
P2120100	組合わせて 使う足部用 部品	バンパー		遊動継手や緩衝器に用 いられる緩衝材	—	ウィローウッド	SAF-00128
					—	ウィローウッド	SAF-00132
					—	ウィローウッド	SAF-00134
					—	ウィローウッド	SAF-00140
					—	ウィローウッド	SAF-00142
					—	ウィローウッド	SAF-00144
					—	カレッジパークイ ンダストリー	FB CPI-01
					—	カレッジパークイ ンダストリー	HB CPI-01
					—	カレッジパークイ ンダストリー	MP CPI-01
					—	カレッジパークイ ンダストリー	AB CPI-01
					—	カレッジパークイ ンダストリー	AB CPI-02
					—	カレッジパークイ ンダストリー	FHB CPI-02
					—	ブラッチフォード	409002~ 409004
					—	ブラッチフォード	409007~ 409009
					—	ラポック	M10-005
					—	ラポック	M10-006
					—	ラポック	M10-007
—	ラポック	M10-008					

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
クイックアライン	125	アルミ	384	148,100	0~30ミリの範囲で差高調整できる。パリアレックスやタラックスに組み合わせて使用できる
ピッチアジャスター (M1180 J-Foot L 専用部品)	100	アルミ	392	208,100	
踵高調節継手その他				27,900	
踵高調節型足継手	70	アルミ	241	28,100	
足継手 単軸フット用 ステンレス	100	鉄	325	13,300	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
足継手 単軸フット用 チタン	100	チタン	200	42,600	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
足継手 単軸フット用 アルミ	100	アルミ	230	30,100	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
単軸足継手	70	アルミ	235	17,400	
輪ゴム式足継手	100	アルミ	183	60,700	
軸足関節	100	鉄	405	27,700	
F.J.足継手 (アライメント・アダプター)	100	鉄	500	36,900	
F.J.足継手チタン (アライメント・アダプター)	100	チタン	367	42,600	
ブラグつきスーパーアングル	70	アルミ	300	67,200	
ブラグつき正座用足継手	70	アルミ	347	101,500	
オハイオ単軸足部用 足継手	100	カーボン	103	27,000	
F.J.足継手アルミ (アライメント・アダプター)		アルミ		31,500	製造中止 ただし平成 27 年度まで修理対応
単軸足継手ピラミッド				23,300	
シースタンス足関節 50kgまで	50			122,200	
シースタンス足関節 72kgまで	72			122,200	
シースタンス足関節 100kgまで	100			122,200	
マルチ足関節重労用 30 mm	125	アルミ・ステンレス・ゴム	201	15,400	
足関節軽労用 MULTIFLEX ANKLE LD 30mm	100	アルミ・ステンレス・ゴム	216	25,500	
マルチ足関節標準用 MULTIFLEX ANKLE 35mm	125	アルミ・ステンレス・ゴム	213	26,600	
足関節軽労用 MULTIFLEX ANKLE LD 35mm	100 (K1-K4) 120 (K1-K3)	アルミ・ステンレス・ゴム	216	26,100	
ブラグつきゴム座式足継手	80	アルミ	274	69,000	
足関節用アライメント受け皿				5,700	
TG2065 軽量用				5,700	
オハイオ単軸足部用 バンパー (青) 前柔	113	ウレタン	12	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (黒) 前普通	113	ウレタン	12	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (白) 前硬	113	ウレタン	12	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (黄) 後柔	113	ウレタン	10	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (緑) 後普通	113	ウレタン	10	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (赤) 後硬	113	ウレタン	10	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
カレッジパークフット用フロントバンパー		ウレタンゴム		1,500	
カレッジパークフット用ヒールバンパー		ネオプレン		1,600	
カレッジパークフット用ミッドスタンドパット		ウレタン		1,000	
カレッジパークフット用アングルブッシュ		ウレタン		1,000	
ベンチャーフット・トリビューットフット用アングルブッシュ		ウレタン		900	
ベンチャーフット・トリビューットフット用バンパー		ネオプレン		1,800	
軽労用スヌーパーキット L.D.M/F SNUBBER	100	ゴム・プラスチック・フェルト	約 30	2,200	
標準用スヌーパーキット STD.M/F SNUBBER	125	ゴム・プラスチック・フェルト	約 30	2,800	
踵高調節用キット (10 mm)	70			4,600	
踵高調節用キット (20 mm)	70			4,600	
踵高調節用キット (30 mm)	70			4,600	
踵高調節用キット (40 mm)	70			4,600	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適 応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
					—	ラポック	M10-013
					—	ラポック	M10-014
					—	ラポック	M10-015
					—	ラポック	M10-016
					—	ラポック	M10-050
					—	ラポック	M10-060
					—	ラポック	M10-070
					—	ラポック	M10-080
					—	ラポック	M10-094
					—	ラポック	M10-095
					—	ラポック	SL10-010
					—	ラポック	SL10-020
					—	ラポック	SL10-040
					—	ラポック	SL10-050
					—	ラポック	SL10-060
					—	ラポック	SL10-100
					—	ラポック	SL10-110
					—	ラポック	SL10-140
					—	ラポック	SL10-150
					—	ラポック	SL10-170
					—	ラポック	SL10-250
—	ラポック	SL10-260					
—	ラポック	SL10-270					
—	啓愛	A2-5-1					
—	高崎	TG4031					
—	高崎	TG4034					
P2120200			ボルト		—	高崎	TG4033
					—		その他のSAC H足部用ボルト
P2120300			フットカバー	足部キールに取り付け足 部形状を整える足部形状 をしたカバー	—	オットーボック	2C4
					—	オットーボック	2C5
					—	ウィローウッド	FSHA-SIZE
					—	カレッジパークイ ンダストリー	FS-01
					—	ウィローウッド	FSDW-SIZE
					—	オズール	FCE0xxy
					—	フレックスフット	F・F-083
P2120400			足部ソックス	足部の中の摩擦による 音を消すための靴下状の 袋	—	オットーボック	SL=SPECTRA- SOCK
					—	ウィローウッド	700-SS001
					—	カレッジパークイ ンダストリー	FTS-167
					—	フレックスフット	FCX6300-size
P2130100	足継手・足 部補助用部 品		緩衝器(トルクアブソーバー) (回旋)	回旋に対する衝撃緩和	—	オットーボック	4R39
					—	オットーボック	4R40
					—	オットーボック	4R85
					—	オットーボック	4R86
P2130200			緩衝器(トルクアブソーバー・ ショックアブソーバ)(回旋、鉛 直)	回旋と長軸方向に対する 衝撃緩和の組合せ	—	オズール	4400
					—	オットーボック	4R120

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
ヒールバンパーキット(硬度 3)	70			1,250	
ヒールバンパーキット(硬度 4)	70			1,250	
ヒールバンパーキット(硬度 5)	70			1,250	
ヒールバンパーキット(硬度 6)	70			1,250	
底屈バンパー(硬度 50° 度)	70			1,150	
底屈バンパー(硬度 60° 度)	70			1,150	
底屈バンパー(硬度 70° 度)	70			1,150	
底屈バンパー(硬度 80° 度)	70			1,150	
背屈バンパー40 度	70			2,550	
背屈バンパー40 度 H	70			2,550	
輪ゴム (SL1010-A 用)	100			2,550	
底屈補助バンパー (SL1010-A 用)	80			3,550	
底屈バンパー(硬度 40°) (M1025 用)	80			2,150	
底屈バンパー(硬度 50°) (M1025 用)	80			2,150	
底屈バンパー(硬度 60°) (M1025 用)	80			2,150	
アンテリアバンパー(踵高 0 mm)	100			3,550	
アンテリアバンパー(踵高 10 mm)	100			3,550	
背屈バンパー(硬度 40°) (M1025 用)	80			3,100	
背屈バンパー(硬度 50°) (M1025 用)	80			3,100	
背屈バンパー(硬度 70°) (M1025 用)	80			3,100	
ゴム座バンパー(硬度 50°) (M1025 用)	80			6,000	
ゴム座バンパー(硬度 60°) (M1025 用)	80			6,000	
ゴム座バンパー(硬度 70°) (M1025 用)	80			6,000	
F.J.足継手ゴム		NR ゴム	15	1,350	
ヒールバンパー				780	
ヒールアジャストカム				2,450	
球面ナット				800	
				500	
フットシェル 1C40 専用 修理交換用	特になし	ウレタン	185 (24cm)	11,600	
フットシェル 修理交換用	特になし	ウレタン	195 (24cm)	14,900	
オハイオ社フットカバー	160	Self Skinning Polyurethane foam	142 (23)	23,000	
フットシェル		イソシアナート / ポリウレタン		18,900	
デュラウオーク用フットカバー	160	Self Skinning Polyurethane foam	210 (25cm)	21,300	
EVO 専用フットカバー	166	ウレタン	180	27,200	
フレックスフットカバー	166	ウレタン	180	25,500	
スペクトラソックス	特になし	ガラス繊維	—	2,500	
オハイオ社スペクトラソックス			20	3,600	
スペクトラソックス・カレッジパークフット用		ポリエチレン		3,000	
スペクトラソックス	166	ガラス繊維	31 サイズ* 22-25	2,800	
トーションアダプター チューブ付	125	ステンレス	500	63,200	
トーションアダプター ソケットアダプター型	125	ステンレス	340	50,000	
トーションアダプター チューブクランプ 30 mm	100	ステンレス	350	56,400	
トーションアダプター チューブクランプ 34 mm	110	チタン	340	53,300	
トータルショック	100	アルミニウム合金	270	179,200	4 種の異なる硬度の鉛直方向、回旋方向のバンパーにより、装着者の体重、活動度に適した縦方向、ねじれ方向の力を緩衝する機能を有する
デルタツイスト	100	アルミ	340	296,500	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
P2130300			ターンテーブル下腿用	正座用回旋装置	—	啓愛	A2-12
P2130401C	足継手・足部一体型 (小児用)	足継手・足部一体型	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。足の形状をしている。	K3-K4	オズール	JRP0-size
						ラポック	C1170
						オットーボック	1E66
P2130501C	組合わせて使う足部(小児用)	足部	継手機能なし	足の形状をしている。	特になし	オットーボック	1K10
					特になし	オットーボック	1S30
						ラポック	C1100
P2130601C	組合わせて使う足継手(小児用)	足継手	固定継手	小児用足継手、他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている	K2 以下	啓愛	A1-15-1P
					K1-K3	オズール	AJ-833100
						ラポック	C1305
					特になし	オットーボック	2R40=1 及び 2R40=2
						ウィローウッド	PPF-1208
						徳林	TAC-00
						高崎	TG2075S

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
下腿正座用ターンテーブル		アルミ	290	25,600	製造中止予定
フレックスフットジュニア	45	カーボン	288	169,400	体重 45 キロまでの切断児に対応できる。構造的高さも 50 ミリ弱と低い
J・J(小児用 J-Foot 18~21cm)	45		225~305	94,400	
スプリングライトⅡ 小児用 13~21cm		カーボン	315 (15cm)	123,400	ダイナミックパイロン仕様 活動レベル:小児用の為設定なし
ダイナミックフット 小児用 14~21cm	35/45	木材・ウレタン	130 (15cm)	31,500	活動レベル:小児用の為設定なし、体重制限:サイズによる
SACH フット 小児用 指なし 12~13cm	35	木材・ウレタン	90 (12cm)	12,900	活動レベル:小児用の為設定なし
VIP(小児用足部 12~17cm)	30		85~165	56,800	
小児用(22mm 径チューブ仕様)SACH アダプター アルミ	40	アルミ	55	12,900	削除申請予定
小児用 SACH 足アダプタ	45	ステンレス・アルミ	54	17,400	
SACH アダプタ(小児用)	45	ステンレス	60	10,300	
SACH フット用アダプター小児用	35/45	アルミ・スチール	80/45	9,900	サイズによって重量・体重制限は異なる
小児用足継手	60	チタン	15	11,100	
小児用 SACH 足継手	70	アルミ	90	10,900	
TG2075 軽量用小児用				5,700	

3. 股継手、膝継手、足継手、足部等を繋ぐ部品 【ブロック、コネクタ、チューブ、クランプアダプタ】

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
P3010101	接続部品	ブロック	ブロック	四つ穴取り付け	木やウレタン [®] のソケット埋め込み部と四つのネジ取り付け穴の組み合わせ	オットーボック	5R1
						ウィローウッド	700-200
						ウィローウッド	700-250
						ホスマー	60267
						マインド	SLB210
						マインド	SLB220
						マインド	SLB230
						啓愛	A1-11
						高崎	TG2113
						徳林	TWB-4
						パワーファインド	W013
						ブラッチフォード	189113
P3020101	ソケットアダプタ	ソケット直結	ピラミッドタイプ(オス)	ソケットに直結取り付け部分とピラミッド(オス)による接続	ビー・オー・テック	POTEC DA-1	
					啓愛	A-1-14-2SS	
					啓愛	A-1-14-2TI	
					啓愛	A-1-14-3TI	
					啓愛	A-1-14-2AL	
					ウィローウッド	FND-268001	
					パワーファインド	G-018S	
					オットーボック	4R68	
					オットーボック	4R89	
					オットーボック	4R63	
					オットーボック	4R42	
					オットーボック	4R100	
					オットーボック	4R116	
					オットーボック	4WR95=2	
					オズール	A-135100	
					ホスマー	60312	
					ホスマー	60324	
					ホスマー	60325	
					ホスマー	60457	
					ホスマー	60576	
啓愛	K-CN14TI						
啓愛	K-CN14SS						
啓愛	K-CN14AL						
フィラワー	124181						
ラボック	M0240						
P3020102		ソケット直結	ピラミッドタイプ(メス)	ソケット直結とピラミッド(メス)による接続	ウィローウッド	FND-268000	
					オットーボック	4R41	
					オットーボック	4R111	
					オットーボック	4R119	
					オットーボック	4WR95=1	
P3020103		ソケット直結	36φネジ	ソケット直結と36φのメスネジによる接続	ラボック	M0232	
					ラボック	M0233	
					オズール	A-114030	
					オズール	A-114040	
					啓愛	K-CN13FTI	
					啓愛	K-CN13SS	
					ラボック	M0231-A	
啓愛	A1-14-1FTI						

注) 表中の空白部分はメーカーの確認が取れていないもの

メーカー部品名称	使用者体 重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
ソケット取付用ブロック(大腿・下腿用)	125/150	木	155 -445	9,200	
ソケットブロック(発泡フォーム付)	115	コンポジット材	124	6,900	
ソケットブロック(発泡フォーム無し)	160	コンポジット材	67	6,900	
	136				
ソケットブロック	136	木	301	10,700	
ラミネートブロックスタンダード	136	樹脂	326	10,100	
ラミネートブロック凹型	136	樹脂	279	16,800	
ラミネートブロック薄型	136	樹脂	135	10,100	
ソケット取付用板	100	木	250	11,200	±6° の角度、360° の回旋、±6mm の平行移動調節が可能 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ソケット取付プレート(木製ブロック)		木		3,700	
木ブロック	100	木	620	7,500	
ソケット取付用ブロック	100	木	280	7,900	
アライメントアダプタ積層ソケット用 FOR LAM.SKT.	100 (K1-K4) 125 (K1-K3)	アルミ/木	612	56,700	
ソケット取付プレート(木製)				3,830	
チタン製ソケット直結用アダプター	80	チタン	55	36,500	
4 長羽 穴あり ピラミッド ステンレス	100	ステンレス	95	8,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 短羽 穴あり ピラミッド チタン	100	チタン	55	19,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 短羽 穴なし ピラミッド チタン	100	チタン	60	19,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 短羽 穴あり ピラミッド アルミ	100	チタン・アルミ	65	14,200	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ソケット直結回旋付ピラミッドアダプタ(オス)	115	ステンレス	198	19,800	
ソケット直結アダプタ 回旋式メス	125	ステンレス	135	23,900	
下腿義足用ソケットアダプター アルミ	100	アルミ	70	17,800	
ラミネーションアンカーピラミッド回旋機構付	125	ステンレス	180	25,800	
下腿義足用ソケットアダプター ステンレス	136	ステンレス	85	10,900	
ソケットアダプター(ピラミッド付)	150	ステンレス	130	17,400	
下腿義足用ソケットアダプター チタン	100	チタン	40	24,700	
ラミネーションアンカーピラミッド回旋機構付	150	ステンレス	165	25,800	
ラミネーションアンカー ウォータープルーフピラミッド	150	ステンレス	165	22,000	防水加工
雄ピラミッドソケット アダプタ	166	チタン	58	22,700	
AK 回旋付ソケットアダプター ピラミッドレシーバー	135	ステンレス	187	24,100	
BK ソケットアダプター	100	ステンレス	97	14,100	
AK ソケットアダプター ピラミッド	135	ステンレス	129	17,500	
BK ソケットアダプター 穴付き	100	ステンレス	93	14,800	
AK 回旋付ソケットアダプター	135	ステンレス	198	28,400	
4 短羽コネクタ穴明ピラミッド付 チタン	100	チタン	56	21,200	
4 短羽コネクタ穴明ピラミッド付 ステンレ	100	ステンレス	96	8,700	
4 短羽コネクタ穴明ピラミッド付 アルミ	100	アルミ	73	12,400	
ソケット取付台 BK 用				9,900	
支柱付ブラグ(M0261)を組込むことで吸着可	100	アルミ	150	27,000	
ソケット直結回旋付ピラミッドアダプタ(メス)	115	ステンレス	191	19,800	
ラミネーションアンカー(回旋機構付)	125	ステンレス	170	29,700	
ラミネーションアンカー調節ネジ・回旋機構付	150	ステンレス	155	29,700	
屈曲羽付きラミネーションアンカー回旋機構付	150	ステンレス	160	15,600	
ラミネーションアンカー ウォータープルーフピラミッドレシーバー	150	ステンレス	165	23,400	防水加工
支柱つきねじ受金(薄型)(ステンレス)	100	アルミ	88	31,200	
強支柱つきねじ受金	100	ステンレス	192	42,600	
3 長羽ソケット直結アダプタ	166	ステンレス	124	23,500	
4 羽ソケット 直結アダプタ	166	チタン	158	23,500	
3 長羽フレキシブル回旋ベース チタン	100	チタン	66	20,300	
3 長羽回旋ベース ステンレス	100	ステンレス	120	19,000	
支柱つきねじ受金(薄型)(ステンレス)	100	ステンレス	130	38,300	
3 長羽フレキシブル 回旋ベース チタン				14,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
					啓愛	A1-14-1SS
P3020104		ソケット直結	四つ穴	ソケット直結と四穴による接続	オズール	A-122100
					オットーボック	5R2
					オットーボック	5R6=1
					オットーボック	5R6=2
					オットーボック	5R6=3
					マインド	SSA230
					ラボック	M0275
					ラボック	M0290
					オズール	A-125100
					オズール	M-100101
					その他の TC 型 ソケット取付器 具	
P3020105		ソケット直結	皿受け接続	ソケット直結と受け皿タイプによる接続	ラボック	M0205
					ラボック	M0206
					ラボック	M0225
					ラボック	M0215
					ラボック	M0207
					ラボック	M0280
					ラボック	M0218
P3020106		ソケット直結	ボルト	ソケット直結とボルトによる接続	ブラッチフォード	189117
					ブラッチフォード	189118
					ブラッチフォード	189805
					ブラッチフォード	189807
					ブラッチフォード	189808
					ブラッチフォード	189907
P3020107		ソケット直結	その他	ソケット直結とその他の接続	啓愛	A1-11-1
					啓愛	A1-11-2
					啓愛	A1-11-3
					啓愛	A1-11-4
					徳林	TSC-A
					徳林	TSC-KD
					オットーボック	2G120
					オットーボック	4G70
					マインド	SLC300
					マインド	SSA210
					オットーボック	4R173
					フィラワー	124105
					ブラッチフォード	339140
					ブラッチフォード	019914
					高崎	TG2011
高崎	TG2012					
高崎	TG2013					

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
3 長羽 回旋ベース ステンレス				20,700	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
4 穴ソケットアダプタ アルミ	100	ステンレス	70	13,700	
ラミネーションデスク	150	アルミ	70	4,900	
真空成型用ソケットアダプタ 大	100	アルミ	160	11,300	
真空成型用ソケットアダプタ 中	100	アルミ	135	11,300	
真空成型用ソケットアダプタ 小	100	アルミ	115	11,300	
	136	アルミ	49	6,200	
4 穴プレート	100	ステンレス	89	4,850	
ラミネーションアンカー	100	アルミ	55	20,100	
4 穴ソケットアダプタ チタン	166	アルミ	112	25,400	
MSS 専用コネクター	160	チタン	420	53,700	
				1,200	
支柱つき皿(8mm ボルト)	100	アルミ	217	9,500	
支柱つき皿(8mm ボルト)	100	アルミ	185	9,500	
支柱つき皿(膝離断用)	100	ステンレス	226	12,700	
サイム用支柱つき皿用(10mm ボルト)	100	ステンレス	100	10,600	
軽量支柱つき皿(チタン)	100	チタン	149	22,700	
サーモプラスチックソケットキット	100	ステンレス	S:119 M:133 L:148	9,500	
サイム用支柱つき皿用(J-Foot L)	100	ステンレス	166	15,600	
アライメントアダプタ・メタルソケット用 MET.SKT.100mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	466	66,000	
アライメントアダプタ・メタルソケット用 MET.SKT.115mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	528	66,000	
AK アライメントキット・短縮用 SHORTENING KIT 10mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	61	13,700	
AK アライメントキット・伸張用 LENGTHENING KIT 10mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	93	16,600	
AK アライメントキット・短縮用 SHORTENING KIT 5mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	81	17,600	
BK アライメントキット・伸張用 LENGTHENING KIT 10mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ・チタン	122	16,600	
大腿 P.S.アダプター	100	ステンレス	170	9,500	
下腿 P.S.アダプター	100	ステンレス	150	9,500	
PP アダプター		ステンレス		15,600	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
PW アダプター		ステンレス		15,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ワイヤーソケットコネクタ(大腿用)	100	アルミ	120	7,900	
L 字型ソケットコネクタ	100	アルミ	105	11,700	
ラミネーションアンカー1C20 用	125	ステンレス	120	33,300	
膝義足用ラミネーションアンカー	125	ステンレス	110	21,700	
Laminating Core	136	樹脂	160	9,700	
	136	チタン	71	31,200	
ピラミッドレシーバー 4R170 用	150	ステンレス	220	6,300	
ユニバーサルカブリング付トッププレート				12,100	
下腿部中断端用アダプター 35mm BK STUMP ADAPTOR	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	185	33,600	
股継手ソケットフィッティングキット・ポリプロ 用 E4BHD/POLYPROP	100	プラスチック	30 未満	66,000	
ソケット取付プレート膝直付け				3,450	
ソケット取付プレート(丸型)				4,700	
ソケット取付カップ				3,400	

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
P3030101	コネクタ	四つ穴	ピラミッド(オス)	四つのネジ取付け穴とピラミッド(オス)による接続	高崎	TG2022
					高崎	TG2085
					高崎	TG2085S
					高崎	TG2112
					トゥルーライフ	P15122
					マインド	SCA290
					ラボック	M0273
					オズール	A-233100
					オットーボック	4R74
					啓愛	A1-14-5SS
					ダウ	GUPT-M4H
					ラボック	M0292
					啓愛	A1-14-5AL
					啓愛	A1-14-5TI
					啓愛	A1-14-6TI
					ウィローウッド	700-SP471
					ウィローウッド	FND-227014
					ウィローウッド	FND-134125
					ウィローウッド	FND-134150
					ウィローウッド	FND-228003
					ウィローウッド	FND-994000
					ウィローウッド	FND-994100
					ウィローウッド	FND-994105
					ウィローウッド	FND-994110
					オットーボック	4R23
マインド	SCA216					
ホスマー	60254					
マインド	SCA210					
マインド	SCA214					
マインド	SCA260					
オットーボック	4R54					
オットーボック	4R73=A					
オットーボック	4R73=D					
オットーボック	4R77					
オズール	A-235100					
オズール	A-235300					
オズール	A-235400					
ホスマー	60416					
啓愛	K-CN24TI					
フィラワー	124180					
高崎	TG2201					
P3030102		四つ穴	ピラミッド(メス)	四つのネジ取付け穴とピラミッド(メス)による接続	ウィローウッド	FND-228002
					ウィローウッド	FND-227004
					オズール	A-242100
					オズール	A-245100
					オズール	A-245300
					オズール	A-242500
					オットーボック	4R22
					オットーボック	4R95
					オットーボック	4R55
					オットーボック	4R37
					オットーボック	4R51
					フィラワー	124108
					フィラワー	124107
					フィラワー	124114
					ホスマー	60435
					ホスマー	60293
					啓愛	A1-14-4TI
高崎	TG2202					
P3030103		四つ穴	その他	四つのネジ取付け穴とその他の接続	徳林	TSC-PSDC
					徳林	TSC-T
					オズール	A-322100
					徳林	TKC-S
					ラボック	M0270
ラボック	M0271					

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
ソケット取付プレート(あり溝用ラボック互換)				5,900	
角度付き受け皿(股離断用前傾角度付き)				6,200	
TG2085 軽量用				6,200	
ソケット取付プレート(羽根型)				7,000	
回転コネクタージャスタブルハサミコミ(T1)				37,900	
	54	チタン	48	16,300	
4 穴プラグ	100	アルミ	64	14,200	
4 穴雄ピラミッド	100	アルミ	62	9,000	
ソケットアダプター ピラミッド付	100	アルミ	55	7,100	
4 穴 穴あり ピラミッド ステンレス	100	ステンレス	106	6,000	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 ホールピラミッド(オス)	100	チタン	53	11,100	
回旋プラグつき 4 穴コネクタ	100	チタン	80	34,000	(M02-001 の使用で吸着可能)
4 穴 穴あり ピラミッド アルミ	100	チタン・アルミ	63	9,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 穴 穴あり ピラミッド チタン	100	チタン	70	13,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 穴 穴なし ピラミッド チタン	100	チタン	72	14,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
サクシオンピラミッド	115	チタン	64	21,500	
4 ホールピラミッド(オス)	115	チタン	56	14,400	
4 ホールスライドピラミッドアダプタ	115	チタン・アルミ	98	36,200	
4 ホールスライド回旋機能付ピラミッド	115	チタン・アルミ	99	41,100	
4 ホール回旋付ピラミッド(オス)	115	チタン・アルミ	57	17,400	
ラミネーション用 4 ホールピラミッド(オス)	115	チタン・カーボン	84	14,000	
4 ホールピラミッド(オス)	115	チタン・カーボン	68	12,600	
4 ホールピラミッド(オス) 5mm オフセット	115	チタン・カーボン	70	12,600	
4 ホールピラミッド(オス) 10mm オフセット	115	チタン・カーボン	71	12,600	
ソケットアダプター (ピラミッド付)	125	ステンレス	85	4,800	
チタンソケットピラミッド回旋機構付	136	ステンレス	134	29,800	
チタン 4 ホールピラミッド	135	チタン	50	19,600	
シアトルソケットピラミッド	136	チタン	71	21,300	
ソケットアダプター	136	チタン	142	28,400	
シアトルソケットピラミッド ステンレス	136	チタン	140	14,900	
ソケットアダプター (ピラミッド付)チタン	150	チタン	50	11,200	
オフセットソケットアダプター ピラミッド付	150	チタン	60	18,700	
オフセットソケットアダプター ピラミッド付	150	チタン	60	18,700	
ソケットアダプター ピラミッド回旋機構付	150	チタン	70	27,300	
4 穴オスピラミッド チタン	166	チタン	54	18,100	
四穴雄ピラミッド回旋式 チタン	166	チタン	72	34,500	
四穴雄ピラミッド 8mm オフセット	166	チタン	65	26,600	
ステン 4 ホールピラミッド	135	ステンレス	104	10,900	
4 穴コネクタ 穴明ピラミッド付 チタン	100	チタン	71	13,900	
ソケット取付台ピラミッド付				9,900	
PY4 本ネジ				12,800	
4 ホール回旋付ピラミッド(メス)	115	チタン・アルミ	103	17,400	
4 ホールピラミッド(メス)	115	チタン	70	14,400	
4 穴雌ピラミッド アルミ	100	アルミ	46	10,500	
4 穴メスピラミッド チタン	166	チタン	64	24,900	
四穴雌ピラミッド回旋式チタン	166	チタン	76	29,200	
4 穴雌ピラミッド 20/20 オフセットアダプタ	100	アルミ	118	46,500	
ソケットアダプター (調節ネジ付)	125	ステンレス	85	6,100	
ソケットアダプター調節ネジ付 アルミ	100	アルミ	50	6,800	
ソケットアダプター (調節ネジ付) チタン	150	チタン	50	15,600	
ソケットアダプター (調節ネジ・回旋調節)	125	ステンレス	140	19,500	
ソケットアダプター (調節ネジ・回旋機構)	150	チタン	80	29,800	
ピラミッド取付台ネジ無				13,300	
ピラミッド取付台ネジ有				13,600	
回転台付ソケット取付台				15,600	
ステン回旋付アダプター	135	ステンレス	126	17,800	
チタン回旋付アダプター	135	チタン	82	19,600	
4 穴ピラミッドレシーバー チタン	100	チタン	81	17,800	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
PY 受け 4 本ネジ				12,800	
C.4 ホールソケットコネクタ	55	アルミ	40	6,200	
熱可塑性ソケットコネクタ	100	アルミ	55	4,600	
4 穴チューブクランプ	100	アルミ	52	13,200	
スライドコネクタ	100	アルミ	120	12,200	
4 穴すべり子	100	ステンレス	87	15,000	
4 穴ネジ受金	100	アルミ	43	14,200	

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名		
					啓愛	A1-14-7TI	
					オズール	A-325100	
					フィラワー	124106	
					フィラワー	125298	
					フィラワー	124142	
					フィラワー	124141	
					フィラワー	124143	
					フィラワー	124140	
P3030201			ピラミッド(オス)	ピラミッド(オス)	ダブルアダプタ(オス-オス)	オットーボック	6A53
						オットーボック	4R76
						ラポック	M0550
						オットーボック	4R78
						オズール	A-533100
						オズール	A-535100
P3030202			ピラミッド(オス)	ピラミッド(メス)	ダブルアダプタ(オス-メス)	啓愛	A1-14-23SS
						啓愛	A1-14-23TI
						ラポック	M0545-34
						ラポック	M0545-38
						オットーボック	4R84
						ナブテスコ	N-D114
						オットーボック	6A54
						オズール	A-554700
高崎	TG2203						
P3030301			ピラミッド(メス)	ピラミッド(メス)	ダブルアダプタ(メス-メス)	啓愛	A1-14-16SS
						啓愛	A1-14-17SS
						啓愛	A1-14-18SS
						啓愛	A1-14-19SS
						ラポック	M0540-32
						ラポック	M0540-35
						ラポック	M0540-40
						ラポック	M0540-45
						ラポック	M0540-50
						ラポック	M0540-55
						ラポック	M0540-60
						啓愛	A1-14-16TI
						啓愛	A1-14-18TI
						啓愛	A1-14-19TI
						啓愛	A1-14-17TI
						ウィローウッド	FND-228032
						ウィローウッド	FND-228045
						ウィローウッド	FND-228060
						ウィローウッド	FND-228075
						オットーボック	4R72=32
						オットーボック	4R72=45
						オットーボック	4R72=75
						オットーボック	4R72=60
						ホスマー	60306
ホスマー	60439						
ホスマー	60440						
ホスマー	60441						
マインド	SCA221						
マインド	SCA222						
マインド	SCA223						
マインド	SCA224						

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
4穴回旋ベース チタン	100	チタン	68	23,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4穴チューブクランプ チタン	166	チタン	68	24,400	
接続プレートネジ付				8,500	
ソケット取付台プラスチックソケット用				9,900	
APMLスライドユニット トッププレート付				43,600	
APMLスライドユニット ピラミッド付				44,900	
APMLスライドユニット レシーバー付ユニット				46,200	
APMLスライドユニット ピラミッドトッププレート付				50,200	
4穴回旋ベース チタン	100	チタン	72	23,000	
スライドアダプター ピラミッド/ピラミッド	125	アルミ	180	32,600	一方向平行移動
ダブルピラミッドアダプター	150	ステンレス	95	9,000	
ダブルブラグ (Ti)	100	チタン	75	42,600	角度(両側)
ダブルピラミッドアダプター	150	ステンレス	115	7,800	
雄ピラミッドダブルアダプタ	100	ステンレス・アルミ	84	19,700	—
オスダブルアダプタ チタン	166	チタン	98	28,100	
ピラミッド付ピラミッドレシーバーSS	100	ステンレス	124	11,200	角度(両側) 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッド付ピラミッドレシーバーTI	100	チタン	75	30,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ブラグつきジャック 34 (Ti)	100	チタン	90	50,200	
ブラグつきジャック 38 (Ti)	100	チタン	94	52,800	
ダブルアダプター ピラミッド調整ネジ付	150	チタン	115	16,800	
スライドコネクター	100	チタン	200	47,500	二方向平行移動
スライドアダプター ピラミッド/ピラミッドレシーバー	150	アルミ	180	32,600	一方向平行移動
オスメスダブルアダプタオフセット付	100	ステンレス	153	44,800	
PY十字アライメントアダプタ				29,800	
ダブルピラミッドレシーバー 32 SS	100	ステンレス	148	9,800	角度(両側) 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 45 SS	100	ステンレス	164	10,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 60 SS	100	ステンレス	193	11,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 75 SS	100	ステンレス	209	13,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルジャック 32mm	100	アルミ	88	24,100	
ダブルジャック 35mm	100	アルミ	93	24,100	
ダブルジャック 40mm	100	アルミ	99	24,100	
ダブルジャック 45mm	100	アルミ	100	28,400	
ダブルジャック 50mm	100	アルミ	103	28,400	
ダブルジャック 55mm	100	アルミ	106	28,400	
ダブルジャック 60mm	100	アルミ	110	28,400	
ダブルピラミッドレシーバー 32mm チタン	100	チタン	88	25,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 60mm チタン	100	チタン	112	26,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 75mm チタン	100	チタン	128	27,300	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 45mm TI	100	チタン	100	30,500	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルアダプタ(チタン) 32mm	136	チタン	82	18,400	
ダブルアダプタ(チタン) 45mm	136	チタン	92	19,400	
ダブルアダプタ(チタン) 60mm	136	チタン	107	20,400	
ダブルアダプタ(チタン) 75mm	136	チタン	126	21,300	
ダブルアダプター チタン 32mm	150	チタン	85	32,200	
ダブルアダプター チタン 45mm	150	チタン	95	32,200	
ダブルアダプター チタン 75mm	150	チタン	125	33,900	
ダブルアダプター チタン 60mm	150	チタン	110	33,500	
デュアルアダプター	136	チタン	80	39,900	高さ調整
デュアルアダプター	136	チタン	91	40,600	
デュアルアダプター	136	チタン	102	41,500	
デュアルアダプター	136	チタン	118	41,700	
ダブルクランプピラミッド 32mm	136	チタン	76	27,000	
ダブルクランプピラミッド 45mm	136	チタン	93	27,700	
ダブルクランプピラミッド 60mm	136	チタン	106	31,200	
ダブルクランプピラミッド 72mm	136	チタン	130	32,700	

コード	名称	機能区分(構造)	機能概要	メーカー名	
				ナブテスコ	N-D231
				オットーボック	4R104=60
				オットーボック	4R104=75
				オズール	A-542110
				オズール	A-542120
				オズール	A-542130
				オズール	A-542140
				オズール	A-545110
				オズール	A-545120
				オズール	A-545130
				オズール	A-545140
				啓愛	K-CN55H32TI
				啓愛	K-CN55H45TI
				啓愛	K-CN55H60TI
				啓愛	K-CN55H75TI
P3030401		36φオスネジ	ピラミッドオス	36φオスネジ ピラミッドオス	
				啓愛	A1-14-8TI
				啓愛	A1-14-9TI
				ラポック	M0450
				ホスマー	60544
				オズール	A-134300
				オズール	A-135300
				啓愛	K-CN46TI
P3030402		36φオスネジ	ピラミッドメス	36φオスネジ ピラミッドメス	
				ラポック	M0460
				オズール	A-145300
				オズール	A-144300
				オットーボック	4R44=L
				啓愛	A1-14-10SS
				啓愛	A1-14-10TI
				啓愛	K-CN45SS
				啓愛	K-CN45TI
P3030501		36φメスネジ	その他	36φメスネジとその他の接続	
				オズール	A-834300
				オットーボック	4R50
				オズール	A-845300
				オズール	A-122300
P3030601		すべり子	すべり子	十字すべり子	
				ナブテスコ	N-S201
				ラポック	M0500-0
				ラポック	M0500-10~50
				ラポック	M0515
P3030701		ボルト	ボルト	義足長調整用スペーサー	
				徳林	TAH-1
				徳林	TAH-1 1/2
				徳林	TAH-1/2
				徳林	TAH-2
P3030801		その他	その他	その他	
				徳林	TPS-M6
				オットーボック	4R170=1
				オットーボック	4R170=2
				ラポック	M0306
				ラポック	M02-001
				ラポック	M0310
				ラポック	M0328
				ラポック	M0320
				ラポック	M0462
				オットーボック	4R101
				ブラッチフォード	239017
				ブラッチフォード	189127

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
調整式デュアルコネクタ 60~75mm	100	チタン	170	47,500	高さ・回旋調整
スライド式ダブルアダプター 60mm チタン	100	チタン	215	30,200	一方向平行移動
スライド式ダブルアダプター 75mm チタン	100	チタン	225	31,200	一方向平行移動
ダブルアダプタ 32mm アルミ	100	アルミ	66	21,400	
ダブルアダプタ 45mm アルミ	100	アルミ	76	23,000	
ダブルアダプタ 60mm アルミ	100	アルミ	88	24,200	
ダブルアダプタ 75mm アルミ	100	アルミ	100	25,900	
メスダブルアダプタ 32mm チタン	166	チタン	90	41,000	
メスダブルアダプタ 45mm チタン	166	チタン	102	42,600	
メスダブルアダプタ 60mm チタン	166	チタン	119	42,600	
メスダブルアダプタ 75mm チタン	166	チタン	135	42,600	
ダブルピラミッドレシーバー 32mm チタン	100	チタン	93	26,300	
ダブルピラミッドレシーバー 45mm チタン	100	チタン	105	28,100	
ダブルピラミッドレシーバー 60mm チタン	100	チタン	115	30,100	
ダブルピラミッドレシーバー 75mm チタン	100	チタン	135	31,900	
回旋 穴あり ピラミッド チタン	100	チタン	38	12,500	角度(片側のみ)・回旋調整 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
回旋 穴なし ピラミッド チタン	100	チタン	46	12,500	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ねじつきブラグ	100	チタン	100	14,200	
ステンソケット用ピラミッドアダプタ	136	ステンレス	90	23,600	高さ調整
直結アダプタ用ピラミッド ステンレス	100	ステンレス・アルミ	94	10,900	
ソケット直結オスピラミッド チタン	166	チタン	56	25,400	
回旋穴明ピラミッド チタン	100	チタン	38	16,100	
ねじつきジャック	100	チタン	46	17,800	
直結アダプタ用ピラミッド チタン	166	チタン	53	29,900	
ソケット直結メスピラミッド	100	ステンレス	38	45,000	
ピラミッドレシーバー ネジ式	150	ステンレス	210	11,700	角度(片側のみ)・回旋・高さ調整
回旋ピラミッドレシーバー ステンレス	100	ステンレス	106	15,600	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
回旋ピラミッドレシーバー チタン	100	チタン	70	23,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
回旋ピラミッドレシーバー ステンレス	100	ステンレス	76	13,700	
回旋ピラミッドレシーバー チタン	100	チタン	50	22,000	
トータルニー用近位ステンレスピラミッド	100	ステンレス	111	28,400	
ピラミッドアダプター ネジ式	150	チタン	70	26,900	回旋調整
トータルニー用近位メスピラミッド チタン	166	チタン	80	26,400	
ユーロ4穴アダプタ	100	アルミ	70	15,000	
スライディングプレート	100	チタン	39	15,300	
十字すべり子(0mm)	70	アルミ	24	3,000	
十字すべり子(10、20、30、40、50mm)	70	アルミ	10-49g 20-87g 30-98g 40-111g 50-121g	9,500	
十字すべり子延長継手(50mm)	70	アルミ	142	9,500	
スペーサー(1インチ)	100	アルミ	95	2,500	
スペーサー(1 1/2インチ)	100	アルミ	105	3,600	
スペーサー(1/2インチ)	100	アルミ	85	1,800	
スペーサー(2インチ)	100	アルミ	160	3,600	
ピラミッドアダプタ凸	100	アルミ	100	9,600	回旋調整
ソケットスライドアダプター 大	150	ステンレス	550	24,100	角度・一方向の移動
ソケットスライドアダプター 小	150	ステンレス	440	24100	
すべり溝つき血受	70	アルミ	102	7,700	角度(片側のみ)・回旋調整・一方向平行移動
M0292 用吸着ピラミッドキット	100			9,900	
パイプ継手つき血受	100	アルミ	83	6,400	
サイム用血受(J-Foot L)	100	アルミ	46	5,400	
サイム用血受	70	アルミ	54	2,800	
すべり溝つきピラミッドジャック	80	アルミ	96	17,800	角度(片側のみ)・一方向平行移動
スライディングアダプター アルミ	100	アルミ	205	25,800	二方向平行移動
膝継手上部取付ピラミッド PYRAMID ADAPTOR CaSTANCE SHIN	166	アルミ・ステンレス	50	22,100	
膝継手上部取付ピラミッド FULL ALIGN. PYRAMID	100(K1-K4)/125(K1-K3)	アルミ・ステンレス	103	37,900	

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
							ラボック M0452
							ホスマー 60950
							ホスマー 60951
							ホスマー 60952
							ホスマー 60953
							ホスマー 60955
							ホスマー 60956
							ホスマー 60954
							オットーボック 6A41
							マインド SCA211
							マインド SCA215
							マインド SCA233
							マインド SFS210
							マインド SFS220
							マインド SFS221
							Proteor 1K160
							ウィローウッド FND-135105
							ウィローウッド FND-135107
							オズール L-180001
							徳林 TWP-A2
							徳林 TWP-AP2
							ナブテスコ N-J201
							フリーダムイノベーションズ AC124
							オズール A-342430
							高崎 TG2025
							高崎 TG2025S
							高崎 TG2026
							高崎 TG2026S
							高崎 TG2030
							高崎 TG2031
							高崎 TG2032
							高崎 TG2035
							高崎 TG2035S
							高崎 TG2036
							高崎 TG2036S
							高崎 TG2045
							高崎 TG2045S
							高崎 TG2055
							高崎 TG2055S
							高崎 TG2116
							高崎 TG3027
P3040101	接続部品	チューブ	φ80 チューブ	ピラミッド(メス)	φ80 チューブと他端がーピラミッド(メス)による接続		オットーボック 2R2
							オットーボック 2R3
							オットーボック 2R37
							オットーボック 2R38
							オットーボック 2R49
							オットーボック 2R50
							オットーボック 4R72=D
							ラボック M0870
							ラボック M0871
							ラボック M0463
							ラボック M0860
							オズール A-442100
							オズール A-742010
							オズール A-742020
							ナブテスコ N-P221
							マインド SPA200-B
							ホスマー 60429
							ホスマー 60430
							マインド SSL250-BX
							マインド SSL260-B1
							マインド SSL260-B2
							マインド SSL260-B3
							マインド SSL250-AX
							ホスマー 60245
							ホスマー 60246
							ホスマー 60558

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
すべり子つきピラミッドブラグ	100	ステンレス	101	15,600	
ピラミッドレシーバー凹溝付	100	ステンレス	76	22,400	
ピラミッドレシーバー凸溝付	100	ステンレス	73	20,900	
ピラミッド凹溝付	100	ステンレス	65	22,400	
ピラミッド凸溝付	100	ステンレス	144	20,900	
凸凹アダプター	100	ステンレス	74	20,900	
4 ホールプレート凸溝付	100	ステンレス	54	20,900	
30mmチューブクランプアダプター凹溝付	100	アルミ	82	22,400	
スライディングプレート	125	アルミ	105	15,600	一方向平行移動
	136	チタン	71	4,250	高さ調整
ALS アダプター				42,300	製造中止のため次回申請時削除
チタンラミネーションアダプター	136	チタン	52	24,700	
フットスペーサー	136	樹脂	111	6,100	
フットスペーサー	136	樹脂	111	6,400	
フットスペーサー	136	樹脂	111	6,800	
ニューコネクタ	100	ステンレス・アルミ	70	13,900	
フォワードアングルオフセットプレート	115	アルミ	53	11,400	
リバースアングルオフセットプレート	115	アルミ	54	11,400	
アイスロック 100 注型キット	-	アルミ	98	23,200	
ウェッジプレート(金属製・大腿用)	100	アルミ	65	1,400	
ウェッジプレート(プラスチック・大腿用)	100	プラスチック	30	700	
アッパージョイント	100	ステンレス	199	17,000	
シルエット用インサート		ナイロン樹脂	50	17,800	
固定式 14.5mm オフセットアダプタ				60,300	
ターンテーブル上受け皿				5,800	
TG2025 軽量用				5,700	
パイプクランプアダプタ斜面円盤用球面付き				6,800	
TG2026 軽量用				6,800	
アライメントアダプタ十字スライド付き				25,200	
コンパクトアライメントアダプタ(軽量主に下腿用)				16,100	
TG2031 用ソケットプレート				4,400	
膝直付け用アライメント受け皿				4,600	
TG2035 軽量用				4,600	
パイプ内部型アダプタ(ターンテーブルとパイプを結合)				4,600	
TG2036 軽量用				4,600	
パイプ直付け受け皿				5,400	
TG2045 軽量用				5,400	
ソケット用受け皿				10,300	
TG2055 軽量用				10,300	
十字スライダアタッチメント				5,900	
下腿用球面アダプター				7,300	
ショートチューブアダプター(200mm)	100	ステンレス	195	12,500	
ロングチューブアダプター(400mm)	100	ステンレス	315	13,100	
ショートチューブアダプター チタン	100	チタン	160	21,400	
ロングチューブアダプター チタン	100	チタン	275	22,600	
チューブクランプアダプター ロング アルミ	100	アルミ	240	21,600	
チューブアダプター ショート アルミ	100	アルミ	155	19,300	
コネクションアダプター 30mm 調整ネジ付	150	ステンレス・チタン	70/150	20,300	
ジャック付パイプ(250mm)	100	チタン・アルミ	190	62,000	角度・高さ
ジャック付パイプ(500mm)	100	チタン・アルミ	308	66,600	角度・高さ
パイロンジャック	100	アルミ	75	14,200	角度・高さ
ジャック付カーボンパイプ	100	アルミ・カーボン	213	44,900	角度・高さ
雌シングルアダプタ アルミ	100	アルミ	86	31,300	
雌パイロン 250mm アルミ	100	アルミ	199	16,400	
雌パイロン 400mm アルミ	100	アルミ	280	18,000	
アダプタ付パイプ φ80	100	チタン・アルミ	255	22,700	
アルミパイロン	136	アルミ	280	19,900	
400mm チューブアダプター スチール	136	ステンレス	350	17,000	
300mm チューブアダプター スチール	136	ステンレス	286	16,600	
セレクトパイロン クランプ付パイプ	166	ステンレス	186	42,300	コンソジット素材
セレクトパイロン	18	ステンレス	186	22,700	コンソジット素材
セレクトパイロン	34	ステンレス	186	22,700	コンソジット素材
セレクトパイロン	54	ステンレス	186	22,700	コンソジット素材
セレクトパイロン フレア付パイプ	136	ステンレス	186	36,600	端部:特殊形状、コンソジット素材
400mm チューブアダプター チタン	136	チタン	321	28,500	
300mm チューブクランプアダプター チタン	136	チタン	258	28,100	
ショートチューブアダプター チタン	136	チタン	110	40,900	

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
						オズール	A-746010
						オズール	A-746020
						オズール	A-445100
						マインド	SPA200-M
						オットーボック	2R38=10
						啓愛	K-TB58SS
						啓愛	K-TB58AL
						啓愛	K-TB58TI
						啓愛	K-TB58H100TI
						フィラワー	124119
						フィラワー	124121
						フィラワー	124127
						フィラワー	124137
						啓愛	A1-14-15AL
啓愛	A1-14-15SS						
啓愛	A1-14-15TI						
啓愛	A1-14-20TI						
P3040102			φ80 チューブ	ピラミット(メオ)	φ80 チューブ と他端がピラミッド(オス)による接続	オットーボック	4R84=D
						ラボック	M0451
						ラボック	M0453
						ラボック	M0451-40
						オズール	A-433110
						オズール	A-733020
						オズール	A-433120
						オズール	A-435110
オズール	A-435120						
P3040103			φ80 チューブ	φ80 チューブ	両端チューブのまま	啓愛	A1-12-1
						啓愛	A1-12-2
						啓愛	A1-14-21AL
						啓愛	A1-14-22AL
						ラボック	M0820
						ラボック	M0821
						ラボック	SL0810
						ラボック	SL0811
						徳林	TTG-14
						徳林	TTT-17
						ホスマー	60550
						マインド	SSL250-PX
						マインド	SPA200-P
						オズール	A-712010
						オズール	A-712020
						高崎	TG2018
						高崎	TG2019
						高崎	TG2020
高崎	TG2119						
啓愛	K-TB88AL						
フィラワー	125032						
フィラワー	238024						
P3040104			φ80 チューブ	その他	チューブと他端は様々な接続	ラボック	M0330
						ラボック	M0333
						ラボック	M0520
						オズール	A-421100
						マインド	SPA200-F
						マインド	SAS210
P3040201			φ84 チューブ	ピラミット(メス)	φ84 チューブと他端がピラミッド(メス)による接続	オットーボック	4R75=D-70
						オットーボック	2R57
						オットーボック	2R58
						オットーボック	2R82
						オットーボック	2R81
						オットーボック	2WR95
						オットーボック	2WR95=1

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
メスパイロン ショート チタン製 チューブクランプ/カーボンチューブ	166	チタン	250	28,100	
メスパイロン ロング チタン製 チューブクランプ/カーボンチューブ	166	チタン		29,800	
メスシングルアダプタ チタン	166	チタン	118	40,600	
アルミパイロン	136	アルミ	272	25,600	コンポジット素材
傾斜角付チューブアダプター	100	チタン	275	21,800	
チューブクランプアダプター ステンレス	100	ステンレス/アルミ	334	12,900	
チューブクランプアダプター アルミ	100	アルミ	300	16,800	
チューブクランプアダプター チタン	100	チタン/アルミ	302	22,400	
ピラミッドレシーバー付アダプター 100mm 長 チタン	100	チタン	132	28,400	
パイロンチューブ 250mm チタンアダプタ付				23,000	
パイロンチューブ 250mm アルミアダプタ付				15,600	
パイロンチューブ 430mm アルミアダプタ付				16,300	
パイロンチューブ 430mm チタンアダプタ付				23,400	
アルミピラミッドレシーバー付 30mm 径アルミチューブ	100	アルミ	300	17,300	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
ステンレスピラミッドレシーバー付 30mm 径アルミチューブ	100	ステンレス/アルミ	334	10,500	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
チタンピラミッドレシーバー付 30mm 径アルミチューブ	100	チタン/アルミ	302	18,200	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
チタンピラミッドレシーバー付 30mm 径チタンチューブ	100	チタン	132	28,400	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
ピラミッドパイプ	150	チタン	65	18,400	
ピラミッドブラグ	100	アルミ	61	11,400	
パイロンブラグ	100	アルミ	87	15,600	
ブラグ(M1002 用)	100	アルミ	73	11,400	
雄シングルアダプタ 50mm アルミ	100	アルミ	60	20,300	
雄パイロン 400mm アルミ	100	アルミ		15,300	
雄シングルアダプタ 77mm アルミ	100	アルミ	86	24,200	
オスシングルアダプタショート チタン	166	チタン	80	38,100	
オスシングルアダプタロング チタン	166	チタン	103	41,600	
30mm 径アルミチューブ 200mm 長	100	アルミ	94	900	
30mm 径アルミチューブ 400mm 長	100	アルミ	186	1,750	
30mm 径アルミチューブ 385mm 長	100	アルミ	233	8,800	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
30mm 径アルミチューブ 910mm 長	100	アルミ	537	11,800	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
パイプ(L=250mm)	100	アルミ	122	4,100	
パイプ(L=500mm)	100	アルミ	244	8,300	
チタンフィルム入りカーボンパイプ	100	カーボン	90	21,400	
チタンフィルム入りカーボンパイプ	100	カーボン	163	35,600	
グラファイトパイプ	100	カーボン	131	20,700	
チューブ	100	アルミ	260	3,400	
チューブ	136	ステンレス	572	9,700	
セレクトパイロン ストレートパイプ	136	コンポジット素材	126	25,300	
アルミパイロン	136	コンポジット素材	219	3,400	
パイロンチューブショート	100	アルミ		15,600	
パイロンチューブロング	100	アルミ	204	16,300	
パイプ(長さ=300mm)				2,250	
パイプ(長さ=400mm)				3,000	
パイプ 25φ(長さ=400mm)				2,300	
パイプ(長さ=250mm)				2,250	
チューブ アルミ	100	アルミ	233	8,000	
パイロンチューブ 250mm				2,150	
パイロンチューブ 900mm				6,800	
皿受つきパイプ(L=200mm)	70	アルミ	133	7,100	
皿受つきカーボンパイプ	100	アルミ・カーボン	105	25,600	
すべり子つきパイプ(L=200mm)	70	アルミ	150	7,200	
4 穴シングルアダプタ アルミ	100	アルミ		23,100	
アルミパイロン	102	アルミ	317	22,700	コンポジット素材
アングルパイプ	136	樹脂	294	38,400	
コネクションアダプター 34mm	150	ステンレス	170	13,400	
チューブアダプター 34mm ショート	150	チタン	220	25,600	
チューブアダプター 34mm ロング	150	チタン	330	23,200	
チューブアダプター C レッグ用	150	チタン	178-256	205,700	センサー内蔵
トーションアダプター C レッグ用	150	チタン	438-482	242,000	センサー内蔵
チューブアダプター ウォータープルーフ 34	150	チタン	330	22,000	防水加工
傾斜角付チューブアダプター ウォータープルーフ 34φ	150	チタン	330	23,400	防水加工

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
						ナブテスコ	N-P113
						ナブテスコ	N-P112
						プロテオール	N-P444
P3040202			φ34 チューブ	φ30 チューブ	φ34 チューブとφ3 チューブ	ナブテスコ	N-P233
P3040203			φ34 チューブ	φ34 チューブ	両端 φ34 チューブ	オットーボック	2R36
						ナブテスコ	N-P135
P3050101	接続部品	クランプアダプタ	φ30 チューブ クランプアダプタ	ピラミッド(オス)	φ30 チューブ用のクランプアダプタ、他端はピラミッド(オス)接続	オズール	A-335100
						オズール	A-333100
						オズール	A-342100
						ラボック	M0455
						啓愛	A1-14-24SS
						啓愛	A1-14-24TI
P3050102			φ30 チューブ クランプアダプタ	ピラミッド(メス)	φ30 チューブ用のクランプアダプタ、他端はピラミッド(メス)接続	啓愛	A1-14-14AL
						啓愛	A1-14-14SS
						啓愛	A1-14-14TI
						ウィローウッド	FND-130030
						ウィローウッド	FND-220030
						ダウ	GUPT-FCLAMP
						ナブテスコ	N-D222
						ピー・オー・テック	POTEC CA-1
						ラボック	M0468
						オズール	A-345100
						オットーボック	4R21
						オットーボック	4R52
						オットーボック	4R69
						ラボック	M0461
						ラボック	M0471
						マインド	SCA270
						啓愛	K-CA75AL
						啓愛	K-CA75SS
						啓愛	K-CA75TI
						マインド	SCA220
						マインド	SCA225
						マインド	SCA232
						ホスマー	60247
						ホスマー	60400
						徳林	TKC-01BK
						オットーボック	4R56
						オットーボック	4R98
						オットーボック	4R103
						啓愛	A1-14-11TI
						啓愛	A1-14-12TI
啓愛	A1-14-13TI						
啓愛	K-CA75A10TI						
啓愛	K-CA75O5TI						
啓愛	K-CA75SLTI						
高崎	TG2200						
P3050103			φ30 チューブ クランプアダプタ	その他	φ30 チューブ用のクランプアダプタ、その他の接続	啓愛	A1-3
						ラボック	M0900
						ラボック	M0412
						高崎	TG2005
						高崎	TG2006
						高崎	TG2016

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
アダプタ付パイプ φ84	100	アルミ	111	24,100	
アダプタ付パイプ φ84	100	ステンレス ・アルミ	298	15,900	
アダプタ付パイプ φ84 アルミ 125kg 対応	125	アルミ	121	29,800	
段付パイプ(φ84-φ80)	100	アルミ	144	15,900	
大腿用チューブ 34mm 150kg対応	150	アルミ	210	10,600	
ストレートパイプ(φ84)	100	アルミ	159	2,800	
ストレートパイプ φ84 420mm アルミ 125kg 対応	125	アルミ	235	13,400	
オスピラミッド付チューブクランプ チタン	166	チタン	82	21,300	
雄ピラミッドチューブクランプ アルミ	100	アルミ	62	13,700	
チューブクランプ アルミ	100	アルミ	64	26,400	
パイプ継手つきブラグ	100	アルミ	74	24,100	
チューブクランプ SS(ピラミッド付)	100	ステンレス	95	14,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
チューブクランプ TI(ピラミッド付)	100	チタン	58	30,700	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッドレシーバー 30mm チューブクランプ アルミ	100	アルミ	85	20,200	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッドレシーバー 31mm チューブクランプ ステンレス	100	ステンレス	126	8,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッドレシーバー 32mm チューブクランプ チタン	100	チタン	80	23,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
クランプアダプタ アルミ	115	アルミ	86	8,900	
クランプアダプタ	115	チタン	100	18,400	
クランプアダプタ	100	チタン	81	13,500	
パイプアダプタ(φ80)チタン合金	100	チタン	78	29,800	
チタン製クランプアダプター	80	チタン	75	42,100	
傾斜つきピラミッドジャック(8°)	100	アルミ	114	26,300	
メスピラミッド付チューブクランプ チタン	166	チタン	78	26,500	
チューブクランプアダプター	100	ステンレス	130	11,100	
チューブクランプアダプター チタン	100	チタン	75	29,700	
チューブクランプアダプター アルミ	100	アルミ	75	25,100	
パイプ継手つきピラミッドジャック(アルミクランプアダプタ)	100	アルミ	70	23,800	
パイプ継手付ジャック(Ti)(チタンクランプアダプタ)	100	チタン	73	46,200	
ステンレスチューブクランプ	136	ステンレス	109	16,000	
チューブクランプ 30mm アルミ	100	アルミ	85	17,300	
チューブクランプ 30mm ステンレス	100	ステンレス	138	10,900	
チューブクランプ 30mm チタン	100	チタン	81	26,100	
チタンチューブクランプ	136	チタン	77	35,500	
チューブクランプ アルミクランプ付	136	チタン	69	28,700	次回申請時部品名称変更
チタンラミネーションアダプター	100	チタン	53	24,700	
チタンチューブアダプター	135	チタン	61	32,200	
ステンチューブアダプター	135	ステンレス	108	15,200	
グラファイトピラミッドクランプアダプタ	100	アルミ	78	13,400	
傾斜角付クランプアダプター チタン	100	チタン	85/100	35,500	傾斜付き
スライド式クランプアダプター 30mm	75	アルミ	150	32,700	スライド機能付き
スライド式クランプアダプター チタン	85	チタン	185	42,600	スライド機能付き
ピラミッドレシーバー30mm チューブクランプ 5mm オフセット チタン	100	チタン	100	25,600	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可 オフセット付き
ピラミッドレシーバー30mm チューブクランプ 10° 傾斜 チタン	100	チタン	82	28,400	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可 傾斜付き
ピラミッドレシーバー30mm チューブクランプ スライド機構 チタン	100	チタン	82	42,600	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可 スライド機能付き
チューブクランプ 10° 傾斜 チタン	100	チタン	83	35,200	傾斜付き
チューブクランプ 5mm オフセット チタン	100	チタン	102	32,600	オフセット付き
スライドチューブクランプ 30mm チタン	100	チタン	179	52,700	スライド機能付き
PY アライメントアダプタ上部			74	19,200	
ソケットアタッチメント	100	アルミ /ステンレス	194	18,700	
アライメントスリーブ(メタル)	100	アルミ	56	5,800	
すべり子つきパイプ継手	70	ステンレス	176	24,400	
アライメントアダプタ(角度調製用パイプアダプタ)			98	17,800	
パイプクランプアダプタ(アライメント調製無)			61	7,400	
十字スライダーアタッチメント(ラボック滑り子結合)			81	9,700	

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
						高崎	TG2086
						高崎	TG3024
P3050201			φ84 チューブ クランプアダ プタ	ピラミッド(オ ス)	φ84 用・ピラミッド(オス)	オットーボック	4R82=P
P3050202			φ84 チューブ クランプアダ プタ	ピラミッド(メ ス)	φ84 用・ピラミッド(メス)	パウアーファインド	G-017
						オットーボック	4R156
						オットーボック	4R156=1
						オットーボック	4R156=2
						オットーボック	4R82
						オットーボック	4R91
						オットーボック	4WR95=3
						ナブテスコ	N-D111
						フリーダムイノ ベーションズ	AC123
						プロテオール	N-D431
						オットーボック	4R88
P3050301			φ25 チューブ クランプアダ プタ	その他	φ25 チューブ用のクラン プアダプタ、その他の接 続	高崎	TG2005S
						高崎	TG2006S
						高崎	TG2016S
						高崎	TG2086S
P3030101C	接続部品 (小児用)	ブロック	ブロック	四つ穴取り付 け	木やウレタンのソケット埋 め込み部と四つのネジ取 付け穴	オットーボック	5R9
						ウィローウッド	PPF-700-250
						ウィローウッド	700-250
						マインド	SLB240
						徳林	TWB-C
P3030201C		ソケットアダ プタ	ソケットアダ プタ	その他	ソケットアダプタ・四つの ネジ取付け穴	オズール	AJ-122100
						啓愛	A1-14-2PAL
						ラボック	C0200
						オズール	AJ-114040
						オットーボック	4R110
P3030301C		コネクタ	その他	その他	ボルトピラミッドオス	ラボック	C0300
						ラボック	C0350
						オットーボック	4R60
						オズール	AJ-133300
						オズール	AJ-233100
						オズール	AJ-142300
						オズール	AJ-242100
						オズール	AJ-11404
						オズール	AJ-831300
						徳林	TSC-WC
						ウィローウッド	PPF-137004
						ウィローウッド	PPF-GKIT
						ウィローウッド	PPF-138027
						ウィローウッド	PPF-138051
						ウィローウッド	PPF-227014
						ウィローウッド	PPF-SP471
						徳林	TWP-C2
						ブラッチフォード	019145
P3040101C		チューブ	φ20 チューブ	ピラミッド(メ ス)	チューブと他端が - ピラ ミッド(メス)による接続	オットーボック	2R41=1 及び 2R4
						オットーボック	2R48
						啓愛	A1-14-15PAL
						ラボック	C0463
P3040102C			φ20 チューブ	ピラミッド(オ ス)	チューブと他端が ピラ ミッド(オス)による接続	オズール	AJ-712010
P3040103C			φ20 チューブ	チューブ	両側チューブ	ラボック	C0801
						ウィローウッド	PPF-130030
						徳林	TTC-15
P3040104C			φ20 チューブ	その他	チューブと他端は様々な 接続	ブラッチフォード	330129
						ブラッチフォード	330130
P3050100C		クランプアダ プタ	φ2 チューブクランプアダ プタ		小児用	オットーボック	4R66
						オズール	AJ-342100

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
パイプクランプバンド型 斜面円盤(軽量アライメント調整用)			20	3,300 2,200	
ピラミッド付チューブクランプアダプター 34mm チタン	150	チタン	90	24,200	
クランプアダプター チタン製 30φ	100	チタン	69	20,800	
傾斜角付クランプアダプター 34mm 10°	150	チタン	140	53,300	傾斜付き
傾斜角付クランプアダプター 34mm 20°	150	チタン	165	53,300	傾斜付き
傾斜角付クランプアダプター 34mm 30°	150	チタン	175	53,300	傾斜付き
チューブクランプアダプター 34mm チタン	150	チタン	95	33,100	
チューブクランプアダプター 34mm ステンレス	150	ステンレス	140	8,000	
クランプアダプター ウォータープルーフ 34φ	150	チタン	105	26,900	防水加工
パイプアダプター(φ84)ステンレス合金	100	ステンレス	151	12,400	
シルエット用コネクタ	100	チタン	100	26,300	
パイプアダプター φ84 アルミ 125kg 対応	125	アルミ	120	26,900	
スライド式クランプアダプター 34mm	100	チタン	185	31,200	スライド機能あり
アライメントアダプター 25mmパイプ用				15,700	
パイプクランプアダプター(25mmパイプ用)				7,400	
TG2016 軽量用				9,700	
TG2086 軽量用				3,300	
ソケット取り付けブロック 小児用	45	プラスチック	125	3,800	
小児用ソケットブロック	60	コンポジット	33	6,900	
小児用ソケットブロック				6,900	
ラミネートブロック子供用	65	樹脂	93	9,900	
小児用木ブロック	100	木	76	3,100	
ジュニア用 4 穴ソケットアダプター				9,900	
小児用(22mm 径チューブ仕様) 4 短羽穴あり ピラミッド アルミ	40	チタン・アルミ	39	12,900	高さ調整 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ソケットホルダ(小児用)	45	ステンレス	73	12,700	回旋調整
小児用ソケットコネクタ(長断端用)	45	ステンレス	79	18,300	
ソケットアダプター 小児用回旋機構付	45	アルミ	55	31,900	
ソケットプラグ(小児用)	45	ステンレス	55	19,900	角度(片側のみ)・回旋調整
ソケットジャック(小児用)	45	ステンレス	43	19,900	
ソケットアダプター(調整ネジ付)小児用	45	アルミ	45	9,600	角度(片側のみ)調整
ジュニア用ソケット直結オスピラミッド	45	ステンレス ・アルミ	36	14,200	
ジュニア用 4 穴オスピラミッド	45	ステンレス ・アルミ	39	14,200	
ジュニア用ソケット直結メスピラミッド	45	アルミ	36	9,500	
小児用 4 穴雌ピラミッド	45	アルミ	34	14,200	
小児用ソケットコネクタ(長断端用)	45	ステンレス	79	18,300	
小児用ピラミッドアダプター	45	チタン・アルミ	41	24,100	
小児用ワイヤーソケットコネクタ(大腿用)	55	アルミ	65	7,900	
小児用 4 ホールピラミッド(メス)	60	アルミ	30	14,300	
小児用グロウスキット	60	アルミ	18.2	17,500	
小児用ダブルアダプター(27mm)	60	アルミ	44	15,900	
小児用ダブルアダプター(51mm)	60	アルミ	65	17,500	
小児用 4 ホールピラミッド(オス)	60	チタン	30	14,300	
小児用サクシジョンピラミッド	60	チタン	33	14,900	
小児用ウェッジプレート	100		10	600	
ソケットアダプター-BK 子供用 DEMOUNTABLE BK 25mm	60	アルミ・カーボン	225	66,000	
チューブアダプター 小児用	45/35	アルミ	140 /125	9,900	
傾斜角付チューブアダプター	45	アルミ	105	9,700	
小児用(22mm 径チューブ仕様)アルミピラミッド ドレシーバー付 22mm 径アルミチューブ	40	アルミ	60	12,900	角度・回旋
パイロンジャック(小児用)	45	アルミ	46	14,200	角度・高さ
小児用チューブ	45	アルミ	104	24,100	
パイプ(L=400mm)(小児用 φ22)	45	アルミ	140	4,250	
小児用チューブ	60	アルミ	119	5,700	
小児用チューブ	55	アルミ	140	2,100	
カーボンパイプ子供用 25×180 mm C/FIBRE TUBE	60	カーボン	不明	14,200	
カーボンパイプ子供用 25×300 mm T-F SYSTEM CARBON TUBE	60	カーボン	不明	31,300	
チューブクランプアダプター小児用	45	アルミ	45	9,200	
小児用クランプアダプター	45	アルミ	48	17,000	

コード	名称		機能区分(構造)	機能概要		メーカー名	
						啓愛	A1-14-14PAL
						オハイオ	PPF-130000
						徳林	TBC-0
						ラポック	C0461
						ラポック	C0464
						ラポック	C0468
						ラポック	C0900
						フィラワー	124170
						フィラワー	125101
						フィラワー	125106
						マインド	SCA292

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
小児用(22mm 径チューブ仕様) ピラミッドレシーバー22mm 径クランプ アルミ	40	アルミ	31	12,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
小児用クランプアダプタ	60	アルミ	45	12,800	
C.小児用クランプアダプタ	60	アルミ	90	7,200	
パイプジャック(小児用)	45	アルミ	37	23,800	
パイプジャック(Φ30-小児用プラグ)	45	アルミ	46	23,800	
傾斜ジャック(小児用)	45	アルミ	42	26,300	
スリーブ(小児用 Φ22-Φ30)	45	アルミ	30	6,050	
パイロンチューブクランプ ピラミッド取付台				11,600	
パイロンチューブクランプ 足部取付台付				11,900	
パイロンチューブクランプ				12,800	
チタン子供用クランプアダプター	54	チタン	35	26,400	

4. 足の形状をつくる外装のための部品 【外装用部品】

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	メーカー品番
P4010100	外装用部品 コネクション プレート	コネクションプレート		足部とフォームカバーの 接続を容易にする	オットーボック	2R14
					オットーボック	2R22
					啓愛	A1-15-3
					ホスマー	60260
					ウィローウッド	CC2L-GP CC2L
					ラポック	M12-001
					ラポック	M12-005
					ラポック	M12-007
					ラポック	M12-008
					ブラッチフォード	AFST20
					ブラッチフォード	561041
					ブラッチフォード	561042
ブラッチフォード	561045					
ブラッチフォード	561046					
P4010201	フォームカ バー	下腿用フォー ム	軟質フォーム	下腿部用軟質フォームカ バー	川村義肢	JK-F110
					オットーボック	6R6
					ラポック	M1210
					ラポック	M1211
					高崎	TG4036
P4010202		下腿用フォー ム	硬質フォーム	下腿部用硬質フォームカ バー	オットーボック	6R8
					ウィローウッド	OWW-700BK
					ウィローウッド	CFB-1BK
					ブラッチフォード	561014/56101 5/561012
					ラポック	M1215
P4010203		下腿用フォー ム	硬質フォーム 脚の形状に 削り出しあり	硬質フォーム 脚の形状に削り出してあ る	オズール	FCX0002
					オットーボック	6R18
					マインド	SEC201
					マインド	SEC202
					徳林	TFC-EC EVA
P4010301		股・大腿用 フォーム	軟質フォーム	軟質フォーム	ラポック	M1207
					徳林	TFC-0A
					ラポック	M1201
					ラポック	M1202
P4010302		股・大腿用 フォーム	軟質フォーム 脚の形状に 削り出しあり	軟質フォーム 脚の形状に削り出してあ る	オットーボック	3R6
					オットーボック	3R24
					オットーボック	3S26
					オットーボック	3S27
					オットーボック	3S106
					オットーボック	3S107
					オハイオ	OWW-700AK
					高崎	TG4035
					ブラッチフォード	560029
					ブラッチフォード	561020
					ナブコ	N-F111
					ラポック	M1203-R
					ラポック	M1203-L
					ブラッチフォード	561016
					ブラッチフォード	561017
ブラッチフォード	561018					
ブラッチフォード	561019					
ブラッチフォード	561079					
P4010303		股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (大腿部の み)	大腿部用の硬質フォーム	ブラッチフォード	561001
					ブラッチフォード	561004
					ブラッチフォード	561051
ブラッチフォード	561052					
P4010304		股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (下腿部の み)	下腿部の硬質フォーム	ブラッチフォード	579819
					ブラッチフォード	579919

部品名称			価格(円) (基準価格)	特記事項
コネクションプレート 2R8/2R31/2R54 用			900	
コネクションキャップ 2R10/2R51/2R33 用			2,050	
コネクションキャップ			1,400	
コネクター			1,550	
コネクションプレート			2,900	
ジョイントカバー(単軸足部用)			1,550	
ジョイントカバー(スーパーフット用)			6,700	
コネクションプレート(J-Foot 用)			1,900	
コネクションプレート(J-Foot L 用)			3,200	
アングルフォーム 20 mm 差高 22~30			3,300	
アングルフォーム左 22/23 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
アングルフォーム右 22/23 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
アングルフォーム左 24/25 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
アングルフォーム右 24/25 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
JK フォームカバー			7,700	硬質のスポンジ製
フォームカバー 下腿用 軟性			8,800	
フォームカバー(下腿用・角型)			8,800	
フォームカバー(下腿用・丸型)			8,900	
フォームカバー(下腿用)			7,400	
フォームカバー 下腿用 硬性			7,900	
パسفインダー用 BK フォーム			12,500	
BK 用フォーム			9,900	
下腿用コーンフォーム 470mm TT FAIRING PTB 85x135x27/85x155x27/85x175x27			9,200	
フォームカバー(下腿用・角型・硬性)			8,200	
デュアルシティフォーム			19,100	
フォームカバー 下腿用 成形済			6,900	
下腿フォーム			20,000	
下腿フォーム			20,500	
フォームカバー(膝離断用)			16,400	
フォームカバー(空圧膝用・角型)			19,900	
フォームカバー(大腿用)			26,400	
フォームカバー(大腿義足用・角形)			19,900	
フォームカバー(大腿用、股離断用・角形)			19,900	
フォームカバー			19,500	
フォームカバー			20,700	
フォームカバー			18,700	
フォームカバー 股義足・大型膝継手用			25,500	
フォームカバー			20,100	ソケット収納用の削り加工
フォームカバー			20,700	
パسفインダー用 AK フォーム			20,900	
フォームカバー(大腿用)			16,500	
四軸股離断用フォームカバー			28,700	
大腿用フォームカバー FAIRING KNEE UNSHAPED			30,300	
フォームカバー(大腿用)			22,700	
フォームカバー(大腿用、股離断用)			22,700	
フォームカバー(大腿用、股離断用)			22,700	
大腿用フォームカバー-S 左			24,700	
大腿用フォームカバー-S 右			24,700	
大腿用フォームカバー-L 左			26,800	
大腿用フォームカバー-L 右			26,800	
フォームカバー AK 子供用			19,600	
大腿用コーンフォーム 420 mm × 25 mm厚			11,200	
大腿用コーンフォーム 490 mm × 25 mm厚			11,200	
大腿用コーンフォーム 450mm FAIRING THIGH-140x190x12			6,500	
大腿用コーンフォーム 450mm FAIRING THIGH-100x150x12			5,500	
ESK 大腿義足用 DISCONTINUOUS COSMESIS			130,100	ニーカバー含むキット
SFESK 大腿義足用 DISCON. COSMESIS EUK 160H			110,900	ニーカバー含むキット

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	メーカー品番	
P4010305		股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (下腿部の み)脚の形 状に削り出 しあり	硬質フォーム 脚の形状に削り出してあ る	Proteor	1G25-R	
					Proteor	1G28	
					センチュリー22 (オズール)	TK-2075	
P4010306		股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (下腿部と大 腿部を含む) 脚の形状に 削り出しあり		徳林	TFG-DF	
P4020100	カバー	下腿用カバー		下腿部用カバー	ラポック	M1244	
P4030100	ストッキング	縁取り用		フォームカバーの近位側 を固定する	オットーボック	99B15	
					ラポック	M1200	
					オットーボック	99B15	
					ラポック	M1200	
P4030200		股・大腿用		股・大腿用ストッキング	オットーボック	4R32	
					オットーボック	99B14	
					徳林	TCS-XA	
					ラポック	M1220	
					ラポック	M1222	
P4030300		下腿用		下腿用ストッキング	高崎	TTG4037	
					オットーボック	99B16	
					徳林	TCS-XB	
					ラポック	M1230	
					ラポック	M1232	
P4040100	リアルソックス	下腿用		足先から膝周辺までの 外装を足の質感に近づけ る	佐藤	佐藤 8-3	
					佐藤	佐藤 8-4	
					RSL スティーパー	SKY-SIZE	
					オルソヨーロッパ	U-950G	
					ダウ	DSK-BK	
					ダウ	DSST-BK	
P4040200		股・大腿用		足先から大腿部までの 外装を足の質感に近づけ る	佐藤	佐藤 8-5	
					オルソヨーロッパ	U-920G	
P4010101C	外装用部品 (小児用)	フォームカバ	下腿用フォー	軟質フォーム	軟質フォーム	ラポック	C1210
P4010201C			股・大腿用 フォーム	軟質フォーム	軟質フォーム	ラポック	C1201
P4010301C			股・大腿用 フォーム	軟質フォーム 脚の形状に 削り出しあり	軟質フォーム 脚の形状に 削り出しあり	オットーボック	3R48
P4020100C			ストッキング	股・大腿用	股・大腿用ストッキング	オットーボック	99B22

部品名称				価格(円) (基準価格)	特記事項
コスメティックカバー				23,400	膝継手 1P50-R 用1P50194-R と組み合わせて使用
コスメティックカバー				20,300	膝継手 1P110 用
トータルニー外装用フォームカバー				18,400	2145 と組み合わせて使用
EVA				17,000	
インスタントカバー				19,100	
縁取り用(オットーボック 99B14 と併用可)				1,400	
縁取り用バンド(大腿・下腿兼用)				2,200	
縁取り用(オットーボック 99B16 と併用可)				1,400	
縁取り用バンド(大腿・下腿兼用)				2,200	
仕上キット股義足用 2 枚				6,300	股義足用フォームカバー固定部品含む
コスメチックストッキング 2 枚				2,150	
大腿用ストッキングコンビネーション(厚手 1 枚+薄手 2 枚)				1,500	
ストッキング(大腿用)2 枚				2,000	
ストッキング(大腿用)2 枚(踵あり)(ダブルカバーリングヤーン糸)				3,400	
ストッキング(下腿用)2 枚				1,300	
コスメチックストッキング(下腿義足用)2 枚				1,300	
下腿用ストッキングコンビネーション(厚手 1 枚+薄手 2 枚)				1,500	
ストッキング(下腿用)2 枚				1,700	
ストッキング(下腿用)(ダブルカバーリングヤーン糸)				2,100	
下腿リアルカバー				36,400	塩化ビニール、長さ・周径調整:720min
下腿リアルカバー(指なしタイプ)				36,400	塩化ビニール、長さ・周径調整:720min
スキナジー				58,000	シリコーン
足用シリコンカバー				11,500	販売中止 平成 28 年度まで修理対応
DAW SKIN (下腿用)				35,500	
DAW SKIN 指又付(下腿用)				48,200	
足先リアルソックス				14,300	塩化ビニール、長さ・周径調整:720min シリコーン
大腿シルスキン				25,500	販売中止 ただし平成28年度まで修理対応可
Jカバー(小児下腿義足用)				8,800	
Jカバー(小児大腿義足用)				19,900	
フォームカバー 小児用				16,000	
コスメチックストッキング 小児用				900	

完成用部品機能区分に基づく部品価格制度案

研究分担者 我澤 賢之（国立障害者リハビリテーションセンター）
山崎 伸也（国立障害者リハビリテーションセンター）
研究協力者 長瀬 毅（流通経済大学経済学部）

研究要旨： 骨格構造義足完成用部品機能区分案を踏まえ、機能区分内の価格のちらばり等現況を調べるとともに、補装具製作事業者から見た完成用部品の仕入価格および補装具への加算価格に着目し、価格制度案について検討をおこなった。

主な結論は下記の3点である。

- ・現状では、区分内の部品の価格のちらばりがある程度大きい（平均48.0%）。
- ・仕入価格については、現行制度の固定価格制度が望ましいと考えられる。ただし、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。
- ・価格のちらばり等を考慮すると、加算価格については、部品毎に属する機能区分を明らかに示すと共に当面部品毎固定価格を採ることで、機能区分内の価格の平準化をゆるやかにもたらしうことが期待できる。
- ・長期的には、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられると考えられる。
- ・ただし機能区分毎固定価格制を用いるためには、今後完成用部品価格をどのように推移させていくかステークホルダー間の議論を重ねたうえで、価格算定制度、価格改定制度を定める必要がある。

A. 研究目的

本研究プロジェクトにおいて補装具完成用部品について機能区分を作することを提唱した背景には、個々の部品の機能が必ずしも解りやすくなく、また利用者の機能レベルや生活様式に対し必要な機能の部品を適切に処方するための情報が十分でないことなどから適合判定時の判断に地域差が生じる、類似部品間で価格差が大きい場合がある等の問題がある、といった認識があった。本研究の目的は、作成した完成用部品機能区分案に基づき、類似部品間で価格差を縮小させるための制度にかかる提案を示すことである。

具体的には、別項の分担研究報告書「完成用部品の機能区分整備」に示された骨格構造

義足完成用部品の機能区分案に基づき、

- （1）区分毎の価格の散らばり具合等が実際どのような状況かをまとめるとともに、
- （2）価格状況を踏まえ、機能区分に基づく価格制度について考えられる案を検討し提示する。

B. 研究方法

B-1. 機能区分毎の価格状況についての検討

機能区分案毎に属する部品の価格について、標準偏差と平均価格の比を算出し、価格の散らばりの状況を確認する。ただし、同一区分の部品であっても、付加機能がある、主な材料としてカーボン等高価な材料を使用している場合、そうでない部品と比べ価格が高

いことが考えられる。また、メーカーの推奨する使用者の身体機能レベル（Kレベル）が高い場合、そうでないものに比べ価格が高い傾向が見受けられる。製造中止が予定されている部品も、一定期間修理等対応は継続されるにしても、持続的な供給が予定されているわけではない。本項では、こうした部品の属性が価格に与える影響を除去するため、区分に定められた基本的な機能のみを有するものを対象として価格のちらばりの状況を確認するものとし、下記のいずれかを満たす部品を除去して算出を行った。

- ・付加機能がある。
- ・主な材料として、チタンもしくはカーボン、マグネシウムを含む。
- ・使用者の身体機能について、メーカー推奨 K レベルが K4 に対応している、もしくは「活発な歩行」を想定している。
- ・製造中止もしくは削除の予定がある。

B-2. 機能区分に基づく価格制度の検討

完成用部品の価格制度について、補装具製作事業者から見た（a）完成用部品供給業者からの仕入価格と（b）補装具価格への加算価格の定め方の2点に着目し、考えられる制度の類型分けをしたうえで、前項の結果を踏まえてそれぞれの制度における特性をまとめる。

C. 研究結果

C-1. 機能区分毎の価格状況についての検討

表1に区分毎の価格の平均、標準偏差ならびに「標準偏差÷平均」（区分内の有効品目数が3以上の場合のみ算出）、有効品目数を示す。全区分（148区分）のうち有効品目数が3以上の区分72について算出した「標準偏差÷平均」の値は最大値140.3%、平均48.0%、中位値42.4%、最小値8.5%であった。また「標準偏差÷平均」の値が50.0%以上である区分は29であった。これは現状において、区分内にある程度の大きさの価格の散らばりが存在することを示している。

また有効品目数が0、すなわち区分内の全ての部品がB-1の末尾に示した条件のいずれかを満たした区分が31あった。これは、区分に定められた基本的な機能のみを持つ部品がないことを示している。さらに分担研究報告書「完成用部品の機能区分整備」に示された骨格構造義足完成用部品の機能区分案を眺めると、当該機能区分に属する部品が1つしかなかったり、ある付加機能を持つ部品が1つしかない場合があることが確認できる。仮に、区分毎、付加機能毎の平均価格（あるいは一定パーセント点でもよいが）に基づき区分・付加機能の価格を設定しようとした際、当該部品の価格しか参照すべき情報がないことになる。

C-2. 機能区分に基づく価格制度の検討

個々の部品の機能区分が明示されることを前提とした部品価格制度について、表2に機能区分補装具製作事業者から見た仕入価格、加算価格の区分に基づく価格制度の類型分けを行い、それぞれの特徴をまとめた。仕入価格については固定価格制（年に1回申請に基づく更新機会）、オープン価格制の2種を、加算価格については部品毎の固定価格制、機能区分毎の固定価格制の2種を想定している。

現行制度は、ほとんど表の左上（仕入価格：固定価格制－加算価格：部品毎の固定価格制）と同じであり、唯一の違いは機能区分の明示の有無である。

以下、仕入価格についての特徴を簡単に述べ、ついで加算価格についての特徴ならびに参考とすべき類似制度を述べる。

仕入価格について

仕入価格については、現状固定価格制が採られている。これはどの補装具製作事業者も同じ部品は同じ価格で購入することになるため、補装具製作事業者の直面する完成用部品使用により得られる粗利（部品管理費を含む）の水準を厚労省がコントロールできる意

味を持つとともに、大量の部品のまとめ買いが困難な比較的小規模の事業所の保護に役立つメリットがある。その反面、完成用部品供給事業者は次期価格改定が行われるまでの期間（現行、年度単位）価格変更ができないため、為替リスク等を踏まえた価格申請をせざるをえない面があり、これが部品価格を引き上げる方向に作用している可能性がある点デメリットと考えられる。

オープン価格制に変更した場合、長短が入れ替わる。

加算価格について

加算価格を機能区分毎に設定することは、同等機能の部品の価格平準化を進めるうえで極めて強い効果を示すと考えられる。これを制度化するためには、個々の部品の機能区分と仕入価格等に基づく価格設定・改定のルール、それらの根拠である仕入価格等市場調査方法、該当機能区分をより厳密に審査するための組織・仕組み作りの整備が必要となる。

一方の、部品毎固定価格制のもとでも、機能区分を表示することで部品間の機能と価格の比較をしやすくなることから、部品価格が平準化していくことが考えられるものの、その価格変化の速度は機能区分毎固定価格制に較べゆるやかであることが考えられる。

区分別の部品価格（加算価格）のちらばりが大きい現状を踏まえると、当面は現行制度のまま機能区分を表示することで、機能区分毎の価格がゆるやかに平準化していくのを見守るのが望ましいと考えられる。

長期的には、前項制度を継続する選択肢の他、補装具への加算価格について機能区分毎価格を導入することも検討の余地がある。現状、アメリカ、フランスにおいては比較的安価な部品については機能区分別固定価格、高額部品については個別価格（米国保険制度では雑コードに相当）と両制度を併用している国もある。

日本の薬価制度も両制度制と言える。この分担研究所巻末の資料1に示す通り、薬価制

度では、現在銘柄別収載と統一（名）収載が併存している。両者は、それぞれ、部品毎固定価格制、機能価格毎固定価格制に対応する制度である。ただし薬価の場合は、元々統一（名）収載（一般名称・成分名）による薬価収載であった。これは薬剤の場合、成分・剤形・規格により機能が類似であるかどうかを判断しやすいということが背景にあったと考えられる。しかし後発医薬品の登場もあり価格表に掲載された薬価と病院・薬局による仕入価格（実勢価格）との差額（いわゆる薬価差）が大きく開く状況が生じることとなった。これは製薬会社による価格競争の恩恵が、医療費負担者に及びにくい状況が生じることを示している。これを踏まえ、昭和52年（1977年）11月、銘柄別収載が導入されることとなった。この点、先に部品毎固定価格制が導入されているなかで、加算価格のばらつきが問題と考えられている完成用部品とは事情が異なるものの、参考となりうる。

また日本の薬価制度の各種加算制度（資料2参照）や薬価調査に基づく薬価改定計算

新薬価

$$= (\text{実勢価格 (仕入価格) の加重平均} + \text{消費税}) \times \text{調整幅 (2\%)}$$

なども機能区分毎固定価格制の検討するうえでは参考になると考えられる。

D. 考察

仕入価格について

現状固定価格制であるが、これには一定のメリットがあり、加算価格が部品毎価格制の場合、総合的に見てオープン価格制のメリットを上回ると考えられる。1年間据え置きの固定価格を用いることで為替リスク等を踏まえ高めの価格設定をもたらしている部分もあるかもしれないが、補装具製作事業者の直面する完成用部品使用により得られる粗利（部品管理費を含む）の水準を厚労省がコントロールできることは納税者への説明上一定の必

要性を持つと考えられる。また、義肢製作産業は小規模の事業所が多数を占めることから小規模の事業所の保護にも一定の合理性があると考えられる。

ただし、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。仮に同一機能区分における加算価格が同一の部品間で仕入価格の異なる部品があった場合、補装具製作事業者は、購入費用以外の部品の調整・管理等にかかる費用を考慮しつつ総合的により安価なものを選択することが考えられる。この状況で仕入価格が固定価格制であるとすれば、相対的に高い仕入価格を設定した完成用部品供給事業者は、次の仕入価格変更の機会まで部品がほとんど売れないという状況が生じるだろう。仕入価格を長期間変更できないとすればこの点が問題になると思われる。したがって、短期間に仕入価格を変更できる仕組みを整備する必要があると考えられる。

加算価格にかかる両制度併用のメリット

アメリカ、フランスで部品毎固定価格制と機能区分毎固定価格制が併用して用いられているが、同様の制度設計の望ましさは経済学におけるエージェンシー理論での分析からも導き出せる¹。

結論としては、機能区分における基本機能のみをもつ部品については、機能区分毎固定価格制が望ましく（ただし機能区分内に十分な数の品目数を持たない区分の部品については除く）、それ以外の部品については部品毎の固定価格制が望ましい。

機能区分固定価格制と部品毎固定価格制を比較すると、前者のほうが供給費用を抑えることができる。しかしながら、付加機能を持つ部品等については区分の基本機能のみを考慮した加算設定では補装具製作事業者の採算

が取れず、また付加機能がある分の価格が高くなる分の評価が困難（同等付加機能を部品の品目数がそれほど多くない、付加機能間の効能の差異をどう評価するかが困難など）な場合付加機能に対し固定価格を採っても採算が取れないリスクがあることを鑑みると、費用上多少の非効率はあるとしても確実に供給を持続可能とする部品毎固定価格を採用するメリットがある。これらを総合して上記の結論を得る。

加算価格の機能毎固定価格制の前提となる価格算出、価格改定算出方法の選択について

結論の項で、機能毎固定価格制の前提として各種制度整備が必要であることを述べたが、特に価格改定に関するルール設計には注意を要する。これは、この選択如何によって、価格推移の方向が変わってくるからである。新設時の機能毎固定価格は仕入価格を元に何らかの算出方法（例えば、平均値もしくは一定のパーセント点値を算出する、あるいはそれに一定の調整率を乗ずる、など）を取ることが考えられる。

機能区分毎の価格を算出するうえで、計算対象となる部品は、丁度本稿の表1の作成対象としたような、区分の基本機能のみをもつ部品とするのが妥当だろう。これに対し、付加機能部分の価格についてはどうか。前項で示したように、基本的には付加機能等を持つ部品については部品毎価格制を選択することで使用による不採算を防ぐ必要があると思われるが、比較的多くの部品がもつ付加機能等属性（候補となり得るものとして、例えば、防水加工、主な使用材料としてチタン使用、など）については、当該付加機能に係る加算を設定することも可能と思われる。また、表2に示す各種加算の方式もこうした基本の機能だけでない部品の価格設定に参考になると考えられる。

¹ この議論については本分担研究報告書末尾の資料3を参照されたい。なお元となる分析

モデルは澤野(2003)[1]による。

また今後現行機能区分にない機能区分がふさわしいと考えられる部品が出てきた際、資料2に示すような、類似薬効比較方式は参考となりうると思われる²。

加算価格の機能毎固定価格制の価格改定算出方法の選択について

これに対し、改定時に新設時と同じ算出方法を採用するか、薬価制度の改定計算のように一定の方向への価格推移を想定した別ルールを設定するか、選択が分かれうる。

薬剤と完成用部品との間では開発費の比率、想定される売上個数等が異なることが考えられる。完成用部品のなかには、使用材料の価格や為替レート、人件費単価の動向に影響を受ける度合いが大きいものも含まれる場合が考えられ、時間の経過と共に原価が下がっていくとは必ずしも言いがたい。こうしたことを鑑みると、単純に薬価制度の改定ルールをそのまま適用できるものではなく、慎重な検討が必要だろう。価格改定のための計算方式の選択については、原価や経済状況の変動分の調整のみとするのか、あるいは薬価のように時間の経過と共に価格を抑えるなど一定の方向性を持たせるのか、国の政策当局、完成用部品供給事業者、補装具製作事業者、身体障害者更生相談所、地方自治体、利用者など各ステークホルダーによる十分な意見交換を踏まえる必要がある。

E. 結論

本稿では、骨格構造義足完成用部品機能区分案を踏まえ、機能区分内の価格のちらばり等現況を調べるとともに、価格制度案について検討を行った。

主な結論は下記の3点である。

- ・現状では、区分内の部品の価格のちらばりがある程度大きい（平均48.0%）。

- ・価格のちらばり等を考慮すると、加算価格については、部品毎に属する機能区分を明らかに示すと共に当面部品毎固定価格を採用することで、機能区分内の価格の平準化をゆるやかにもたらすことが期待できる。
- ・長期的には、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられると考えられる。
- ・ただし機能区分毎固定価格制を用いるためには、今後完成用部品価格をどのように推移させていくかステークホルダー間の議論を重ねたうえで、価格算定制度、価格改定制度を定める必要がある。
- ・仕入価格については、現行の固定価格制度が望ましいと考えられる。ただし、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表

1. 論文発表 なし

2. 学会発表

- ・我澤賢之，山崎伸也，長瀬毅．「義肢・装具・座位保持装置製作の費用・採算」，第31回日本義肢装具学会，2015. 11. 07，横浜．
 - ・山崎伸也，我澤賢之．「更生用補装具としての義肢・装具・座位保持装置の支給状況」，第31回日本義肢装具学会，2015. 11. 07，横浜．
 - ・児玉義弘，山崎伸也，我澤賢之．「骨格構造義足完成用部品を対象とした機能区分案作成」，特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考えるー厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト報告ー「骨格構造義足完成用部品を対象とした機能区分案作成」，第31回日本義肢装具学会，2015. 11. 08，横浜．
3. それ以外の発表

これは本稿では部品毎固定価格制に相当すると考えられる。

² 多機能区分のものを含め機能の近いものがなく類似薬効方式を採用できない場合、薬価であれば原価計算方式を採用する場合があるが、

- ・児玉義弘，山崎伸也，我澤賢之．「完成用部品の機能区分 / 完成用部品の機能と価格」，第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会，2015. 07. 25. 所沢.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

- | | |
|-----------|----|
| 1. 特許取得 | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他 | なし |

I. 引用文献

- [1] 澤野孝一郎．「診療報酬契約の経済学」，『インセンティブ設計の経済学－契約理論の応用分析－』（伊藤秀史・小佐野広編著）第11章，p.291-323，勁草書房，2003.

表1. 機能区分毎の価格の散らばりの状況

「標準偏差÷平均」(*)の	最大値	140.3%	条件: (1)付加機能あり、(2)チタンもしくはカーボン、マグネシウム、(3)推奨Kレベル、K4に対応もしくは「活発な歩行」、(4)中止・削除のいずれにも該当しないもののみを対象に算出した。
	平均値	48.0%	
	中位値	42.4%	
	最小値	8.5%	
	算出対象機能区分数	72	
50.0%以上の値を取る区分数	29	(*)なお「標準偏差÷平均」については、有効品目数が3点以上ある部品のみ算出対象とした。	

1. インターフェイスとしての役割を補助する部品

1-1 吸着バルブ・懸垂ベルト・ウェッジ・クラッチロック										
コード	P1010100	P1010200	P1010300	P1010400	P1010500	P1010600	P1010700	P1010800	P1020000	P1030100
平均価格 (A)	5,817	11,370	-	-	5,950	18,664	8,358	16,300	1,300	7,200
標準偏差 (B)	765	5,933	-	-	3,587	7,398	3,586	3,394	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	13.2%	52.2%	-	-	60.3%	39.6%	42.9%	-	-	-
有効品目数	3	20	0	0	4	11	6	2	1	1
コード	P1040100	P1050100								
平均価格 (A)	33,242	19,270								
標準偏差 (B)	16,957	8,992								
標準偏差÷平均 (B÷A)	51.0%	46.7%								
有効品目数	12	10								

1-2 ライナー						
コード	P1060100	P1060200	P1060300	P1070100	P1080001	P1010100C
平均価格 (A)	45,100	109,900	54,244	47,700	12,100	-
標準偏差 (B)	15,225	-	22,484	-	7,489	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	33.8%	-	41.4%	-	61.9%	-
有効品目数	18	1	18	1	6	0

2. 生体の股関節、膝関節等の機能を代償する部品

2-1 股継手						
コード	P2010101	P2010201	P2010202	P2010301	P2010101C	P2010201C
平均価格 (A)	73,800	116,800	-	-	167,000	70,100
標準偏差 (B)	-	71,842	-	-	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	-	-	-	-	-
有効品目数	1	2	0	0	1	1

2-2 膝継手										
コード	P2030101	P2030201	P2030301	P2030302	P2030303	P2030401	P2030402	P2030403	P2030501	P2030502
平均価格 (A)	84,250	69,500	77,633	312,700	-	78,290	245,050	-	-	-
標準偏差 (B)	44,289	-	18,059	-	-	10,793	38,537	-	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	52.6%	-	23.3%	-	-	13.8%	-	-	-	-
有効品目数	14	1	3	1	0	10	2	0	0	0

コード	P2030601	P2040101	P2040201	P2040202	P2040203	P2040204	P2040301	P2040302	P2040303	P2040304
平均価格 (A)	-	137,300	143,720	172,600	412,500	-	-	-	347,000	-
標準偏差 (B)	-	33,375	74,829	70,842	-	-	-	-	33,234	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	-	52.1%	41.0%	-	-	-	-	-	-
有効品目数	0	2	5	3	1	0	0	0	2	0

コード	P2010101C	P2010201C	P2010202C	P2010301C	P2020101C
平均価格 (A)	100,167	113,150	243,200	-	-
標準偏差 (B)	41,965	2,616	-	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	41.9%	-	-	-	-
有効品目数	3	2	1	0	0

2-3 足継手・足部										
コード	P2060101	P2060102	P2060103	P2060104	P2060105	P2060106	P2060107	P2060108	P2060109	P2060110
平均価格 (A)	22,500	-	81,600	-	201,433	-	-	-	-	113,167
標準偏差 (B)	7,071	-	22,062	-	79,659	-	-	-	-	158,771
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	-	-	-	39.5%	-	-	-	-	140.3%
有効品目数	2	0	2	0	3	0	0	0	0	3

コード	P2060201	P2060202	P2060203	P2060301	P2060302	P2060303	P2060304	P2060305	P2060401	P2060402
平均価格 (A)	62,000	25,472	47,386	10,169	118,000	28,100	70,130	24,857	2,564	650
標準偏差 (B)	-	10,571	15,208	4,636	127,421	-	43,581	21,514	1,528	212
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	41.5%	32.1%	45.6%	-	-	62.1%	86.5%	59.6%	-
有効品目数	1	18	7	13	2	1	10	7	38	2

コード	P2060403	P2060404	P2060501	P2060502	P2060503	P2060101C	P2060201C	P2060301C
平均価格 (A)	20,343	2,975	56,533	296,500	-	94,400	56,800	11,075
標準偏差 (B)	5,623	465	6,601	-	-	-	-	4,814
標準偏差÷平均 (B÷A)	27.6%	15.6%	11.7%	-	-	-	-	43.5%
有効品目数	7	4	3	1	0	1	1	4

2-4 ターンテーブル	
コード	P2020101
平均価格 (A)	73,120
標準偏差 (B)	49,886
標準偏差÷平均 (B÷A)	68.2%
有効品目数	10

2-5 膝継手機能補助							
コード	P2050101	P2050102	P2050103	P2050104	P2050105	P2050101C	P2050102C
平均価格 (A)	18,400	8,490	5,500	-	14,100	18,400	22,700
標準偏差 (B)	6,928	9,578	-	-	-	8,485	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	37.7%	112.8%	-	-	-	-	-
有効品目数	4	5	1	0	1	2	1

3. 股継手、膝継手、足継手、足部をつなぐ部品

3-1 接続部品(ブロック・コネクタ)										
コード	P3010101	P3020101	P3020102	P3020103	P3020104	P3020105	P3020106	P3020107	P3030101	P3030102
平均価格 (A)	12,095	18,644	23,700	30,920	11,025	11,233	35,980	15,582	12,313	16,250
標準偏差 (B)	13,810	6,529	7,137	9,850	7,392	2,475	27,442	16,252	7,672	11,457
標準偏差÷平均(B÷A)	114.2%	35.0%	30.1%	31.9%	67.1%	22.0%	76.3%	104.3%	62.3%	70.5%
有効品目数	13	16	4	5	10	6	5	19	8	10
コード	P3030103	P3030201	P3030202	P3030301	P3030401	P3030402	P3030501	P3030601	P3030701	P3030801
平均価格 (A)	22,392	8,400	37,300	25,491	10,900	29,350	21,700	7,333	2,875	13,300
標準偏差 (B)	17,925	849	10,607	2,538	-	22,132	9,475	3,753	885	11,071
標準偏差÷平均(B÷A)	80.1%	-	-	10.0%	-	-	-	51.2%	30.8%	83.2%
有効品目数	12	2	2	11	1	2	2	3	4	44
コード	P3030101C	P3030201C	P3030301C							
平均価格 (A)	6,120	20,033	13,667							
標準偏差 (B)	2,739	11,102	5,371							
標準偏差÷平均(B÷A)	44.8%	55.4%	39.3%							
有効品目数	5	3	12							

3-2 接続部品(チューブ)										
コード	P3040101	P3040102	P3040103	P3040104	P3040201	P3040202	P3040203	P3040101C	P3040102C	P3040103C
平均価格 (A)	18,356	16,367	6,794	18,950	20,800	15,900	8,933	9,800	24,100	4,017
標準偏差 (B)	4,783	5,058	6,664	14,989	7,542	-	5,493	141	-	1,811
標準偏差÷平均(B÷A)	26.1%	30.9%	98.1%	79.1%	36.3%	-	61.5%	-	-	45.1%
有効品目数	16	6	17	4	4	1	3	2	1	3
コード	P3040104C									
平均価格 (A)	-									
標準偏差 (B)	-									
標準偏差÷平均(B÷A)	-									
有効品目数	0									

3-3 クランプアダプタ										
コード	P3050101	P3050102	P3050103	P3050201	P3050202	P3050301	P3050401	P3050402	P3050101C	
平均価格 (A)	21,400	17,018	11,163	-	15,767	9,025	-	-	14,768	
標準偏差 (B)	6,767	5,984	8,135	-	9,890	5,178	-	-	7,010	
標準偏差÷平均(B÷A)	31.6%	35.2%	72.9%	-	62.7%	57.4%	-	-	47.5%	
有効品目数	3	11	8	0	3	4	0	0	11	

4. 足の形状をつくる外装のための部品

4-1 外装用部品										
コード	P4010101	P4010201	P4010202	P4010203	P4010301	P4010302	P4010303	P4010304	P4010305	P4010306
平均価格 (A)	3,418	8,475	9,540	16,580	21,525	23,071	8,600	-	-	17,000
標準偏差 (B)	1,994	718	1,837	5,638	3,250	3,762	3,030	-	-	-
標準偏差÷平均(B÷A)	58.4%	8.5%	19.3%	34.0%	15.1%	16.3%	35.2%	-	-	-
有効品目数	14	4	5	5	4	17	4	0	0	1
コード	P4020101	P4030101	P4030201	P4030301	P4040101	P4040201	P4010101C	P4010201C	P4010301C	P4020101C
平均価格 (A)	19,100	1,800	2,263	1,580	41,850	-	8,800	19,900	16,000	900
標準偏差 (B)	0	462	808	335	8,980	-	-	-	-	-
標準偏差÷平均(B÷A)	-	25.7%	35.7%	21.2%	-	-	-	-	-	-
有効品目数	2	4	4	5	2	0	1	1	1	1

表2. 仕入価格・加算価格に着目した価格制度の分類

<p>加算価格 補装具費への 加算に用いる 価格 (現、通知上 の「価格」)</p>	<p>仕入価格 補装具製作事業者にとっての仕入価格(補装具製作事業者への販売価格。現、申請価格)</p>	<p>仕入価格 補装具製作事業者への販売価格。現、申請価格</p>
<p>部品毎の 固定価格制 ※年に1回更 新の機会</p>	<p>固定価格制(※年に1回更新の機会)</p> <p>制度案A 仕入価格： 部品供給事業者の申請した価格水準に設定。 加算価格： 仕入価格に、当該部品管理等に要する費用見込額を厚労省が算定・加算して設定。 ※機能区分が公開されることを除き、現行制度と同じ → どの補装具製作事業者も同じ部品については同じ価格での購入が可能である。 → その反面、完成用部品供給事業者は一定期間価格変更をできないため、為替リスク等を踏まえた高めの価格設定がなされる可能性がある。 → 同機能区分間での仕入価格・加算価格の比較を行いやすくなることにより、区分毎に価格がある程度平準化することが考えられる。</p>	<p>オープン価格制</p> <p>制度案B 仕入価格： 部品供給事業者の申請した価格を参考価格として部品供給事業者が自由に設定。 加算価格： 部品供給事業者の申請価格に、当該部品管理等に要する費用見込額を厚労省が算定・加算して設定。 ※薬価制度における銘柄別収載方式と類似 → 仕入価格と加算価格の実際の差額を厚労省は完全にはコントロールできない。 → 完成用部品供給事業者が、原価の変動などを反映して部品の出荷価格を自由に変更できることから、仕入価格に為替リスクなどを踏まえた高めの設定を行う必要性が減少するため、現状より価格を引き下げられる可能性がある。 → その反面部品のまとめ買いの可能な大規模な補装具製作事業者とそうでない小規模の製作事業者との間に仕入面での有利・不利が生じることが考えられる。 → 同機能区分間での加算価格の比較を行いやすくなることにより、区分毎に価格がある程度平準化することが考えられる。</p>
<p>機能区分毎の 固定価格制 ※年に1回更 新の機会 ※付加機能、 主材料の差異 等について加 算等設ける</p>	<p>制度案C 仕入価格： 部品供給事業者の申請した価格水準に設定。 加算価格： 機能区分毎に厚労省が設定。付加機能、主材料の差異等にかかる加算価格についても同様。 → どの補装具製作事業者も同じ部品については同じ価格での購入が可能である。 → その反面、完成用部品供給事業者は一定期間価格変更をできないため、部品供給事業者にとって仕入価格設定が困難になる可能性があると考えられる。為替リスク等を踏まえた高めの価格設定が必要な反面、仮に他の同機能区分部品より高い仕入価格を設定した場合に仕入価格改定が即座にできないため、価格競争上不利な状況が次の価格改定機会まで継続することになる。 → 加算価格設定の公正さを確保するため、また機能区分定義の隙間を突く形で機能面で劣る部品の流通を防止するため、機能区分を満たすか否かの判定を厳密に行う仕組み作りが、「部品毎の固定価格制」の場合以上に重要。 → 機能区分価格、加算設定価格とも、ある程度価格が平準化した後でなければ、どの水準に価格設定するかが難しいとが考えられる。</p>	<p>制度案D 仕入価格： 部品供給事業者が自由に設定 加算価格： 機能区分毎に厚労省が設定。付加機能、主材料の差異等にかかる加算価格についても同様。 ※薬価制度における統一(名)収載方式と類似 → 仕入価格と加算価格の実際の差額を厚労省はコントロールできない。 → 仕入価格にかかる価格競争が進む反面、部品のまとめ買いの可能な大規模な補装具製作事業者とそうでない小規模の製作事業者との間に仕入面での有利・不利が生じることが考えられる。 → 加算価格設定の公正さを確保するため、また機能区分定義の隙間を突く形で機能面で劣る部品の流通を防止するため、機能区分を満たすか否かの判定を厳密に行う仕組み作りが、「部品毎の固定価格制」の場合以上に重要。 → 機能区分価格、加算設定価格とも、ある程度価格が平準化した後でなければ、どの水準に価格設定するかが難しいとが考えられる。</p>

資料 1. 薬価制度について (1) :
薬価収載における統一 (名) 収載と銘柄別収載の比較について

研究協力者 長瀬 毅 (流通経済大学経済学部)

1.1 薬価収載に至るまでの概要

新薬を開発した製造企業は、新規物質の創製と臨床実験等を経た後に開発された新医薬品について、医療用医薬品として薬事法上の承認を受けるための承認申請を厚労大臣に対して行う。独立行政法人医薬品医療機器総合機構が審査を行い、その報告に基づいて厚労大臣が医療用医薬品として承認する。承認を得た製造販売企業は、厚労省に対して当該新医薬品の薬価基準収載希望を伝え、窓口となる厚労省医政局経済課でヒアリング等を実施した後、保険局医療課にその内容が伝達される。保険局医療課では薬価算定原案を作成し、中央社会保険医療協議会 (以下、中医協) の薬価算定組織に提示する。中医協薬価算定組織では審査により薬価算定案が決定され、保険局医療課、医政局経済課を通じて製造販売企業に伝達され、不服申し立ての機会を挟み、製造販売企業の了承を得られると中医協総会に報告され、了承を得て官報に告示される。これによって当該新医薬品は薬事法上の製造販売の承認を得たことになる。

1.2 薬価基準への収載方法

薬価基準への収載方法には、現時点で統一 (名) 収載と銘柄別収載の 2 つの方式がある。銘柄別収載は、医薬品の販売名 (銘柄) ごとに収載する方式であり、1977 年 11 月に導入され、現在では原則として銘柄別収載方式が採られている。同一成分、同一分量、同一剤形であっても販売名が異なれば異なる医薬品として薬価基準に収載され、薬価も異なる場合がある。

統一 (名) 収載は、成分、剤形および規格によって単一の名称 (一般名) を付して収載する方式で、現在では日本薬局方収載医薬品、生物学的製剤基準収載医薬品及び生薬等のみに適用されている。統一 (名) 収載方式の場合、販売名は薬価基準で定められないので、この方式で収載されている品目については、製品や販売名にかかわらず同一の薬価が適用され、また薬事法上の承認を受ければ直ちに保健医療で使用できる。薬事法上の承認を取得している医薬品であれば、他の製品が承認された場合にも薬価基準収載手続きを経ることなく自動的に薬価基準に収載される。

銘柄別収載方式の導入前は、一般名による収載と主成分の一般名とともにそれに相当する販売名も併せて収載する統一限定方式により収載されていた。これは 1967 年 3 月の薬価調査において、調査対象が購入主体から販売主体に切り替えられたことに対応して同年 11 月に導入された方式で、一般名 (統一名称) に該当する販売名 (商品名、銘柄) を列記する方式で、統一名限定列記方式とも呼ばれた³。この方式では、薬価は販売名にかかわらず同一の価格であるため、薬価基準と実勢価格の乖離 (薬価差) が生じる要因になっているとの指摘を受け、前述の銘柄別収載方式が導入されることとなった。

³ 土井純雄「薬価基準制度の沿革と制度の法的考察 (上)」『修道法学』第 28 巻、第 1 号、91～141 頁。
https://www.google.co.jp/url?sa=t&rect=j&q=&esrc=s&source=web&cd=3&ved=0ahUKEwi_yM-jx5PMAhULGpQKHVikDfUQFggiMAI&url=https%3A%2F%2Fshudo-u.repo.nii.ac.jp%2Findex.php%3Faction%3Dpages_view_main%26active_action%3Drepository_action_comm%26item_id%3D1299%26item_no%3D1%26attribute_id%3D18%26file_no%3D1%26page_id%3D13%26block_id%3D28&usq=AFQjCNGX10bWEf2iN6ulPMv7Zq3DppWUuQ&sig2=tQFvJ8vjBlhfQ0pc-mIASw&cad=rja を参照。

1.3 銘柄別収載方式の利点

銘柄別収載方式の利点⁴としては、1) 実勢価格を合理的に薬価基準に反映できる、2) 薬価差のみに頼る販売姿勢の改善、3) 医薬品および医療サービスの質の改善、4) 新医薬品の開発促進、等が挙げられる。

これらのメリットについて検討していく。銘柄別収載方式では、同一の一般名を持つ医薬品、つまり薬事法上の承認を受けた同一の医療用医薬品であっても、製造販売企業が販売する銘柄によって算定される薬価が異なることが許容されている。これは、同一の医療用医薬品であっても、製造販売企業の企業努力によって先発品と異なる有効成分や用量・用法を持つと認められた医薬品については、その品質を考慮した価格付けがなされ、先発品とは別の財であるとみなされるということである。このことは製造販売企業の新薬開発意欲を強く刺激すると思われるので、メリット4) の効果はあり得ると考えられる。

しかし、3) のような品質改善の効果が期待されるためには、同一の一般名を持つ医薬品と新薬が品質的に異なることを客観的に判定でき、品質の違いを価格に適切に反映できる薬価算定方式が整備されていることが前提となる。品質の競争が激化することによって、品質が大きく異ならず含有成分や用量・用法等が微少に異なる医薬品が多数製造されることになれば、資源の効率的利用を妨げることになる。特に類似薬効を持つ既収載品と新規収載品の薬価基準算定方式において、品質の差をどれだけ客観的に把握できているかが重要になる。この点は今後の考察対象となり得る。

また、1)、2) の薬価差の縮小効果についても、品質の違いを価格に適切に反映できる薬価算定方式が整備されていることが前提となる。同一の医療用医薬品として承認を得ている医薬品であっても、銘柄ごとに価格が異なることが許容されている制度であるため、実質的にほとんど同じ品質である医薬品に異なる価格付けがなされている場合は、この方式では実質的に同品質の医薬品の実勢価格のばらつきを抑制することはできないのではないかと考えられる。

⁴ 薬事衛生研究会編『薬価基準のしくみと解説 2014』（薬事日報社）第1編「薬価基準制度の概要」39ページを参照。

資料 2. 薬価制度について (2) : 類似薬効比較方式における比較薬と新薬の関係について

研究協力者 長瀬 毅 (流通経済大学経済学部)

2.1 薬価基準の概要

現在の薬価基準⁵では、薬価は保健医療機関及び保険薬局が薬剤の支給に要する単位あたりの平均的な費用の額として銘柄ごとに額が定められている。支給に要する単位とは、錠剤の場合は有効成分量ごとに1個あたりで定められている。

新規に薬価基準に収載される薬剤 (以下、新規収載品) の薬価算定は、類似薬があり、新規性のある新薬の場合は「類似薬効比較方式 (I)」、類似薬があり、新規性に乏しい新薬の場合は「類似薬効比較方式 (II)」、類似薬がない新薬の場合は「原価計算方式」の3つの方式によって算定される。

類似薬とは、薬価基準に既に収載されている (以下、既収載品) 薬剤であり、(イ) 効能及び効果、(ロ) 薬理作用、(ハ) 組成及び化学構造式、(ニ) 投与形態、剤形区分、剤形及び用法、の4つの事項から見て、新規収載品との間に類似性のある薬剤をいう。

新薬⁶の薬価算定においては、類似薬は原則として新薬として薬価収載されたものに限られる。これは、新規後発品⁷は類似薬としては認められないということを意味する規定である。既収載品に類似性があると認められる新薬がない場合、必要と認められたときには、新規後発品として薬価収載されたもの以外の既収載品を類似薬として選ぶことができる。

新規収載品の薬価算定上の基準となる既収載品が比較薬である。

2.2 新規医薬品の類似薬効比較方式 (I)

類似薬効比較方式は、類似薬がある場合の新規収載品の薬価算定方式である、効能・効果、薬理作用、組成・化学構造式、投与形態の4つの観点から、新医薬品に類似する既収載医薬品を比較対照薬として選定し、1日通常最大用量による薬価比較を行い、1日あたりの価格が比較対照薬と同じになるように算定される。この価格をベースとして、画期性、有用性、市場性、小児効能・用量の有無、先駆性の5つのメリットについて評価を行い、必要に応じてそれぞれの区分で補正加算を行う。比較薬は、原則として薬価収載後10年以内の新薬であって後発品⁸が薬価収載されていないものを用いる。

類似薬と比べて新規性に乏しい新医薬品は類似薬効比較方式 (II) によって薬価算定され、それ以外の新医薬品は類似薬効比較方式 (I) によって薬価算定される。新規性に乏しいとは、1) 補正加算の対象外、2) 薬理作用類似薬が3つ以上存在する、3) 最も古い薬理作用類似薬の薬価収載から3年以上経過したものを指す。補正加算とは、後述する画期性加算、有用性加算等、臨床上有用な新規の作用機序を有する等の特質がある新医薬品の算定薬価を加算する措置のことである。薬理作用類似薬とは、類似薬のうちで、同一の効能及び効果を有し当該効能及び効果に罹る薬理作用が類似し、且つ投与形態が同一である類似薬をいう。

⁵ 薬事衛生研究会編『薬価基準のしくみと解説 2014』(薬事日報社) 第2編「薬価算定の基準」を参照。

⁶ 新薬とは、新規収載品のうち、薬事法第14条の4第1項の規定に基づき厚生労働大臣の再審査を受けなければならないとされた新規収載品、あるいは、組成、投与形態及び製造販売業者が同一の既収載品がある新規収載品を指す。

⁷ 新規後発品とは、新薬以外の新規収載品をいう。

⁸ 後発品 (後発医薬品) とは、新医薬品として薬価基準に収載された先発医薬品と有効成分量、投与方法等が同一の他社の製品を指す。後発医薬品の価格決定は、企業からの申請に基づいて厚労省がヒアリング、内容の審査等を行い、供給に支障がないことが確認されると詳細を通知の上薬価基準に収載する。

つまり、補正加算の対象となるもの、及び補正加算の対象とならない新医薬品の中で、薬理作用類似薬が2つ以下しか存在しない、あるいは最も古い薬理作用類似薬の薬価収載から3年未満のものは類似薬効比較方式（Ⅰ）で算定され、それ以外の新医薬品は類似薬効比較方式（Ⅱ）で算定されることになる。新医薬品の薬価算定事例を見ると、新有効成分や新医療用成分の配合、新剤形・新用量を用いた新医薬品の中で、補正加算を適用されていない新医薬品には、類似薬効比較方式（Ⅰ）によってベースとなる薬価算定がなされ、補正加算が行われないものもある。

補正加算の要件は、以下の通りである。

1 画期性、有用性の高い新薬に対する加算

	満たすべき要件	新規の作用機序	高い有効性・安全性	疾病の治療方法の改善	製剤の工夫による高い有用性
画期性加算 (70~120%)	全て	◎	◎	◎	
有用性加算 (I) (35~60%)	いずれか2つ	○	○	○	
有用性加算 (II) (5~30%)	いずれか1つ	○	○	○	○

2 先駆性の高い新薬：

先駆導入加算 以下の全ての要件を満たす

- イ 外国（米英独仏のみ）あるいは日本のいずれかの国において承認されている既存の薬剤とは異なる新規の作用機序を有する
- ロ 外国に先駆けて日本で最初に薬事承認を取得
- ハ 日本だけで流通する見込みの医薬品ではない
- ニ 画期性加算または有用性加算 (I) の適用

3 市場規模の小さい新薬への配慮：

	満たすべき要件	希少疾病用医薬品（薬事法規定）であり、主たる効能・効果が対象となる疾病等に係る効能・効果	市場規模が特に小さいものとして別に定める薬効群に該当	比較薬が市場性加算 (I) の適用を受けていない	比較薬が市場性加算 (II) の適用を受けていない
市場性加算 (I) (10~20%)	全て	◎		◎	
市場性加算 (II) (5%)	全て (○はいずれか1つ)		◎	○	○

4 小児用製剤：

小児加算 以下の全てを満たす

- イ 主たる効能・効果またはそれに係る用法・用量に小児に係るものが明示
- ロ 比較薬が小児加算の適用を受けていない

加算率の算定基準に関しては明らかではないが、画期性加算、有用性加算の加算率は、厚生労働科研費研究による定量分析である「薬価算定基準における画期性及び有用性加算の加算率の定量的算出法に係る研究」が、厚労省医政局経済課より製薬会社に事務連絡されている（平成26年5月9日付）。事務連絡の文章中において、当該定量的評価法は従前の加算評価に基づき細分化した定量的な評価項目を有用性系加算が適用された新薬の評価に遡及的に当てはめることにより、高い相関性をも

って実際に適用された加算率を再現することが確認されたが、従前の加算率の運用及び解釈に影響を与えるものではないことが明言されているが、加算率の算定基準について厚労省が当該評価方法を基礎とした算定基準を採用することを暗黙に示している可能性がある。

(出所) <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000045596.pdf>

2.3 後発品の薬価算定

後発品（後発医薬品）とは、新医薬品として薬価基準に収載された先発医薬品と有効成分量、投与方法等が同一の他社の製品を指す。後発品の価格決定は、企業からの申請に基づいて厚労省がヒアリング、内容の審査等を行い、供給に支障がないことが確認されると詳細を通知の上、薬価基準に収載する。

新規に薬価基準に収載される後発品（以下、新規後発品）の薬価算定は、新規後発品の最類似薬⁹が既収載品の中にあるかどうかによって算定方式が異なる。最類似薬がない場合、すなわち後発品が初めて収載される場合、先発医薬品の価格の0.6～0.5を乗じた価格を新規後発品の薬価とする。バイオ後発品は0.7を乗じた価格、また内用薬で当該新規後発品及び同時期の薬価収載が予定される組成、剤形区分及び規格が当該新規後発品と同一の後発品（効能及び効果が当該新規後発品と類似しているものに限る）が10銘柄を超える場合は0.5を乗じた価格を薬価とする。

後発品が既に収載されている場合は、後発品中の最低価格を新規後発品の薬価とする。後発品が内用薬で10銘柄以上、注射薬・外用薬で20銘柄以上が既収載の場合は、既収載の銘柄中の最低価格に0.9を乗じた価格を薬価とする。

⁹ 最類似薬とは、汎用規格（後述）の類似薬のうち、類似薬を定める際に勘案する事項からみて、類似性が最も高いものをいう。複数の類似薬の組み合わせも可である。ただし、新規後発品の薬価算定の際は、同一剤形区分内における剤形の違いは考慮しない。汎用規格とは、組成及び剤形が同一の類似薬の年間販売量を、規格別にみて、最もその合計量が多い規格をいう。ただし、新規後発品の薬価算定の際は、同一剤形区分内における剤形の違いは考慮しない。

資料3. エージェンシー理論に基づく米国医療制度を対象とした 診療報酬制度の検討と機能区分に基づく完成用部品価格制度への応用

研究協力者 長瀬 毅 (流通経済大学経済学部)

研究分担者 我澤 賢之 (国立障害者リハビリテーションセンター)

ここでは、義肢等補装具価格及び完成用部品価格の算定制度を考察する際の基礎モデルを提示する。この分析モデルの元は、薬価を含む医療サービスの報酬設定の経済学的な意義を分析した、澤野孝一郎[2003]「診療報酬契約の経済学」伊藤秀史・小佐野広編著『インセンティブ設計の経済学—契約理論の応用分析—』第11章(291-323頁)勁草書房における医療サービスの報酬決定で提示されたものである。澤野論文では、契約理論を用いて、現行の日本の保健医療サービスにおける報酬決定方式である診療報酬制度の特徴を分析し、医療サービスの質の低下と医療機関による重症患者の選択的拒否を回避しながら、医師誘発需要を抑えて医療費の抑制を実現する制度として、診療報酬は出来高制報酬と定額報酬とを組み合わせた出来高・定額報酬併用制を採用することを主張している。

完成用部品機能区分に基づく価格制度を考慮するうえで、この枠組での分析モデルを解釈し直すことで応用できると考えられる。すなわち、出来高報酬制を部品毎固定価格制と、定額報酬制を機能区分毎固定価格制と捉え、また保健医療サービス供給にかかる費用(澤野論文では、医療サービスの質に関する努力費用と費用削減に関する努力費用)を、それぞれ義足に所定の機能を持たせるための完成用部品関連努力費用(具体的には補装具製作事業者による完成用部品の仕入費用、個々の事業所の環境における部品の調整・管理等に要する努力費用)と費用削減に関する努力費用(完成用部品の仕入に関する諸費用の削減努力費用や、部品管理・調整等費用の情報収集・環境整備等に関する努力費用)と捉えることで、分析モデルを応用できる。

以下、澤野論文の構成に従って要約し、最後に完成用部品価格制度への適用した場合の解釈について述べる。

3.1 managed care

まず、契約理論が診療報酬契約の分析に使われるようになった背景について、米国で導入されている managed care と呼ばれるしくみを解説する。

米国では近年 GNP の 10% を上回る急激な医療費高騰に直面しており、その原因として技術進歩による高度医療化要因と、医師と患者の情報の非対称性に起因する医療の医師誘発需要(乱診乱療問題) 要因とが指摘されている。特に後者については、消費者が不必要な診療を受けている可能性よりも、医師が不必要な診療を行っている可能性が高いことが実証研究によって明らかにされている。

米国においては、医療機関(医師)と消費者(患者)との間で自由な交渉によって診療報酬を決定できる Free for Service と呼ばれる制度が採用されているため、医療機関間の競争が医師による裁量的な診療行為を助長している可能性が議論されている。

また、医療サービスの提供を受けた消費者は、治療が終了して自由料金が確定した後に、自由料金を医療機関に支払い、その後その償還を保険会社に請求するという事後的償還額決定方式(Retrospective Payment System) が採用されている。一方で保険会社は予め医療機関との間で診療報酬契約を締結し、その契約金額のみで保険加入者の診療を行うことを求める方法(事前的償還額決定方式(Prospective Payment System)) を採用することもできる。これは定額報酬・定額

制と呼ばれ、従来事後的償還額決定方式による契約を締結していた多くの保険会社は、医療費の高騰に伴って事前的償還額決定方式を採用するようになった。こうした事前的償還額決定方式に基づいて設計された医療保険を **managed care** と呼ぶ。

managed care においては、1) 消費者の医療機関選択に関する自由の制限、2) 消費者の受診制限、といった特徴を有することによって、消費者側の乱診乱療行為を抑制し、3) 保険会社による契約医療機関の選定とネットワークの形成という特徴によって、医療機関側による情報の非対称性を利用した医療サービスの医師誘発需要を抑制するしくみを備えているとされ、医療サービス市場における革新と評価されている。

3.2 診療報酬契約とインセンティブ問題

前節で紹介した **managed care** は、医療サービスの需要者である消費者 (**principal**) と医療サービスの供給者である医療機関 (**agent**) との間の **agency** 問題について、定額制の診療報酬契約の導入によって **principal** と **agent** の双方の過剰な医療サービスへのインセンティブを削減し、**agency** 問題の弊害である乱診乱療問題を抑制することを示した。

この節では、医療費を支払う保険会社、政府 (**principal**) と、医療サービスを提供する医療機関 (**agent**) との間の **agency** 関係を整理し、診療報酬における出来高制と定額制のメリット、デメリットを整理する。

3.2.1 出来高制の場合（患者の重症度が同一のケース）

出来高制は、どのような医療サービスにおいても事後的に医療機関には治療費用の全額が支払われる。つまり、診療報酬と医療サービス供給費用とを事後的に等しくする制度である。医療サービスを受容する消費者（患者）の重症度が全ての患者について同一の場合、出来高制報酬契約下における医療機関の利潤は医療サービス供給費用に全く依存しないため、医療機関側は供給費用削減努力を行うインセンティブを持たないことになる。医療サービス供給費用の削減に努力コストがかかるとすると、この場合医療機関が選択する費用削減努力水準は最低（ゼロ）の水準となる。この結果、医療費の高騰は抑制できない。

3.2.2 定額制の場合（患者の重症度が同一のケース）

一方で定額制では、診療報酬は医療機関の医療サービス供給費用に依存せず、一定の額に定められているため、医療機関の利潤は医療サービス供給費用に依存して決定される。医療サービス供給費用が、医療サービス供給費用削減のための努力水準の減少関数である場合、利潤最大化を目的とする医療機関は、医療サービス供給費用を最小化するために最大の供給費用削減努力水準を選択する。これによって、医療費の高騰を抑制できる。

3.2.3 出来高制の場合（患者の重症度が異なるケース）

実際には保険加入者の重症度（医療サービスの必要性）は患者ごとに異なる。重症度の高い患者と低い患者の2タイプの患者が存在すると単純化し、それぞれの患者に対する医療サービスの供給費用は重症度が高い患者の方が高いと仮定する。患者の重症度は **principal**、**agent** とともに完全情報と仮定する。

このとき、出来高制の診療報酬契約が締結されていると、医療機関は医療サービス供給費用に等しい診療報酬を得ることができるので、どの患者にどの程度の医療サービスを提供するかという診療行為の選択問題が金銭的動機から切り離され、臨床上必要となる医療サービスが量的、質的に供給されることが期待できる。

3.2.4 定額制の場合（患者の重症度が異なるケース）

しかし、患者の重症度が異なる場合に定額制の診療報酬契約が締結されると、診療報酬は医療サービス供給費用や費用削減努力水準、さらにこの場合は患者の重症度に依存しないで決定されるため、費用削減努力を一定とすると、医療機関の利潤は診察する患者の重症度に依存することになる。ここでは、重症度の高い患者への医療サービスの供給費用は、重症度が低い患者のそれよりも高いと仮定しているため、利潤最大化を目的とする医療機関は、医療サービス供給費用を減少させて利潤を増大させるために、重症度の高い患者への診療を行わず、重症度の低い患者のみに診療を行う、あるいは重症度の高い患者への診療の手抜き（医療サービスの品質を故意に低下させる）を行うなどの、過剰なインセンティブを持つことになる。

以上のように、臨床上必要な医療サービスが供給され（適切な診療行為の選択が行われる）、医療費高騰を抑制しうる（医療機関が高い費用削減努力水準を選択する）診療報酬契約は、患者の重症度（医療サービスの必要性）が一樣か多様かによって異なる。患者の重症度が同一の場合には、定額制の診療報酬契約によって、医療機関に費用削減努力を行うインセンティブが与えられるが、患者によって重症度が異なり、重症度が高い患者への医療サービスの供給費用が相対的に高い場合には、出来高制の診療報酬契約によって貞節な医療サービスの供給と医療費の低減が実現しうる。

3.3 最適診療報酬契約と Multitask model

前節では、診療報酬契約の締結において principal である保険会社、政府が契約を提案し、それを所与として agent である医療機関がどのようなインセンティブを持つかを分析した。この節では、医療機関が2つの異なる努力水準（Multitask）を選択し、principal である政府がその2つの努力水準を操作することができる場合に、政府はどのような診療報酬規制を実施すべきか（最適料金規制問題）を分析する。

医療機関が選択する努力水準は、1) 医療サービスの質（quality of care）に係る努力 t_1 と、2) 費用削減努力（cost reduction effort） t_2 の2つであるとする。努力に要する費用として、努力水準が高くなれば医療機関に不効用が発生するという努力費用関数（不効用関数） $\gamma(t_1, t_2)$ を仮定する。また、各努力水準が生産費用に与える影響を表す生産費用関数 $c(t_1, t_2)$ を仮定する。追加的な医療サービスの質に対する努力投入が費用逦増的（ $c_1 = \partial c / \partial t_1 > 0$ ）、追加的な費用削減努力投入は費用逦減的（ $c_2 = \partial c / \partial t_2 < 0$ ）とする。さらに、消費者は医療サービスの質（に対する医療機関の選択した努力水準）のみに依存して医療サービスを需要するとし、消費者の医療サービス需要関数 $\mu(t_1)$ を仮定する。

3.3.1 最適料金規制問題の基本モデル

政府は (1) 式の社会的余剰関数に直面している。 $W(t_1)$ は医療機関によって生み出される社会的な粗便益である。

$$W(t_1) - c \times \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) \quad \dots (1)$$

これを最大化する、社会的に効率的な努力水準 t_1^*, t_2^* は、以下の (2)、(3) 式で定義される。

$$W'(t_1^*) - c_1(t_1^*, t_2^*) \times \mu(t_1^*) - c(t_1^*, t_2^*) \times \mu'(t_1^*) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (2)$$

$$-c_2(t_1^*, t_2^*) \times \mu(t_1^*) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (3)$$

1) 出来高報酬 (Cost Reimbursement : CR) 契約の下での医療機関の努力水準選択問題

出来高報酬は実際の医療サービス供給費用 $c(t_1, t_2)$ と追加利潤 m の合計によって構成されるとすると、出来高報酬契約の下での医療機関利潤は (4) 式で表される。

$$(c + m) \times \mu(t_1) - c \times \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) = m \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) \quad \dots (4)$$

出来高報酬契約の下にある医療機関は (1) 式で表される医療機関利潤を最大化するように努力水準を決定する。(1) 式について医療サービスの質 t_1 について最大化すると、最適化の一階の条件は (2) 式になる。

$$m \mu'(t_1) - \gamma'(t_1) \quad \dots (5)$$

出来高報酬契約の下では、費用削減努力 $t_2 = 0$ が選択される。このとき、(1) 式で表される政府の社会的余剰関数を最大化する医療サービスの質を t_1^+ は以下の (6) 式を満たす。

$$W'(t_1^+) - c_1(t_1^+, 0) \times \mu(t_1) - c(t_1^+, 0) \times \mu'(t_1^+) = \gamma'(t_1^+) \quad \dots (6)$$

出来高報酬契約の下で政府が医療機関に支払う追加利潤 m の決定式は、以下の (7) 式になる。

$$m = \frac{\gamma'(t_1^+)}{\mu'(t_1^+)} = \frac{W'(t_1^+) - c_1(t_1^+, 0) \times \mu(t_1) - c(t_1^+, 0) \times \mu'(t_1^+)}{\mu'(t_1^+)} \quad \dots (7)$$

(7) 式から、政府が医療機関に支払う追加利潤 m は出来高報酬契約の下で医療機関が選択する医療サービスの質 t_1^+ に依存して決定されていることが分かる。

また、(2) 式及び (6) 式から、 $t_1^+ > t_1^*$ を示すことができる。これは出来高報酬契約においては、社会余剰を最大化する医療サービスの質を過剰に上回る質の医療サービスが供給されることを示す。

2) 定額報酬 (Prospective Payment : PP) 契約の下での医療機関の努力水準選択問題

定額報酬は事前に決められた 1 治療あたりの金額 p によって支払われるとすると、定額契約の下での医療機関利潤は (8) 式で表される。

$$p \times \mu(t_1) - c \times \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) \quad \dots (8)$$

(8) 式の最適化の一階の条件は (9)、(10) 式で与えられる。

$$p \mu'(t_1) - c_1(t_1, t_2) \times \mu(t_1) - c(t_1, t_2) \times \mu'(t_1) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (9)$$

$$-c_2(t_1, t_2) \times \mu(t_1) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (10)$$

(9) 式は政府の社会的余剰関数の最適化一階条件である (3) 式と同じであるので、定額報酬 p を以下の (11) 式の水準に設定することで効率的な努力水準を実現できる。((2) 式 = (9) 式として整理)

$$p = \frac{W'(t_1^+)}{\mu'(t_1^+)} \quad \dots (11)$$

(11) 式の定額報酬 p を背一定することで、政府は効率的な医療サービスの質に関する努力水準 t_1^* を実現することができる。

以上から、Multitask model において、政府は出来高報酬契約から定額報酬契約へと償還制度を変更することによって追加的な便益を得ることができる。

3.4 重症患者の診療拒否 (dumping) 問題

であるならば、凡て定額報酬契約を採用すればいいかといえば、問題が残る。定額報酬のもとでは、報酬を費用が上回るような重症患者の診療拒否が起こりうるからである。一方出来高報酬契約のもとでは、医療機関の採算が担保されるためこうした診療拒否の問題は生じない。

澤野[2003]の結論としては、適切な定額報酬の設定と出来高報酬の組み合わせを採用することにより、効率的な医療サービスの質と費用削減努力を実現した上で、重症患者の診療教被問題を回避できる。具体的には、適切に選択された治療費用水準 c^* 以下の費用で治療できる軽症患者については定額診療報酬 c^* で償還し、基準を超える治療費用を要する重症患者には出来高報酬 c で償還する、出来高・定額報酬併用制が望ましいとしている。

先のモデルにおける生産費用関数の仮定を変更する。変更する点は、生産費用関数は医療サービスの質に関する努力水準 t_1 とは独立であり、かつその生産費用がある分布に従うとしたことである。このとき定式化される医療機関の生産費用関数は、以下の通りである¹⁰。

$$\bar{c}(t_2) = \int_0^{\hat{c}} c dF(c; t_2) \quad \dots (12)$$

ここで、患者費用は区間 $[0, \hat{c}]$ の範囲の値をとるものとする。ここで、前小節の定額報酬契約の項で示した(11)式を満たす定額報酬 p^* を考える。

$$p^* = \frac{W'(t_1^*)}{\mu'(t_1)} \quad \dots (11')$$

いま、政府が実際の治療費用が c である場合に医療機関に支払う診療報酬を $p(c)$ と定義する。重症患者の診療拒否を回避するには、診療報酬は常に治療費用を上回っていなければならない ($0 \leq c \leq \hat{c}, p(c) \leq c$)。このとき区間 $[0, \hat{c}]$ において以下の条件を満たす治療水準 c^* を見つけることができる。

$$\int_0^{\hat{c}} (p^* - c) dF(c; t_2^*) = \int_0^{c^*} (c^* - c) dF(c; t_2^*) \quad \dots (13)$$

治療水準 c^* が存在するのならば、以下の診療報酬ルール $p(c)$ を設定することができる。

$$p(c) = \begin{cases} c^* & \text{for } c \leq c^* \\ c & \text{for } c > c^* \end{cases} \quad \dots (14)$$

(14)式は、ある治療費用水準 c^* 以下の費用で治療できる軽症患者については定額報酬 c^* で償還し、基準を超える治療費用を要する重症患者には出来高報酬 c で償還する組み合わせ、すなわち出来高・定額報酬併用制を示している。

3.5 完成用部品価格問題への応用

¹⁰ この設定での政府の想定する目的関数（社会的余剰）に関する議論については、澤野[2003]を参照されたい。

冒頭で述べたとおり、上記の議論における出来高報酬制を部品毎固定価格制と、定額報酬制を機能区分毎固定価格制と捉え、また保健医療サービス供給にかかる費用 t_1 と費用削減に関する努力費用 t_2 を、それぞれ義足に所定の機能を持たせるための完成用部品関連努力費用（具体的には補装具製作事業者による完成用部品の仕入費用、個々の事業所の環境における部品の調整・管理等に要する努力費用）と費用削減に関する努力費用（完成用部品の仕入に関する諸費用の削減努力費用や、部品管理・調整等費用の情報収集・環境整備等に関する努力費用）と捉えることで、分析モデルを応用できる。

上述の医療制度における「重症患者の診療拒否」に相当する補装具製作事業者による製作拒否と言った状況は必ずしも即座に起こらないかもしれない。しかし採算が取れない状況が継続すれば長期的には事業継続が困難となる状況も得ると考えられる。そこで完成用部品価格を、機能区分毎にその基本機能のみを有する部品について定額報酬基準 c^* に相当する価格水準を推定しこれを機能区分毎固定価格として設定することとし、付加機能等を持つことで価格水準 c^* では採算が取れない部品については個々の部品にかかる原価計算等に基づいた個別価格設定を行うという価格制度が示される。

(参考) 義肢・装具・座位保持装置の事業別の収支・費用構成の傾向

研究分担者 我澤 賢之 (国立障害者リハビリテーションセンター)

山崎 伸也 (国立障害者リハビリテーションセンター)

研究協力者 長瀬 毅 (流通経済大学経済学部)

A. 研究目的

本研究は、補装具のなかの義肢・装具・座位保持装置の適正な価格水準を示す根拠を明らかにし政策立案に資する基礎情報を研究の立場から示すことにより、補装具の持続的な安定供給に資し、引いてはその利用者の自立と社会参加を支えることを目的とする。

本年度は特に、義肢・装具・座位保持装置(以下、義肢等)の事業別の収支傾向ならびに費用構成について分析した結果を示す。各事業の収支傾向等を評価するうえで、もし各事業単体の収益性・利益率等が算定できれば直接的でわかりやすい。しかしながら、実際には、各事業による収益(売上)のデータは収集可能であるものの、事業別の費用額データを得ることは困難であり¹¹、その分析は容易ではない。そのようなアプローチによる分析応報としては、大別して次の2つが考えられる。

- ・調査表記入者に対し、各事業における諸費用額について、所定の割り振り方法を提示し、その方法に従い記入してもらうことにより事業別費用額を推定する。
- ・費用額については、事業別内訳データを使用することなく、統計的手法を用いた推定を行う。

前者の方法については、我澤他[1]で平成25年のデータ(B. 研究方法で述べる調査Bのデータ)を用いて義肢等の利益率の推定を行

っており、事業単体で見ると義肢で不採算であり、装具で利益率が高く、座位保持装置についてはやや黒字との結果が得られた。一方、後者の方法については、我澤・山崎[2]で推定が行われた¹²。対象時期は平成24年度であった¹³。結果は義肢・装具については上記の結果と同様だったものの、座位保持装置についてはわずかに不採算が生じている可能性が示唆された。

その他の方法としては、直接個々の事業自体の採算性について推定する代わりに、取扱事業の内容でグループ分けを行い、グループ毎の利益率を算出する方法が考えられる。我澤・山崎[2]では、平成22~24年度のデータについてこの方法で営業利益率を算出した。結果は、義肢・装具の扱いがなく、座位保持装置の扱いのある事業所の利益率は、義肢・装具の扱いのある事業所の平均値を上回った。これは、同じデータ(平成24年度)を用いての、統計的手法による座位保持装置事業単体の採算性評価の結果と相反する。座位保持装置事業単体の採算性評価のほうが必要とするデータ項目が多い(具体的には、事業別の売上データが必要)であることから、使える有効回答数が少ないことが影響していることが考えられる。

本稿では、新しいデータを用いての試算を試みる。

B. 研究方法

¹¹ 例えば、光熱費や事務部門の人件費などについて、事業毎の所要額内訳を正確に算出することは、普通困難であろう。

¹² 当該文献での分析方法の基本的枠組については、末吉[3]を参照されたい。

¹³ この文献[2]における「平成24年度」とは、正確には平成24年10月1日を含む会計期間についての回答であるが、本稿では便宜上平成24年度とする。この項の他年度についても同様。

平成25年度から26年度にかけて、義肢等製作事業者を対象に、製作費用・採算状況等に関する各種調査を実施した。一連の調査の概要について、表1に示す。

本年度は、表1に示す各調査のうち、

- ・日本義肢協会ならびに日本車椅子シーティング協会の全会員（393事業者）に調査票を送付した、人件費ならびに収支に関する調査（調査A）
- ・日本義肢協会ならびに日本車椅子シーティング協会全会員から事業規模・立地地域が多様になるよう選出された35事業者を対象とした、売上と費用構成に関する調査（調査B）

の2つの調査結果をもとに、義肢、装具、座

位保持装置、それぞれの収支傾向について分析を行う。具体的には、下記の2種類の指標を算出する。

- ・取扱種目条件別の経常利益率
（調査Aの結果より算出）
- ・取扱種目条件別の人件費、完成用部品費、その他物品購入費等の費用構成比率
（調査Bの結果より算出）

取扱種目の条件については、

- ・義肢・装具を扱い、座位保持装置の扱わない事業所
- ・義肢・装具を扱わず、座位保持装置を扱う事業所
- ・義肢・装具・座位保持装置のいずれも扱う事業所

について算出した。

表1 調査概要

	調査時期	調査対象	調査事項	回収率
調査 A 人件費（移動時間含む）・収支について	平成 26 年 1 月～3 月	日本義肢協会・日本車椅子シーティング協会全会員（393社）	・時間あたり人件費単価に関する項目 ・労働時間に占める移動時間の割合 ・収支	返送率 79.1% 実質回収率 （事業取扱のない旨回答のあった事業者を外した数値） 77.0% 発送数 393 事業取扱者の回収数 285 事業取扱のない旨の回答数 23
調査 B 費用構成について	平成 26 年 3 月～5 月	日本義肢協会・日本車椅子シーティング協会協会から推薦を受けた 35 事業者 （うち日本義肢協会 24、日本車椅子シーティング協会協会 11。立地地域、従業員数規模が多様になるよう選出。）	・種目別売上 ・総費用 ・費用構成	80.0% 発送数 35 回収数 28
調査 C 素材価格について	平成 26 年 9 月	（うち日本義肢協会 24、日本車椅子シーティング協会協会 11。立地地域、従業員数規模が多様になるよう選出。）	・製作に用いられる各種素材（124種類）の価格（平成 21 年度下半期、23 年度下半期、26 年度上半期）の各時点の値）	68.6% 発送数 35 回収数 24
調査 D カーボン素材について	平成 26 年 9 月	日本義肢協会会員のうち 24 事業者 （上記のうち、同協会より推薦を受けた事業者のみに送付）	・義肢・装具におけるカーボン素材の使用状況および使用素材の金額	58.3% 発送数 24 回収数 14 （うち 該当 素材の 取扱なしとの回答 1）

また経常利益率については、
・義肢・座位保持装置の扱いはなく、装具のみ扱う事業所についても併せて試算した。ただし、該回答のあった事業所数が少数（調査 A における各年度の該当有効回答数 2 乃至 3）なため、これは参考数値として扱う。なお費用構成については、調査 B における該当有効回答数が 0 であったため試算できなかった。

C. 研究結果

取扱種目条件別の経常利益率については、表 2 に平成 22～24 年度の数値を示す¹⁴。費用構成については平成 25 年（同年 1 月～12 月）の値を表 3 に示す。

D. 考察

●経常利益率について

（全体的傾向）

- ・全体的傾向として利益率が減少傾向にあるが、（1）義肢・装具を扱い、座位保持装置を扱わない事業者、（2）義肢・装具を扱わず、座位保持装置を扱う事業者、にその傾向が顕著である。
- ・ただし、ほとんどの取扱事業によるグループで平均利益率よりも標準偏差が大きいなど、グループ内での散らばりが大きいことが確認された。最低値のほとんどは、経常利益率が負の値であった。
- ・義肢・装具・座位保持装置 3 種目を共に扱う事業所において、平均経常利益率は全体平均より高かった（3.7%）。該当する事業所は従業員規模が大きいのではないかと考え、従業員数と経常利益率の間には相関を調べたところ、相関は見られなかった（相関係数 0.0265）。

（義肢装具）

- ・先行研究で報告されている事業別の利益率の推計（あるいは過去の別研究の結果）で

は、義肢の採算が厳しく、義肢の採算の厳しさを装具で補っている可能性が示唆されていた。しかしその一方で、（装具の取扱があり、座位保持装置の取扱がない）という事業所について、義肢の取扱がある事業所とない事業所の、事業所全体の経常利益率を比較したところ該当件数が少ない（平成 24 年度で 2 件）ながら義肢の取扱のないほうが利益率が低かった（義肢取扱がある事業所 2.2%に対し、1.7%）。標準偏差の大きさと該当件数を考えれば、今回の結果で即義肢取扱がないほうが有意に利益率が低いとは言い切れない。しかし、主たる取扱事業が装具のみという事業所の利益率がもしも比較的lowめであるとすれば、仮に何らかの事情で装具の価格引き下げが行われた場合、採算がかなり厳しくなることが考えられる。

（座位保持装置）

- ・義肢・装具の扱いはなく、座位保持装置を扱う事業所の平均経常利益率は、特に低かった（-0.1%）。
- ・この結果は本稿と同様の手法による、我澤・山崎[2]（平成 24 年度については調査対象期間が重なる。ただしこちらは経常利益率ベースではなく、営業利益率ベース）の結果と異なっていた。データの散らばりも大きいことから、取扱事業以外の要因が利益率に影響を及ぼしており、有効回答のある事業所がその要因を持つかどうかにより、平均利益率が変わってしまっているのではないかと。

●費用構成

- ・義肢・装具を扱う事業所において、人件費の比率が 5 割程度と通常の製造業に較べて際だって高い。また完成用部品購入費の比率は 1 割程度。人件費比率の高さは他の産業と比較してもかなり高い部類である。

年度も同様。

¹⁴ この「平成 24 年度」も、正確には平成 24 年 10 月 1 日を含む会計期間を指す。本項の他

- ・義肢・装具を扱わず座位保持装置を扱う事業所は人件費比率は3割程度であり、完成用部品以外の物品購入費が比較的高い。費用構成が「その他の一般機械器具及び部品」（2005年産業連関表108部門表と似ているのではないかと（人件費（雇用者所得）32.9%、物品購入費（中間投入）53.7%）
- ・義肢・装具・座位保持装置とも扱う事業所の費用構成は、義肢・装具を扱い座位保持装置を扱わないグループと大差はない。完成用部品購入費の比率は、このグループが最も高かった（12.5%）。

E. 結論

経常利益率については、平成24年度以降減少傾向にあったことが確認された。平成26年度末に義肢・装具・座位保持装置の価格引き上げが行われたが、それがどのように影響するのか、今後の研究で明らかにしたい。

今回の研究では、取扱事業別の収支や費用構成に着目した。座位保持装置製作事業に関連して、義肢・装具の扱いがなく座位保持装置の扱いのある事業所の採算が厳しいとの結果が今回の集計からは示唆された。しかし、これは過去の調査でも使用するデータ・分析方法によって結果が異なる場合が見られる。その差異が生じる背景や、取扱種目以外に何か利益率に大きな影響を及ぼしている要因が何なのかについて、今後明らかにしたいと考える。

F. 引用文献

- [1] 我澤賢之，山崎伸也，長瀬毅．分担研究報告「義肢・装具・座位保持装置の製作費用調査」．補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業（研究代表者 井上剛伸），

平成26年度 総括・分担報告書，p.23-63, 2015-03.

- [2] 我澤賢之，山崎伸也．分担研究報告「補装具費支給制度の価格に関する課題抽出」．利用者のニーズに基づく補装具費支給制度の改善策に関する調査研究 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業（研究代表者 相川孝訓），平成24年度 総括・分担報告書，p.37-59, 2013-03.

- [3] 末吉俊之．「DEAに基づく限界費用価格形成：NTT電話基本料金に関する一考察」，オペレーションズリサーチ：経営の科学，Vol.40, No.12, p.701-705, 1995.

表2. 事業条件別 売上高経常利益率

		平成 22 年度 (正確には平 成 22 年 10 月 1 日を含 む会計期間)	平成 23 年度 (正確には平 成 23 年 10 月 1 日を含 む会計期間)	平成 24 年度 (正確には平 成 24 年 10 月 1 日を含 む会計期間)
義肢:○ 装具:○ 座位保持装置:×	平均値	3.6%	2.9%	2.2%
	中央値	3.1%	2.5%	2.0%
	最大値	17.4%	13.0%	14.8%
	最小値	-7.2%	-9.4%	-11.0%
	標準偏差	5.5%	4.7%	5.0%
	有効回答数	79	80	79
(参考) 義肢:×	平均値	-1.0%	2.8%	1.7%
	中央値	-1.0%	5.1%	1.7%
	最大値	5.0%	9.4%	3.3%
	最小値	-7.0%	-6.0%	0.1%
	標準偏差	6.0%	6.5%	1.6%
	有効回答数	2	3	2
義肢:×	平均値	2.2%	3.0%	-0.1%
	中央値	1.6%	0.6%	0.4%
	最大値	15.2%	16.5%	6.2%
	最小値	-4.6%	-11.5%	-9.8%
	標準偏差	4.3%	6.2%	3.8%
	有効回答数	21	25	22
義肢:○ 装具:○ 座位保持装置:○	平均値	4.2%	3.3%	3.7%
	中央値	4.2%	1.9%	2.9%
	最大値	13.1%	17.4%	12.8%
	最小値	-5.1%	-7.4%	-4.9%
	標準偏差	4.8%	5.5%	4.2%
	有効回答数	45	46	45

各区分における平均から標準偏差の2倍以上乖離するものを除いて、平均を再計算。

左端の列において、○は取扱があること、×は取り扱いがないことを意味する。

表3. 総費用に占める各費用の構成比率

	義肢:○ 装具:○ 座位保持装置:×	義肢:× 装具:○ 座位保持装置:×	義肢:× 装具:× 座位保持装置:○	義肢:○ 装具:○ 座位保持装置:○
人件費	51.1%	—	30.1%	48.4%
完成用部品購入費	9.5%	—	3.3%	12.5%
その他の物品購入費	21.6%	—	45.9%	22.2%
その他の費用	17.8%	—	20.6%	16.9%
該当回答数	10	(該当無し)	5	11

上端の行において、○は取扱があること、×は取り扱いがないことを意味する。

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

補装具費支給判定基準マニュアルの作成

研究分担者 榎本 修 宮城県リハビリテーション支援センター 所長

研究要旨 適切な補装具が円滑に支給されるために補装具費支給の判定を行っている身体障害者更生相談所（以下更生相談所）、補装具費支給意見書を作成する医師、市町村障害福祉担当者、補装具製作者、中間ユーザーのリハ専門職等において補装具費支給制度の共通理解を得る目的で補装具費支給判定基準マニュアルを作成することを目的とした。平成 25 年度は全国の更生相談所の判定現場から寄せられた疑義をまとめて 151 問からなる「補装具費支給判定 Q & A」（暫定版）を作成し、更生相談所限定で配布した。平成 26 年度には個々の Q & A について有用性、公開の適否等を検討するために 6 カ月間使用したところでアンケート調査を実施し、寄せられた意見を踏まえて修正した暫定版 2 を作成、配布した。平成 27 年度は更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けて作成した。Q & A の厳選、追加、整理を行い、更生相談所限定版は暫定版 2 をさらに充実させて 189 問、公開版は、補装具費の算定など更生相談所独特の Q & A は省き、補装具費支給制度の基礎的な事項を盛り込んで 71 問とした。また、同じ研究グループで他の研究分担者が作成した義足の完成用部品の機能区分表を盛り込んで義肢判定の際に役立つようにし、補装具判定に関わる事務職だけでなく、技術職にも有用な「補装具費支給判定基準マニュアル」として完成させた。

A. 研究目的

補装具ユーザーに適切な補装具が円滑に支給されるためには、補装具費支給の判定を行っている更生相談所職員だけでなく、意見書を作成する医師、市町村障害福祉担当者、補装具製作者、中間ユーザーのリハ専門職等にも補装具費支給制度の共通理解を得ることが重要である。平成 25 年度は更生相談所における補装具の医学的判定、社会的必要性の判断の基となる厚生労働省が告示する補装具費支給基準、取扱指針、取扱要領等の理解において地域格差による解釈の違いを是正し、判定に対する標準的な考え方の理解を深める目的で、151 問からなる更生相談所向けの「補装具費支給判定 Q & A」（暫定版）を作成、全国 80 カ所の更生相談所に配布した。平成 26 年度にはこの Q & A を 6 カ月間使用したところで個々の Q & A について有用性、公開の適否等を検討するためにアンケ

ート調査を実施した。寄せられた意見を踏まえた修正を加えて「補装具費支給判定 Q & A 暫定版 2・アンケート調査結果」を作成し、同じく更生相談所限定で配布した。平成 27 年度の研究目的は、内容をさらに充実させた「補装具費支給判定基準マニュアル」（以下マニュアル）として完成させることである。

B. 研究方法

B-1. Q & A の厳選・整理

マニュアルは更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けて作成する。平成 26 年度に行ったアンケート調査結果をもとに「補装具費支給判定 Q & A 暫定版 2・アンケート調査結果」の 151 問を整理して掲載に相応しいものを厳選する。また、平成 26 年度、平成 27 年度に「全国身体障害者更

生相談所長協議会補装具判定専門委員会」に寄せられた新たなQ&A（26年度32問、27年度途中まで28問）を厳選、加工して新たに追加できる質問を整理する。

さらに、障害者自立支援法（平成18年施行）以降に厚生労働省から6回にわたり事務連絡で発出された補装具に関するQ&A51問を限定版、公開版ともに掲載する。

B-2. 項目の追加

平成26年度アンケートの意見を参考に補装具費支給制度の基本事項として「補装具制度の歴史概要」、「補装具判定における身体障害者更生相談所の役割」、「補装具判定・処方前の基礎知識」を掲載する。

また、同じ研究グループで他の研究分担者が作成した義足の完成用部品の機能区分表を盛り込み、技術編として「骨格構造義足判定における処方の理解」と「機能区分表の使い方と完成用部品の選択」を掲載する。

（倫理面への配慮）

全国の更生相談所に対して行ったアンケート調査では、結果の集計およびアンケートに寄せられた意見をまとめるにあたり、個別の更生相談所名が判別できないように、倫理面に配慮している。また、補装具の個別製品名等の記載にあたっては利益相反に関する事項はない。

C. 研究結果

C-1. 限定版の構成

限定版に選出したQ&Aは189問となった。限定版は次のように構成した（表1）。

1) 補装具費支給制度の基本事項

補装具制度の歴史概要、補装具判定における身体障害者更生相談所の役割、補装具判定・処方前の基礎知識

2) 補装具費支給事務取扱指針にみる疑義解釈

制度適用、支給可能な個数、特例補装具など28問。

3) 補装具費支給の算定に関する疑義解釈 装具、義肢、車椅子など種目別で77問。

4) 基準の文言の解釈・補装具の適応・技術的な理解に関する疑義解釈 種目別の理解、児童補装具の理解、難病の理解など84問。

5) 厚生労働省事務連絡のQ&A（自立支援法以降）計6回にわたる事務連絡の計51問。

6) 技術編：義足完成用部品の理解 骨格構造義足判定における処方の理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

表1 補装具費支給判定基準マニュアルの構成

編	限定版	公開版
補装具費支給制度の基本事項	○	○
補装具費支給制度の理解と疑義解釈 24問	×	○
補装具費支給事務取扱指針にみる疑義解釈 28問	○	×
補装具費算定に関する疑義解釈 77問	○	×
医療関係者・市町村等向けQ&A47問（下記と重複）	×	○
基準の文言の解釈・補装具の適応・技術的な理解に関する疑義解釈 84問	○	×
Q&A数 計	189	71
厚生労働省事務連絡のQ&A（自立支援法以降）51問	○	○
技術編：義足完成用部品の理解・機能区分表	○	○

C-2. 公開版の構成

公開版に選出したQ&Aは71問となった。公開版は次のように構成した（表1）。

1) 補装具費支給制度の基本事項

限定版と同内容

2) 補装具費支給制度の理解と疑義解釈

補装具の定義、更生相談所の補装具判定とは何か、治療用装具と更生用装具の違いなど補装

具費支給制度の理解に関する基本的なQ&A24問。

3) 医療関係者・市町村等支援者向けQ&A

医療関係者等中間ユーザーの理解を促すとともに市町村が補装具費の支給決定を行う際に参考となるようなQ&A47問。特に児童の補装具、難病患者等に関するQ&Aを掲載した。

4) 厚生労働省事務連絡のQ&A（自立支援法以降）

計6回にわたる事務連絡の計51問。

5) 技術編：義足完成用部品の理解

骨格構造義足判定における処方理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

D. 考察

3年間の研究成果として作成した「補装具費支給判定基準マニュアル」の最大の特長は、その構成の核となる補装具に関するQ&Aが、実際に全国の身体障害者更生相談所の補装具判定において生じたQをアイデアにして作成されていることである。全国身体障害者更生相談所長協議会内の組織として補装具判定専門委員会があり、著者が委員長を務め、宮城県リハビリテーション支援センターが事務局を担っている。平成23年度から活動を開始し、全国の更生相談所から提出された補装具判定に関するQに対して、その都度委員会メンバー10名でメーリングリストによる会議を行い、Aを2週間以内に回答するシステムである。平成28年2月末までに241個のQ&Aが蓄積されている。個別の既製品に対するものを省いたQ&Aからアイデアをいただき、単刀直入にエッセンスだけを書き直したのが本マニュアルのQ&Aである。

本マニュアルは更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けて作成した。二つに分けた理由の背景となったのは、平成26年度に行った本マニュアルの前身である補装具費支給判定Q&A暫定版に対するアンケート調査結果である。そこでは公開の適否については34カ所（45%）の更生相談

所が151問中77問（51%）において加工修正、あるいは公開には相応しくないので削除を求めている。その77問は補装具費の算定に関するQ&Aがほとんどを占め、公開されると影響が出るとの意見が多く、各更生相談所によって算定の仕方が微妙に異なっていることが明らかになった。そこで、公開版は暫定版2で掲載した151問を再度見直し、補装具費の算定に関するQ&A77問はカットして、公開しても問題がないと判断したQ&Aだけに絞り込んだ。特例補装具で扱う余地があるというあいまいなQ&A、すなわち、地域によって判断基準が異なると思われるものをほとんど削除している。また、医療関係者・市町村等支援者向けに補装具費支給制度の理解を深める基本的なQ&Aを追加して、総Q&A数を71問に厳選した。

本マニュアルには、技術編として義足完成用部品の理解を促す目的で骨格構造義足判定における処方理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載したのも大きな特長である。その背景には、Q&A暫定版のアンケートの中に「義足完成用部品の選定の仕方が分からない」という声があった。この機能区分表は同じ研究グループで他の研究分担者である児玉らが既に機能区分が行われている米国のLコード等を参考にわが国の義足完成用部品について機能の整理・定義づけを行い、独自の機能区分をまとめたものである。本マニュアルにはそのうち股継手、膝継手、足継手・足部だけを抜粋して掲載している。この機能区分表が有効利用され、義足の判定、処方において根拠、自信のある完成用部品の選択、処方がなされるようになること、機能区分が医師、義肢装具士、リハ専門職、行政側の職員等の共通言語となり、完成用部品選択の共通理解の一助になることを期待している。

E. 結論

「補装具費支給判定基準マニュアル」を更生相談所限定版と公開版に分けて作成した。補装具のユーザーにとって適切な補装具が円滑に支給され

るためには厚生労働省が告示する補装具判定の基準を更生相談所の職員だけでなく補装具処方に関わる多職種が共通理解する必要がある。本マニュアルが補装具判定の現場で起こっているQ&Aを核に構成されている点は、これまでになかったものである。すなわち、現場での有用性が見込まれ、本マニュアルが果たす行政的意義は大きいと考えられる。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 樫本 修：【基調講演2】更生相談所における補装具費支給基準の理解と機能区分への期待」、第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会。2015. 07. 25. 所沢.
- 2) 樫本 修：「補装具費支給判定マニュアルの作成」、特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える -厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト報告-、第31回日本義肢装具学会学術集会。2015. 11. 8, 横浜.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

研究分担者	石渡 利奈	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 第一福祉機器試験評価室長
研究分担者	山崎 伸也	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 義肢装具技術研究部 副義肢装具士長
研究分担者	我澤 賢之	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 研究員
研究協力者	相川 孝訓	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 非常勤研究員

研究要旨 本件研究の目的は、補装具利用者の社会参加・自立支援に向けて、機能区分を活かす完成用部品申請手続きのシステムを構築することである。平成 25 年度に、システム構築のために、手続きの効率化、正確性の向上を目的として、Microsoft Excel を用いた電子申請様式（様式 A-1～8、様式 B-1～2、様式 C-1）を作成した。作成した様式についてアンケートを行い、多様な作業環境への配慮、ユーザビリティの向上、記入要領の改良等の必要性を見いだせた。平成 26 年度には、平成 25 年度実施のアンケート調査結果に基づく様式の改善に加え、記入要領等、説明会での説明方法の見直しも行い申請システム改善を図った。また、機能区分を踏まえた完成用部品申請システムについては、アメリカの L コードシステムを参考に構成案をまとめた。平成 27 年度は、他の研究課題として進めている補装具等完成用部品の機能区分の構成がまとまり、骨格構造義足の完成用部品についての考え方がまとまったことを受け、この機能区分を使った部品運用を行う上で必要な情報を整理するとともに、そうした情報を完成用部品登録申請を通じて集約することを想定した様式改訂案の作成、さらには、運用していく上で発生すると考えられる問題点についてまとめた。

A. 目的

補装具の完成用部品については、部品供給業者が部品毎に厚生労働省に対し「義肢装具等完成用部品の指定申請書」を提出し、認可されたものが「完成用部品等の指定基準」に掲載される。部品としては最低限の情報のみが掲載されているのみで、この部品で何ができるのかについての詳しい情報はない。また、義足製作時には利用者の能力や生活様式に対し必要な機能を持つ部品を適切に処方することが求められている。しかし、部品は日進月歩で新しい機能を持つ新しいものが開発され、多くの異なる機能が

あり何をどう選ぶか、情報収集するだけでも大変である。今回、他課題で完成用部品の機能区分により、同じ機能を持つものが同じ区分として整理されることで部品選択の際の選択肢が定まり、部品選択が明確化されていくことを期待する。整理した機能区分が有効に機能するためには、継続して使える仕組みが必要となる。そこで、完成用部品の機能区分が継続的に使えるようにするため収集すべき情報項目を整理すると共に、当該情報を完成用部品登録申請を通じて集約するために必要となる申請様式の改定案

の提案、及び、機能区分を取り入れた際に検討が必要となる項目についてまとめる。

B. 方法

B-1. 新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

作成された骨格構造義足用部品の機能区分に掲載されている内容と、本研究で改訂した補装具等完成用部品の現行の申請様式について機能区分をとり入れることで、新しく追加が必要となる項目についてまとめる。

B-2. 機能区分案を取り入れた場合、運用していく上で考えられる事項

補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、機能区分案を取り入れた場合に発生するであろう問題点についてまとめる。

C. 結果

C-1. 新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

現行の補装具等完成用部品の申請様式は、1つの様式で、義肢と装具、座位保持装置を網羅する形としている。しかし、本研究で機能区分案として纏めたものは、骨格構造義足用部品のみである。今回の申請様式は、装具および座位保持装置については考慮せず、義肢用申請様式としてまとめた。

機能区分案の項目は、

- ① コード
- ② 新名称
- ③ 機能区分

- ④ 機能概要
- ⑤ メーカー推奨適応活動レベル
- ⑥ メーカー名
- ⑦ メーカー品番
- ⑧ メーカー部品名称等
- ⑨ 使用者体重制限 (kg)
- ⑩ 主な使用材料
- ⑪ 重量 (g)
- ⑫ 価格 (円) (基準価格)
- ⑬ メーカー保証期間
- ⑭ 特記事項

の14項目がある。新しい部品を機能区分に分類するためには、いずれの機能区分に該当するかにかかる情報(①~④、ただし①の記載により②から④は規定される)ならびにその他の属性にかかる情報(⑤~⑭)が必要となる。

これらの項目を現行の申請様式に当てはめると、それぞれの様式で既に対応している項目は、⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬であった。この内訳を以下に示す。

現申請様式	機能区分項目
様式 A-2 (新規申請部品一覧)	⑥⑦⑧ ⑫
様式 B-2 (既収載部品一覧)	⑥⑦⑧ ⑫
様式 A-3 (価格根拠)	⑥⑦⑧ ⑫
様式 A-4 (部品概要)	⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬

現在の申請様式に記載箇所のない項目は、①~⑤、⑭であり様式に追加が必要である。考えられる追加の方法は、様式 A-2 に①~④、⑭、様式 A-4 に⑤の記入欄追加することである。

ただし、部品の持つ機能が有効に使われるものであるかを判断するためには、部品が持つ機能がどの様な効果をもたらすか確認していく必要がある。様式 A-6 のフィールドテスト評価で

機能と効果について、記入できるようにする必要はある。また、価格の妥当性についても、機能の持つ価値について検証していく必要がある。また、次項でも触れるように、申請部品毎に様式に記載された機能区分の妥当性を検証するための根拠に関して、現状で様式 A-4 部品概要に構造や機能（効果）にかかる記載項目があるものの、これで十分なのかどうか検討していく必要がある。

C-2. 補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、必要になる事項

この機能区分案は、あくまで研究の立場から作成・提案するものであるが、仮に補装具費支給制度のなかで公的なものと位置づけられることになった場合、必要となる事項についてまとめた。

1) 機能区分についての周知

各メーカー、補装具評価検討会メンバー、国リハ補装具等完成用部品の事前評価メンバーに機能区分の分類について周知する。

2) 機能区分の妥当性の検証

申請部品を各メーカーが独自に機能区分に割り当てたものが妥当であるか確認し、機能区分が適正に運用されるようにする。

3) 平成 27 年度等新規収載部品の情報集約

現行機能区分案は平成 26 年度の部品に基づいている。今後部品申請のなかで区分のための情報集約が行われるようになったとして、少なくとも平成 27、28 両年度に新規収載となった部品については申請とは別に必要情報の集約を行う必要がある。

4) 新しい機能の取り込み

新しい機能を持つ部品の申請があった場合、現存の機能区分に当てはめ特記事項に追加される機能を記入する。もしくは、新しい機能区分の枠を作るかを判断する。

5) 新しい機能区分の作成ルール

新しく機能区分の枠を作成する場合、新しい機能の名前を誰がどのようにして付けるかルール作りが必要である。また、数年に一度、機能区分の整理に不適正な分類がされていないかを見直す機能が必要である。

D. 考察

機能区分案が、仮に補装具費支給制度のなかで公的なものと位置づけられるとすれば、完成した機能区分案に合わせ、厚生労働省補装具完成用部品指定申請様式の改訂が必要となる。機能区分の掲載される項目を載せるだけではなく、機能区分が有効に使われているかを判断し、取り入れていくための情報収集ができる様式作成が必要である。

運用に際して、問題になると思われる事項について取り上げ、ルール作りが必要な点について指摘した。

制度で完成用部品として指定しているものは義肢・装具・座位保持装置の 3 種類であり、骨格構造義足は、購入基準で定めている義肢の種目の一部であり制度として運用するようになるためには、他の種目についても早急な完成用部品の機能区分の作成が望まれる。

E. まとめ

今回の研究では、完成用部品の機能区分案を取り入れることによる問題点についてまとめた。申請様式について、不足項目を追加するこ

とで、機能区分案の情報を全て集めることが可能であることが確認できた。さらに、部品の持つ機能の有効性の検証データの収集、機能に対する価格の妥当性を検証するための情報など細部に渡って様式確認が必要となる。運用の面では、機能区分を継続して維持するためには、機能区分を壊さないよう運用していくことが重要である。

今後、機能区分で部品が整理されることにより、利用者と部品の対応を明らかになり、利用者に必要な機能から必要な部品選択が行えるようになることを期待したい。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権に出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
	該当なし						

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
	該当なし				

附録

「第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会 —完成用部品の機能区分整理がひらく公平・公正な判定と適正な価格—」

資料

●開催日時・場所

平成27年7月25日（土）13時～17時

国立障害者リハビリテーションセンター学院講堂

●来場者数

一般来場者数 100名

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会 —完成用部品の機能区分整理がひらく公平・公正な判定と適正な価格—

平成25～27年度厚生労働科学研究費補助金研究プロジェクト「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」研究班において行われている調査等研究成果を踏まえ、平成26年2月に開催された第1回公開研究会に引き続き、第2回公開研究会を下記の通り開催いたします。

ふるってご参加いただけますよう、お願いいたします。

●研究会概要

平成27年7月25日（土）13時～17時（開場 12時半）

国立障害者リハビリテーションセンター学院講堂

（埼玉県所沢市並木4-1 最寄駅：西武新宿線 航空公園駅、新所沢駅）

主催：厚生労働科学研究費補助金研究プロジェクト

「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」研究班

（研究代表者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部長 井上剛伸）

対象：更生相談所関係者の方、完成用部品・補装具の製作・販売にかかわられる方、補装具利用者の方、補装具の処方にかかわられる方、その他補装具に関心のある方などなたでも参加可能です。

定員：200名（定員になり次第締め切ります） 参加費：無料

情報保障：要約筆記を予定

ホームページ：<http://www.rehab.go.jp/ri/event/2015kourou-hosougu/>

※本研究会は平成27年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」を受けて開催します。

●開催趣旨

障害福祉制度における補装具費支給制度は、身体障害者の自立と社会参加を支えるうえで重要な役割を担っています。必要とする人がより適切な補装具を使えるようにしていくためには、利用者の機能、補装具の機能、価格が適切にマッチした制度や仕組みが必要であると考えられます。

適切な補装具費支給を行っていくためには、全国の更生相談所の補装具判定における基準解釈を平準化し、地域格差をなくして公平・公正な判定の考え方を理解する必要があると考えられます。補装具のなかでも義肢・装具・座位保持装置については、完成用部品（厚生労働省により認可されたモジュール化された部品）に関する通知において部品の機能の違いなどが必ずしも明瞭でなく、どのような利用者にとってどのような部品が適しているのかわかりにくい部分があるという問題があります。義肢等の支給判定をよりわかりやすいものにし、これとあわせてその価格の妥当性を考えるうえで、完成用部品の機能を整理することは一つの課題と言えます。

こうした問題を解決するための一つの案として、厚生労働科学研究費補助金研究プロジェクト「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」（研究代表者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部長 井上剛伸。研究予定期間 平成25～27年度）では、米国保険制度におけるL code等の制度を参考にしながら、完成用部品供給事業者を対象とした調査を踏まえ、研究の立場から骨格構造義足を例として、完成用部品の持つ機能の区分としてどのようなものが考えられるか整理してまとめる作業とその区分方法の開発を進めています。また、どのような機能がどのような補装具利用者のためのものなのか整理し、その情報を判定にどのように活かせるかを検討すること、機能ごとの完成用部品価格の分布の現況をまとめ、将来部品の価格のあり方を考える場合に役立つ基礎材料とすることを考えています。

本研究会では、このような課題を含めた補装具費支給制度についての現況について報告し、関係者間での意見交換をおこないたいと考えています。

●プログラム

※講演者・コメンテーターの方のお名前は敬称略とさせていただきます。

13:00-	1. 開会挨拶
	I. 基調講演
13:05-	2. 【基調講演 1】我が国における義肢装具発展の軌跡と今後の課題 澤村 誠志（兵庫県立総合リハビリテーション中央病院 名誉院長）
14:05-	3. 【基調講演 2】更生相談所における補装具費支給基準の理解と機能区分への期待 樫本 修（研究分担者：宮城県リハビリテーション支援センター 所長）
14:30-	4. 質疑応答
14:40-	————— 休 憩 —————
	II. 研究班からの報告
14:50-	5. 研究概要について 井上 剛伸（研究代表者：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長）
15:05	6. 完成用部品の機能区分 児玉 義弘（研究分担者：ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー 福祉事業推進部参与） 山崎 伸也（研究分担者：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 副義肢装具士長）
15:15-	7. 完成用部品の機能と価格 我澤 賢之（研究分担者：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 研究員）
15:25-	————— 休 憩 —————
	III. 機能区分へのコメント
15:35-	8. 補装具行政の立場より機能区分に期待すること 加藤 晴喜 （厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室 福祉用具専門官）
15:50-	9. 部品供給事業者の立場より機能区分へのコメント 矢野 裕一（日本福祉用具・生活支援用具協会 義肢装具部会 部会長、 オットーボック・ジャパン株式会社 義肢事業部 事業部長）
16:00-	10. 義肢・装具製作事業者の立場より機能区分へのコメント 松本 芳樹（日本義肢協会 理事・補装具委員長、株式会社松本義肢製作所 代表取締役）
16:10-	11. 義肢装具士の立場より機能区分へのコメント 坂井 一浩（日本義肢装具士協会 会長。人間総合科学大学保健医療学部 教授）
16:20-	12. 座位保持装置製作事業者の立場より機能区分へのコメント 後藤 和章（一般社団法人日本車椅子シーティング協会 副代表理事／制度委員、 日本ウイール・チェアー株式会社 専務取締役） 安田 富男（一般社団法人日本車椅子シーティング協会 会員、 有限会社ヤスタ・ブレース 代表取締役）
16:30-	13. 質疑応答
16:55-	14. 閉会挨拶（17:00 閉会）

●参加お申し込み方法

参加御希望の方は、下記の内容を御記入のうえ電子メール又は参加申込用紙にてFAXにて、7月22日（水）17時までにお申し込みください。なお、定員を超えた場合締切前であっても受付を終了する場合があります。

- ・お名前（ふりがな） ・御所属 ・御連絡先（住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）
- ・その他ご連絡事項が何かございましたら併せてお書きください。

お申込先・お問い合わせ先 E-mail：fksevent@rehab.go.jp FAX：04-2995-3132（我澤宛）
担当：我澤（がさわ）

※ ご提供いただいた個人情報は、厳重に管理し、本研究会の管理運営以外には、使用いたしません。

I. 基調講演

補装具の適切な支給表現のための制度・仕組みに関する研究会
国立障害者リハビリテーションセンター 2015, 7, 25

我が国内外における 「義肢装具」発展の歴史 と今後の課題

兵庫県立総合リハビリテーションセンター

澤村 誠 志
神戸医療福祉専門学校三田校
Past President of ISPO

自己紹介

父が切断者であったため、切断と義肢をニライフワークに選び整形外科医となる。
海外研修費を稼ぐために1959年米国病院でインターンをつとめ、カリフォルニア大学義肢教育科で「義肢装具士」として、義肢研修を受ける。

お話させていただく内容

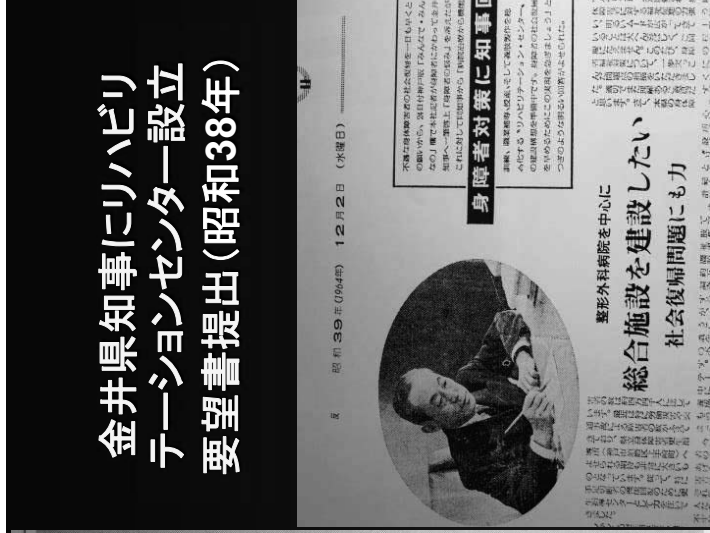
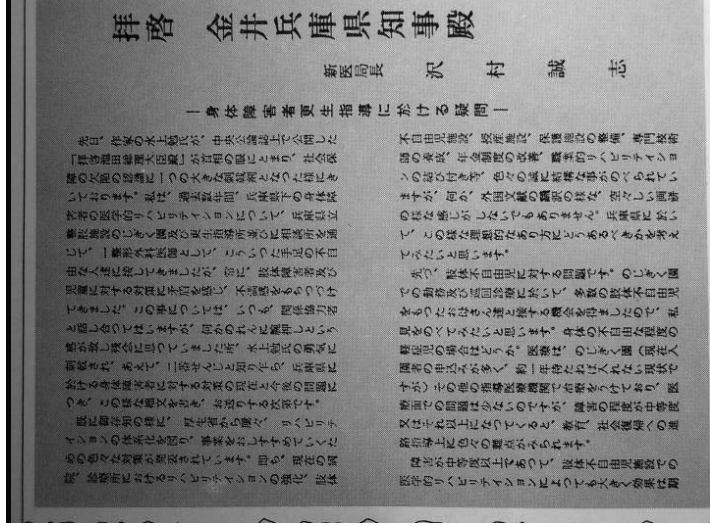
- 我が国の義肢装具が発展してきた歴史
義肢装具研究同好会から日本義肢装具学会へと発展
義肢装具士教育、資格制度、価格の適正化、
部品標準化(ISO対応、JIS規格化)、
国際化への対応のあゆみ
- ISPO(国際義肢装具協会)への参加・活動により、第6回
ISPO世界会議を神戸で開催、アジア義肢装具学会の発会、
第1回世界義肢装具教育者会議。
障害のある人々に、最も適した義肢装具を支給する
ため、優れた、汗をかく義肢装具士を育成するための、
適正価格への基本的な改革の必要性
- 広域的なテクノエイドサービス拠点づくりが必要でないか



1961年より、35年間兵庫県下の
身体障害者巡回移動相談を担当(年
間35回)、障害のある3000人々の
生活実態より多くを学ぶ。
22年間身体障害者更生相談所長を兼務



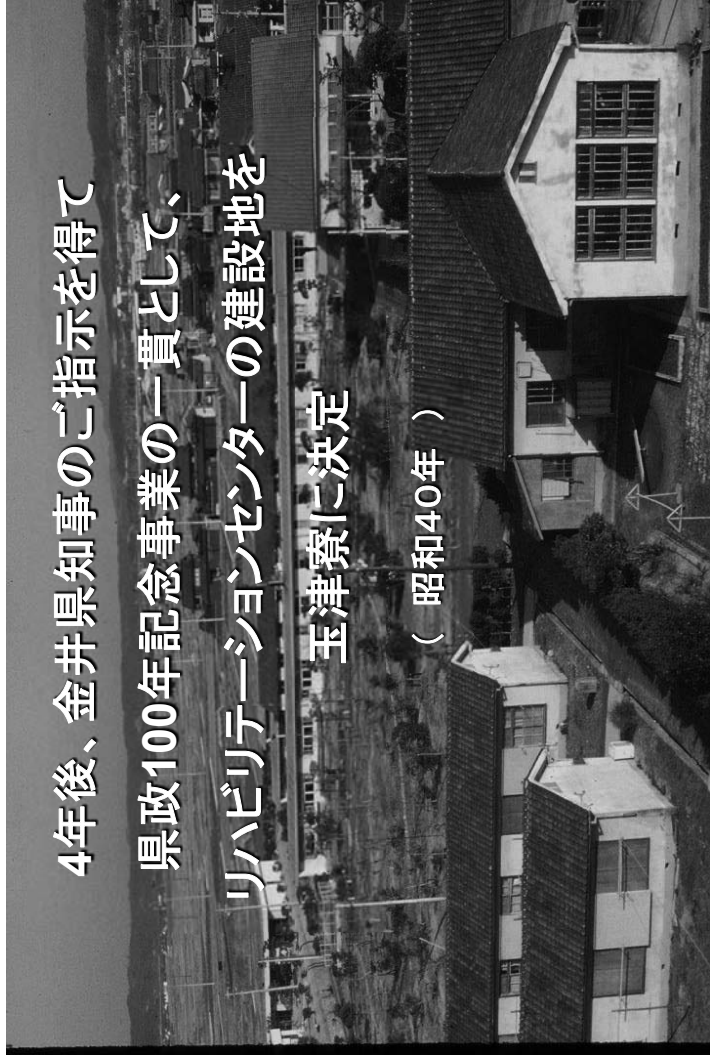
わが国の独特の生活様式は、欧米で学んだ義肢手技は適しない。これが私の「地域リハビリの基礎」となる。



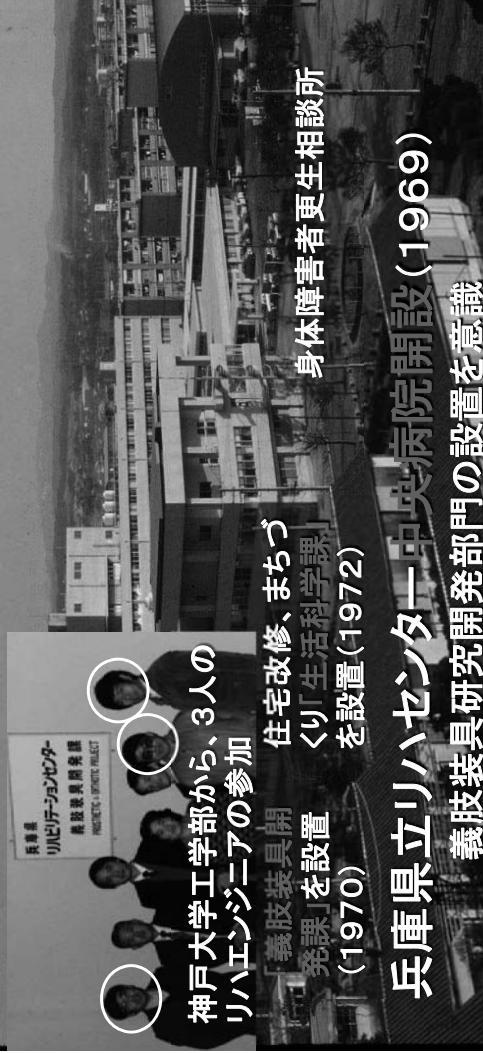
切断者の我が国独自の生活様式から、その多面的なニーズを学ぶ

障害者こそわが師、地域が教科書

障害者の社会参加には、総合的なリハビリテーションサービスの拠点が必要であると信じるようになる



4年後、金井県知事のご指示を得て
 県政100年記念事業の一貫として、
 リハビリテーションセンターの建設を決定



兵庫県
 リハビリテーションセンター
 建設委員会
 MEMBERS & SPECIAL GUEST

神戸大学工学部から、3人の
 リハエンジニアの参加

義肢装具開
 発課を設置
 (1970)

住宅改修、まちづ
 くり「生活科学課」
 を設置(1972)

兵庫県立リハビリテーション中央病院開設(1969)

義肢装具研究開発部門の設置を意識



段差解消機

OT,PT,SWのチーム



退院前に、住宅改修・適切な福祉用具の選択レンタルへ



より速く、正常に近い歩きができる
*Intelligent prosthesis*の開発

兵庫県立総合リハビリセンター中川昭夫

ISPO(国際義肢装具協会)世界
 会議でブラッチフオード賞を受賞



社会生活カププログラム

障害別グループ訓練

- 1.生活の基盤を作る
- 2.自分の生活を創る
- 3.自分らしく生きる
- 4.社会参加する
- 5.自分の権利を生かす

自立生活訓練センター

(身体障害者更生訓練施設)



自立生活訓練プログラム

18



自動車改修・習熟訓練

24種類の自動車改修
(作業療法(T))

15



兵庫県立障害者スポーツ交流館 年間利用者8万人

障害者スポーツのすそ野の拡大
障害者スポーツ選手の育成強化
(2020東京パラリンピックに向けて)

全国規模の大会の開催

のじぎく杯車椅子バスケット、シッタンバレー、アーチェリー

聴覚障害者女子バレーボール競技
兵庫女子チーム 優勝

車椅子バスケットボール

14



職業リハビリテーション

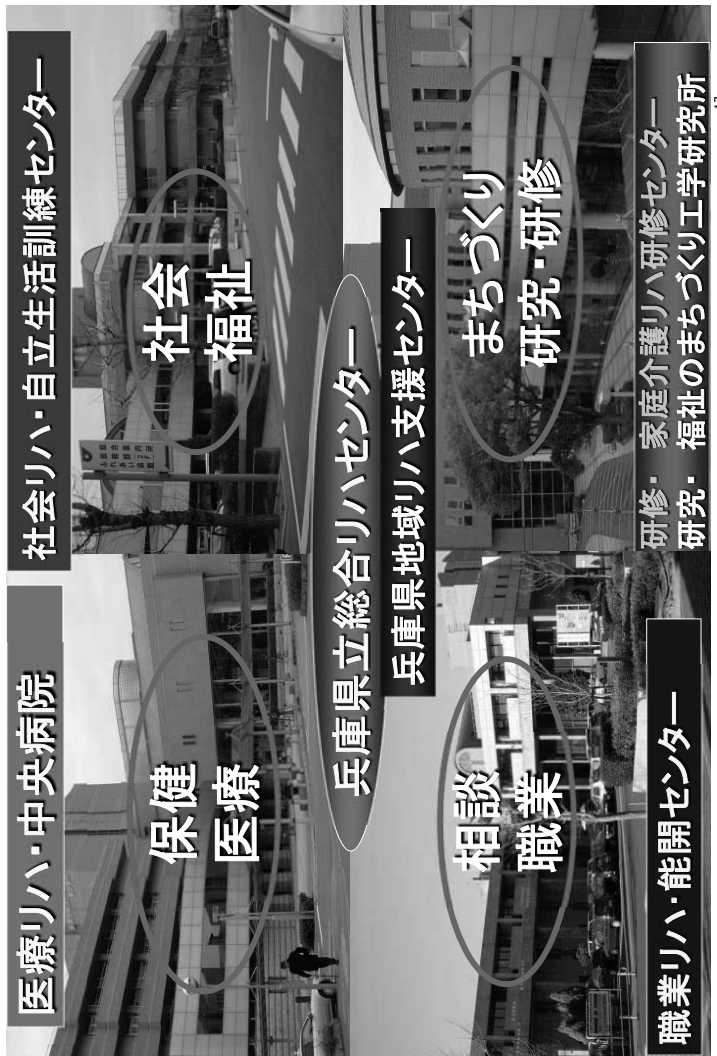
SOHO; ネットワーク

↑
IT訓練による在宅就労
を目指す
(重度身体障害者)

できるかぎり、一般就労・
雇用をめざす

兵庫県就業・雇用支援ネットワーク
ジョーブコーチ、福祉就労との連携

16





1867; 歌舞伎役者沢村田之助Dr.Hepburnにより下腿切断、
 米国より義足を取り寄せる
 1893; 初めての義肢装具製作所 奥村済生館
 1895; 日清戦争後、皇后陛下より恩賜の義肢
 1902; 鈴木祐一「義手足纂論」
 1905; 日露戦争; 乃木義手
 1908; 田村式義手足製作所開設
 1924; 同潤啓成会創設
 1937; 商工省義肢研究所設立(現鉄道弘済会義肢研究所)
 鉄脚義足、15年式義手
 1939; 帝国議会で国立義肢研究所設置決定
 1946; 義肢協会設立
 1949; 国立身体障害者更生指導所(現国立身体障害者リハセンター)設置

日本義肢装具学会にいたる軌跡

・ 1968. ; 第1回義肢装具研究同好会開催(神戸, 幹事 澤村・村田)

欧米に比較して遅れている日本の義肢装具の現状の打破と発展

選択したテーマは

- 1) 医師、セラピスト、義肢装具製作技術者の義肢装具に関する教育と義肢装具製作技術者の資格制度の必要性、
- 2) 切断者のリハビリテーション過程を阻害している法制上の問題、
- 3) 義肢装具の現行価格の適正化および義肢装具部品の開発の問題点
- 4) 研究・情報交換の場の必要性; 以後年2回開催

その後日本義肢装具学会への発展への布石となる

25

日本義肢装具研究同好会の経緯

- 1968; 第1回 澤村誠志・村田秀雄
- 1968; 第2回 武智秀夫・明石謙
- 1969; 第3回 上田敏・山内裕雄
- 1970; 第4回 野島元雄
- 1970; 第5回 吉原瞭
- 1970; 第6回 大川嗣雄
- 1971; 第7回 今村哲夫・加倉井周一
- 1971; 第8回 青山孝
- 1972; 第9回 佐藤育徳

26

日本義肢装具研究会(幹事)の経緯

1972; 第10回	川村次郎	1977; 第19回	明石謙
1973; 第11回	今田拓	1978; 第20回	大塚哲也
1973; 第12回	飯田卯之吉	1979; 第21回	岩倉博光
1974; 第13回	野島元雄	1980; 第22回	川村一郎
1974; 第14回	佐藤和男	1981; 第23回	大井淑雄
1975; 第15回	中島咲哉	1982; 第24回	千野直一
1975; 第16回	北川敏夫	1983; 第25回	緒方甫
1976; 第17回	大川嗣雄	1984; 第26回	立岩邦彦
1976; 第18回	長尾竜郎		

1985年より、「日本義肢装具学会」に発展

27

1971; 日本リハビリテーション医学会(土屋弘吉会長)に、「義肢装具委員会」を設置(澤村誠志委員長)
「義肢装具に関する将来計画」作成

- ① 義肢・装具に関する医師卒後研修
- ② 義肢装具製作技術者の養成と資格制度
- ③ 義肢装具支給体系上の問題
- ④ 義肢装具の標準規格化
- ⑤ 義肢装具のJIS用語の作成
- ⑥ 義肢装具の研究開発体制

1972; 日本整形外科学会に「義肢装具委員会」

(加倉井周一委員長)が発足

両学会が協働で義肢装具関係の具体的発展を図る

28

1975; 日本義肢装具研究会に

「義肢装具部品規格化研究会」を発足(加倉井周一委員長)

わが国の代表的な研究施設ならびに部品メーカーが集まり、自主的な検討会を発足。
海外諸国における標準化の実情、具体的な試験方法についての勉強を開始。



1976; 通産省工業技術院の予算協力を得て、

「福祉関連機器(義肢装具部門)標準化推進のための調査研究」開始。

(日本リハビリテーション医学会が受け皿となる)

「福祉関連機器(義肢装具部門)標準化推進のための調査研究」

- 1976年度; 全国切断者1500人
- 1976年度; マヒ患者1100人
- 破損義肢装具部品の回収および金属工学的検討、
- 各部品毎に現用品の寸法・材質・デザイン・機能調査
- 試験法の開発と試験機の開発

1982年まで1億円の予算にて検討(通産省)
日本リハビリテーション医学会が受け皿となる

JIS規格原案作成委員会 1983

- 義足関連規格(1985);
 - ①義足足部、②義足膝部、③骨格構造義足
- 金属製下肢装具用部品(1986);
 - ①足継手、②あぶみ、③膝継手
- 能動義手関連規格(1987);
 - ①能動フック、②能動ハンド、③能動肘ブロック継手
 - ④能動肘ヒンジ継手、⑤コントロールケーブルシステム
- 手継手、義手用装飾手袋、

ISO/TC168/WG3対応規格(1996)

1986 義肢装具JIS用語【義肢装具部門】T0101

厚生省
身体障害者福祉審議会

補装具小委員会

⇕ 河野康徳専門官の協働大

日本リハビリテーション医学会
日本整形外科学会
日本義肢協会
日本義肢装具技術者協会

補装具小委員会による改正

昭和53(1973)年;補装具の名称改正

昭和53(1978)年~昭和56(1980)年;

補装具価格体系の改正
(種目、構造、工作法)

後述
します

昭和51(1976)年~昭和58(1983)年

福祉関連機器標準化(通産省)

しかし、最大の問題であった義肢装具製作技術者の教育、国家資格の獲得に10数年の年月を要した。

チームアプローチによる義肢装具クリニック

兵庫県立総合リハビリテーションセンター(毎週月曜日)



義肢装具士が多職種と人たちと対等の立場で参加する

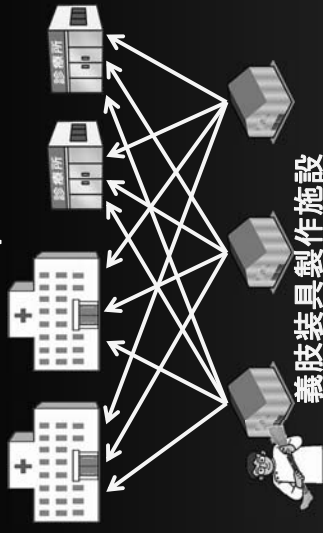
海外先進国と日本における義肢装具製作体制の相違

海外先進国



公的病院内での義肢装具士が、他の医療職と連携して、チームの一員として、義肢装具サービスをおこなえる体制がとりやすい。

日本



義肢装具士が病院、診療所を訪問し、義肢装具を受注する。製作後、再び病院、診療所を訪問し適合させる。チームの一員として参加する体制が取りにくい。

義肢装具士教育機関と資格制度誕生までの歩み

義肢装具士が国家資格が必要とした理由

殆どの義肢装具が、治療や自立生活支援の目的で、公費で支給されている現状では、義肢装具の製作に係る技術者の身分制度が無くてはならない。

また、理想的には、義肢装具クリニックにおいて、義肢装具士が、障害のある人々の立場に立って、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、ソーシアルワーカー、リハエンジニアなどのチームアプローチの中で、チームの1員として、義肢装具の処方、評価、適合判定などにもっと積極的な役割を果たすことが大切である。

そのためには、義肢装具士は他のリハ専門職種と同様の教育制度・資格制度が必要である。

1967；社団法人義肢協会発足

- 1969；義肢協会理事会（事務局）にて、

「義肢装具製作技術者の教育・資格制度の必要性」を述べるも、川崎理事長以下多くの理事から必要性がないとの反対の意見が述べられる。

同時に、日本義肢協会から、医師の義肢装具に関する教育の欠落について改善の指摘を受ける。

これが、初山先生のご努力により、1973年からの補装具適合判定医師研修会（国立身体障害者リハビリテーションセンター（当初2週間、現在1週間）発展につながる。

義肢装具士の資格問題促進のための条件として（厚生省からの提示）

- 1) 当時の義肢装具製作者・業界の実態・職員の資質
 - 2) 義肢装具製作専門職の社会における需要調査
 - 3) 養成施設の設置のための条件づくり
 - 4) 義肢装具業界の資格制度への一体感
- 1973；義肢協会が「日本義肢協会」に変更、一枚岩となる

関係5団体による資格制度推進協議会

1978年発足

日本整形外科学会
日本リハビリテーション医学会
日本義肢装具技術者協会
（日本義肢協会）
日本理学療法士協会
日本作業療法士協会

1971; 「義肢装具適合士の教育体制および資格制度確立と義肢装具行政の改善に関する要望書」を厚生省に提出

1974; 「義肢装具製作技術者の専門教育養成計画と資格獲得のための具体的実施案」

1975; 「義肢装具製作技術者の教育・資格制度に関する要望書」を厚生省に提出。しかし、業界との一体感がないと、資格制度は無理と否定。

1978; 義肢協会が「日本義肢協会」に変更、同時に5団体による「資格制度推進協議会」を設立。

1979年; 所沢に完成した国立身体障害者リハビリセンターが発足する。(更生訓練所、病院、学院とともに研究所が発足、飯田先生が初代研究所長に就任。研究所には補装具製作部と調査研究室が置かれた。

その後、飯田卯之吉先生により、近代的な義肢装具の製作技術が、日本の多くの義肢装具製作技術者に伝達され、遅れていた製作技術がかなり挽回された。

1982年、要望していた「義肢装具専門職養成過程」が国立身体障害者リハビリセンターに設置

義肢装具の新技术の伝達された飯田卯之吉先生

1955年; 国立身体障害者更生指導所に転職される。

1956; 第1回義肢技術講習会開催(厚生省社会局主催)

トスバーク博士; 四辺形大腿吸着義足
1962; 国立身体障害者更生指導所に付属補装具技術研修所を設置

1959年から1年間米国NYUに留学され、その帰途、UCLAで、義肢研修を受けていた澤村との出会い。



初代学院PO主任教官田澤英一先生の存在なくしては、我が国のPOの教育はなかった。



1期生卒業式1985
しかし国家資格義肢装具士法成立間に合わず



両側前腕切断直後に、手術室にて
義肢装具士が義手を装着、

循環障害により、
両前腕より手部にかけて壊死

切断術翌日より、前腕能動義手を使用
熟練した医師、PT、OT、義肢装具士
のチームアプローチが成功の鍵を握る



Immediate post operative prosthetic fitting
股関節離断直後に適応



麻酔覚醒以前に、断端に、ギブスソケットを装着する



術前に仮義足を用意、直後に装着
術後4日目に仮義足歩行

1987：厚生省での義肢装具専門職の資格制度
が進展しない中で、
術直後義肢装具法における義肢装具士の手術
室での仕事を厚生省健康政策局医事課阿部正
俊課長に説明する。



POによる切断直後のギブス巻き
仮義肢をギブスソケット装着

これが医療職として義肢装具士身分制度設立につながる。厚生省健康政策局医事課内に、「医療関係職種資格制度の在り方に関する検討会」が発足、阿部正俊課長の心に感謝。

1987年(昭和62年)5月に義肢装具士法が成立、

義肢装具士法成立記念祝賀会
(社)日本義肢協会

川村一郎理事長の献
身的なご努力に感謝

1987年7月22日
京王プラザホテル



土屋弘吉
日本義肢装具学会会長

斎藤十郎厚生大臣祝辞

厚生労働省認可 義肢装具士教育施設

国立障害者リハビリテーションセンター学院	1982	10名
日本聴能言語福祉学院	1988	30名
熊本総合医療リハビリテーション学院	1989	28名
人間総合科学大学保健医療学部リハビリテーション学科 義肢装具士専攻	1991	30名
神戸医療福祉専門学校三田校	1995	30名
西武学園医学技術専門学校 義肢装具学科	2005	28名
北海道工業大学 医療工学部義肢装具士専攻	2006	30名
北海道ハイテクノロジー専門学校	2006	30名
新潟医療福祉大学医療技術学部義肢装具士自立支援学科	2007	40名
神戸医療福祉専門学校三田校義肢装具士科4年制	2008	30名

国立障害者リハビリテーション学院義肢装具士学科が、まさに日本の義肢装具士教育の基盤づくりをされ、卒業生がその後創設された多くの義肢装具士教育施設の学科長、主任教員を務められ、質の高い教育内容を継投されている。

また、義肢装具士の各教育施設が「日本義肢装具教育者連絡協議会」を設け、教育内容の向上を旨とした自主研鑽を行なっている。

業界に就職された卒業生が、POOB会を創り、POアカデミー(現日本義肢装具士協会)を創設、義肢装具士装具士の研修・教育をリードされていることなどに敬意を表したい。

義肢装具士への期待

医療チームメンバーとしての積極的な参加活動
義肢屋さん、装具屋さんからの脱却

福祉用具のものづくりの技術を生かして、障害者・高齢者の生活支援活動・福祉用具をはじめとするテクノエイドなど仕事の範囲の拡大

国際資格カテゴリー I を獲得し、海外先進国における義肢装具研究開発への参加、
開発途上国における教育・研究への参加。

128

53

義肢装具領域における 国際協力

アジア領域における
ISPOのInternational Consultant
としての仕事からスタート

54

リハビリテーションセンター建設に際して県から
海外視察の機会を頂く

(1969)

海外リハビリテーションセンター、
義肢・切断研究所をリストアップ

香港、シンガポール、インドネシア、インド、ロシア、ポーランド、
フィンランド、デンマーク、スエーデン、ノールウェイ、スイス、
フランス、ドイツ、イタリー、イギリス、カナダ、アメリカ

3ヶ月かけて23カ国、37カ施設を訪問(27ドル/日)

兵庫県での下肢切断者に対する義足の研究開発とその
在宅生活を記録した映画を製作し、世界を一周。
これが、ISPO(国際義肢装具協会)との関係のきっかけ

55



ISPO創始者のDr. Knud Jansenから、義肢装具における
日本・アジアへの窓口となることを依頼される。(1969)

56



ISPO各地域代表理事
(1982)

ISPO日本支部を設立し、ISPO(国際義肢装具協会)の活動に参加。(アジア担当の国際コンサルト・理事・副会長)。その後20年間、公私に亘る心の友、得難い友人となる。



第6回 ISPO(国際義肢装具協会)世界会議・神戸、1989

我が国の義肢装具関係者
すべてが組織の一体的な協
力により、国際的に優れた評
価を得る。



International Society for Prosthetics and Orthotics

国際義肢装具協会

75カ国 会員3000名

- 40% 義肢装具士
- 25% 医師 (10% 整形外科 15% I/H 医)
- 7% エンジニア
- 10% PT, OT
- 5% 整形靴 製作者
- 13% Podologist, 技術者, 看護師, 臨床心理学者, シャトルワール



1989, 11, 10 K ISPO Presidentに選出される



このメンバーに支えられて何とか会長職をこなす。



ホーチミン整形外科病院

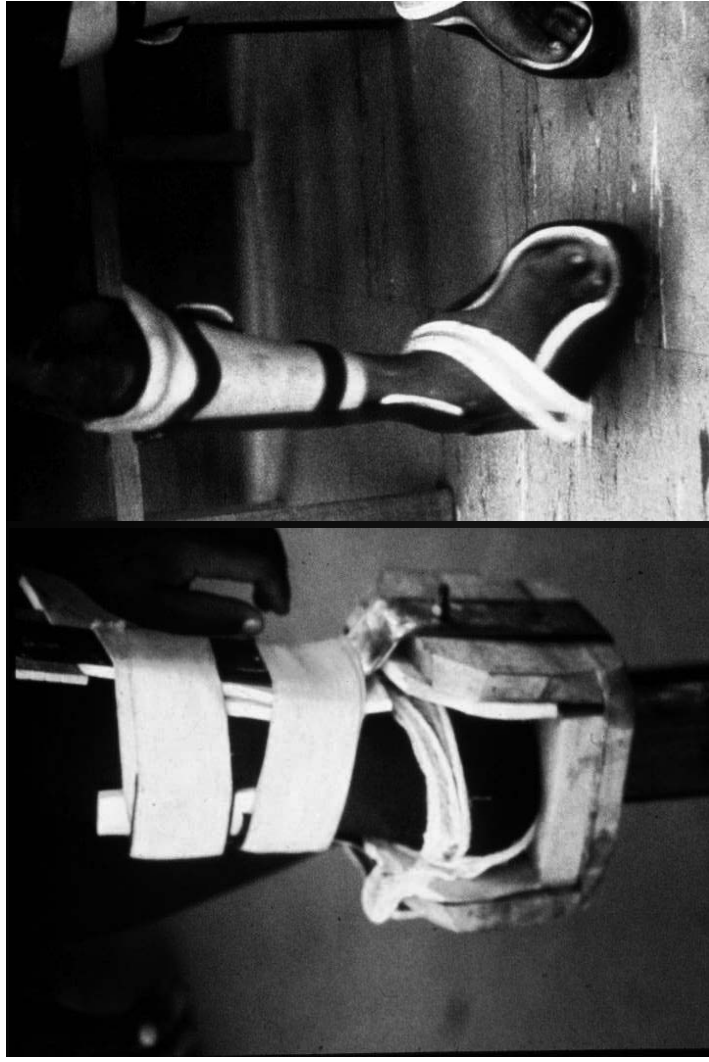
Motorization とくに
自動2輪の発達により、
重傷の交通事故に
よる切断者が激増。



対人地雷による切断者が
現在も1日30人、多くの
が適切な義足をまつ。

(カンボジア)

対人地雷





手製の義足(タイ)

65

131



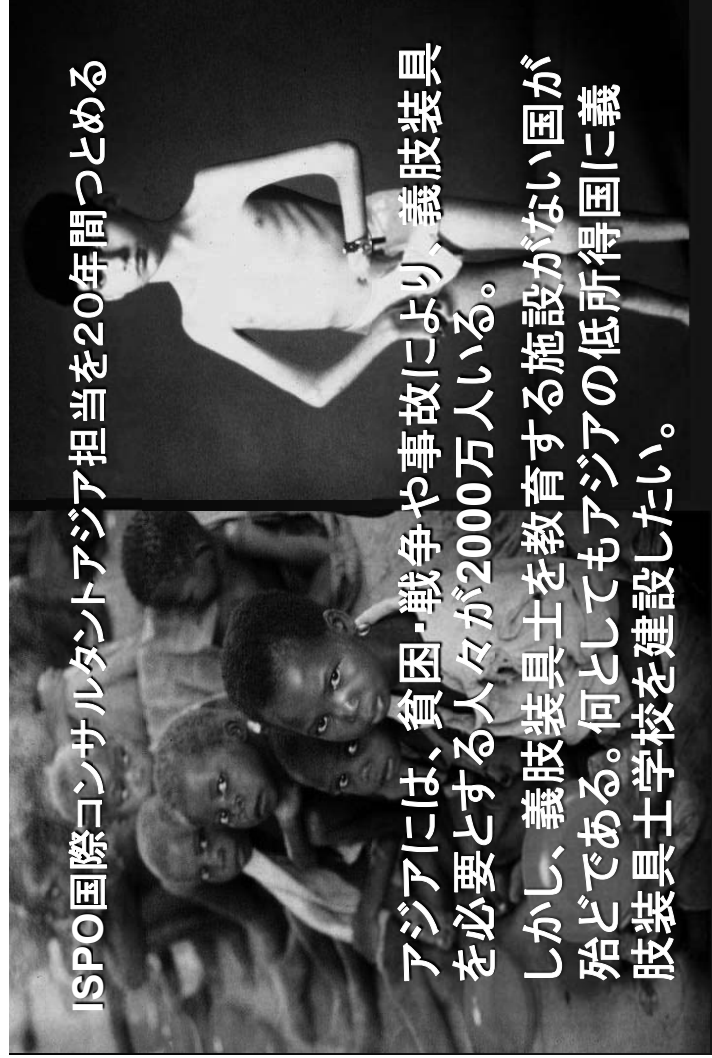
ISPO教育コース(チェンナイ・インド)
下肢切断と義肢(1996)

67



低所得国における適切な義肢装具サービス
カンファレンス(プノンペン・カンボディア; 1995)

66



ISPO国際コンサルタントアジア担当を20年間つとめる
アジアには、貧困・戦争や事故により、義肢装具を必要とする人々が2000万人いる。
しかし、義肢装具士を教育する施設がない国が殆どである。何としてもアジアの低所得国に義肢装具士学校を建設したい。

68



アジアで、義肢装具を必要とする人々は、2000万人
これに対する義肢装具士は2%のニーズしかない。
アジア義肢装具センター設立に向かって
行動を開始する(1988)



ベト・ドク;先天性骨盤結合児

依頼を受け、Tudu 病院で義足作成

ベトの脳炎により、骨盤で切り離される

翌日、義足装着を喜ぶドク



枯葉剤散布により、多くの先天性奇形児が生まれる
(ベトナムホーチンミン市Tudu病院)



Docさん結婚式(2006, 12, 16)



Docさん、ふじちゃん、桜ちゃん連れで来日
(2011. 4. 16 神戸学院大学)

133



タイ; 2002年マヒドン大学、シリントシリハシリセンターに4年制義肢装具士科スタート。
以後インドネシア、フィリピン、スリランカ、ミャンマに設立

Opening ceremony 2002

75

日本財団
The Nippon Foundation

- Established in 1962 as a private, non-profit grant-making organization
- 外務省のODA支援による教育施設(インドネシア)建設に奔走するも結実せず、失意のなかで、田澤英二氏のご努力により、日本財団のご協力を得て、タイに4年生の義肢装具士教育施設をスタートすることとなる。
- Budget for expenses—USD 250 million (2005)

74



兵庫県リハビリセンターで開催・参加した
ISPO理事会のBoard Members を活用し、
アジア義肢装具セミナー開催へ(幕張、1997)

76

Chairman of National Member Societies in South East Asia

China

Mr. Yihus Bai

Pakistan

Dr. Skhtar N. Mahmood

Hong kong

Mr. Kwan Hung-Hei

Viet Nam

Dr. Ha Ahn

Japan

Dr. Seishi Sawamura

Nepal

Dr. Ashok Bajracharya

Korea

Dr. Jung Soon Shin

India

Mr. Chapal Khasnabis



1997、幕張

アジア諸国代表者参加による義肢装具セミナー

Key Persons in South East Asia

Cambodia

Mr. Carson Harte

Singapore

Prof. Balasubramaniam

Indonesia

Dr. Handoyo Tjandrakusuma

Laos

Dr. Alain Patel

Philippines

Dr. Winston Estesa

Malaysia

Dr. Zaliha Omar

Taiwan

Dr. Chen Shen Tung

Myanmar

Dr. Than Toe

Thailand

Dr. Therdchai Jivacate

アジア義肢装具学術大会

1997年; 日本幕張 (田澤英二、澤村誠志)

2002年; 香港 (Arthur Mak)

2006年; 韓国 (Tai Ryoony Han)

2009年; 香港 (M.S.Wong)

2012年; 日本神戸(陳隆明)

2014年; 台湾 (Chen Shen Tung)

2016年; 韓国・タイ

アジアにおける義肢装具サービスの発展の為に、
ISPO JAPAN(陳隆明会長、佐々木伸事務局長)の
リーダーシップが高く評価されている。



ISPO日本支部は、神戸医療福祉専門学校三田校に設置。
 (陳隆明会長、佐々木伸事務局長、渡部匡朗国内担当)

グローバルな視野からみた 義肢装具士の教育



Face to faceの関係大切に
 会長 陳隆明
 ISPO president Bengt Soderberg
 中国 王喜太
 韓国 Beng-M S Wong
 香港 Ok Wong Kim
 香港 Kwan Hung-Hei

WHO/ISPO 義肢装具士の教育レベル



- Cat. I : Prosthetist-Orthotist (4年制教育)
- Cat. II : Orthopaedic Technologist (3年制教育)
- Cat. III : Prosthetic/Orthotic Technician

途上国であっても、Cat. I の教育を進める方向にある。2015年現在Cat. I 認定施設は世界で16校、わが国では、神戸医療福祉専門学校三田校のみであるが、将来の他校への拡がりを期待したい。

ISPO Cat. I 義肢装具士の職業プロフィール

1. 医療チームの平等な一員として参加する。
処方・評価において積極的な役割を担う。
ソケットや身体とのインターフェイス、部品や懸垂装置の選択の処方に参加する。
2. 適合と製作において、カテゴリーⅡ・Ⅲの活動を指導・管理する。
3. 最新の研究開発について情報を得て、適応するか、どうか厳密に判断し、医師を初めチームメンバーに紹介する。
4. 義肢装具の研究・開発への参加、論文の提供をする。
英語力と日々の努力が大切である。

136

85



海外で働く卒業生(神戸医療福祉専門学校三田校)

20 students from 2002 through 2014
who are now in Australia, New Zealand,
Thailand, Singapore and Indonesia.

故内田充彦ISPO日本支部事務局長の功績が大きい

87

ISPO Global P&O Educator's Meeting in KOBE, JAPAN 25-27, June 2014

ISPO教育委員会が、世界の全義肢装具教育機関を招いて、初めての合同会議が昨年6月神戸で開催。

目的;

1. 義肢装具の発展にとって将来必要なニーズについて論議を行う
2. 学生教育の充実を図るための教育モデルの検討、
3. P&O教育機関間の情報交換、将来の協働
4. P&Oの実践・教育における研究の重要性
5. P&Oプログラムの発展における利用者の意見

86



ISPO:国際資格Cat. I の個人認証試験(三田校、2014, 8)

88

参加者; 41か国より132名、神戸ニチイ学館



2014年6月25日



第1回世界義肢装具教育者会議(2014.6.25-27)
学生諸君による日本文化紹介パフォーマンス

第1回世界義肢装具教育者会議(GEM)



大きな評価を得て成功
裡に終わる。
日本義肢装具学会、
日本義肢協会など
のご支援に深謝

福祉用具の

レンタル事業・購買
(高齢者; 介護保険)

福祉用具専門相談員
市町

福祉用具の

研究・開発・フォロー
(重度障害者; 総合支援法)

リハ工学・セラピスト・プラン
ナーなど多職種協働
広域

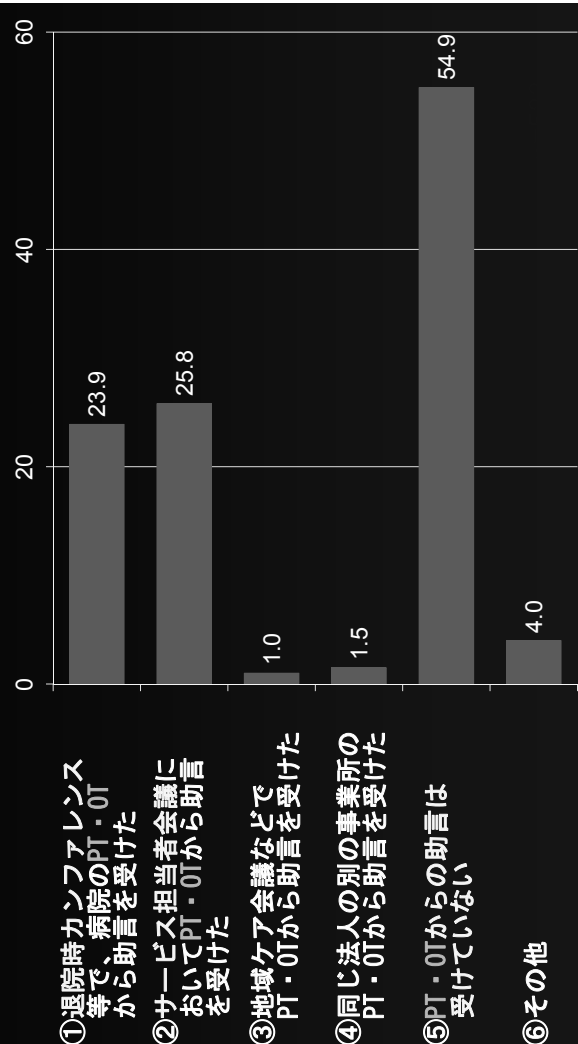
テクノエイド

(福祉用具・住宅改修)

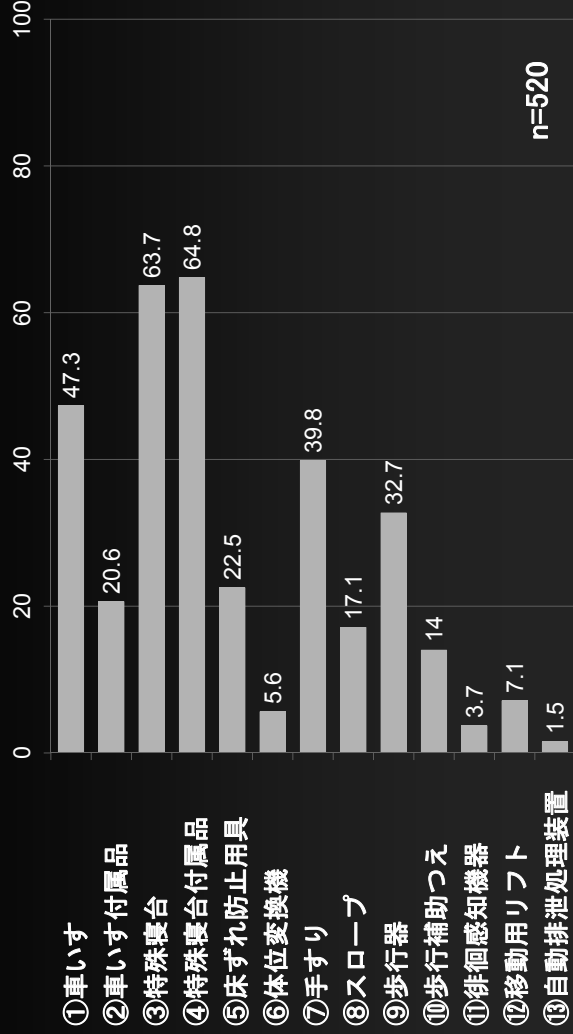
機能の必要性



福祉用具専門相談員 2013年 福祉用具選定時のPT・OTからの助言機会



福祉用具専門相談員 2013年 選定・導入した福祉用具の種目 (貸与)



福祉用具専門相談員を取り巻く問題(平成25)

- 福祉用具専門相談員の指定講習のあり方検討
論点整理と見直しの方向性の提示、
- 福祉用具サービス計画作成ガイドライン(仮)の策定
24年度の調査;福祉用具サービス計画の記載方法が確定していない
情報分析とアセスメントの基本プロセスが定まっていない
現場の福祉用具専門相談員にとって、実用的なガイドラインを目指す。
地域包括ケアにおける介護・医療の連携が重要視されている中で、
ケアマネだけでなく、他の多職種間の連携の重要性を織り込む

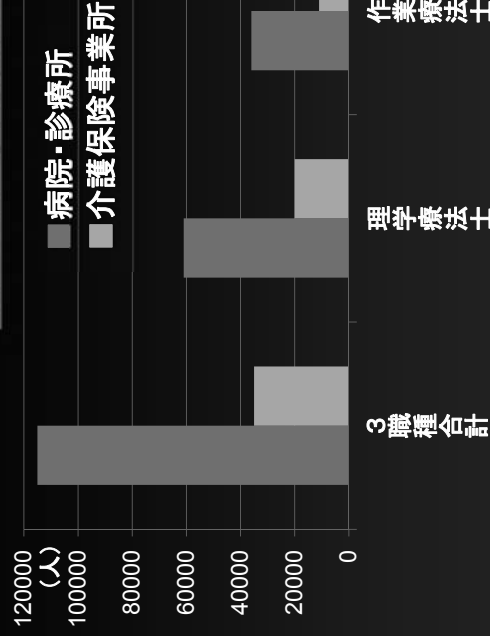
厚労省
福祉用具専門相談員は、単独で行動することが少なくない。あくまで、多職種とのチームアプローチの中での行動が大切。

テクノエイジシステムの構築 I

高齢者が退院し介護保険によるベッドや車いす等の福祉用具のレンタルを受ける場合、ケアマネジャーがケアプランを作成し福祉用具専門相談員と連携し、福祉用具の選択し、住環境の整備をすることが多い。この間に、リハ医療職の関与することが少ない。

本来、退院時に、ベッド、車いすなどを用意し、バリアフリーの環境を作っておくべきである。そのためには、病院の退院前2週間前のカンファレンスに、担当ケアマネと福祉用具専門相談員が参加して、看護・リハ専門職などと協議をして、福祉用具を選択し、できれば入院中に試用して、適切な福祉用具が、退院時に安心して在宅生活が送れるように準備するべきである。

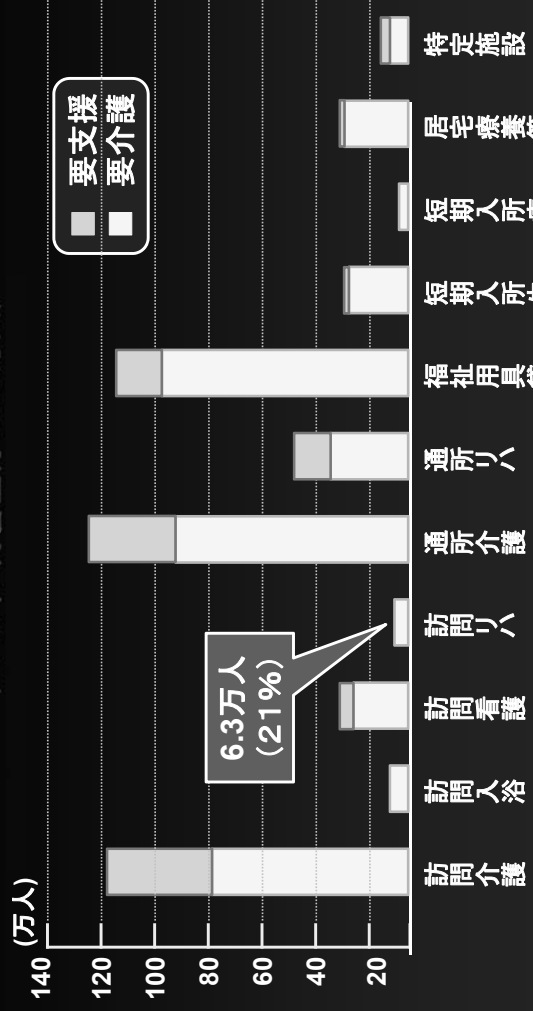
リハビリ専門職の配置



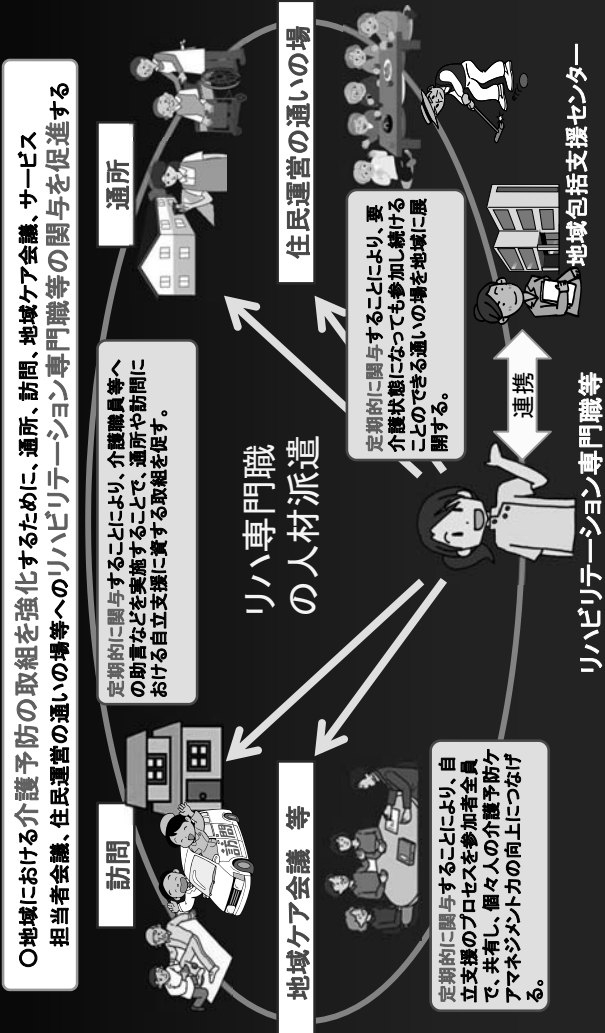
- ・リハビリ専門職の多くは医療分野、特に病院に属している。
- ・地域支援をするには、地域包括支援センターをサポートする形でリハビリ専門職がかかわられる態勢の整備が求められる。



介護保険における居宅サービス利用者数 (2010年2月審査分: 295万人)



地域リハビリテーション活動支援事業の概要 (厚生労働省資料より)



福祉用具法の展開

厚生労働大臣は、福祉用法施行指定法人として、公益法人「テクノエイド協会」を指定
福祉用具データベースTAIS(Technical Aids Information System)が構築、6000種以上

テクノエイド協会は、「福祉用具研究開発助成事業」を
NEDOは、「福祉用具実用化開発推進事業」を

福祉用具法

「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」平成5年

背景； 1990年代に入り、高齢社会における
高齢者・障害者の生活を支援するために、
福祉機器を活用したいという使用者側の期待と
ともに、福祉機器ニーズの高まりに応え、
新しいビジネスチャンスを作り出そうとする供給
者側からの期待が

合致して、厚生労働省と経済産業省により
「福祉用具法」が制定

福祉用具の

研究・開発・フオロ—

- (重度障害者・高齢者；障害者総合支援法)
- リハビリ学・セラピスト・福祉用具プランナーなど
多職種協働
- 広域(人口100万~200万)

研究施設と臨床分野の協働が不可欠

問題は経営。政策行政では失敗か？

都道府県地域リハセンターか、広域の地域リハ支
援センターが役割を？ 身体障害者更生相談所？

電動スイングアームの製作による自立生活支援

(兵庫県立総合リハビリセンター)

操作環境に合わせて
自らスイングアームの操作が可能

- 1) 電動車いすでの机へのアプローチ
- 2) 携帯電話の操作
及びPC操作

宮野英樹さん(第4頸髄損傷)
全国頸髄損傷者連絡会事務局長

環境制御装置

・ベッド上で家電の操作を行うために使用
・呼吸スイッチにより操作

エアコン・電灯・ベッド
電話・テレビ・ビデオ
オーディオなど

制御を行っている家電

「みでら」モニター
全方向赤外線リモコン

テレビ・ビデオ
オーディオ
電話

据置式リフター

(二本ベルト型スリングシート)

リフター

福祉用具センター

兵庫県立総合リハビリセンター
OT・リハエンジニアの協働

テクノエイドセンターとしての機能

進行性骨性繊維形成異形成症に対する臥位、移動用
電動車椅子の開発
(兵庫県立リハ・福祉のまち工学研究所)



作業療法士による、処方、評価
(デンマーク)

先進国の人口40万単位にある
テクノエイドセンター機能が
我が国に無い。
福祉用具専門相談員による
レンタルサービスでは、障害
のある人々に対応できない。

2000台の車いすが用意がされて
いる。早期対応(48時間)が義務
付けられている。車いすの40%が
リサイクルされる。

重度・重複障害への
対応は、各都道府県
リハビリテーションセ
ンター・介護実習・普
及センターの役割



段差解消機とリつけ

外出を楽しむ

ショッピング

訪問リハビリテーションステーション
(ロンドン・ネーションズ)
1989年
OT10名(市町)、PT5名(県NHS)

リハビリテーション
ステーション



在宅生活支援拠点



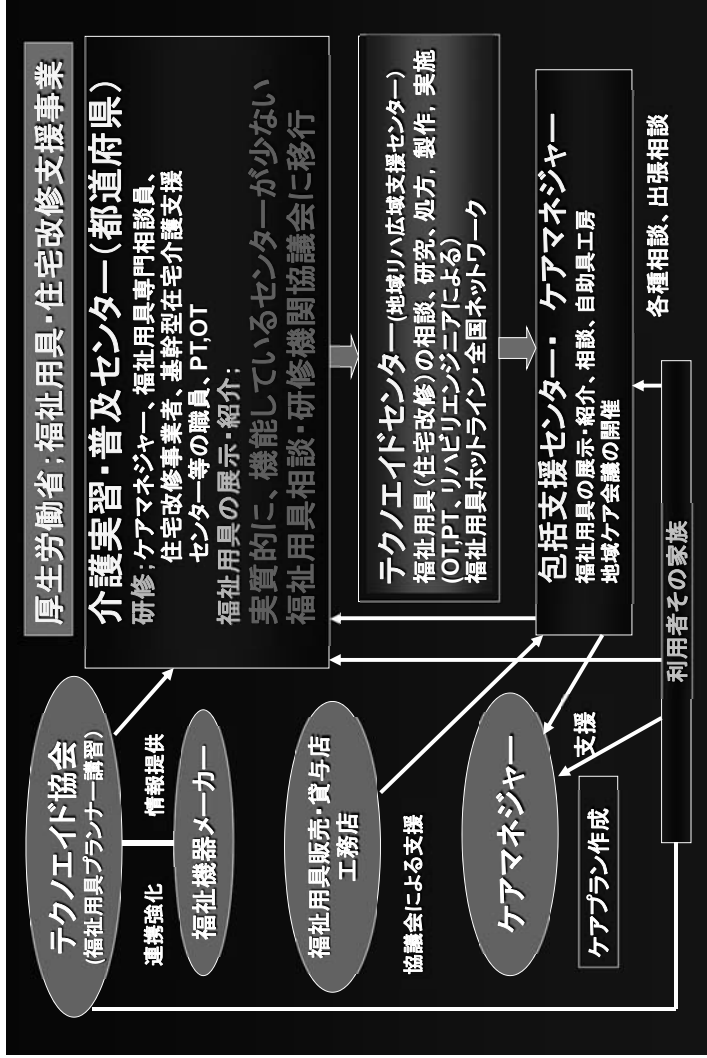
英国全体、国レベルのテクノエイドセンター；全国でのヘルプラインの中核

Disabled Living Foundation

テクノエイドシステムの構築 II

しかし、障害者総合支援法の対象として認められた重度の難病生活者などを在宅で支えるためには、技術的にも、全人間的なリハマインドの立場からの対応が必要である。福祉用具専門相談員のみでは、対応困難であり、リハビリ専門職の関与が必要である。

しかし、一般の教育を受けた医師、作業療法士、理学療法士、義肢装具士、看護師などが、すぐに福祉用具の適切な選択、モニタリングなどができるとは思えない現状にある。重度の障害に対応するには、OT、PT、POの卒後の福祉用具プランナーとしての研修、リハビリニアの協力参加と、広域拠点としての「テクノエイドセンター」の設置が必要である。



福祉用具専門職関連養成

テクノエイド協会；

(1) 福祉用具プランナー（平成9年度から開始）；

福祉用具の相談、作成、利用支援、モニター再評価、ケアマネ支援
受講資格条件

① 福祉用具専門相談員として従事している

保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、
社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士

② 福祉用具関連業務に2年以上従事

介護支援専門員、建築士、平成24年現在；11,755

(2) 福祉用具プランナー管理指導者

プランナーの上級の位置づけ

福祉用具レンタル事業者の管理養成

これらの福祉用具プランナーを地域に活かす具体策は

義肢装具領域における今後の期待

次世代に、国際的に通じる義肢装具研究開発を期待するには、義肢装具領域全体のオールマイティではなく、自ら興味を持つ義肢装具の専門分野を決定し、関係各専門職種ของทีมによる臨床・研究を促進する環境整備(リハビリセンター等)が必要。

同時に、英語力の向上が不可欠。英語力が劣ること、その方の業績・人柄が低く評価されてたまるか。日々の努力が必要。

144

117



全国唯一の小児切断に対する
電動義手装着訓練
(兵庫県立総合リハビリセンター)

118



柴田八衣子
OTR

23年に电动義手装着訓練に取り組み
切断者SIC事務局。チームの要。

119



筋電動義手装着132例；
成人73例、小児59例

小児電動義手装着までの訓練用電動義手
のための電動義手バンクを設立(兵庫県)

全国でのテクノエイドフォローアップ体制が不可欠

120

国際的に認められる活動をすることは、OTの選択した分野での研究とチームアプローチが必要

義肢装具領域における今後の期待

次世代に、国際的に通じる義肢装具研究開発を期待するには、義肢装具領域のオールマイティではなく、自ら興味を持つ義肢装具の専門分野を決定し、関係各専門職種（チームによる臨床・研究を促進する環境整備（リハビリセンター）が必要。英語力が劣ること、業績・人柄が評価されてきたるか。日々の努力が必要。

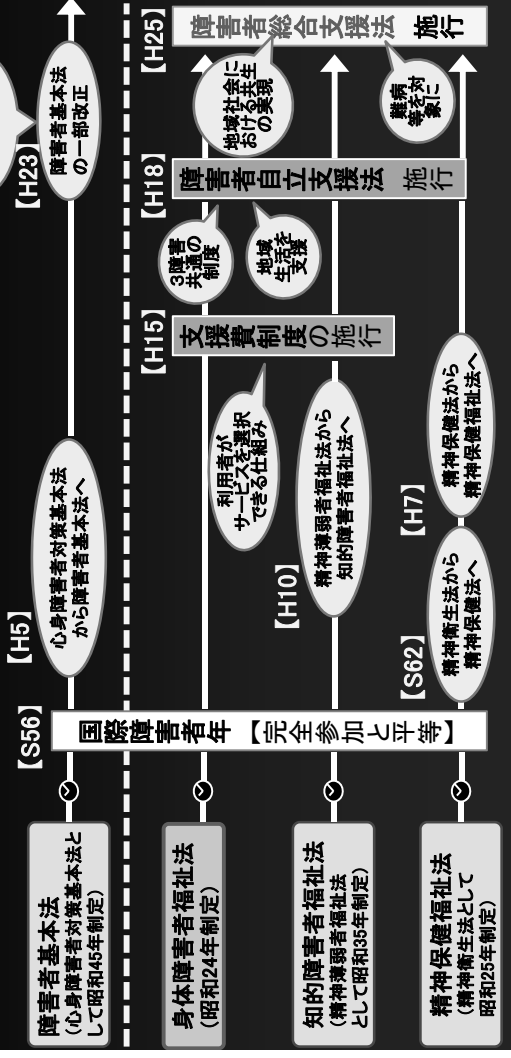
切断者の社会参加に向けて、懸命に汗をかいている若者が経済的にも報われる「義肢の価格体系」の見直しが必要。

最後に

わが国における補装具価格の経緯と問題点

障害福祉施策の歴史

「ノーマライゼーション」理念の浸透
障害者などが地域で普通の生活を営むことを当然とする
福祉の基本的考え



昭和39年における義足の委託報酬額

切断部位毎に、義足が一体価格として決定（身体障害者福祉法）

股 義足； 28,500
大腿 義足； 25,000
下腿 義足； 19,000

当時の我が国の経済状態から、極めて低価格に満足1本の価格が福祉法で決められていたために、利益を上げるためには、できるだけ安価な素材・部品を国内業者から選択して製作せざるを得なかった。

昭和43年に、3か月かけて、世界の義足の価格を調査先進国の約20%であった。（澤村）

靴型装具の製作要素価格の増加

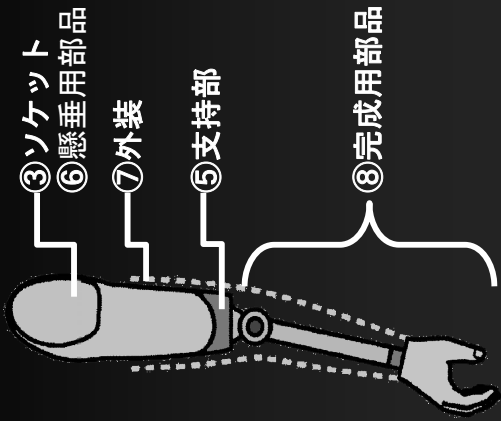
(a) 患足価格

名称	種類	価格 15歳以上	
		1993年	2013年
短靴	整形靴	21,500 円	39,000 円
	特殊靴	25,200	48,400
半	整形靴	29,300	37,200
長靴	整形靴	25,500	44,100
	特殊靴	32,600	57,600

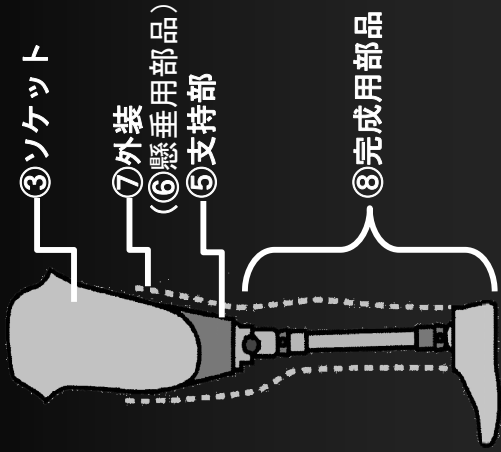
チャ
汗をかいて頑張ってる義肢装具士が経済的に報われる価格体系に改正するべきである。
整形靴製作者の教育専門コースの必要性。

骨格構造義肢装具の構成

骨格構造義手の構成例



骨格構造義足の構成例



義肢装具の価格体系の見直し

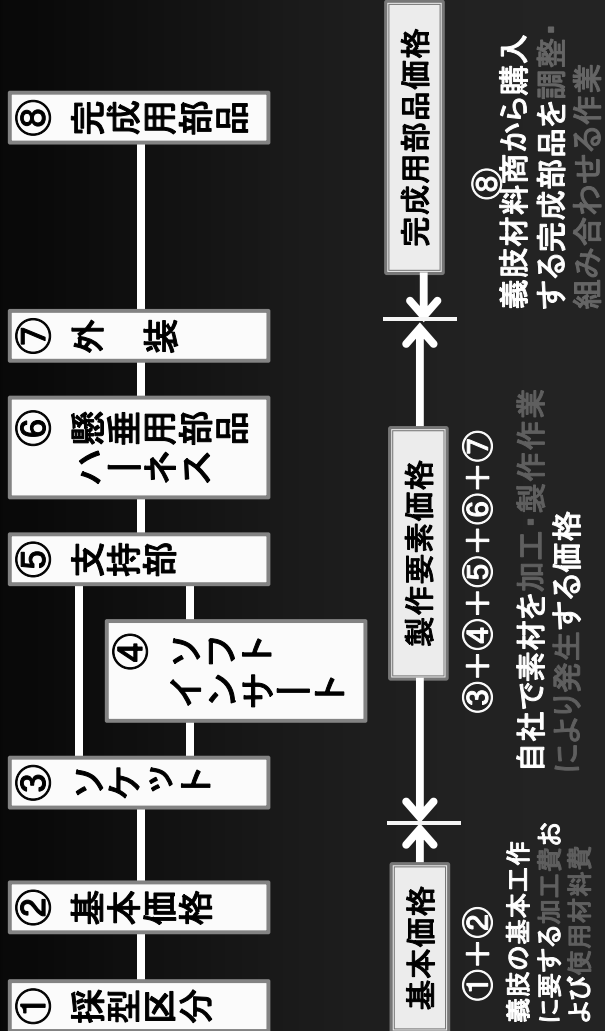
- 昭和53(1978)年～昭和56(1980)年にかけて;
- 厚生省は、日本リハビリテーション医学会に委託して(厚生科学研究)
- 昭和53年度 特別研究

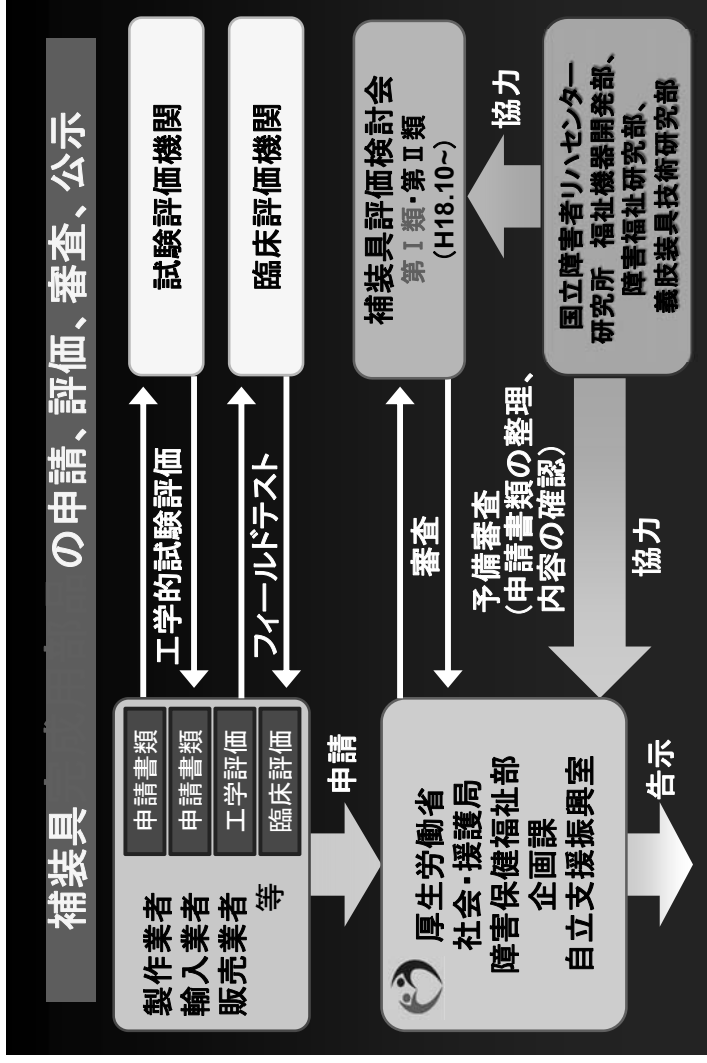
補装具の種目・構造・工作法などに 関する体系的な研究

主任研究官; 国立身体障害センター補装具研究所長

飯田卯之吉

骨格構造義肢装具の価格体系





義肢装具サービス推進するための 行政側の受け皿として

厚生省
補装具小委員会

労働省
義肢等専門家会議

現在は、障害者総合支援法による(社会援護局障害保健福祉部)
「補装具第1類評価検討会」にて検討H, 18

『検討事項』

- ①義肢装具等の種目見直しや価格変更
- ②義肢、装具、座位保持装置装具の完成用部品の指定
- ③その他、義肢、装具に関すること

補装具の適切な支給実現のための制度・仕組み の提案に関する研究(平成27年3月)

その中の分担研究テーマとして、
補装具「完成用部品の機能区分整備」に取り組み
れてきた。

我が国にとって初めての貴重な情報といえる。

今後の継手部品価格の妥当性評価や、
処方判定時の部品の選定を容易にするとともに、
地域格差間の是正につながることを期待したい

義肢装具の処方判定の現場から

膝継手の処方判定において、色々な膝継手を利用した上で、切断者自身の意見を尊重したい。利用者の機能レベルや生活様式に対し、必要な機能の部品を適切に処方したいが、公正な基準がない。

膝継手の中には、類似機能を持ちながら、なぜ価格差があるのか。

- 全国都道府県の身体障害者更生相談所の補装具判定における基準解釈において、地域格差がある。
- どこに住もうとも公正・公平であるべきで、判定・処方に当たる基準解釈を明確にするべきである。

148

133

最近の補装具費改訂

- 平成21年度；義肢・装具にかかる人件費分 +5.0%
 - 平成22年度；人件費2.79%、素材費6.3%増額
 - 平成24年度；改正なし
- しかし、基本的な価格体系が、35年前と比較して根本的に変わっていない。

平成27年度の基本価格部分は、平成22年度と比較すると、装具は平均で1, 65%プラス改訂に対して、義肢は平均0.34%プラス改訂となっており、装具に比較して義肢の基本価格部分の改定が低く評価されている。

134

義肢装具製作の現場からの声

- 骨格構造義足について
「人件費単価」が、平成23年度の調査結果よりも、低い値となっている点。
「利益率」が、平均値よりも低い事業所の方が多い。
「素材費」が、平成21年の調査結果と比較して、6.8%上昇している。
- このため、義肢を製作すればするほど赤字となるため、義肢の製作から撤退する業者が増える傾向がみられる。地域によっては、義肢の利用者が、フォローアップサービスが受けられない可能性がある。(電動義手など)

135

今後の義肢価格体系の適正化への期待

- 利用者が必要とする義肢が適正に供給できるためには、また、今後優れた義肢装具士を教育し、健全な義肢装具業界を育成するには、
- 基本的な価格体系(基本価格+製作要素価格+完成用部品価格)の根本的な見直しが必要になってきている。

「補装具第1類評価検討会」でのご検討を期待したい。

136

義肢装具領域における国際協力

- 義肢装具領域における国際友好関係強化を期待したい。アジア義肢装具学会の進化・成熟、日本義肢装具学会のリーダーシップ(国際委員会の再設置とISPO日本支部との連携強化)
 - 国際的な場で活動できる次世代の義肢装具士の養成国際資格(ISPOカテゴリI)の取得
- 業界・専門職団体における日常における近隣諸国との交流 (日本義肢協会、日本義肢装具士協会)

ISPO世界大会神戸;2019年開催決定;
我が国補装具関係者の総力をあげて成功に

149

137



138

一 完成用部品の機能区分整理がひらく公平・公正な判定と適正な価格

更生相談所における補装具費支給基準の理解と機能区分への期待

分担研究者・樫本 修
宮城県リハビリテーション支援センター

補装具費支給事務取扱指針に示される目的・役割

障害者・難病患者等

- 失われた身体機能を補完又は代替する用具
- 職業その他日常生活の能率の向上を図ることを目的とする用具
- 将来、社会人として独立自活するための素地を育成・助長する用具
- 身体障害児については、心身の発育過程の特殊性を十分考慮する必要がある

この解釈も様々

市町村

- 補装具を必要とする身体障害者・児に対し、補装具費の支給を行う
- 補装具費の支給に当たり、医師、理学療法士、作業療法士、身体障害者福祉司、保健師等の専門職員及び補装具の販売又は修理を行う業者「以下「補装具業者」という。）との連携を図りながら、身体障害者・児の身体状況、性別、年齢、職業、教育、生活環境等の諸条件を考慮して行う

更生相談所 補装具費支給制度における技術的中枢機関及び市町村等の支援機関

補装具費支給の原則

障害者総合支援法

第1条

障害者及び障害児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な福祉サービスに係る給付…を総合的にを行い

ただし、補装具は公費支給で作製するものであるから税の再配分における公平性を考慮しなければならない

- 欲しい物を全て支給する訳にはいかない。原則は1種目につき1個。職業又は教育上等に必要と認められた場合は、2個とすることができる
- その用具がなければ健康な生活、学業あるいは就労が成り立たないという必然的な要件が求められる

補装具判定には連携・チームアプローチ(情報共有)が必須

障害当事者

補装具に対する利用者のニーズが多様化

ノーマライゼーション・社会参加
便利な物・スタイルの良い物が欲しい

補装具製作者・メーカー

技術革新による新製品の開発や改良が活発

利用者により便利な物より高機能な物を使ってもらいたい

ニーズ

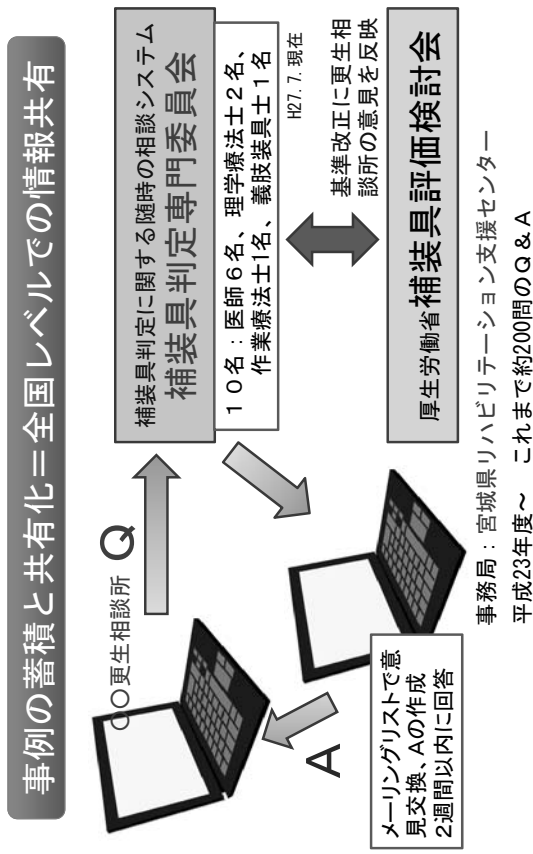
更生相談所・行政

高額、高機能な製品に対する社会的必要性の判断

医学的・原地的な必要性の判断

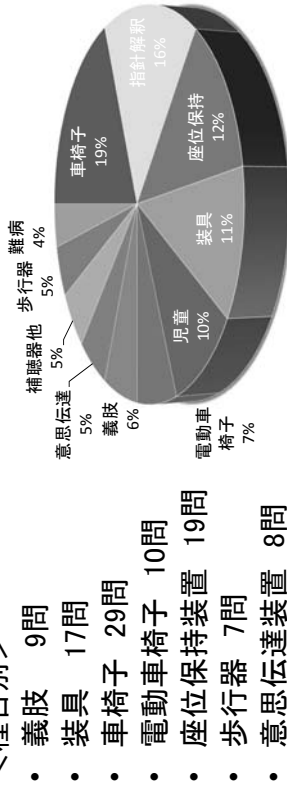
公費負担の拠地から公平・公正な判断

このQ&Aのベースになったのは全国更生相所長協議会
補装具判定専門委員会の活動

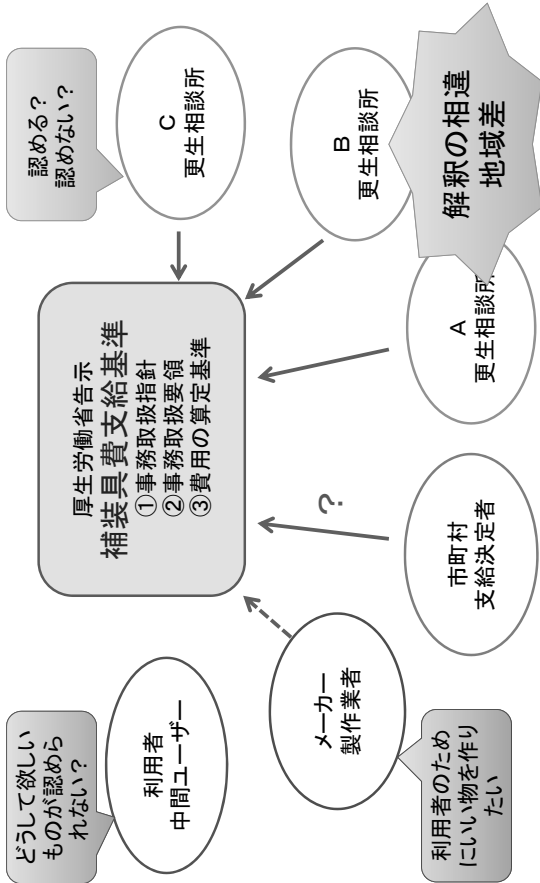


Q&A暫定版の内訳 全151問

1. 補装具費支給事務取扱指針にみる疑義解釈：23問
 2. 補装具費事務取扱要領および補装具費の額の算定等に関する基準にみる疑義解釈：128問
- <種目別>



補装具費支給判定基準マニュアルの作成がどうして必要か？



補装具費支給判定基準マニュアルの作成

研究の目的

支給基準を詳しく解説するマニュアルを作成することで基準の理解が深まり、判断基準の地域格差をなくし、全国一律の判断基準で公平・公正な判定がなされ、円滑な補装具費支給に資することを目的とする

プレマニュアルとして



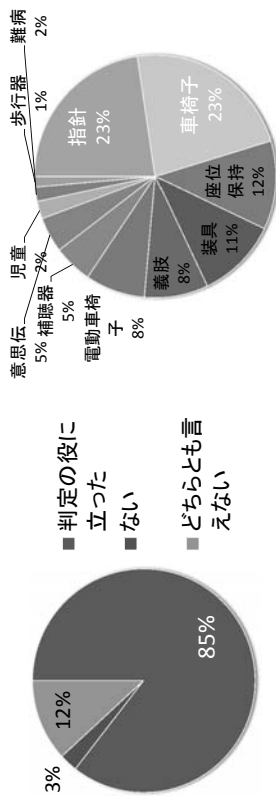
平成25年度：「補装具費支給判定Q&A(暫定版)」151問
69頁 更生相談所限定配布

平成26年度：暫定版2
暫定版のアンケート結果による修正版 122頁

完成版マニュアル
義足継手・足部機能区分

補装具費支給判定Q&A(暫定版)に対するアンケート調査

- 平成25年度に作成、配布した「補装具費支給判定Q&A(暫定版)」を6カ月間使用したところで全国の身体障害者更生相談所にアンケート調査
- 全国80カ所の更生相談所(支所を含む)のうち76カ所から回答が得られた(回収率95%)



参考になったのは全151問中92問(61%) 延べ212問

役に立ったという実際のアンケートの声

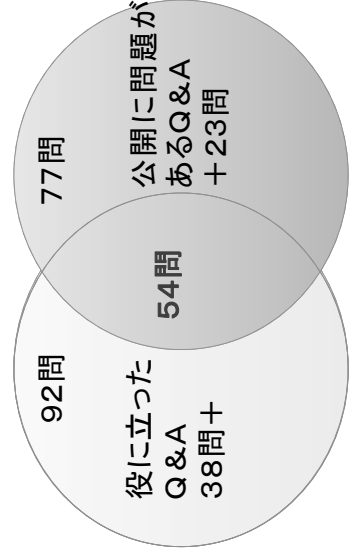
Q番号	分類	主な理由
3	指針解釈 治療用装具	市町村・病院からの照会に対し、回答する際に参考となった。
20	指針解釈 差額自己負担	差額自己負担の考え方が整理できた。
25	義肢 完成用部品 修理加算	骨格構造義肢の完成用部品の修理加算について、混乱しやすかったため、整理されて役立った。
67	車椅子 フットサポートの算定	業者への説明がしやすくなった。基準の表記だけでは読み取れないので参考になった。
71	車椅子 キャスト サイズ	市町村、業者からの問い合わせが多く参考になった。明確に示され、判定や業者指導の参考となった。

このQ&A暫定版が公開されたらどうか？

Q	分類	主な理由
15	指針解釈 3個目の補装具	必要性があれば3個目が認められると誤って解釈される恐れがある。
20	指針解釈 差額自己負担 リクラ機能追加	判定された車椅子を差額自己負担をして型式まで変更するのは認めていない。
44	装具 完成用部品 標準靴	既製の整形靴は認めていない。当所の判断と異なるため公開は控えたほうがよい。
49	装具 市販靴の補高	市販靴は補装具とは言えない。靴型装具の付属品である補高は認めていない。
50	車椅子 レディ・オーダー メイドの扱い	レディメイドやオーダーメイド、既製品という言葉の扱いを明確にしない限り、混乱や疑義が生じるため、公開すべきではない。
125	補聴器 差額自己負担 型式変更	差額自己負担による型式の変更は認めていない。公開されることで現場が混乱する。

役に立つQ&Aだけでなく公開されるとちょっと困る

- 公開に問題があるQ&Aがあると回答した更生相談所数は34カ所(45%)、ないが42カ所(55%)
- 全151問のうち役に立ったQ&Aは92問、公開に問題があるとされたQ&Aは77問。そのうち54問(36%)が重複



アンケートの声

「義肢・装具の完成用部品の選択について、どのような場合にその部品の選択を妥当とするとするか、部品の選択の仕方が知りたい。」



= 適切な完成用部品の選択



写真提供：各社HPより

25・26年度の研究で分かったこと

- ① 補装具費支給基準の理解、解釈には地域差がある
- ② 特に車椅子の基準解釈への疑義が多い
- ③ 補装具費支給基準の解釈・理解のためにQ&A・マニュアルは役に立つ
- ④ 同じQ&Aでも更生相談所によって解釈に相違があり、公開は慎重に行う必要がある
- ⑤ 完成用部品の選択に役立つ内容が求められている

完成用部品（義足膝継手・足部）の機能区分を
マニュアルに盛り込む

現行の完成用部品基準額表

平成25年告示より

区分	名称	型式	価格	使用部品	備考	
区 分	A 車輪 1 運動式	空圧	142,400	ブラッヂフオワード	019332	車輪・空圧制御 取流中止 ただし平成26年度まで修理対応可 空圧制御シリンドラーツム車輪
			260,200	ラボック	M0760	
			502,900	オースール	FM01B04U	
			314,600	オートボック	3380	
			432,500	オートボック	3380+	
			266,200	オートボック	3385	
		油圧	266,200	オートボック	3385-1	マウタク ロータリー 油圧制御手 (製造終了代替品:3380+) (ただし平成26年度までは修理対応可) ロータリー 油圧制御手 チューブ付 油圧車輪制御手 体重制限150kg 油圧車輪制御手 体重制限75kg 車輪・油圧制御 取流中止 ただし平成26年度まで修理対応可 Delphin (油圧車輪 アルミフレーム) ハイドラケーデンス2
			334,600	ブラッヂフオワード	019330	
			260,200	ラボック	M0703	
			732,500	Preceer	1P90-R	

型式：単軸膝＝構造
遊動式＝構造
空圧＝機能
油圧＝機能

基準額・メーカー名・部品名
見積書を見るときに一番見
るところ

備考欄：少しだけその製
品の機能・特長が書いて
ある場合もある

そもそもこれだけの情報でどれを処方すればよいのか、同等安価でどの製品を認めるのが妥当かなど、経験が少ない更生相談所職員は判断できない

完成用部品選択の課題

- ① 類似構造・機能でありながら価格差がある
- ② 利用者の機能レベルや生活様式に対し、必要な機能の部品を適切に処方するための基準がない
- ③ 完成用部品基準額表の情報だけでは補装具を判定する更生相談所側が継手や足部などキーポイントとなる部品の選択を行う、あるいは見積書の妥当性を判断するのは困難である

完成用部品を機能区分で分類することで適切な判定・部品を選択する根拠となる

名称	型式	機能区分	価格	製品名	対象者の活動度	製品の特長
膝継手	○○	◆ □□	△△円	A	KO
膝継手	○○	◆ □□	▼▼円	B	KO x x
膝継手	○○	◆ □□ ○○	◎◎円	C	KO○○.....
膝継手	○○	◆ □□ ○○	◇◇円	D	KO

人の機能+環境因子+職業+生活+意欲 など様々なことを勘案して判定

根拠・自信のある判定＝最も合った製品を機能区分を参考に選択

機能区分への期待

これまでの構造による完成用部品の分類では全てが独立した部品として捉えられていたが、機能によって分類されることで、独立していた部品が同一機能として一つのカテゴリの中に入る(分担研究者・見玉の報告書より抜粋)

1. 利用者の身体機能・適応活動レベルと照らし合わせ、骨格構造・義足用部品の機能区分に基づいた根拠のある部品選択が可能となる
2. 利用者にも部品選択の根拠が説明しやすくなる
3. 更生相談所で機能区分をベースとした円滑な判定が行われるようになり、地域間格差も是正される

II. 研究班からの報告

補装具の適切な支給実現のための 制度・仕組みの提案に関する研究 平成25年度～27年度

研究概要について

井上剛伸*、我澤賢之*、山崎伸也*、石渡利奈*
 榎本修**、児玉義弘***
 *国立障害者リハビリテーションセンター研究所
 **宮城県リハビリテーション支援センター
 ***ナブテスコ株式会社

補装具とは

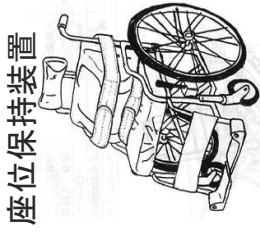
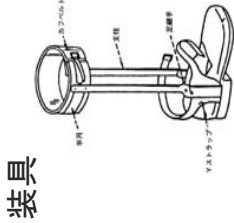
障害者総合支援法（2005年法律第123号）第5条第24項に規定する補装具とは、「障害者等の身体機能を補完し、又は代替し、か

昭和25年施行 福祉用具の給付制度の基本

- 三 医師等による専門的な知識に基づき意見又は診断に基づき使用されることが必要とされるものであること。
- 厚生労働大臣が定めるものとは：
 具体的には厚生労働省告示第528号「補装具の種類、購入又は修理に要する費用の額の算定等に関する基準」で補装具の種類、名称、型式、基本構造、上限額等を定めている。

完成用部品

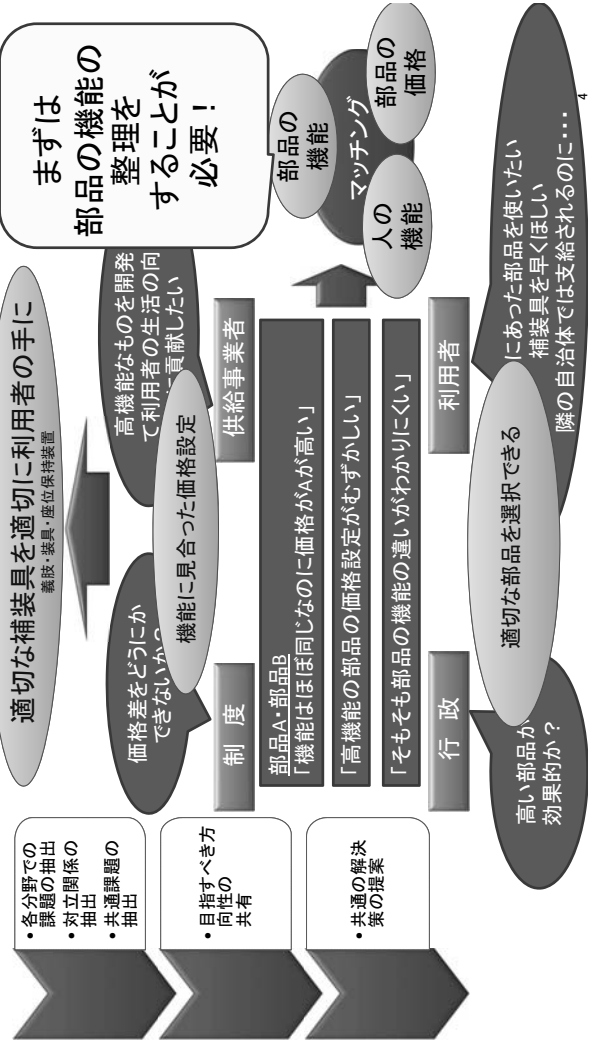
補装具のなかでも



の3種は、厚労省により認可されたモジュール化部品（完成用部品）を用いる場合がある。どの部品を使うかにより、利用の効果が大きく左右される。
 しかし、日本ではこの完成用部品が機能面からは区分整理されていない。

研究の背景

厚生労働科学研究費補助金「障害者の自立を促進する福祉機器の活用のあるり方に関する研究」(H22-24 研究代表者 顧訪基)の成果より



義肢等に関連する部品の区分

● 日本の場合

(別添) 1. 型検査表

区分	名称	型式	価格	使用部
義肢用部品	A 肩継手	A 肩継手	32,000	FS-25
		B 肘継手	32,000	FS-50
		C 手継手	32,000	FS-75
	B 肘継手・外転式	B 肘継手	46,000	FAI-100
		C ユニバーサル式	43,200	IS-75
		D ユニバーサル式	43,200	IS-100
肘継手	A 機能たわみ式	26,900	HRP-2	
	B 機能たわみ式	26,900	HRP-4	

「肩継手」「ライナー」といった完成用部品の部位あるいは大まかな役割の種別と方式(型式)による区分のみ。機能による詳細な区分はない。

230種類(ただし、殻構造義肢用と骨格構造義肢用とで一部事実上重複していると思われるものも含む)。

● 米国の場合

HCPCS Action Code	Long Description
L5828	ADDITION, ENDO-SKELETAL, KNEE-SHIN SYSTEM, SINGLE AXIS.
L5830	ADDITION, ENDO-SKELETAL, KNEE-SHIN SYSTEM, SINGLE AXIS.
L5840	ADDITION, ENDO-SKELETAL, KNEE/SHIN SYSTEM, 4-BAR LINK/AG CONTROL.
L5845	ADDITION, ENDO-SKELETAL, KNEE-SHIN SYSTEM, STANCE FILE.
L5846	D ADDITION, ENDO-SKELETAL, KNEE-SHIN SYSTEM, MICROPROC ONLY.
L5847	D ADDITION, ENDO-SKELETAL, KNEE-SHIN SYSTEM, MICROPROCE

保険会社等により義肢・装具等の部品の区分に用いられている「[コード]」。

およそ1000種類からなる機能区分が設けられており、区分毎に価格が設定されている。

研究の目的

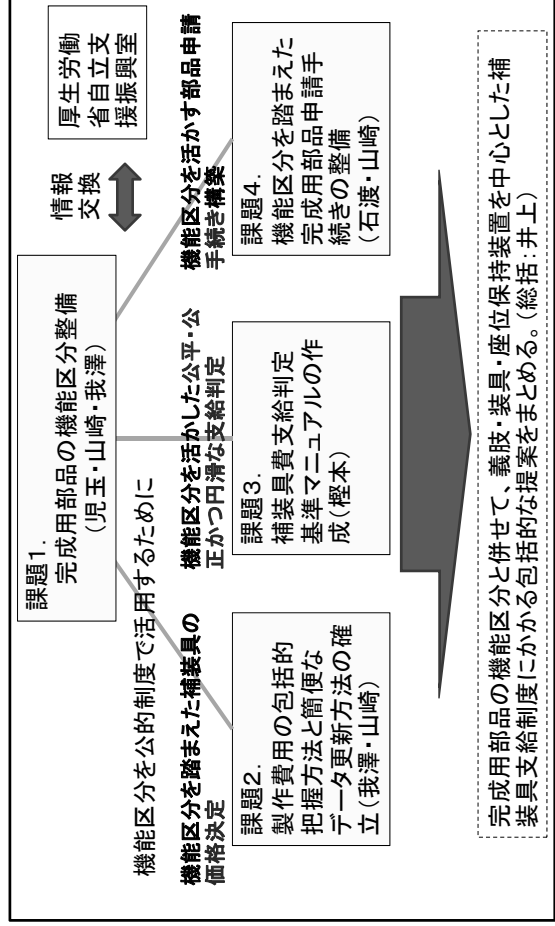
完成用部品の機能区分を整理

機能区分導入をうまく機能させるための
制度・仕組みづくりの提案

義肢・装具・座位保持装置をその利用者に応じ適切なものが 適正な価格で行き渡る

これら補装具の利用者の社会参加・自立を促進

必要とする人に適切な補装具が行き渡るように



課題2 基本価格・製作要素価格 — 主な結果

● 収支

平成24年度(正確には24年10月1日を含む会計年度)の平均営業利益率は2.7%、経常利益率2.8%。ともに、平成22年度～24年度の3年間で、低下傾向。経常利益率は他産業平均より低水準。

● 人件費単価

人件費単価は平均1,865円/時。前回制度反映時調査(平成21年度)から微減(-0.4%)。ただし法定福利費料率の引き上げがあり、被雇用者の課税前人件費単価は2%低下したと考えられる。

● 素材価格

前回制度反映時調査(平成21年度)に比べ平均6.6%上昇。(原油価格、国内企業物価指数上昇の影響か)

厚生省による平成26年度末の補装具費支給基準改定の参考にされた。

課題4 これまでの成果概要

○課題4. 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

・平成25年度

手続きの効率化、正確性の向上を目的としてMicrosoft Excelを用いた電子申請様式を作成し、この様式を用いた申請手続きについて、申請業者事前審査担当者を対象に、アンケートを実施した。

結果：Microsoft Excelを用いた電子化により、効率化、正確性の向上を図ることができたことが確認された。手続き全体については、説明会が重要視されていることが明らかになり、今後機能区分を導入していく段階では、説明会に重点を置いた対応を取っていくことが有用と考えられた。

課題：多様な作業環境への配慮、ユーザビリティの向上、記入要領の改良等の必要性

・平成26年度

平成25年度に実施したアンケート調査結果を基に、電子申請様式を含む全体の申請システムの改善を図るとともに、将来的な機能区分を踏まえた完成用部品申請システムの構成案をまとめた。

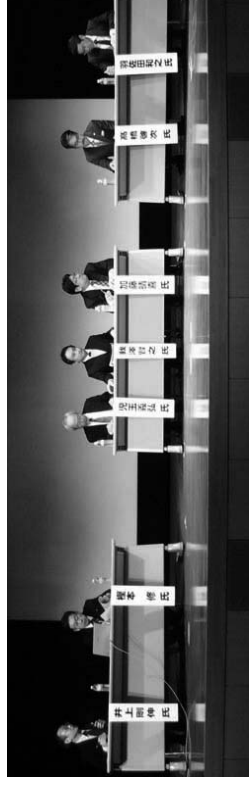
第1回 補装具の適切な支給実現のための の制度・仕組みに関する研究会

- ・ 日時・開催場所
平成26年2月22日(土)
国立障害者リハビリテーションセンター学院講堂
開催趣旨

- 研究の概要を紹介するとともに、
 - 支給判定困難事例についてなど更生相談所からみた補装具費支給制度上の課題
 - 完成用部品の機能がどのようなもので、どのような利用者にどのような部品が適しているのかを分かりやすくするための機能区分の考え方を提示し、関係者間からの問題提起も踏まえ、意見交換を行った。

第1回 補装具の適切な支給実現のための の制度・仕組みに関する研究会

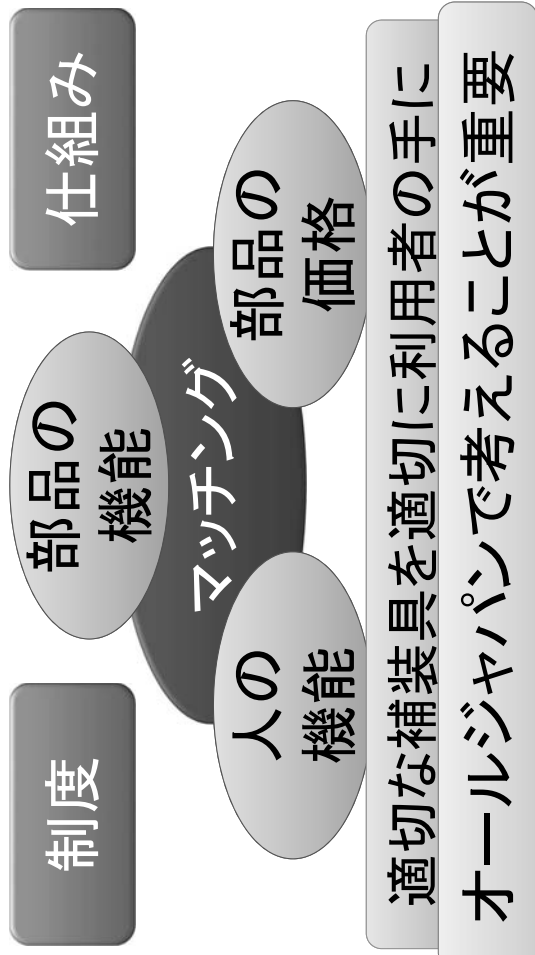
- ・ 参加者
 - 更生相談所関係の方
 - 補装具製作事業者の方
 - 完成用部品供給事業者の方
 - 障害当事者の方
- など、研究班関係者と併せて合計98名が参加。



第1回 補装具の適切な支給実現のための の制度・仕組みに関する研究会

- ・ 研究班メンバーから、完成用部品機能区分の考え方、更生相談所からみた補装具費支給制度の課題、価格設定上の課題が述べられたほか、
 - 障害者施策における補装具支給制度の近年の状況と、補装具構造と実態との隔たりや新しい技術の取り入れなどの課題(厚労省 加藤専門官)
 - 義肢装具製作事業者の視点から安定した補装具の供給のための課題、補装具を必要とする利用者の不満・不便(日本義肢協会)
 - ICFモデルやさまざまな評価測定を踏まえ、補装具支給の妥当性評価に反映させていくのかについて(JASPA義肢装具部会)について提示された。
- 議論を通じ、部品の機能区分と人間側の機能、価格をつなぐところに問題があること、また、そこから派生した補装具費支給制度の全体の議論も併せてやりながら考えていく必要があることを確認した。

まとめ



1. 米国の保険制度（Lコード）の調査 Lコードの特長

部品の価格	機能毎に設定 ⇒ 同一機能、同一価格 ※サブプライヤーの販売価格は自由 ※州によって価格が異なる
3種類のコード ※義足のコード数	Base Code、Additional Code、Dump Code ※合計183(ソケット、膝継手、足部、その他)
ユーザーの機能レベル分類	K0～K4の5つに分類 ※機能レベルはPO又はDrが評価
処方	ユーザーの機能レベルにより使用部品が限定
コード認定 & 価格決定	既存の機能(コード)を利用可 新機能は申請、審査、新コード設定 コード認定 & 価格決定 ⇒ CMS 年間申請件数 ⇒ 10数件(製品でなく機能の申請)

- 完成用部品の機能区分整理がひらく
公平・公正な判定と適正な価格 -

完成用部品の機能区分 / 完成用部品の機能と価格

児玉義弘
 (研究分担者: ナブテスコ株式会社住環境カンパニー福祉事業推進部参与)
 山崎伸也
 (研究分担者: 国立障害者リハビリテーションセンター研究所副義肢装具士長)
 我澤賢之
 (研究分担者: 国立障害者リハビリテーションセンター研究所研究員)
(研究分担者: 平成27年7月25日段階の内容です。機能区分の内容等研究の進捗とともに変更される場合があります。)

完成用部品の機能区分整備

- 目標
 - 米国の保険制度における機能分類(Lコード)等を参考とし、価格の妥当性評価および適判定時の目安となる完成用部品の機能区分を作成する。
 - また機能区分を踏まえた完成用部品価格制度の在り方について提案をまとめる。
- 方法
 - 米国の保険制度を調査・分析するとともに、国内の現行の完成用部品の機能について調査・分析を行い、機能の整理・定義付けを行う。
 - 整理・定義された機能に応じて区分を行う。
 - 機能区分案を作成する。

※基本的には、現行の完成用部品指定リストをベースに各部品を機能別に分類し、機能概要、ユーザーの適応レベルなどを明らかにした区分案とする。

Lコードの参考例 (大腿義足)

L5321 AK、骨格、モールドソケット、単軸膝継手、SACH足 ⇒ Base Code

L5631 アクリルソケット

L5652 サスペンション

L5611 4節リンク摩擦遊脚相制御

L5986 単軸足部

材料

- ・チタン
- ・カーボンetc

L5705 カスタム成型
保護カバー

L5950 超軽量材料

Lコード（膝継手）



L5810 単軸、マニュアルロック



L5811 単軸、マニュアルロック、超軽量材料



L5812 単軸、摩擦遊脚制御、荷重ブレーキ

Lコード（膝継手）



L5814 多軸、油圧遊脚制御、メカニカルロック

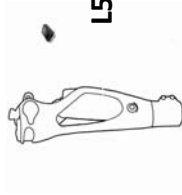


L5816 多軸、メカニカルスタンスフェイスロック

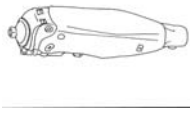


L5826 単軸、油圧遊脚制御、小型ハイアクティブフレーム

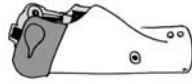
Lコード（膝継手）



L5856 電子制御、遊脚・立脚



L5857 電子制御、遊脚のみ



L5858 電子制御、立脚のみ

L-Codeとユーザーの機能定義

ユーザーの機能レベル

義足の特定の構成品／付加物に必要とする医学的判断

- ・利用者の潜在的な機能・能力に基づく
- ・義肢装具士又は医師によって評価され、以下を含む
 - a. 利用者の既往歴（該当する場合は過去の義肢使用を含）
 - b. 残肢の状態およびその他の医学的問題の性質を含む利用者の現在の状態
 - c. 利用者の歩行意欲

L-Codeとユーザーの機能定義

- K0 : 介助の有無にかかわらず、安全に歩行又は移動する能力又は潜在的な能力がなく、義肢によってQOL又は可動性が向上しない
- K1 : 一定の歩調で平坦な表面上を移動又は歩行するために義肢を使用する能力又は潜在能力がある。限定的又は制限のない家庭内歩行者
- K2 : 縁石、階段、又は凹凸のある面などの低い環境障壁を越えて歩行する能力又は潜在能力がある。限定的な地域内歩行者
- K3 : 種々の歩調での歩行能力又は潜在的な能力がある。殆どの環境障壁を越える能力又は潜在能力を有し、単純な運動以上の義肢を必要とする職業、治療、又は運動活動ができる地域内歩行者
- K4 : 基本的な歩行能力を超える義肢歩行の能力又は潜在能力があり、高い衝撃、応力、又はエネルギーレベルを呈する。児童、活動的な成人、又は運動選手など

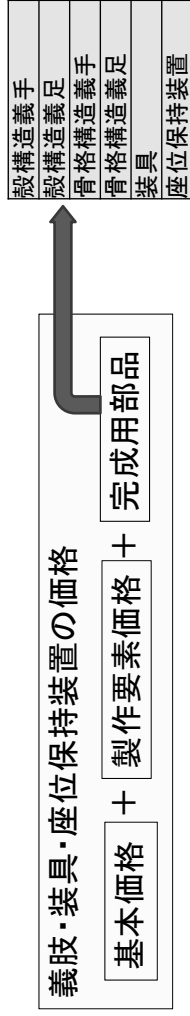
L-Codeとユーザーの機能マッチング

【例】膝継手

Lower Limb Prosthetics LCD & Policy Article

	ユーザーの機能レベル			
	K1	K2	K3	K4
摩擦膝 L5611, L5616, L5710 - L5718, L5810 L5812, L5816, L5818	○	○	○	○
油圧・空圧・電子制御膝 L5610, L5613, L5614, L5722 - L5780 L5814, L5822 - L5840, L5848, L5856 L5857, L5858			○	○
ハイアクティブフレーム L5930				○

2. 完成用部品の調査 & 機能区分



- ・ 義肢・装具・座位保持装置で登録されている完成用部品は、3000点強ある。
- ・ 部品点数は、年々増え、部品の持つ機能も多様化、高機能化して発展している。
- ・ 分類方法は構造による分類で、同じ区分に多様な機能をもったものが含まれている。
- ・ 区分と部品の関連が難しく、補装具を判定する側にとっても部品の機能の把握および部品選択は難しくなっている。
- ・ 種目で比較すると骨格構造義足用部品が部品点数、種類ともに圧倒的に多い。

完成用部品についての機能区分を検討する。今回は、骨格構造義足用部品について区分整備を行う

骨格構造義足用部品の調査

<平成26年度研究>

- ・ 調査対象
骨格構造義足1208点
(平成26年度版完成用部品指定リスト掲載部品)
 - ・ 調査依頼先
完成用部品供給事業者13社
 - ・ 調査項目
 - ① 構造・機能、使用者体重制限、主な使用材料、重量、調整機能・時間など
 - ⇒ 全部品対象
 - ② 適応する利用者の機能レベル
 - ⇒ 股継手、膝継手、足部などの機能を有する部品対象
- <平成27年度研究>

- ・ 平成26年度に整理した区分について各供給事業者の意見をいただき、ブラッシュアップを行っている

骨格構造義足用部品の分類方法

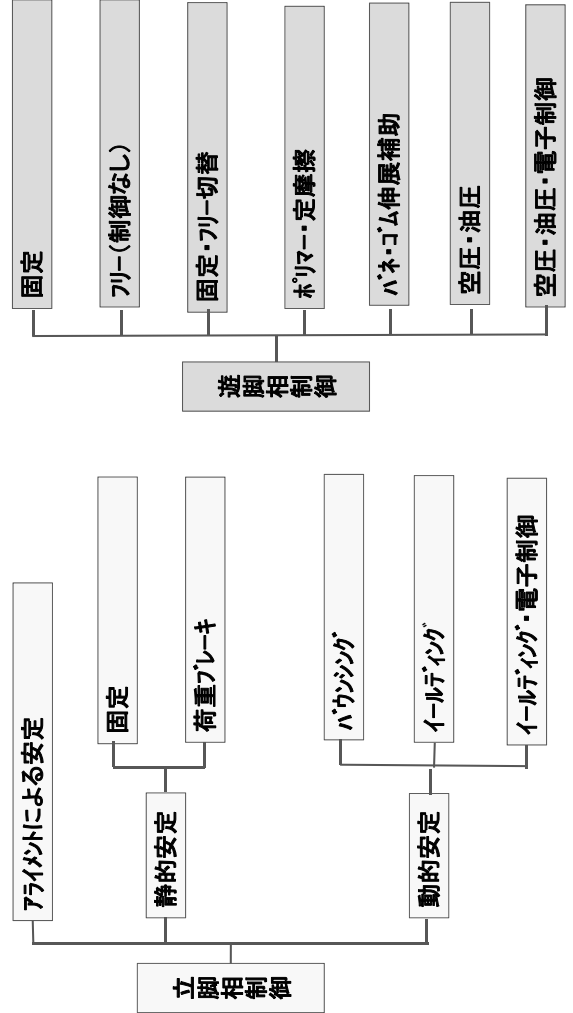
【構造による分類】

股継手
膝継手
足継手
義足調整用部品：ブロック、コネクタ、チューブ、ターンテーブル、トルクアブソーバーなど
足部
足部調整用部品：バンパー、ボルト
外装用部品：保護カバー、コネクシオンプレート、フォームカバー、ストックネット、リアルソックス
その他：吸着バルブ、懸垂ベルト、断端袋、ライナー、その他部品など

【機能による分類】

- 1) 人と義足のインターフェースとしての役割を補助する部品
 ・吸着バルブ、懸垂ベルト、ライナー、KBMウェッジ、断端袋、ライナーなど
- 2) 生体の股関節、膝関節、足関節および足部の機能を代償する部品
 ・股関節の代償：股継手、ターナーボール
 ・膝関節の代償：膝継手、伸展補助など
 ・足関節および足部の代償：足継手、足部、フットカバー、バンパーなど
- 3) 股継手、膝継手、足継手および足部を繋ぐ接続部品
 ・クランプアダプタ、チューブ、コネクタ、ブロックなど
- 4) 足の形状をつくる外装のための部品
 ・コネクシオンプレート、フォームカバー、ストックキング、リアルソックスなど

膝継手のもつ制御



膝継手の機能区分 (1/3)

コード	機能区分		機能概要	軸構造
	立脚相制御	遊脚相制御		
XXXX	アライメント安定	ハネ・ゴム伸展補助	立脚相の安定はアライメントによる。遊脚相はハネ・ゴム等によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。屈曲制限と伸展補助力は設定したハネ等の力によるが一定で速度変化への対応はできない。	単軸
XXXX		空圧・油圧	立脚相の安定はアライメントによる。遊脚相は空圧・油圧(または、空圧・油圧とハネの組合せ)によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。ある一定の範囲で速度変化への対応が可能、但し空圧・油圧シリンダの性能により速度変化幅は異なる。	多軸
XXXX	リング機構を用いたアライメント安定	ホリマー・定摩擦・ハネ・ゴム伸展補助	立脚相の安定はアライメントによるが、リング機構により高安定を確保できる。但し、リングの形状によって安定性は異なる。遊脚相ではホリマーとハネ(または、ゴム等)によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。屈曲制限と伸展補助力は設定したハネ等の力によるが一定、速度変化への対応はできない。	多軸
XXXX		空圧・油圧	立脚相の安定はアライメントによるが、リング機構により高安定を確保できる。但し、リングの形状によって安定性は異なる。遊脚相は空圧・油圧(または、空圧とハネの組合せ)によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。ある一定の範囲で速度変化への対応が可能、但し空圧・油圧シリンダの性能により速度変化幅は異なる。	多軸
XXXX		空圧電子制御	立脚相の安定はアライメントによるが、リング機構により高安定を確保できる。但し、リングの形状によって安定性は異なる。遊脚相は空圧(または、空圧とハネの組合せ)電子制御によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。幅広い速度変化への対応が可能。	多軸
XXXX	静的安定・固定	固定	膝が完全伸展位で固定され膝折れを防ぐ。座位をとる場合などは手動で固定解除が可能	単軸
XXXX		固定遊動切替式	膝を完全伸展位で固定するか、自由に屈曲伸展できるようにするか選択可能	単軸

膝継手の機能区分 (2/3)

コード	機能区分		機能概要	軸構造
	立脚相制御	遊脚相制御		
XXXX	静的安定・荷重ブレーキ	ハネ・ゴム伸展補助	立脚相では荷重時に軸摩擦により膝の屈曲制限が動き静的安定を確保する。遊脚相はハネ・ゴム等によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。屈曲制限と伸展補助力は設定したハネ等の力によるが一定で速度変化への対応はできない。	単軸
XXXX		空圧・油圧	立脚相では荷重時に軸摩擦により膝の屈曲制限が動き静的安定を確保する。遊脚相は空圧・油圧(または、空圧とハネの組合せ)によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。ある一定の範囲で速度変化への対応が可能、但し空圧・油圧シリンダの性能により速度変化幅は異なる。	多軸
XXXX		空圧電子制御	立脚相では荷重時に軸摩擦により膝の屈曲制限が動き静的安定を確保する。遊脚相は空圧(または、空圧とハネの組合せ)電子制御によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。幅広い速度変化への対応が可能。	多軸
XXXX	動的安定・ハウジング	空圧・油圧	立脚相では荷重時に膝を軽度屈曲位置で保持すること(ハウジング)ができる。遊脚相は空圧・油圧(または、空圧・油圧とハネの組合せ)によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。ある一定の範囲で速度変化への対応が可能、但し空圧・油圧シリンダの性能により速度変化幅は異なる。	多軸
XXXX		空圧電子制御	立脚相では荷重時に膝を軽度屈曲位置で保持すること(ハウジング)ができる。遊脚相は空圧(または、空圧とハネの組合せ)電子制御によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。幅広い速度変化への対応が可能。	多軸

膝継手の機能区分 (3/3)

コード	機能区分		機能概要	軸構造
	立脚制御	遊脚制御		
XXXX	動的安定・ イールディング	油圧	立脚相では荷重しながら膝を曲げていくこと(イールディング)ができる。階段や坂道の下りで交互歩行が実現可能になる。遊脚相は油圧とハネの組合わせによって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。ある一定の範囲で速度変化への対応が可能。但し油圧シリンダの性能により速度変化幅は異なる。	単軸
XXXX		空圧電子制御	立脚相では荷重しながら膝を曲げていくこと(イールディング)ができる。階段や坂道の下りで交互歩行が実現可能になる。遊脚相は空圧(または、空圧とハネの組合せ)、電子制御によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。幅広い速度変化への対応が可能。	
XXXX	動的安定・ イールディング、 電子制御	油圧電子制御	立脚相では荷重しながら膝を曲げていくこと(イールディング)ができる。階段や坂道の下りで交互歩行が実現可能になる。遊脚相は油圧とハネの組合せ、電子制御によって膝の屈曲制限と伸展補助を行う。幅広い速度変化への対応が可能。	

機能区分暫定案 (膝継手抜粋)

【生体の股関節・膝関節・足関節の機能を補う部品】 ※型式・部品名称・価格は発行済成品部品指定リスト記載のまま。

コード	名称	機能区分	機能概要	軸構造	適応 レベル	メーカー	型式 ※	部品名称 ※	体重 制限 (kg)	使用材 料	重量 (g)	基準 価格 ※	調整 時間 (分)
XXXX	膝継手	立脚制御 動的安定 イールディング	立脚相の安定はアライメントによる。遊脚相はハネ・ゴム等...	単軸	K2	ホック	M0716	血圧付単軸継手	70	7#S	640	58,200	
XXXX			立脚相の安定はアライメントによる。遊脚相はハネ・ゴム等...	単軸	K2-3	ホック	60823	7#S単軸継手	100	7#S	315	93,900	
XXXX			立脚相の安定はアライメントによる。遊脚相は空圧...	単軸	K3-4	ホック	M0760	空圧制御シリンダ付単軸継手	100	7#S	350	127,800	
XXXX			立脚相の安定はアライメントによる。遊脚相は空圧...	単軸	K3-4	ホック	3895	油圧単軸継手	150	7#S	360	266,200	
XXXX	静的安定・ 固定	固定	膝が完全伸展位で固定され膝折れを防ぐ。座位をとる場合...	単軸	K1-2	ホック	M0781	Swan S	75	7#S	668	254,100	
XXXX	静的安定・ 荷重ブレーキ	ハネ・ゴム伸展補助	立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K1-2	ホック	3820	ハネ・ゴム伸展継手	100	ステンレス	820	94,400	
XXXX		空圧・油圧	立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-4	ホック	38106	四軸圧入型圧継手 付付	100	7#S	760	242,200	
XXXX		空圧・電子制御	立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-3	ホック	OP5	四軸空圧継手	125	7#S	765	193,600	
XXXX		動的安定・ ハウジング	立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2	ホック	3840	ミニプロトタイプ継手	100	7#S	290	50,200	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2	ホック	A3-1-1	固定継手(7#S付)	100	-	690	59,400	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K1-2	ホック	3815	荷重ブレーキ継手	100	ステンレス	490	63,800	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-3	ホック	60794	7#S付単軸継手	135	7#S	350	127,000	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-4	ホック	M0770	BASS(空圧荷重ブレーキ)	100	カーボン	685	281,300	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-3	ホック	3892	荷重ブレーキ継手	125	7#S	895	272,300	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-4	ホック	Ni-C111t	単軸・荷重ブレーキ付 7#S付	100	カーボン	1095	341,500	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-3	ホック	Tk2000	1-1000-2000(油圧)	100	7#S	690	430,600	
XXXX			立脚相では荷重時に膝の屈曲制限が働き...	単軸	K2-3	ホック	Nk-6	ハウジング機構	125	7#S	890	372,500	

3. 機能区分と完成用部品の価格

- 完成用部品の機能が分かりやすくなれば、
 - ある機能上の仕様を持ついくつかの部品の価格の違いが分かりやすくなる。
 - 今後、新しい機能を持つ部品があらわれるときに、既存の部品と比較し、どういう機能の上乗せがあり、どれだけ価格が異なるのかといったことを考えやすくなる。

機能区分案(7/19版)に基づく機能毎の価格の散らばりの状況：股継手を例に

機能区分(案)毎の価格のちらばりを調べると... (製造中止予定のあるものを除いて算出。)

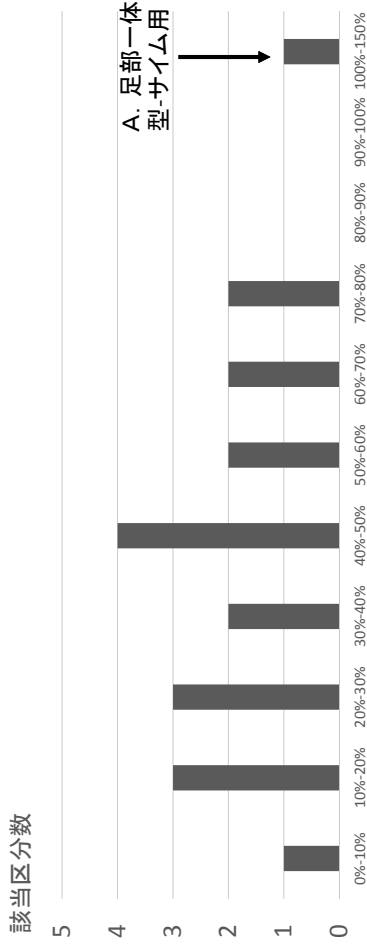
機能区分	部品点数	a) 平均	b) 標準偏差	c) 最大値	d) 中位値	e) 最小値	(c-d)/d	(e-d)/d	平均	その
固定	3	69,967	3,186	73,800	70,100	66,000	5%	6%	6%	43%
遊動ハネ(ゴム)式ストライドコントロール装置	6123,717	46,843	38%	175,500	127,650	66,000	37%	48%	43%	
遊動油圧式ストライドコントロール装置	1	452,500	0	452,500	452,500	452,500	0%	0%	0%	※
遊動ハネ式ストライドコントロール装置	1	153,600	0	153,600	153,600	153,600	0%	0%	0%	※

価格のばらつきが大きいと思われるものについても、

コード	機能区分	機能概要	適応レベル	メーカー・型式	部品名称	使用量	主材料	重量	価格	調整時間
XXXX	遊動	ハネ(ゴム)式ストライドコントロール装置	K2	ホック	7E4	100	7#S	940	66,000	10
		股継手伸張補助	K1-K3	ホック	M0110	100	7#S	637	167,600	4
		伸張補助	K2-K3	ホック	7E7	100	7#S	875	175,500	4
		伸張補助	K2-K3	ホック	7E7	80	7#S	665	88,300	4
		伸張補助	K2-K3	ホック	TG1010	45	7#S	1,300	77,900	30
		伸張補助	K2-K3	ホック	TG1010	45	7#S	1,300	77,900	30

「その機能区分で定義された同じ機能を持つ」という前提のもとで、各種属性を踏まえつつ価格の比較をすることができる。

股継手、膝継手（区分検討途中）、ターンテーブル、足継手・足部機能区分案の示す基本的な機能のみを持つと考えられる部品（※）の区分毎の価格の散らばり（標準偏差÷平均）



※算出上の除外条件として、1) 適応活動レベルがK4や「かなり活発な歩行」を含む、2) 主要材料にマグネシウム、チタン、カーボンを用いている、3) 膝継手（区分検討途中）、ターンテーブル、足継手・足部で調整機能・特記事項の記載があるもの、4) 製造中止予定のあるもの、5) 機能区分内で上記条件を満たす部品が2種以下のもの 以上を設定した。

機能区分内の価格の散らばり具合

• 股継手、膝継手（区分検討途中）、ターンテーブル、足継手・足部について、機能区分案の示す基本的な機能のみを持つと考えられる部品を対象に、区分毎の価格の散らばりを調べたところ、平均価格に対する標準偏差の比で見ても5～76%（※）みられる。

→ 詳しい吟味が必要ながら、価格の散らばりが比較的大きい機能区分も見受けられることを確認。

※最も散らばりが大きかった「A. 足部一体型-サイム用」(126%)は他と大きく値が離れていることから、上述の範囲の表示からは除いた。

機能区分情報が公開される場合に予想される価格への影響

- 完成用部品供給事業者間で、市場競争が起こりやすくなる。
 - 価格がある程度平準化？
 - 同等の価格でもより付加価値が高い製品の開発の促進？
- 輸入完成用部品の場合、輸入事業者が輸入元に対し、日本における同等機能部品の価格の相場を示すことが可能に。
 - 輸入元から購入する際、価格交渉の材料になり得る？

これをベースに皆様方からのご意見をいただき、更に充実した機能区分分として提案できるようにしていきたいと思えます。

ご意見等ありましたらアンケート用紙にご記入ください。

ご清聴ありがとうございました。

III. 機能区分へのコメント

機能区分に期待すること ～補装具行政の立場から～

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
福祉用具専門官 / 障害福祉専門官

加藤 晴喜

補装具とは

障害者総合支援法（2005年法律第123号）第5条第23項に規定する補装具とは、「障害者等の身体機能を補完し、又は代替し、かつ、長期間に渡り継続して使用されるものその他の厚生労働省令で定める基準に該当するものとして、義肢、装具、車いすその他の厚生労働大臣が定めるもの」であり、具体的には厚生労働省告示第528号で定めている。

- 厚生労働省令（第6条の20）で定める基準とは：
次の各号のいずれにも該当することとする。
 - 一 障害者等の身体機能を補完し、又は代替し、かつその身体への適合を図るように製作されたものであること。
 - 二 障害者等の身体に装着することにより、その日常生活において又は就労若しくは就学のために、同一の製品につき長期間に渡り継続して使用されるものであること。
 - 三 医師等による専門的な知識に基づく意見又は診断に基づき使用されることが必要とされるものであること。
- 厚生労働大臣が定めるものとは：
具体的には厚生労働省告示第528号「補装具の種類、購入又は修理に要する費用の額の算定等に関する基準」で補装具の種類、名称、型式、基本構造、上限額等を定めている。

補装具費支給の目的について

補装具は、身体障害者、身体障害児及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令第1条に規定する特殊の疾病に該当する難病患者等（以下「身体障害者・児」という。）の失われた身体機能を補完又は代替する用具であり、身体障害者及び18歳以上の難病患者等（以下「身体障害者」という。）の職業その他日常生活の効率の向上を図ることを目的として、また、身体障害児及び18歳未満の難病患者等（以下「身体障害児」という。）については、将来、社会人として自立自活するための素地を育成・助長すること等を目的として使用されるものであり、市町村は、補装具を必要とする身体障害者・児に対し、補装具費の支給を行うものである。

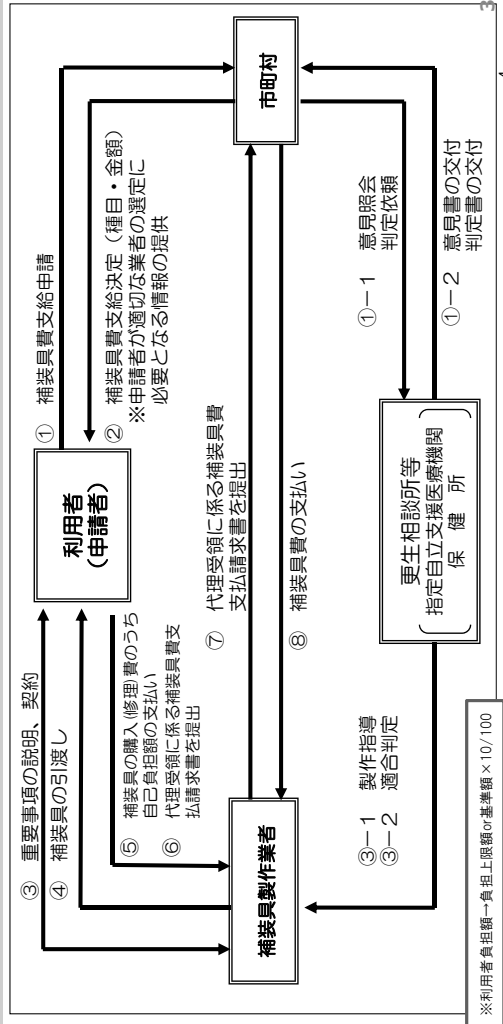
このため、市町村は、補装具費の支給に当たり、医師、理学療法士、作業療法士、身体障害者福祉司、保健師等の専門職員及び補装具の販売又は修理を行う業者「以下「補装具業者」という。）との連携を図りながら、身体障害者・児の身体状況、性別、年齢、職業、教育、生活環境等の諸条件を考慮して行うものとする。

なお、その際、身体障害児については、心身の発育過程の特殊性を十分考慮する必要があること。

補装具費支給事務取扱指針（障発第0929006号H18.9.29部長通知）より

補装具費の支給の仕組み（代理受領方式の場合）

- 補装具の購入（修理）を希望する者は、市町村に補装具費支給の申請を行う。
- 申請を受けた市町村は、更生相談所等の意見を基に補装具費の支給を行うことが適切であると認めるときは、補装具費の支給の決定を行う。
- 補装具費の支給の決定を受けた障害者等は、事業者との契約により、当該事業者から補装具の購入（修理）のサービスを受け、補装具費の支給を受ける。
- 障害者等が事業者から補装具の購入（修理）のサービスを受けた時は、事業者等は、事業者が市町村に対し、補装具の購入（修理）に要した費用のうち利用者負担額を支払うとともに、代理受領に係る補装具費支払請求書を提出
- 市町村は、事業者から補装具費の請求があった時は、補装具費の支給を行う。



補装具費支給の判定について

〔身体障害者〕

身体障害者更生相談所の判定により 市町村が決定	医師の意見書に より市町村が決定
更生相談所に来所（巡回相談 等含む）判定	医師の意見書等により更生相 談所が判定
・義肢 ・装具 ・座位保持装置 ・電動車椅子 ・特例補装具	・補聴器 ・車椅子（オーダーメイド） ・重度障害者用意思伝達装置 の新規購入
更生相談所は、新規申請者に係る判定 を行うときは、できる限り切断その他 の医療措置を行った医師と緊密な連絡 を取り判定に慎重を期すること。	・義眼 ・眼鏡（矯正眼鏡・遮光眼鏡・コン タクトレンズ・弱視眼鏡） ・車椅子（レディメイド） ・歩行器 ・盲人安全つえ ・歩行補助つえ 上記に係るものであって、補装具費支 給申請書、医師意見書等により判断で きる場合及び再支給、修理の場合、 身体障害者手帳で必要性が判断できる 場合は、医師の意見書を省略させるこ とができる。

〔身体障害児〕

市町村は、指定自立医療機関又は保健所の医師が作成した意見書により判断する。医師の意見書は、身体障害者手帳で必要性が判断できる場合は、省略させることができる。

また、市町村における支給の決定に際し、補装具の構造、機能等に関することで技術的助言を必要とする場合には、更生相談所に助言を求めること。

〔難病患者等〕

原則、身体障害者・児の手続きに準ずるものとするが、補装具費の支給申請を受け付けるに当たり、特殊の疾病告示に掲げる疾患に該当するか否かについては、医師の診断書等の提出により確認するものとする。

平成26年度 障害者総合福祉推進事業

指定課題

想定される事業の手法・内容

1. 実態の把握
 - アンケート等の調査により、下記の課題や実態について把握する。
 - ① 先行調査研究成果を踏まえ、貸与可能種目の特定、貸与方式導入の目的について整理
 - ② 自治体（人口規模等により対象を抽出）や事業者等における貸与方式の導入に係る諸課題
 - ③ 貸与等の事業を行っている団体・事業者並びにそのサービスを利用する当事者の状況
2. 実態を踏まえた検討
 - ① 先行調査研究成果を踏まえ、貸与可能種目の特定、貸与方式導入の目的について整理
 - 先行研究等の成果を踏まえ、貸与方式の導入を提言している自治体や事業者等からの要望等を整理し、貸与方式導入の目的を明確にするとともに、対象とする種目の整理を行う。
 - ② 自治体における貸与の仕組みの導入に係る諸課題
 - 調査結果を踏まえ、現行の補装具費支給の流れに、貸与方式を取り入れる際の課題や導入に向けた解決方法について検討を行う。
 - ③ 貸与等の事業を行っている団体・事業者並びにそのサービスを利用する当事者の状況
 - 調査の結果を踏まえ、貸与方式導入による適切な報酬設定、製品管理並びにユーザーサポートのあり方等について検討を行う。
 - ④ ①並びに②の結果を統合し、実際の制度としての運用可能な体制・仕組み作りについて検討を行う。

求める成果物

- 新たに貸与方式を導入する場合には必要課題の整理を行い、現行の補装具費支給制度に導入するための課題の解決方法を検討すると共に、実際の導入時に活用できる手順等をまとめた報告書

「公益財団法人 テクノエイド協会」が実施

報告書

補装具費支給制度における貸与方式導入に向けた体制構築のあり方等に関する研究事業 報告書

※ 報告書については、公益財団法人テクノエイド協会のホームページよりダウンロードできるようになっている。

http://www.techno-aids.or.jp/research/shogai_150522.pdf

平成27年度 障害者総合福祉推進事業

指定課題

補装具費支給制度における貸与方式導入に向けた体制のあり方の検証等に関する研究

想定される事業の手法・内容

1. 検討体制の整備
 - 本研究を遂行するため、有識者等が参画した検討委員会を設置する。
2. モデル事業の実施
 - 事業実施が可能な2～3自治体を選定し、モデル要綱に沿った事業を実施する。
3. 事業の検証
 - ① モデル事業自治体に対するヒアリングを実施
 - ② モデル事業の結果の取りまとめを行い、制度内に導入するための課題・対応策を整理
 - ③ ①並びに②の結果を統合し、実際の制度としての運用可能な体制・仕組み作りについて検討、まとめを行う。

求める成果物

- 現行の補装具費支給制度へ効果的に貸与の仕組みを導入するための体制作りと手続きをまとめた報告書。

「公益財団法人 テクノエイド協会」が実施

主な課題（私見も含む！）

～平成25年度研究会で使用した資料を元に～

- 補装具告示の見直し
 - 構造等が実態と合っていない
 - 新しい技術の取り入れ → 臨床的な有効性の評価
- 給付の適正化・効率化・公平性
 - 制度に関する知識の共有
 - 障害児の判定問題 → 客観的判定が必要
 - 対象者像の共有 → 特別補装具事例の収集
 - フォローアップの実施 → 利用効果・不具合情報などの収集
- 判定の平準化
 - 市町村間格差の指摘 ？ 都道府県間格差
- 年齢に合わせた制度利用の問題
 - 障害児から成人、成人から高齢者(介護保険対象)

新たな厚生労働科学研究がスタート

ガイドブックの作成・配布

情報の集約・共有・発信
(解釈・事例など)

別の厚生労働科学研究でも実施
etc.

8

9

機能分類に期待すること

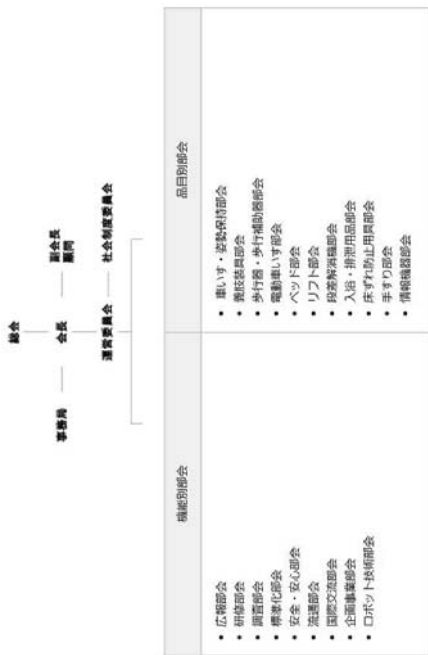
補装具費支給制度の運用において、すべての関係者が理解し、活用ができるものとして整理していただきたい。

次のようなことが、ポイントとして考えられるのではないかと。

- 給付の適正化・効率化・公平性
 - 真に必要な機能の判断を容易に行うことが可能か
 - 判定現場で使用しやすいものとすることが可能か
 - 個々の障害者と部品とのマッチングの公平性を明確にすることが可能か
 - 価格と機能との関係性の明確化
 - 同機能群の部品の価格差を明確にすることは可能か
 - 費用の効率化を図ることが可能か
 - 他の種目でも使用可能となるか
 - 部品に止まらず、機能と活動性などによる機器の選択について、例えば車椅子などに拡大することは可能か
- etc.

↑ 制度上への位置づけを検討することが可能となるよう、扱いやすい分類としていただきたい

日本福祉用具・生活支援用具協会 JASPA



2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

1

2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

3

第2回 補装具の適切な支給実現のための 制度・仕組みに関する研究会

- 完成用部品の機能区分整理がひらく公平・公正な判定と適正な価格-
9. 部品供給事業者の立場より機能区分へのコメント

- ① 日本福祉用具・生活支援用具協会-JASPA (Japan Assistive Products Association) - 義肢装具部会のご紹介
- ② 部品供給事業者の立場より機能区分へのコメント

日本福祉用具・生活支援用具協会-JASPA-義肢装具部会 矢野 裕一

2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

2

2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

4

本部会は、義肢装具用部品等を製造、または輸入、販売等を行う事業者間において、必要な連絡調整体制を確立し**関連団体と積極的に連携し**、義肢装具の適切な処方や使用方法の周知を図ることにより、**ユーザー様のQOLの回復、及び安全に安心して使用できる環境構築と普及を図ることを目的とする。**

義肢装具部会の活動

部会では、目的を達成するために次に次の活動を行っています。

- ・ 義肢装具用部品等の普及・啓発のための調査、広報活動
- ・ 義肢装具用部品等が安全安心に使用されるための活動
- ・ 義肢装具用部品等の公的給付制度改善提案活動
- ・ 医療・業界関連団体との連携活動
- ・ 国際化の推進活動
- ・ 会員勉強会の開催活動
- ・ その他本部会の目的を達成するために必要な活動

2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

5

2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

7

部品供給事業者の立場より機能別区分へのコメント

部品供給事業者に求められている事

(完成用部品⇒部品)

- ・ エンドユーザー様のQOLの回復に役立つ部品の提供
- ・ ニーズを収集し、既存部品の改良と新しい部品の開発
- ・ 新しい部品が早期に使用できる環境づくり
- ・ より良い部品を適切な価格で提供
- ・ 部品の安心・安全使用に関する情報の伝達
- ・ 部品の安定供給(少量多品目)
- ・ 調整作業・故障の少ない手離れの良い部品の提供
- ・ 判定業務をサポートするための情報提供と必要な予毛機の提供
- ・ 迅速で確かなアフターセールス・サービス(修理代替機等)の提供
- ・ 部品の機能・特徴情報をより解りやすく共有
- ・ 科学的根拠(臨床データ)に基づいた販売(Evidence Based Selling)

義肢装具部会の部会員(五十音順)

- ・ アルケア株式会社
- ・ 株式会社今仙技術研究所
- ・ オットーボック・ジャパン株式会社
- ・ 川村義肢株式会社
- ・ 株式会社啓愛義肢材料販売所
- ・ ナブテスコ株式会社
- ・ 日進医療器株式会社
- ・ 日本シグマックス株式会社
- ・ パンフィックサブプライ株式会社

2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

6

部品供給事業者の立場より機能別区分へのコメント

部品供給事業者の立場より機能区分へのコメント(1/2)

- ・ エンドユーザー様のQOLの回復を目指して開発された部品が、必要としている方々に適切に処方されること、そのための指標となる事を期待
- ・ 平等性と透明性の有るより良い支給制度の必要性
- ・ 機能区分内の部品価格差の取り扱い
- ・ 革新的な技術(イノベーション)に対する評価と機能区分の新設
- ・ 機能区分の定期的な見直し(新しい部品が早期に使用出来るために)
- ・ 部品の修理・付属部品の取り扱い
- ・ メーカー保証期間の取り扱い
- ・ 部品調整時間の取り扱い

2015/7/25

第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会

8

部品供給事業者の立場より機能別区分へのコメント

部品供給事業者の立場より機能区分へのコメント(2/2)

- 機能分類の言葉の定義
- 機能区分と適応活動レベル(K0~K4)のマッチング(Patient Indication Matching)及びそのアウトカムの測定
- 包括的アプローチ
 - 市販後調査(例: PMS) Post-Marketing Surveillance
 - 切断患者登録制度(例: National Amputee Registry)

物づくり + 事づくり = 物事

機能区分へのコメント

～ 義肢・装具製作事業者の立場より ～



一般社団法人 日本義肢協会
理事 松本芳樹

完成用部品の機能区分整理への期待と課題

- 支給基準
- 価格

一般社団法人日本義肢協会について

(一社)日本義肢協会は、約290社の義肢・装具製作所が加入。

全国8支部で構成され、厚生労働省をはじめとして地域の医療・行政機関と密接に連携して医療と福祉をサポートしています。

また、研究開発を推進し技術の向上を図ることにより地域差の少ない補装具を提供できる環境の整備にも努めています。

本協会は昭和42年に社団法人として認可をうけ、平成29年には設立50周年を迎えます。

完成用部品の機能区分整理への期待 ①

利用者の活動レベル・生活様式を考慮した、完成用部品の選択基準がない。



機能区分が明確になれば、義肢装具製作事業者も利用者のニーズに沿ったより適切な提案をすることができる。

利用者の機能定義 (Kレベル)

K0	介助の有無にかかわらず、安全に歩行又は移動する能力がなく、義肢によってQOL又は可動性が向上しない。
K1	一定の歩調で平坦面を歩行又は移動するために義肢を使用する能力又は潜在能力がある。限定的又は制限のない家庭内歩行者。
K2	縁石、階段、又は凹凸のある面などの低い環境障壁を越えて歩行する能力又は潜在能力がある。限定的な地域内歩行者。
K3	種々の歩調での歩行能力又は潜在的な能力がある。殆どの環境障壁を越える能力又は潜在能力を有し、単純な運動以上の義肢を必要とする職業、治療、又は運動活動ができる地域内歩行者。
K4	基本的な歩行能力を超える義肢歩行の能力又は潜在能力があり、高い衝撃、応力、又はエネルギーレベルを呈する。児童、活動的な成人、又は運動選手など。

課題として……

利用者の活動レベル・生活様式の把握が前提。
本研究でも米国の支給制度で使用されているKレベル分類が用いられているが、「潜在能力」の判断が容易ではない。

「潜在能力」とは装着する補装具(義足)によって評価が変わることはないか？

L-Codeと利用者の機能定義 Lower Limb Prosthetics LCD & Policy Article

義足 膝継手	機能レベル				
	K0	K1	K2	K3	K4
摩擦膝 L5611,L5616,L5710-L5718, L5810,L5812,L5816,L5818		○	○	○	○
油圧・空圧・電子制御膝 L5610,L5613,L5614,L5722- L5780,L5814,L5822- 5840,L5848,L5856,L5857,L5858		?	?	○	○

(昨年度の研究会資料から引用)

高性能義足



高活動者

適切な支給実現のためには、利用者の機能レベルの定義付けと、完成用部品の機能区分整理は必要である。

それらを基準にしつつ、それぞれの幅の中での選択には、利用者の医学的な背景をもとに、義肢の構造・機能を熟知した専門職が不可欠。

完成用部品の機能区分整理への期待②

現在の完成用部品の公示価格とその機能は整理されておらず、機能面から見た価格の妥当性について確認できていない。



機能に応じた価格設定が可能となり、その結果新しい機能を持つ部品が供給されやすくなる。

しかしながら現在の補装具費、特に義肢に関しては基本価格・製作要素価格なども併せて検討する必要があると思われる。

米・日見積り比較(下腿義足:ライナー使用)

米国の見積り内容	平均金額	日本の見積り内容	金額
ベースコード			
L5301	\$2,491	基本価格 基本価格の加算 製作要素 製作要素 サポート	¥63,000 ¥44,500 ¥24,700 ¥6,550 ¥10,600
L5620	\$301	完成用部品 (義足調整用部品)	¥11,100
L5629	\$345	完成用部品 (その他)	¥4,100
L5637	\$313	完成用部品 (足部)	¥47,600
L5910	\$863	完成用部品 (足部)	¥90,800
L5940	\$564	完成用部品 (足部)	¥42,600
L5673	\$725	完成用部品 (足部)	¥234,300
L5671	\$539	完成用部品 (足部)	
L5979	\$2,476	完成用部品 (足部)	
合計金額	¥1,081,200		¥579,850

(昨年度の本研究会資料から引用)

米・日見積り比較(下腿義足:ライナー使用)

米国の見積り内容	平均金額	日本の見積り内容	金額	製造原価
ベースコード				
L5301	\$2,491	基本価格 基本価格の加算 製作要素 製作要素 サポート	¥63,000 ¥44,500 ¥24,700 ¥6,550 ¥10,600	¥17,200 ¥38,400
L5620	\$301	完成用部品 (義足調整用部品)	¥11,100	¥7,820
L5629	\$345	完成用部品 (その他)	¥4,100	¥2,880
L5637	\$313	完成用部品 (足部)	¥47,600	¥33,520
L5910	\$863	完成用部品 (足部)	¥90,800	¥75,100
L5940	\$564	完成用部品 (足部)	¥42,600	¥30,400
L5673	\$725	完成用部品 (足部)	¥234,300	¥183,600
L5671	\$539	完成用部品 (足部)		
L5979	\$2,476	完成用部品 (足部)		
合計金額	¥1,081,200		¥579,850	¥399,070

原価率 68.82%

米・日見積り比較(大腿義足:膝継手4軸インテリ使用)

米国の見積り内容	平均金額	日本の見積り内容	金額
ベースコード			
L5321	\$3,566	基本価格 基本価格の加算	¥141,300
L5650	\$530	完成用部品 (義足調整用部品)	¥54,500
L5624	\$394	完成用部品 (その他)	¥27,300
L5649	\$2,066	完成用部品 (義足調整用部品)	¥16,100
L5651	\$1,303	完成用部品 (膝継手)	¥16,000
L5404	\$3,171	完成用部品 (膝継手)	¥6,500
L5857	\$719	完成用部品 (膝継手)	¥29,700
L5950	\$728	完成用部品 (膝継手)	¥15,900
L5981	\$3,125	完成用部品 (足部)	¥23,800
合計金額	¥2,648,760		¥913,400

(昨年度の本研究会資料から引用)

米・日見積り比較(大腿義足:膝継手4軸インテリ使用)

米国の見積り内容		日本の見積り内容		製造原価	
ベースコード	平均金額	基本価格 基本価格の加算	B-2吸着式 坐骨収納型ソケット 二重式ソケット熱硬化 二重式ソケット熱可塑 支持部	金額	材料費 人件費
L5321	\$3,566	\$54,500 ¥27,300 ¥16,100	大腿義足、モールドソケット オートオープンエンド 骨格構造義足 車軸膝継手	¥141,300	¥26,480
L5650	\$530	¥16,000	トータルコンタクト	¥16,000	¥48,000
L5624	\$394		大腿義足チャックソケット 加算 (×2まで可能)		
L5649	\$2,066	¥6,500 ¥29,700	吸着ハルブ ソケットアダプター	¥6,500	¥6,000
L5651	\$1,303	¥15,900 ¥23,800	チューブ ソケットアダプター	¥15,900	¥20,920
L5404	\$3,171	¥356,500	フレキシブルインナーソ ケット、外フレーム	¥356,500	¥16,760
L5857	\$7,190		4軸又は多軸、空圧遊脚 制御		¥304,000
L5950	\$728		遊脚マイコン制御 超軽量材料(カーボン)		¥185,000
L5981	\$3,125	¥223,800	フレックスウォークステー ム、又は同等品	¥223,800	
合計金額	\$22,073 ¥2,648,760	¥913,400		¥913,400	¥618,360

原価率 67.70%

適切な見込み利益率の検討が必要

米・日見積り比較(下腿義足:ライナー使用)

米国の見積り内容		日本の見積り内容		金額	
ベースコード	平均金額	基本価格 基本価格の加算 製作要素 支持部	B-4 PTB式 チャックソケット アクリルソケット カーボン使用加算 支持部	金額	金額
L5301	\$2,491	\$44,500 ¥24,700 ¥6,550 ¥10,800	下腿義足、モールドソケット SACH足部 骨格構造義足	¥63,000 ¥44,500 ¥24,700 ¥6,550 ¥10,800	
L5620	\$301		下腿義足チャックソケット加 算 (×2まで可能)		¥11,100
L5629	\$345		下腿義足でアクリルソケッ ト加算		¥4,100
L5637	\$313		トータルコンタクト		¥47,600
L5910	\$863		サカンソケット		¥80,800
L5940	\$564		アライメント調整機能加算		¥42,600
L5673	\$725		超軽量素材使用		¥234,300
L5671	\$539		ロックングライナー (×2まで可能)		
L5979	\$2,476		懸垂装置(ロック機構) 多軸、ダイナミックレスポ ンスアット、一体型		
合計金額	\$9,010 ¥1,081,200			¥579,850	¥430,500

機能追加コード計 ¥563,640 完成用部品計 ¥430,500

米・日見積り比較(大腿義足:膝継手4軸インテリ使用)

米国の見積り内容		日本の見積り内容		金額	
ベースコード	平均金額	基本価格 基本価格の加算	B-2吸着式 坐骨収納型ソケット 二重式ソケット熱硬化 二重式ソケット熱可塑 支持部	金額	金額
L5321	\$3,566	\$54,500 ¥27,300 ¥16,100	大腿義足、モールドソケット オートオープンエンド 骨格構造義足 車軸膝継手	¥141,300	¥54,500 ¥27,300 ¥16,100
L5650	\$530	¥16,000	トータルコンタクト	¥16,000	
L5624	\$394		大腿義足チャックソケット 加算 (×2まで可能)		
L5649	\$2,066	¥6,500 ¥29,700	吸着ハルブ ソケットアダプター	¥6,500	¥29,700
L5651	\$1,303	¥15,900 ¥23,800	チューブ ソケットアダプター	¥15,900	¥23,800
L5404	\$3,171	¥356,500	フレキシブルインナーソ ケット、外フレーム	¥356,500	
L5857	\$7,190		4軸又は多軸、空圧遊脚 制御		¥15,900
L5950	\$728		遊脚マイコン制御 超軽量材料(カーボン)		¥23,800
L5981	\$3,125	¥223,800	フレックスウォークステー ム、又は同等品	¥223,800	¥356,500
合計金額	\$22,073 ¥2,648,760	¥913,400		¥913,400	¥223,800

機能追加コード計 ¥1,705,680 完成用部品計 ¥658,200

「高額な(完成用)部品は支給出来ない。」

「高額な部品」 → 「高性能」という意味？

機能的に妥当性が無いという判断。

予算的に価格上限が設定されている？

金額的に対象外。

更生相談所が自治体の財政状態を与件として支給判定を行っているとは利用者が利用する可能性はある。(平成26年度 総括・分担研究報告書 より引用)

財政規律の維持？

○補装具費支給制度における公費負担割合

補装具の購入又は修理に要した費用の額(基準額)から利用者負担額を除いた額を補装具費とし、以下の割合により負担。

国 50% 都道府県 25% 市町村 25%



予算的な背景も含めて、判定・給付の市町村・都道府県間格差の平準化が課題

完成用部品の機能区分整理により同機能の製品(部品)が比較し易くなる？

名称	型式
補装具	固定
補装具	変圧
補装具	変圧・海庄コンピューター制御
補装具	スプリング、その他
補装具	小児用
補装具	2ロック式、ロック
補装具	ターンテーブル付き
補装具	小児用
補装具	B安全膝
補装具	変圧
補装具	変圧、コンピューター制御
補装具	変圧、スプリングその他

従来の構造的分類

コード	機能区分	機能概要	適応活動レベル	使用素材・重量制限	主な使用材料	重量(g)
***	車輪	固定	伸張状態で固定され、座位を占める場合など、手動により固定を解除する。	K1	7HLS	280
***		固定・遊動切り替え	固定と遊動の切り替え可能			
***		ハネ(ゴム)減速制動脚	遊動相はハネ或いはゴムで屈曲制動および伸張を補助する。			
***		加重ブレーキ/ハネ(ゴム)減速制動脚	遊動相はハネ或いはゴムで屈曲制動および伸張を補助する。伸張補助力は調整可。			
***		空圧式遊脚制脚	伸張補助力は調整可。			
***		加重ブレーキ/空圧式遊脚制脚				

平成26年度 総括・分担報告書より

同機能の部品の中での選択基準

区分	名称	コード	機能区分	機能概要	適応活動レベル	メーカー・型式	部品名称	使用素材・重量制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	調整機能 (目的)	調整時間 (min)		
補装具用部品	腕継手	***	車輪	固定	伸張状態で、固定される。構造など、手動により固定を解除する。	K1	5ホウカ	SI0702	膝車手動D/力腕(M)	80	7HLS	184	145,200		
						K1	ホウカ	3R40	ニコ7HカD/腕継手	100	7HLS	284	50,200	ロウク調整	30
						K1	5ホウカ	SI0701	膝車手動D/腕継手	100	7HLS	284	59,400		
						K1	5ホウカ	3R41	上下分離加一用手動D/腕継手	125	7HLS	385	84,700	ロウク調整	30
						K1	ホウカ	3R17	ニコ7HカD/腕継手	150	7HLS	695	76,500	ロウク調整	30
						K1	ホウカ	3R33	ニコ7HカD/腕継手	125	7HLS	500	137,900	ロウク調整	30
						K1-K2	楕円	TK-1C1	小児用車輪継手	55	7HLS	310	52,800		
						K1-K2	ホウカ	SI0708	Belongs(ハウカ)手動D/腕継手	80	7HLS	450	187,500		
						K1-K2	ホウカ	SI0720A	半遊脚調整手	100	7HLS	458	181,500		
						K2	小原	345S-050	前置式固定座	80	7HLS	345	72,600		
						K2-K3	ホウカ	604711	車輪固定座	135	7HLS	284	73,300		

平成26年度 総括・分担報告書より



体重制限、材料、重量、調整の簡易さ etc
加えて価格も重要な要素



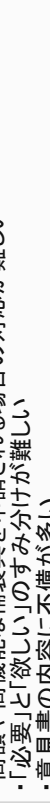
テクノエイド協会 平成24年度補装具費支給制度の施策検討に向けた実態把握に関する調査研究
事業 アンケート結果より 「現行の支給制度における課題」

市町村
 ・補装具に関する知識が乏しい
 ・児童の支給決定が難しい
 ・「必要」と「欲しい」のすみ分けが難しい
 ・介護保険とのすみ分けが難しい



市町村
 ・高額や高機能な補装具を申請される場合の対応が難しい
 ・「必要」と「欲しい」のすみ分けが難しい
 ・意見書の内容に不備が多い
 ・補装具に関する知識が乏しい

更生相談所
 ・高額や高機能な補装具を申請される場合の対応が難しい
 ・意見書の内容に不備が多い
 ・補装具に関する知識が乏しい



市町村
 ・補装具に関する知識が乏しい
 ・児童の支給決定が難しい
 ・「必要」と「欲しい」のすみ分けが難しい
 ・介護保険とのすみ分けが難しい



市町村
 ・補装具に関する知識が乏しい
 ・児童の支給決定が難しい
 ・「必要」と「欲しい」のすみ分けが難しい
 ・介護保険とのすみ分けが難しい



テクノエイド協会 平成24年度 補装具費支給制度の施策検討に向けた実態把握に関する調査研究事業 アンケート結果より 「補装具の判定に携わっている職種・人数」

Q5 補装具の判定に携わっている職種・人数をご記入ください。 n=67

職種	常勤	非常勤・兼務	嘱託
	平均 (最小～最大)	平均 (最小～最大)	平均 (最小～最大)
医師	0.2人(0.0～3.0人)	1.4人(0.0～17.0人)	5.4人(0.0～32.0人)
理学療法士	0.7人(0.0～5.0人)	0.1人(0.0～1.0人)	0.1人(0.0～4.0人)
作業療法士	0.4人(0.0～4.0人)	0.0人(0.0～1.0人)	0.0人(0.0～1.0人)
義肢装具士	0.2人(0.0～2.0人)	0.1人(0.0～2.0人)	0.2人(0.0～3.0人)
義肢装具士	0.1人(0.0～2.0人)	0.1人(0.0～3.0人)	0.1人(0.0～2.0人)
身体障害者福祉司	1.3人(0.0～8.0人)	0.1人(0.0～2.0人)	0.0人(0.0～0.0人)
リハエンジニア	0.0人(0.0～1.0人)	0.0人(0.0～1.0人)	0.0人(0.0～0.0人)
一般事務職	0.7人(0.0～5.0人)	0.1人(0.0～1.0人)	0.0人(0.0～0.0人)
その他	0.9人(0.0～7.0人)	0.2人(0.0～3.0人)	0.2人(0.0～2.0人)

	常勤	非常勤・兼務	嘱託
医師	0.2人	1.4人	5.4人
義肢装具士	0.1人	0.1人	0.1人
理学療法士	0.7人	0.1人	0.1人
作業療法士	0.4人	0.0人	0.0人

完成用部品の機能区分整理について(まとめ)

- 機能区分整理は有益であり重要であるが、関係者の技術的知識、判定力向上は不可欠 → 義肢装具士等の活躍を期待
- 適切な見込み利益率を考慮した価格設定につながることを期待
- 利用者の可能性や選択肢が狭小化することなく、貸与制度などとの併用で、より適した部品を選択できるような支給制度の構築を期待

ご清聴有り難うございました。



完成用部品の選択

- 義肢における利用者と生産者との間の情報の非対称性（長瀬ら）
- 選択のパラドクス（Barry Schwartz）



2015/7/25

JAPO

1

2015/7/25

JAPO

3

完成用部品の機能区分がひらく公平・公正な判定と適正な価格

義肢装具士の立場から

一般社団法人 日本義肢装具士協会
坂井 一浩

2015/7/25

JAPO

1

2015/7/25

JAPO

3

要旨

1. 判断基準としての機能区分
2. 機能区分を用いる際の留意点
3. 判定プロセスにおける義肢装具士の役割と責任

義肢の適合に必要な要素（私見）

1. インターフェイスの適合性
2. 機能的適合性 → 完成用部品の特性が影響
3. 使用環境や利用者の嗜好への適合性



2015/7/25

JAPO

2

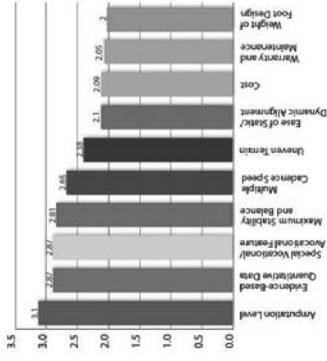
2015/7/25

JAPO

4

機能区分を判定に用いる際の留意点

① 機能以外の選択因子の存在



Gerald Stark, et al. : How do clinicians select prosthetic feet? - The O&P EDGE. 2012

2015/7/25

JAPO

5

機能区分を判定に用いる際の留意点

② L-codes および K-level の改訂



David McGill : <http://goo.gl/hmVwsA>

2015/7/25

JAPO

6

機能区分を判定に用いる際の留意点

③ 利用者の活動度評価



<https://modushealth.com/>

2015/7/25

JAPO

7

機能区分を判定に用いる際の留意点

④ 判定結果（アウトカム）の評価



<http://u.washington.edu/plusm/>

2015/7/25

JAPO

8

完成用部品の選択

コンポーネントの試用はメーカー側に物理的な負担を強いている現状があり、関わるコストについて制度の中で考慮されることが望ましい



オズール・アジア 森崎氏提供

2015/7/25

JAPO

9

要望

【判定機関での義肢装具士配置】

利用者を担当する義肢装具士だけでなく、判定機関側にも義肢装具士を置くことにより、いわば公平な立場での専門職（義肢装具士）の意見が集約できる。

【義肢装具士業務の価格化】

現行の義肢装具価格算定方法については、資格制度がなかった時代の概念が踏襲されている。義肢装具士による義肢や装具の適合・調整等、専門業務の対価についても将来的にご検討いただきたい。

2015/7/25

JAPO

10

◎ 座位保持装置の完成用部品の機能区分整理について

① 座位保持装置の完成用部品の現状 担当：後藤

現在登録されている座位保持装置の完成用部品は7割近くは海外製のシーティングシステムあります。日本製で登録されているものの多くは座位保持装置を搭載する車椅子のような構造フレームや室内用の木製フレームまたは、頸部継手や固定金具部品の様な細かい部品となっております。海外のシーティングシステムは頭部から体幹部・骨盤大腿部までの一体式もしくは、シーティングシステム専用の部品で他のシステムには取付け不可であったり、別の座位保持装置に取り付けるためにはある程度の加工が必要なものが多いのが現状です。

② 座位保持装置の完成用部品の機能区分 担当：安田

現在の座位保持装置の完成用部品は名称・型式等に分けられています。ですが実際の処方するにあたって、現在の区分では機能の違い等はわかりづらく利用者に適した物なのかの判断材料としては乏しいものとなっております。支持部～頭部であるならば、ヘッドレストがほとんどですが、どのように支えどのような形状かは品番（使用部品）や備考からは確認が難しく頸部継手については調整方向を記入されている物とされていない物がまちまちだったりしております。座位保持装置の場合、義肢・装具とは判定における、区分や機能での必要な情報が若干違っているので、座位保持装置に適した独自の区分に修正して行くことも必要なのではないのでしょうか。同時に処方する時に同じような完成用部品を比較できるように、製品一つ一つのマニュアルを添付する事も重要だと思います。

厚生労働科学研究費補助金

障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（身体・知的障害分野））

「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」

平成 27 年度 総括・分担研究報告書

発行日 平成 28（2016）年 3 月

発行者 「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」研究班
（研究代表者 井上剛伸）

発行所 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

TEL: 04-2995-3100 FAX: 04-2995-3132